

「渋谷区障がい福祉推進計画」策定に向けた
実態調査報告書

2026年3月
渋谷区

目次

I アンケート調査結果.....	2
1 アンケート調査の実施概要.....	2
2 調査結果の概要.....	4
(1)障がい者調査の結果.....	4
(2)障がい児調査の概要.....	6
(3)事業者調査の概要.....	8
(4)事業所従業員調査の概要.....	10
3. 障がい者調査の結果.....	12
(1)回答者・本人の属性等.....	12
(2)住まいと暮らしについて.....	21
(3)就労について.....	38
(4)余暇活動について.....	47
(5)相談について.....	48
(6)権利擁護について.....	54
(7)防災について.....	60
(8)渋谷区で自分らしく生きるために.....	62
4. 障がい児調査の結果.....	75
(1)回答者・本人の属性等.....	75
(2)住まいと暮らしについて.....	83
(3)療育や教育について.....	97
(4)相談について.....	102
(5)権利擁護について.....	110
(6)防災について.....	114
(7)渋谷区で自分らしく生きるために.....	116
5 事業所調査の結果.....	123
(1)事業所の概況(回答事業所の属性).....	123
6 事業所従業員調査の結果.....	157
(1)回答者の属性等.....	157
(2)仕事内容について.....	161
(3)現在の勤務条件等について.....	183
(4)人材育成・確保について.....	194
(5)渋谷区の施策について.....	197

II 意見交換会結果.....	201
1 意見交換会の実施概要	202
2 意見交換会の記録.....	203
(1)意見交換会で出された意見.....	203
(2)計画策定部会長からの総評.....	206
(3)意見交換会参加者アンケートの結果	207
III 調査票	208

I アンケート調査結果

1 アンケート調査の実施概要

(1)実施の目的

次期渋谷区障がい福祉推進計画の策定に向け、障がいのある方の日ごろの生活状況や意見、また、区内の障害福祉サービス事業所における従業員の就労状況や障がい福祉に対する意見等をうかがい、計画策定や施策検討のための基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施しました。

(2)調査対象・調査方法

調査名	調査対象	調査方法
障がい者調査	・18～64歳の障がい者手帳所持者及び難病等医療費助成受給者 ・1,594人を無作為抽出	郵送による配布。回答はインターネットもしくは郵送のどちらか。
障がい児調査	・0～18歳未満の児童福祉法によるサービス利用者及び障がい者手帳所持者及び難病等医療費助成受給者 ・328人を無作為抽出	
事業所調査・従業員調査	・区内で障がい福祉サービスを提供する全事業所及び従業員	対象事業所にアンケート依頼状を郵送の上、インターネットによる回答。

(3) 調査の期間

- ・障がい者・障がい児調査
2025年11月20日～2025年12月11日
- ・事業所・従業員調査
2025年11月20日～2026年1月14日

(4) 配布・回収状況

区分	今回調査			前回調査		
	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率
障がい者調査	1,594	663	41.6%	1,500	607	40.5%
障がい児調査	328	153	46.6%	300	144	48.0%
合計	1,922	816	42.5%	1,800	751	41.7%

区分	配布数	有効回収数	配布数	有効回収数
事業所調査	109 事業所	61 件	約 110 事業所	51 件
従業員調査	109 事業所	152 人	約 110 事業所	165 人

(5) 結果の見方

- ・図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしている。
- ・回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上回答することができる質問(複数回答)の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。
- ・構成比(%)の比較における差は、原則として「…ポイント」と表現している。
- ・調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・図表中の、今回調査は2025年度実施、前回調査は2023年度実施の調査を指す。

2 調査結果の概要

(1)障がい者調査の結果

① 回答者・本人の属性等

- ・本アンケートの回答者は、「本人」が約76%となっており、4人に3人は本人が回答しているのが特徴です。
- ・年齢は、「50代」が最も高い割合となっていますが、30代以下も約25%となっています。

② 医療との関わり

- ・医療処置や医療的ケアは、「受けている」が約43%となっており、前回調査より約9ポイント高くなっています。医療処理や医療的ケアの内容は、「人工透析」が約10%となっています。
- ・医療処置や医療的ケアの担い手は、「医師」が約60%、「本人」が約45%となっていますが、難病の方は「本人」の割合が約62%と高くなっています。

③ 住まいと暮らしについて

- ・住まいは、「自分または家族の持ち家」が約6割と最も高く、次いで「民間または公共の賃貸住宅」が約4割となっています。
- ・一緒にお住まいの方は、「母親」の比率が最も高くなっていますが、「いない(ひとり暮らし)」、も約28%となっています。30代までは「母親」、40代以降は「配偶者・パートナー」の比率が高くなっています。
- ・将来の意向としては、「家族と一緒に生活したい」が約43%、「ひとり暮らしをしたい」が約25%ですが、精神障がいの方は「ひとり暮らしをしたい」が約37%と高くなっています。
- ・日ごろの生活を手伝ってくれる人は、「母親」が約31%、「配偶者・パートナー」が約27%となっています。

④ 外出について

- ・外出の頻度で最も回答比率が高いのは「週に6~7日」が約46%であり、週に1日以上外出をする人の比率は約93%です。一方、「ほとんど外出しない」人の割合が高いのは、「音声・言語・そしゃく機能障がい」、「高次脳機能障がい」、住まいについては公営・公団(UK)等の賃貸住宅で15%を超えています。
- ・外出する際に困ることは、「自転車や歩行者との接触に危険を感じる」「疲れたときに休める場所が少ない」の割合が3割を超えています。

⑤ サービスの利用について

- ・サービスの利用については、利用経験のあるサービスでは「計画相談支援」、これから利用したいサービスは「地域活動支援センター」、支給決定が出ているが、利用に至っていないサービスは、「ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ」が最も高い比率となっています。
- ・支給決定は出ているが、利用に至っていないサービスのうち、事業所が見つからなかったサービスは、「ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ」(7人)、事業所に断られたサービスは「移動支援・同行援護・行動援護」が3人で最も多い人数となっています。
- ・情報を受け取るために必要なことは、「電子メール、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信」が約55%と最も高くなっています。
- ・日ごろの生活で困っていることは、経済的な不安や支援ニーズに関する意見が多くなっています。

⑥ 就労について

- ・全体では、約 66%の人が就労しています。就労先は、一般企業が約 59%、福祉事業所が約 18%となっています。
- ・一般企業では、一般の雇用枠が約 56%、障がい者雇用枠が約 38%、官公庁・団体では障がい者雇用枠が約 57%、自営業は自分の事業所が約 72%、福祉事業所は就労継続支援 B 型が約 81%となっています。
- ・雇用形態は、「正規雇用」が約 42%、「非正規雇用」が約 35%となっています。
- ・就労日数、時間で多い組み合わせは、勤務形態が「週5日」、「7時間から8時間以下」が最も多く、次いで「週5日」、「8時間超」となっています。

⑦ 余暇活動について

- ・余暇を楽しむときに必要と思うことは、「金銭的な余裕」が約 57%と最も高くなっています。

⑧ 相談・情報について

- ・困りごとや悩みの主な相談先は、「家族・親族」が約 69%と最も高くなっています。なお、相談する人がいないに回答した人が最も高い障がいは、「高次脳機能障がい」であり、約 17%となっています。
- ・福祉に関する情報の入手先は、「インターネット検索」が約 47%と最も高く、前回比較して約 10ポイント高くなっています。
- ・相談先で困っていることは、「どこに問い合わせたらよいかわからない」が約 29%と最も高く、年齢別では、10代、40代、障がい別では視覚障がい、精神障がいで割合が高くなっています。

⑨ 権利擁護について

- ・障がいのある人への配慮がどのくらい進んでいるかについて、「とても進んでいる」と「進んでいる」をあわせた回答比率が高い項目は、「区役所などの官公庁」で約 34%、「進んでいない」と「全く進んでいない」をあわせた回答比率の高い項目は、「お店などの民間施設」で約 31%、「障がいへの理解・心のバリアフリー」で約 28%となっています。
- ・成年後見制度は、『知っている』は約 43%となっています。

⑩ 防災について

- ・災害からあなたや家族の命を守るうえで困ることや不安なことは、「避難場所の設置(トイレなど)や生活環境が不安」が約 53%と最も高く、次いで「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」が約 40%となっています。

⑪ 渋谷区で自分らしく生きるために

- ・渋谷区が実施している施策や取組みで知っているものは、「障がい者福祉のてびき」が約 34%と最も高く、「シブヤフォント」が約 16%、「渋谷区子育てネウボラ」が約 15%となっています。
- ・渋谷区の施策や取組などで実際に参加、利用、活用しているものは、「障がい者福祉のてびき」が最も高く約17%となっています。
- ・渋谷区で実施している施策の評価として、評価するの回答割合が高い項目は、「障がい者福祉のてびき」が約 29%、次いで「障がい福祉推進計画」が約 18%であり、評価しないの回答割合が最も高いのは「障がい者福祉のてびき」が約3%となっています。
- ・渋谷区で障がいのある人が自分らしく生きるために必要なことは、「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」が約38%となっています。

(2)障がい児調査の概要

① 回答者・本人の属性等

- ・本アンケートの回答者は、「母親」が約 71%、「父親」が約 26%となっています。
- ・年齢は、「4～6歳」が約 39%と最も高くなっています。
- ・お子さんの障がい種別は、「発達障がい」が 53.6%が最も高く、発達障がいの種類は「自閉スペクトラム症」が約 42%と最も高く、次いで「注意欠如・多動症(ADHD)」が約 27%となっています。

② 医療との関わり

- ・健康や医療で困っていることは、「通院することが大変」が約 37%と最も高く、次いで「症状が改善しない・悪化が心配」が約 23%となっています。
- ・医療処置や医療的ケアは、「受けている」が約 19%となっています。医療処理や医療的ケアの内容は、「在宅酸素療法」、「胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養」が各々約 17%となっています。
- ・医療処置や医療的ケアの担い手は、「家族」が約 55%、「医師」が約 31%となっています。

③ 住まいと暮らしについて

- ・住まいは、「自分または家族の持ち家」が約6割と最も高く、次いで「民間または公共の賃貸住宅」が約4割でとなっています。
- ・一緒にお住まいの方は、「母親」が約 93%、「父親」が約 90%となっています。
- ・本人以外に支援が必要な同居家族は、「乳幼児がいる」が約 18%となっています。

④ 家族の仕事について

- ・本人あるいは家族が現在仕事をしているかは、「(就労を)している」が約 96%となっています。
- ・仕事と療育の両立に関する悩みとしては、「仕事と療育の両立が難しい」「仕事を継続できるか不安」との意見が多くありました。
- ・また、仕事とお子さまの療育の両立のため、あるといいと感じているサービスは、「保育園と療育の送迎。」との意見が多くありました。

⑤ 保育・介助体制について

- ・自宅で保育・介助を主に担当しているのは、「母親」が約 86%、「父親」が約8%となっています。
- ・保育・介助を代わってくれる人は、「父親」が約 70%、次いで「祖父母」が約 26%で、「代わってくれる人はいない(サービスを利用する)」は約7%となっています。

⑥ サービスの利用について

- ・サービスの利用については、利用経験のあるサービスでは「児童発達支援」、これから利用したいサービスは「移動支援・通学支援・同行援護・行動援護」、支給決定が出ているが、利用に至っていないサービスは、「ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ」が最も高い比率となっています。
- ・支給決定は出ているが、利用に至っていないサービスのうち、事業所が見つからなかったサービスは、「移動支援・通学支援・同行援護・行動援護」(4人)、事業所に断られたサービスは「日中一時支援」が2人で最も多い人数となっています。
- ・子どもを育てながら生活する上で困っていることは、「放課後等デイサービスの施設、サービスが不足している。」などの意見が多くあげられています。

⑦ 療育や教育について

- ・日中の過ごす場所、通っているところは、「障害児通所支援施設」が約 51%と最も高くなっています。
- ・療育・保育で困っていることは、「療育・保育に関する情報が少ない」が約 55%と最も高くなっています。
- ・学校に関して困っていることは、「進路の選択に悩んでいる」が約 22%と最も高く、次いで「本人にあう学校の選択肢が少ない」が約 18%となっています。
- ・療育支援の取り組みへの参加状況と今後の参加希望について、「参加している・したことがある」の比率が最も高いのは「ペアレント・メンター」で約 21%となっています。
- ・「参加してみたい」の比率が最も高いのは、「ペアレント・トレーニング」で約 55%となっています。
- ・「参加したくない」の比率が最も高いのは、「ペアレント・プログラム」で約 20%となっています。

⑧ 相談・情報について

- ・本人についての悩みや不安は、「成長や発達のこと」が約 76%と最も高く、次いで「学校・教育のこと」が約 61%、「将来の生活のこと」が約 60%となっています。
- ・現在の主な相談先は、「家族・親族」が約 63%と最も高く、次いで「利用している福祉サービス事業所」が約 39%となっています。
- ・福祉に関する情報の入手先は、「インターネット検索」が約 63%と最も高く、次いで「利用している福祉サービス事業所」が約 33%となっています。前回調査と比較して「インターネット検索」が約 11 ポイント高くなっています。
- ・相談先について困っていることは、「必要な情報を選ぶのが困難」が約 36%と最も高く、次いで「どこに問い合わせたらよいかわからない」が約 29%となっています。

⑨ 権利擁護について

- ・障がいのある人への配慮がどのくらい進んでいるかについて、「とても進んでいる」と「進んでいる」をあわせた回答比率が高い項目は、「区役所などの官公庁」で約 39%、「進んでいない」と「全く進んでいない」をあわせた回答比率の高い項目は、「お店などの民間施設」で約 31%、「障がいへの理解・心のバリアフリー」で約 20%となっています。
- ・対応がよくない場所、配慮は、「障がい者に対する理解不足、教育が行き届いていない。」「教師や相談員の障がい者への理解不足。」が多くなっています。

⑩ 防災について

- ・災害からお子さまや家族の命を守るうえで困ることや不安なことは、「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」、「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が約 39%となっています。

⑪ 渋谷区で自分らしく生きるために

- ・渋谷区が実施している施策や取り組みで知っているものは、「渋谷区子育てネウボラ」が約 75%となっています。
- ・渋谷区で障がいのある人が自分らしく生きるために必要なことは、「自分の適性を生かして働ける「多様な職場」づくり」が約 48%と最も高く、次いで「障がいのある人の日中活動を豊かにする「通所施設」の充実」が約 41%となっています。

(3)事業者調査の概要

① 事業者の概況

- ・回答した事業所が提供しているサービスは、「居宅介護」が約 23%、次いで「就労継続支援 B 型」、「計画相談支援」が約 19%となっています。
- ・回答した事業所の経営母体は、「株式会社」が約 37%と最も高く、次いで「NPO 法人」が約 27%となっています。

② 利用者の概要

- ・利用者の主な障がい種別は、「知的障がい」が約 68%、次いで「精神障がい」が約 53%、「身体障がい」が約 50%となっています。
- ・回答した事業所の利用者の主な年齢層は、「40歳～49歳」が約 23%、次いで「50歳～59歳」が約 19%となっています。
- ・回答した事業所の利用者数は、「50人以上」が約 26%となっています。

③ 新規利用への対応

- ・新規のサービス提供依頼者数が増えている事業があるかは、「ある」が約 60%に対し、「ない」が約 39%となっています。
- ・「ある」サービスの具体的な内容は、「就労継続支援B型」が約 19%と最も高く、次いで「計画相談支援」、「放課後等デイサービス」が約 11%となっています。
- ・サービス提供依頼者の増加に対応できているかは、「対応できている」が約 30%に対し、「対応できていない(断っている)ことが時々ある」が約 65%、「対応がまったくできない状況にある」が約 5%となっています。
- ・事業所サービス別でみると、「対応がまったくできない状況にある」への回答があるサービスは、短期入所、生活介護、施設入所支援、児童発達支援、放課後等デイサービスとなっています。
- ・対応できていない理由は、「職員の数が足りない」、「施設の受け入れ能力を超えている」が約 54%となっており、前回調査と比較して、「職員の数が足りない」が約 13 ポイント高くなっています。
- ・新規のサービス提供依頼者数が減っている事業があるかは、「ある」が約 23%に対し、「ない」が約 76%となっています。具体的に減っているサービスは、「重度訪問介護」、「就労継続支援B型」が約 21%となっています。

④ 不足しているサービス

- ・不足していると思うサービスは、「移動支援事業」が約 37%、次いで「居宅介護」、「共同生活援助(グループホーム)」が約 34%となっています。

⑤ 職員数について

- ・雇用している従業員数について、正規職員は、「5～10人」が約 32%、非正規職員は、「5～10人」が約 29%と最も高くなっています。
- ・業務量に対する職員数については、「正規職員がやや不足している」が約 40%と最も高くなっています。
- ・不足している人材は、「相談支援専門員」「常勤職員」となっています。

⑥ 採用に関する取組について

- ・採用に関する取組みの実施について、「採用に関する取組みを実施し採用できた」が約 47%となっています。
- ・過去1年の募集方法は、「民間の有料職業紹介」が約 63%、次いで「ハローワーク」が約 54%となっています。
- ・人材募集で実施した取組みは、「柔軟な働き方に向けた制度の整備」が約 44%となっています。また、採用に関する取組みを実施する上での課題は、「採用にかかる費用がない」が約 50%と最も高くなっています。

⑦ 人材育成・定着について

- ・人材育成と定着について、「個別面談の実施」が約 71%と最も高くなっています。
- ・人材を育成・定着する上での課題については「給与水準を上げる必要がある」「育成にかかる時間をとれない。育成システムがない」などの意見がありました。

⑧ 新規参入・撤退したい事業

- ・区内で新規参入したい事業は、「ある」が約 8%に対し、「ない」が約 89%となっています。
- ・区内で撤退したい事業は、「ある」が約 7%に対し、「ない」が約 92%となっています。

⑨ 事業運営の課題

- ・事業の運営における課題は、「職員の確保」が約 60%、次いで「職員の資質向上・人材育成」が約 39%となっています。

⑩ 区の施策について

- ・評価する施策は、「ちょこっとステイ(緊急一時なかよし)」が約 68%、評価しない施策は「地域生活支援拠点等の面的整備」が約 11%となっています。

⑪ 渋谷区で自分らしく生きるために

- ・進める必要がある施策について、「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」が約 55%、次いで「自宅での生活を支える「在宅サービス」の充実」が約 47%となっています。

(4)事業所従業員調査の概要

① 回答者の属性

- ・本調査に回答した人の年齢は、「40代」が約 32%、次いで「30代」が約 27%となっています。
- ・本調査に回答した人の性別は、「女性」が約 58%、次いで「男性」が約 38%などとなっています。

② 住まいについて

- ・本調査に回答した人の住所は、「東京23区内」が約 59%、次いで「都外」が約 18%などとなっています。
- ・本調査に回答した人の通勤時間は、「30分以上1時間未満」が約 45%、次いで「1時間以上1時間30分未満」が約 28%となっています。

③ 仕事内容について

- ・本調査に回答した人の従事している障がい福祉サービスは、「就労継続支援B型」が約 29%、次いで「生活介護」が約 16%となっています。
- ・本調査に回答した人の職種は、「生活支援員」が約 18%、次いで「相談支援専門員」、「管理者」が約 12%となっています。

④ 利用者について

- ・利用者の主な障がい種別について、「知的障がい」が約 38%、次いで「精神障がい」が 36%となっています。
- ・利用者の年齢層について、「成人(18歳～60歳)」が約 76%、次いで「未就学児」が約 12%となっています。
- ・本調査に回答した人の保有している資格について、「介護福祉士」が約 28%、次いで「社会福祉士」が約 22%となっています。

⑤ 現在の事業者を選んだ理由

- ・本調査に回答した人が現在の事業所を選んだ理由は、「事業内容に興味をひかれた」が約 38%、次いで「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」が約 34%となっています。
- ・本調査に回答した人が障がい福祉に関心をもったきっかけについて、「家族や友人・知人に障がい当事者がいた」が約 24%、次いで「学校や地域で障がい当事者との関わりがあった」が約 22%となっています。

⑥ 仕事のやりがい

- ・本調査に回答した人のやりがいについて、「ある」が約 49%、次いで「大いにある」が約 42%となっています。
- ・やりがいのある理由は、「子どもの成長を見届けられる。障がい児支援ができる。」、やりがいのない理由は「業務に追われている感覚で充実感や達成感はなかなか感じづらいため。」などとなっています。

⑦ 仕事を続ける上での不安要素

- ・本調査に回答した人が仕事を続けるにあたっての不安要素は、「賃金が低い、見合わない」が約 42%、次いで「業務量が多い」が約 36%となっています。
- ・具体的な不安内容は、「賃金が低い。給与が見合わないと感じる。」などの意見がありました。

⑧ 他事業所とのネットワークについて

- ・本調査に回答した人の他の事業所との交流・ネットワークについて、「他のサービス種別の事業所とも交流がある」が約 43%、次いで「同じサービス種別の事業所とは交流がある」が約 36%、となっています。
- ・交流のきっかけは、「連絡会」などの回答がありました。

⑨ 今後の就労意向

- ・本調査に回答した人が現在の事業所で働き続けたいかについて、「働ける限り続けたい」が約 59%、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が約 21%となっています。
- ・働き続けたい理由としては、「やりがいがあるから」、離職を考えている理由としては、「給与の手取りが低いため。」などとなっています。
- ・本調査に回答した人が障がい者福祉の仕事で働き続けたいかについて、「働ける限り続けたい」が約 66%と最も高く、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が約 18%となっています。

⑩ 現在の勤務条件等について

- ・本調査に回答した人の雇用形態について、「正規」が約 79%、「非正規」が約 21%などとなっています。
- ・本調査に回答した人の一ヶ月の日数、時間との関係を見ると、20 日で、7時間超～8時間以下が最も高く、次いで 20 日で8時間超の順となっています。この2つにあてはまる人は全体の約 73%となっています。
- ・本調査に回答した人のひと月の超過勤務(残業)時間について、「1 時間以上 10 時間未満」が約 40%となっています。
- ・本調査に回答した人の年次有給休暇の取得状況について、「年に6～10日」が約 32%、「年に4～5日」が約 28%となっています。

⑪ 勤続年数・経験年数について

- ・本調査に回答した人の現在の事業所での勤続年数について、「1年以上3年未満」が約 22%、「10年以上20年未満」が約 20%となっています。
- ・本調査に回答した人の障がい福祉サービスに従事している経験年数について、「15年以上25年未満」が約 26%、「5年以上10年未満」が約 17%となっています。

⑫ 待遇について

- ・本調査に回答した人の役職について、「一般職員」が約 57%、「施設長・事務長等」が約 20%、となっています。
- ・本調査に回答した人の現在の収入について、「400万円以上500万円未満」が約 29%、「300万円以上400万円未満」が約 26%となっています。
- ・本調査に回答した人の希望の収入について、「400万円以上500万円未満」が約 24%、「500万円以上600万円未満」が約 23%となっています。

⑬ 人材育成・確保について

- ・障がい福祉分野の仕事に興味を持ってもらう・働いてもらうためのアイデアは、「給料アップ」などの意見がありました。
- ・本調査に回答した人が障がい福祉分野の仕事の続けていくうえで、必要と感じるものについて、「家賃補助等の住まいに関するサポート」が約 32%、「休暇取得の推進」が約 30%となっています。

⑭ 渋谷区で自分らしく生きるために

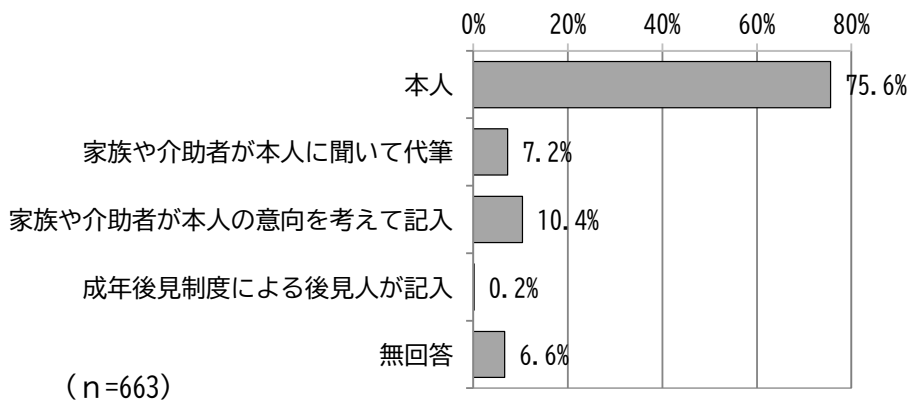
- ・本調査に回答した人が渋谷区が実施している施策や取組みで知っているものについて、「シブヤフォント」が約 69%、「はあとぴあ原宿、リばあさいど原宿における緊急時の障がい者(児)一時保護事業(24 時間 365 日対応)」が約 66%、「障がい福祉推進計画」が約 65%などとなっています。

3 障がい者調査の結果

(1)回答者・本人の属性等

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(1つに○)

- ・アンケートの回答者は、「本人」が75.6%、次いで「家族や介助者が本人の意向を考えて記入」が10.4%、「家族や介助者が本人に聞いて代筆」が7.2%などとなっています。
- ・障がい種別では、知的障がいでは「家族や介助者が本人の意向を考えて記入」の比率が高くなっています。

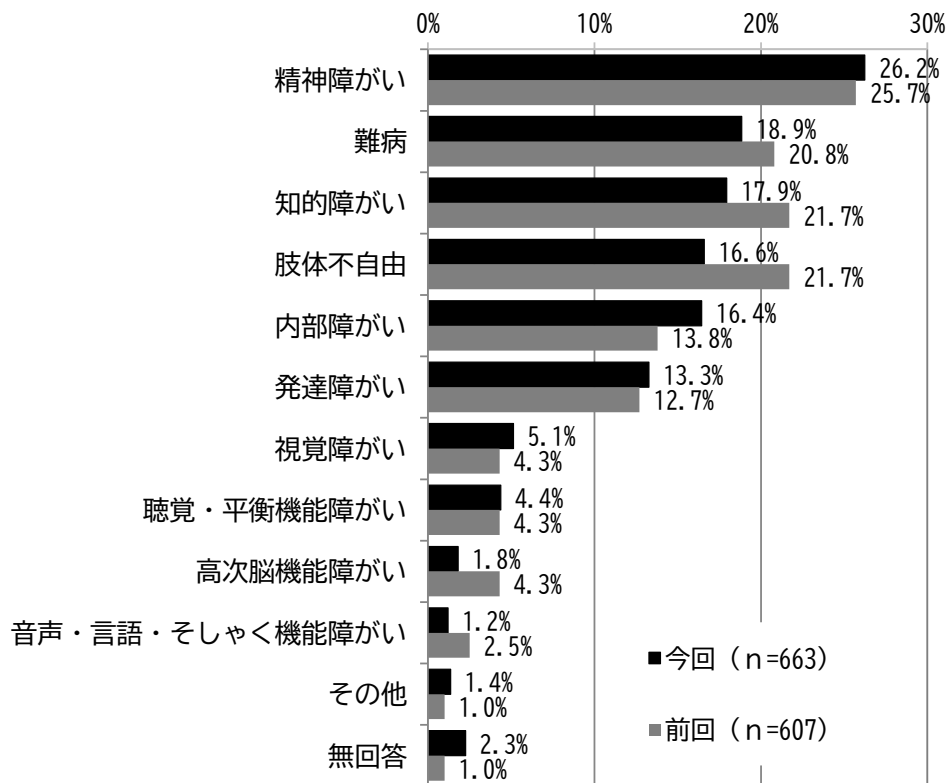


区分	回答数 (人)	本人	家族や介助者が本人に聞いて代筆	家族や介助者が本人の意向を考えて記入	成年後見制度による後見人が記入	無回答	
全体	663	75.6%	7.2%	10.4%	0.2%	6.6%	
障がい種別	視覚障がい	34	67.6%	23.5%	5.9%	0.0%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	81.8%	4.5%	6.4%	0.0%	7.3%
	内部障がい	109	88.1%	4.6%	3.7%	0.0%	3.7%
	知的障がい	119	28.6%	21.0%	44.5%	0.8%	5.0%
	発達障がい	88	54.5%	13.6%	22.7%	1.1%	8.0%
	精神障がい	174	83.3%	4.0%	5.7%	0.6%	6.3%
	高次脳機能障がい	12	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	難病	125	95.2%	2.4%	0.8%	0.0%	1.6%
	その他	9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	15	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	93.3%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問2 あなたのことについておたずねします。
あなたの障がいや病気は次のどれですか。(あてはまるすべてに○)

- ・障がいや病気は、「精神障がい」が26.2%、次いで「難病」が18.9%、「知的障がい」も17.9%などとなっています。
- ・重複障がいの状況は、「音声・言語・そしゃく機能障がい」「高次脳機能障がい」で肢体不自由との重複障がいの比率が高くなっています。



◆重複障がいの状況

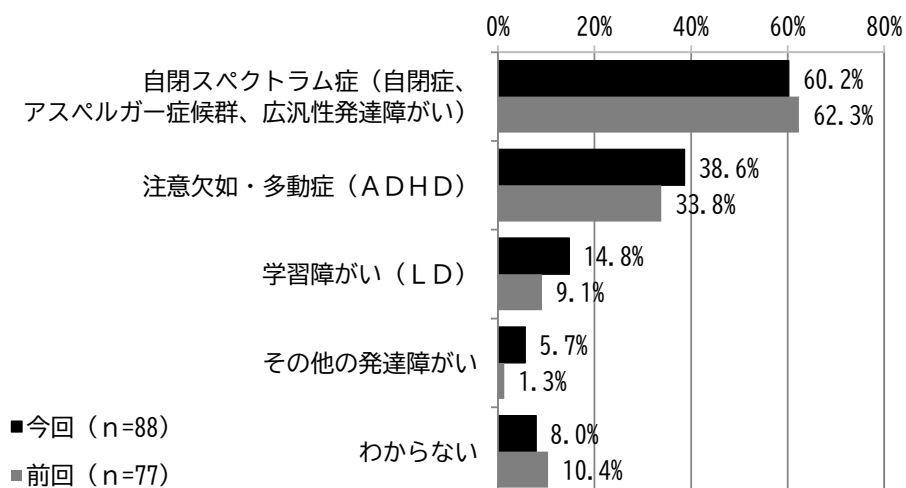
区分	回答数(人)	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由	内部障がい	知的障がい	発達障がい	精神障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	無回答
全体	663	5.1%	4.4%	1.2%	16.6%	16.4%	17.9%	13.3%	26.2%	1.8%	18.9%	1.4%	2.3%
障がい種別	視覚障がい	34	2.9%	0.0%	2.9%	8.8%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	29	3.4%	0.0%	6.9%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	0.0%	87.5%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	0.9%	1.8%	6.4%	8.2%	2.7%	3.6%	7.3%	6.4%	16.4%	0.9%	0.0%
	内部障がい	109	2.8%	0.9%	1.8%	8.3%	0.0%	0.0%	4.6%	0.9%	15.6%	0.0%	0.0%
	知的障がい	119	0.0%	0.0%	0.8%	2.5%	0.0%	26.1%	12.6%	1.7%	1.7%	0.8%	0.0%
	発達障がい	88	1.1%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	35.2%	30.7%	0.0%	1.1%	3.4%	0.0%
	精神障がい	174	1.1%	0.6%	0.6%	4.6%	2.9%	8.6%	15.5%	0.6%	5.2%	2.3%	0.0%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	0.0%	25.0%	58.3%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	125	1.6%	1.6%	1.6%	14.4%	13.6%	1.6%	0.8%	7.2%	0.0%	1.6%	0.0%
	その他	9	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	33.3%	44.4%	0.0%	22.2%	0.0%
	無回答	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

【問2で「発達障がい」をお選びの方におたずねします。】

発達障がいの種類は次のどれですか。(あてはまるすべてに○)

- ・「自閉スペクトラム」が60.2%、次いで「注意欠如・多動症」が38.6%、「学習障がい」が14.8%などとなり、発達障がいの重複状況は自閉スペクトラム症の人は、その他の発達障がいとの重複の比率が高くなっています。
- ・前回調査と比較すると、「学習障がい(LD)」が 5.7 ポイント、「注意欠如・多動症(ADHD)」が 4.8 ポイント高くなっています。



◆重複障がいの状況

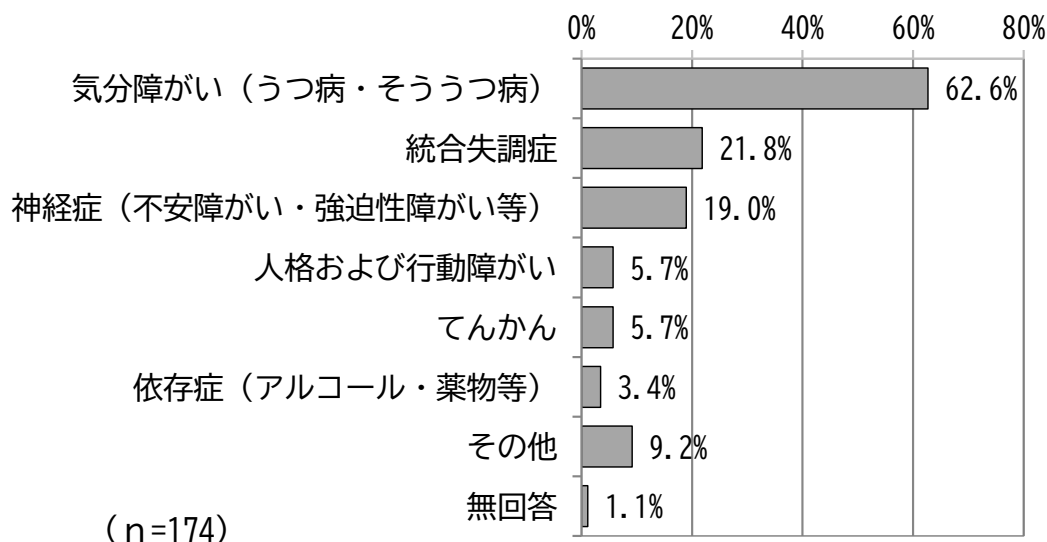
区分		回答数 (人)	自閉スペクトラム症	学習障がい (LD)	注意欠如・多動症 (ADHD)	その他の発達障がい	わからない	無回答
全体		88	60.2%	14.8%	38.6%	5.7%	8.0%	2.3%
発達障がい別	自閉スペクトラム症	53		53.8%	38.2%	60.0%	14.3%	0.0%
	学習障がい (LD)	13	13.2%		17.6%	20.0%	0.0%	0.0%
	注意欠如・多動症 (ADHD)	34	24.5%	46.2%		40.0%	14.3%	0.0%
	その他の発達障がい	5	5.7%	7.7%	5.9%		14.3%	0.0%
	わからない	7	1.9%	0.0%	2.9%	20.0%		0.0%
無回答		2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

【問2で「精神障がい」をお選びの方におたずねします。】

精神障がいの種類は次のどれですか。(あてはまるすべてに○)

- ・「気分障がい」が62.6%、次いで「統合失調症」が21.8%、「神経症」が19.0%などとなっており、精神障がいの重複状況は気分障がいの人は依存症と、神経症の人は人格および行動障がいとの重複の比率が高くなっています。



◆重複障がいの状況

区分	回答数 (人)	統合失調症	気分障がい	依存症	神経症	人格および行動障がい	てんかん	その他	無回答
全体	174	21.8%	62.6%	3.4%	19.0%	5.7%	5.7%	9.2%	1.1%
精神障がい別	統合失調症	38	5.5%	16.7%	15.2%	20.0%	30.0%	6.3%	0.0%
	気分障がい	109	15.8%	83.3%	42.4%	60.0%	0.0%	43.8%	0.0%
	依存症	6	2.6%	4.6%	3.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	神経症	33	13.2%	12.8%	16.7%	70.0%	10.0%	18.8%	0.0%
	人格および行動障がい	10	5.3%	5.5%	16.7%	21.2%	10.0%	0.0%	0.0%
	てんかん	10	7.9%	0.0%	0.0%	3.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	その他	16	2.6%	6.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

【問2で「難病(特定疾病)」をお選びの方におたずねします。】

あなたの難病(特定疾病)について疾病名をご記入ください。

・難病の疾病名は128件記入があり、「クローン病」が16件と最も多く、次いで「全身性エリテマトーデス(SLE)」、「潰瘍性大腸炎」が14件、「好酸球性副鼻腔炎」が9件となっています。

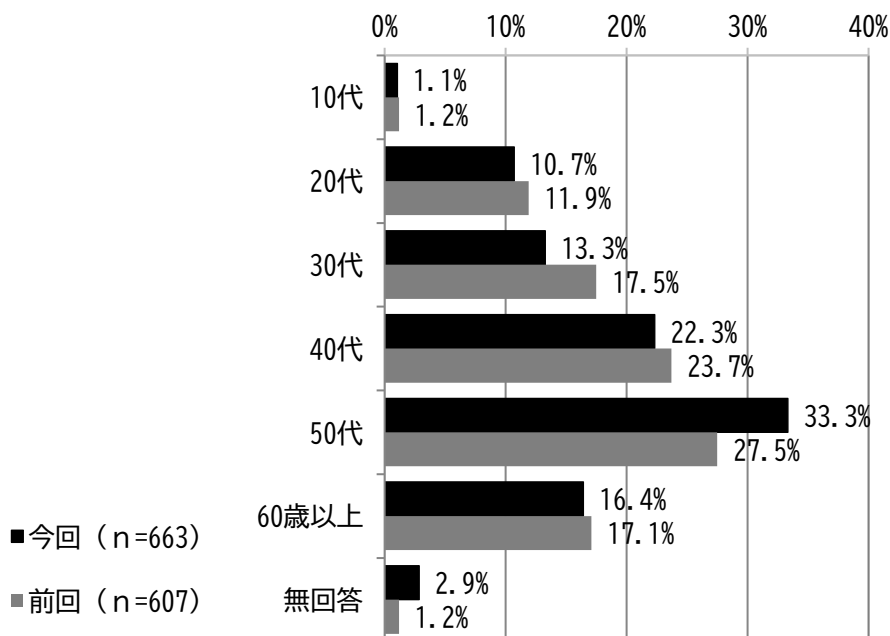
●難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病一覧(厚労省)への該当状況(1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から、331は平成30年4月から、332～333は令和元年7月から、288、334～338は令和3年11月から、339～341は令和6年4月から、342～348は令和7年4月から医療費助成を開始)

番号	病名	件
96	クローン病	16
49	全身性エリテマトーデス(SLE)	14
97	潰瘍性大腸炎	14
306	好酸球性副鼻腔炎	9
6	パーキンソン病	5
66	IgA 腎症	3
222	一次性ネフローゼ症候群	3
95	自己免疫性肝炎	3
11	重症筋無力症	3
71	特発性大腿骨頭壊死症	3
22	もやもや病	2
18	脊髄小脳変性症	2
69	後縦靭帯骨化症	2
93	原発性胆汁性胆管炎	2
13	多発性硬化症	2
90	網膜色素変性症	2
2	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	1
67	多発性嚢胞腎	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)	1
93	原発性胆汁性胆管炎(PBC)	1
217	エプスタイン奇形	1
14	ギランバレー・CIDP	1
10	シャルコー・マリー・トゥース	1
84	サルコイドーシス	1
53	シエーグレイン症候群	1
74	プロラクチノーマ	1
68	黄色靭帯骨化症	1
74	下垂体性PRL分泌亢進症	1
78	下垂体前葉機能低下症	1
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1

番号	病名	件
120	遺伝性ジストニア	1
57	拡張型心筋症	1
271	強直性脊椎炎	1
65	原発性免疫不全症候群	1
42	結節性多発動脈炎(血管炎)	1
60	再生不良性貧血	1
52	混合性結合組織病	1
62	発作性夜間血色素尿症	1
78	先天性下垂体前葉機能低下症	1
3	脊髄性筋萎縮症	1
9	神経有棘赤血球症	1
34	神経線維腫症 I 型	1
50	多発性筋炎	1
17	多系統萎縮症	1
51	全身性強皮症	1
67	多発性嚢胞肝腎	1
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症(第10因子欠乏症)	1
57	特発性拡張型心筋症	1
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1
228	閉塞性細気管支炎	1
118	脊髄髄膜腫瘍	1
その他	膠原病	1
	薬物性パーキンソン症候群	1
	骨巨細胞腫	1
	悪性肺腫瘍	1
	繊維筋痛病	1
	とくはつせいのほうじん	1
	過敏性腸症候群	1
血友病	1	

問3 あなたは何歳ですか。(2025年10月1日現在)

- ・年齢は、「50代」が33.3%と最も高く、次いで「40代」が22.3%となっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、内部障がいでは「60歳以上」、知的障がい、発達障がいでは「20代」が最も高くなっています。
- ・前回調査と比較すると、「50代」が5.8ポイント高くなっています。



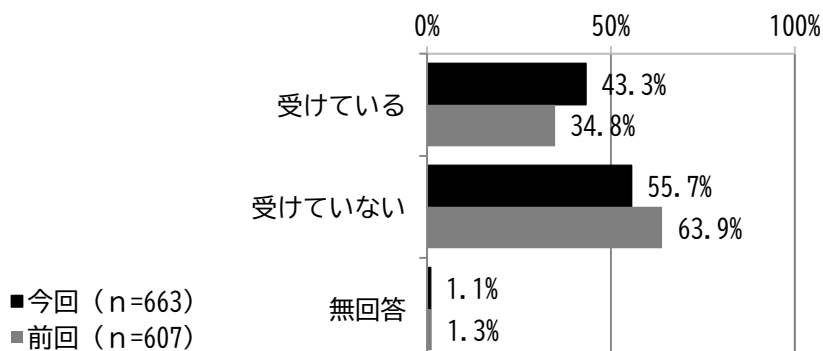
区分		回答数 (人)	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
全体		663	1.1%	10.7%	13.3%	22.3%	33.3%	16.4%	2.9%
障がい種別	視覚障がい	34	0.0%	0.0%	17.6%	11.8%	29.4%	38.2%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	0.0%	6.9%	6.9%	24.1%	31.0%	24.1%	6.9%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
	肢体不自由	110	0.0%	4.5%	5.5%	12.7%	46.4%	22.7%	8.2%
	内部障がい	109	0.0%	3.7%	4.6%	18.3%	34.9%	35.8%	2.8%
	知的障がい	119	3.4%	36.1%	18.5%	22.7%	16.0%	2.5%	0.8%
	発達障がい	88	2.3%	33.0%	18.2%	21.6%	21.6%	1.1%	2.3%
	精神障がい	174	0.0%	5.2%	21.3%	24.7%	35.1%	12.6%	1.1%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	66.7%	25.0%	0.0%
	難病	125	0.8%	4.8%	5.6%	28.0%	43.2%	16.0%	1.6%
	その他	9	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%
	無回答	15	6.7%	13.3%	6.7%	33.3%	20.0%	13.3%	6.7%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問4 医療との関わりについておたずねします。

(1)障がいの治療や療養のために医療処置や医療的ケアを受けていますか。(1つに○)

- ・医療処置や医療的ケアは、「受けている」が43.3%に対し、「受けていない」が55.7%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「受けている」への回答が8.5ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、10代、20代で「受けていない」、60代で「受けている」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がい、内部障がいで「受けている」の比率が高くなっています。



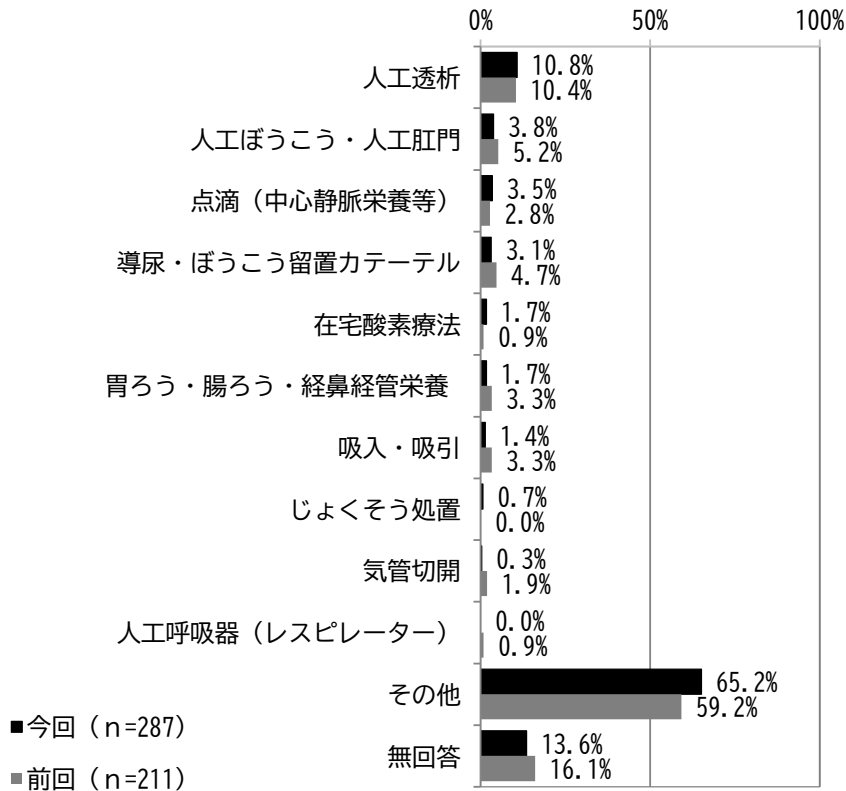
区分		回答数 (人)	受けている	受けていない	無回答
全体		663	43.3%	55.7%	1.1%
年齢別	10代 (18・19歳)	7	0.0%	100.0%	0.0%
	20代	71	21.1%	77.5%	1.4%
	30代	88	39.8%	59.1%	1.1%
	40代	148	39.9%	58.1%	2.0%
	50代	221	46.6%	52.9%	0.5%
	60代 (60～64歳)	109	58.7%	41.3%	0.0%
	無回答	19	57.9%	36.8%	5.3%
障がい種別	視覚障がい	34	44.1%	55.9%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	29	37.9%	62.1%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	75.0%	25.0%	0.0%
	肢体不自由	110	42.7%	57.3%	0.0%
	内部障がい	109	71.6%	28.4%	0.0%
	知的障がい	119	15.1%	84.0%	0.8%
	発達障がい	88	31.8%	65.9%	2.3%
	精神障がい	174	52.9%	45.4%	1.7%
	高次脳機能障がい	12	50.0%	50.0%	0.0%
	難病	125	46.4%	53.6%	0.0%
	その他	9	44.4%	55.6%	0.0%
無回答	15	6.7%	80.0%	13.3%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

【(1)で「受けている」をお選びの方におたずねします。】

問4(2)どのような医療処置や医療的ケアを受けていますか。(あてはまるすべてに○)

- ・受けている医療処置や医療的ケアは、「人工透析」が10.8%、次いで「人工ぼうこう・人工肛門」が3.8%、「点滴(中心静脈栄養等)」が3.5%となっています。
- ・前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。
- ・障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がい「吸入・吸引」の比率が高くなっています。



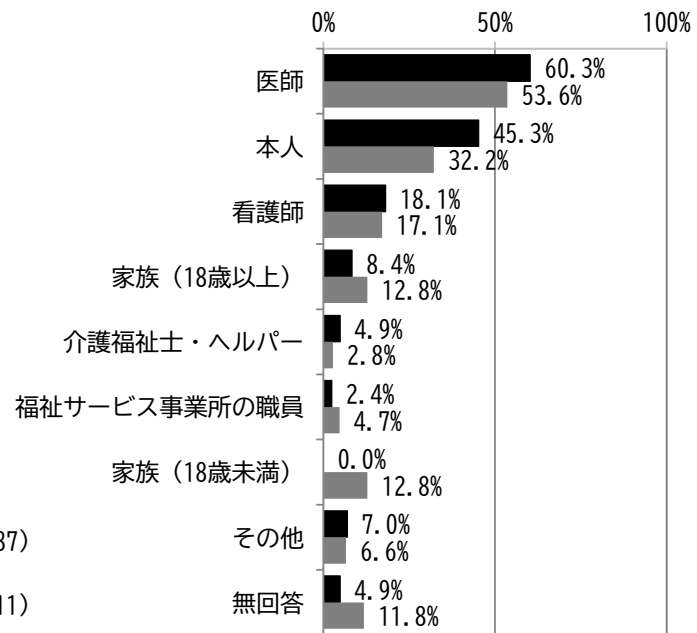
区分	回答数(人)	在宅酸素療法	吸入・吸引	点滴(中心静脈栄養等)	じょくそう処置	人工透析	気管切開	人工呼吸器(レスピレーター)	胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養	人工ぼうこう・人工肛門	導尿・ぼうこう留置カテーテル	その他	無回答	
全体	287	1.7%	1.4%	3.5%	0.7%	10.8%	0.3%	0.0%	1.7%	3.8%	3.1%	65.2%	13.6%	
障がい種別	視覚障がい	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	80.0%	6.7%	
	聴覚・平衡機能障がい	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	81.8%	9.1%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	6	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%
	肢体不自由	47	2.1%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	2.1%	0.0%	6.4%	0.0%	12.8%	53.2%	27.7%
	内部障がい	78	1.3%	1.3%	2.6%	1.3%	37.2%	0.0%	0.0%	2.6%	14.1%	5.1%	41.0%	1.3%
	知的障がい	18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%
	発達障がい	28	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.3%	10.7%
	精神障がい	92	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	78.3%	19.6%
	高次脳機能障がい	6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%
	難病	58	6.9%	3.4%	12.1%	1.7%	6.9%	1.7%	0.0%	3.4%	5.2%	3.4%	60.3%	10.3%
	その他	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色(その他を除く)

【(1)で「受けている」をお選びの方におたずねします。】

問4(3)医療処置や医療的ケアは、誰が行っていますか。(あてはまるすべてに○)

- ・医療処置や医療的ケアの担い手は、「医師」が60.3%、次いで「本人」が45.3%、「看護師」が18.1%となっています。
- ・前回調査との比較では、「本人」が13.1ポイント、「医師」が6.7ポイント高く、「家族(18歳未満)」が12.8ポイント低くなり、ゼロとなっています。
- ・障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「介護福祉士・ヘルパー」、難病で「本人」の比率が高くなっています。
- ・医療処置や医療的ケア別では、在宅酸素療法、胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養、導尿・ぼうこう留置カテーテルでは本人、点滴(中心静脈栄養等)、じょくそう処置、気管切開では看護師の割合が高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・臨床工学技士
- ・作業療法士
- ・理学療法士
- ・カウンセラー

■今回 (n=287)

■前回 (n=211)

区分	回答数(人)	家族(18歳以上)	家族(18歳未満)	医師	看護師	介護福祉士・ヘルパー	福祉サービス事業所の職員	本人	その他	無回答	
全体	287	8.4%	0.0%	60.3%	18.1%	4.9%	2.4%	45.3%	7.0%	4.9%	
障がい種別	視覚障がい	15	13.3%	0.0%	66.7%	13.3%	6.7%	0.0%	40.0%	6.7%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	11	0.0%	0.0%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	9.1%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	6	33.3%	0.0%	66.7%	16.7%	66.7%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
	肢体不自由	47	14.9%	0.0%	51.1%	23.4%	17.0%	4.3%	40.4%	12.8%	6.4%
	内部障がい	78	10.3%	0.0%	71.8%	34.6%	2.6%	1.3%	43.6%	2.6%	1.3%
	知的障がい	18	27.8%	0.0%	55.6%	11.1%	5.6%	5.6%	16.7%	11.1%	11.1%
	発達障がい	28	3.6%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	3.6%	46.4%	17.9%	7.1%
	精神障がい	92	5.4%	0.0%	65.2%	9.8%	1.1%	2.2%	44.6%	7.6%	7.6%
	高次脳機能障がい	6	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%
	難病	58	6.9%	0.0%	44.8%	24.1%	3.4%	1.7%	62.1%	3.4%	1.7%
その他	4	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
医療処置や医療的ケア別	在宅酸素療法	5	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	吸入・吸引	4	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	点滴(中心静脈栄養等)	10	20.0%	0.0%	50.0%	60.0%	10.0%	0.0%	50.0%	10.0%	10.0%
	じょくそう処置	2	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	人工透析	31	9.7%	0.0%	80.6%	61.3%	3.2%	0.0%	22.6%	6.5%	3.2%
	気管切開	1	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	人工呼吸器(レスピレーター)	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養	5	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	人工ぼうこう・人工肛門	11	18.2%	0.0%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%	81.8%	0.0%	0.0%
	導尿・ぼうこう留置カテーテル	9	44.4%	0.0%	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%
その他	187	8.0%	0.0%	64.7%	11.2%	3.7%	2.1%	47.1%	8.6%	2.1%	
無回答	39	5.2%	0.0%	32.8%	6.9%	8.6%	5.2%	24.1%	3.4%	13.8%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

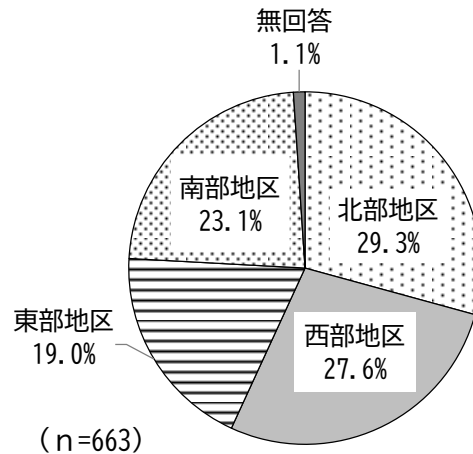
(2)住まいと暮らしについて

問5 住んでいるところについておたずねします。

※病院に入院している方は、入院する前のお住まいについてお答えください。

(1)お住まいの地区はどちらですか。(1つに〇)

・居住地区は、「北部地区」が29.3%、次いで「西部地区」が27.6%、「南部地区」が23.1%、「東部地区」が19.0%となっています。



北部地区:本町、幡ヶ谷 2・3 丁目、笹塚 2・3 丁目

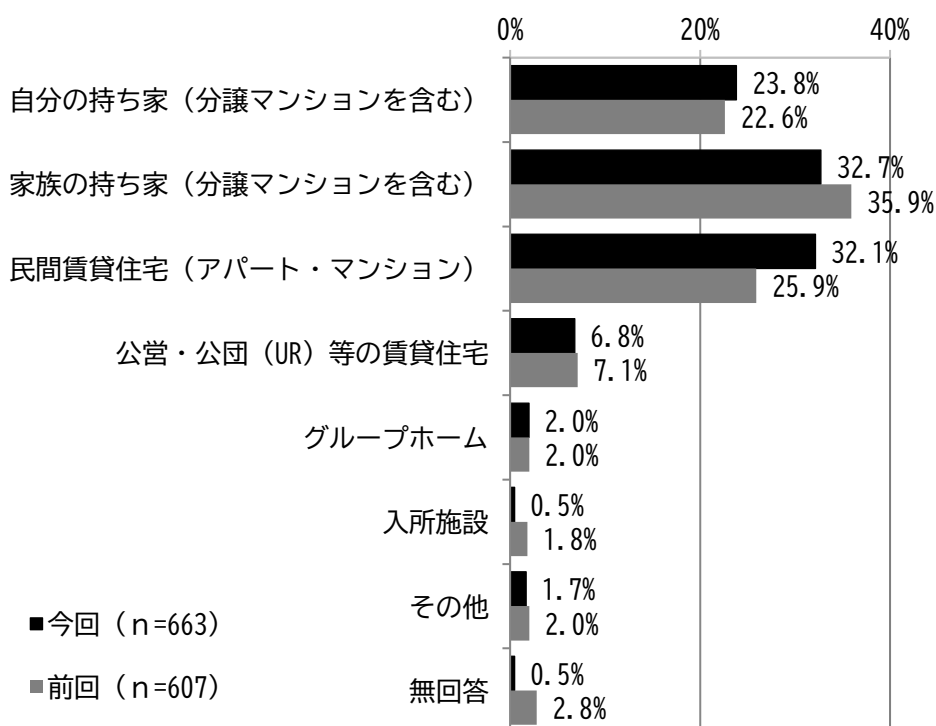
西部地区:富ヶ谷、上原、西原、元代々木町、大山町、代々木 3～5 丁目、初台、幡ヶ谷 1 丁目、笹塚1丁目、代々木神園町

東部地区:渋谷 1・2・4 丁目、道玄坂、円山町、神泉町、宇田川町、神南、神山町、松濤、千駄ヶ谷、代々木 1・2 丁目、神宮前

南部地区:恵比寿、広尾、渋谷 3 丁目、東、猿樂町、鶯谷町、鉢山町、代官山町、恵比寿西、恵比寿南、桜丘町、南平台町

問5(2)お住まいの種類は何ですか。(1つに○)

- ・住まいは、**自分または家族の持ち家が約6割**、民間または公共の賃貸住宅が約4割で、グループホームは2.0%、入所施設は0.5%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「民間賃貸住宅(アパート・マンション)」が6.2ポイント高くなり、「家族の持ち家(分譲マンションを含む)」が3.2ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、10代、20代、30代で「家族の持ち家」、60代で「自分の持ち家」の比率が高くなっています。
- ・地区別では、北部地区で「民間賃貸住宅」、西部地区、東部地区、南部地区で「家族の持ち家」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、内部障がい、「自分の持ち家」、視覚障がい、聴覚・平衡機能障がい、肢体不自由、精神障がい、難病で「民間賃貸住宅」の比率が高くなっています。



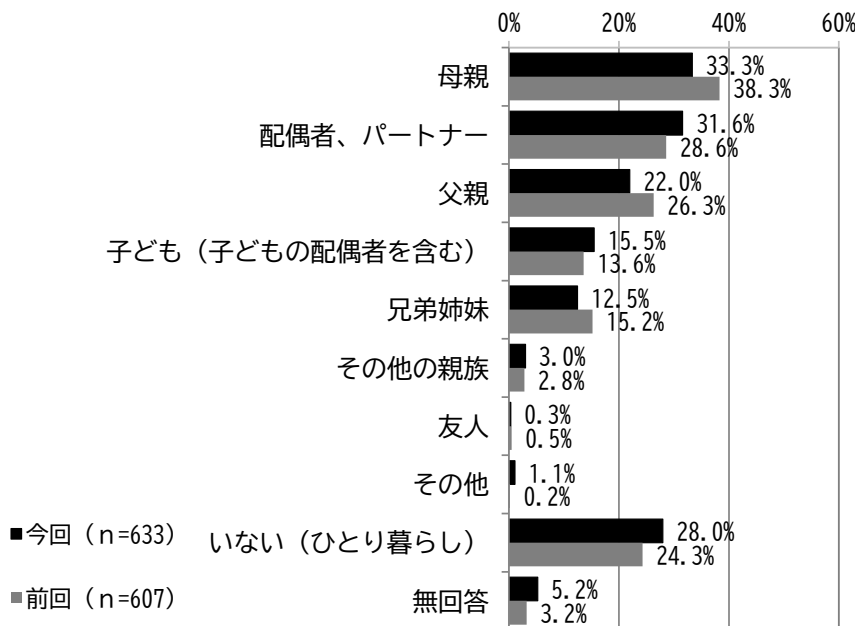
区分		回答数(人)	自分の持ち家(分譲マンションを含む)	家族の持ち家(分譲マンションを含む)	民間賃貸住宅(アパート・マンション)	公営・公団(U R)等の賃貸住宅	グループホーム	入所施設	その他	無回答
全体		663	23.8%	32.7%	32.1%	6.8%	2.0%	0.5%	1.7%	0.5%
年齢別	10代(18・19歳)	7	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
	20代	71	9.9%	60.6%	16.9%	8.5%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%
	30代	88	2.3%	44.3%	42.0%	5.7%	3.4%	0.0%	1.1%	1.1%
	40代	148	19.6%	27.0%	43.2%	6.1%	2.0%	0.7%	0.7%	0.7%
	50代	221	28.1%	29.0%	33.0%	5.9%	1.8%	0.5%	1.8%	0.0%
	60代(60~64歳)	109	45.0%	22.0%	21.1%	8.3%	0.0%	0.0%	2.8%	0.9%
	無回答	19	42.1%	21.1%	15.8%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
地区別	北部地区	194	18.0%	28.4%	38.1%	9.8%	3.6%	0.0%	2.1%	0.0%
	西部地区	183	29.0%	34.4%	32.2%	2.2%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%
	東部地区	126	22.2%	38.9%	32.5%	1.6%	0.8%	2.4%	1.6%	0.0%
	南部地区	153	26.8%	32.7%	24.2%	12.4%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%
	無回答	7	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
障がい種別	視覚障がい	34	35.3%	17.6%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	27.6%	31.0%	31.0%	6.9%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	24.5%	30.9%	35.5%	6.4%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%
	内部障がい	109	37.6%	28.4%	31.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	119	15.1%	57.1%	11.8%	8.4%	5.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	発達障がい	88	8.0%	47.7%	26.1%	9.1%	4.5%	1.1%	2.3%	1.1%
	精神障がい	174	15.5%	27.6%	40.8%	11.5%	2.9%	0.0%	1.7%	0.0%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	125	32.0%	29.6%	33.6%	3.2%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%
	その他	9	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
	無回答	15	26.7%	26.7%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

【(2)で「自分の持ち家、家族の持ち家、民間賃貸住宅、公営・公団(UR)等の賃貸住宅」をお選びの方におたずねします。】

問5(3)「(2)」のお住まいと一緒に住んでいる方はどなたですか。(あてはまるすべてに○)

- ・一緒に住んでいる方は、「**母親**」が**33.3%**、次いで「配偶者、パートナー」が31.6%、「父親」が22.0%などとなっています。一方、「いない(ひとり暮らし)」は28.0%です。
- ・前回調査と比較すると、「配偶者・パートナー」、「子ども」、「いない(ひとり暮らし)」の比率がやや高くなっています。
- ・年齢別では、10代、20代、30代で「母親」、40代、50代、60代で「配偶者・パートナー」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、知的障がい、発達障がい、「母親」、精神障がい「いない(ひとり暮らし)」の比率が高くなっています。

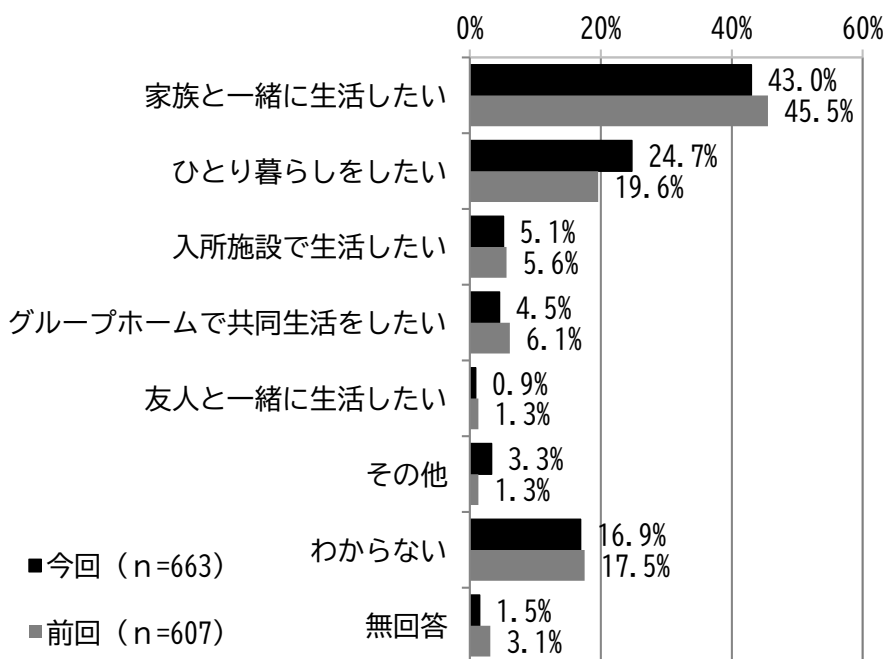


区分	回答数 (人)	父親	母親	兄弟姉妹	配偶者、パートナー	子ども (子どもの配偶者を含む)	その他の親族	友人	その他	いない (ひとり暮らし)	無回答
全体	633	22.0%	33.3%	12.5%	31.6%	15.5%	3.0%	0.3%	1.1%	28.0%	5.2%
年齢別	10代 (18・19歳)	5	80.0%	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%
	20代	68	67.6%	85.3%	42.6%	4.4%	1.5%	14.7%	0.0%	0.0%	2.9%
	30代	83	34.9%	49.4%	22.9%	21.7%	6.0%	1.2%	0.0%	0.0%	7.2%
	40代	142	21.1%	28.9%	7.0%	32.4%	23.2%	0.7%	0.7%	2.1%	4.9%
	50代	212	13.2%	25.5%	5.7%	34.4%	16.5%	1.9%	0.5%	1.9%	4.7%
	60代 (60~64歳)	105	1.9%	10.5%	4.8%	49.5%	20.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.8%
	無回答	18	0.0%	5.6%	5.6%	44.4%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
障がい種別	視覚障がい	32	6.3%	12.5%	6.3%	43.8%	15.6%	3.1%	3.1%	0.0%	9.4%
	聴覚・平衡機能障がい	28	3.6%	14.3%	7.1%	42.9%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	25.0%	0.0%	87.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	107	15.0%	23.4%	5.6%	35.5%	18.7%	0.9%	0.0%	0.0%	2.8%
	内部障がい	109	14.7%	22.0%	8.3%	47.7%	13.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	110	62.7%	81.8%	39.1%	1.8%	0.9%	9.1%	0.0%	0.9%	8.2%
	発達障がい	80	48.8%	66.3%	21.3%	15.0%	6.3%	7.5%	0.0%	2.5%	7.5%
	精神障がい	166	14.5%	28.9%	10.8%	22.3%	10.2%	0.0%	0.0%	3.0%	7.8%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	33.3%	0.0%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	難病	123	13.0%	17.9%	6.5%	49.6%	29.3%	2.4%	0.8%	0.8%	0.8%
	その他	7	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
無回答	14	14.3%	28.6%	21.4%	7.1%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問6 あなたは将来、どのように暮らしたいですか。(1つに○)

- ・将来の暮らしは、「家族と一緒に生活したい」が43.0%、次いで「ひとり暮らしをしたい」が24.7%、「入所施設で生活したい」が5.1%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「ひとり暮らしをしたい」が5.1ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「家族と一緒に生活したい」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、知的障がいでは「グループホームで共同生活をしたい」、精神障がいでは「ひとり暮らしをしたい」の比率が高く、特に精神障がいの人は前回調査と比較して15.0ポイント(22.4%→37.4%)高くなっています。

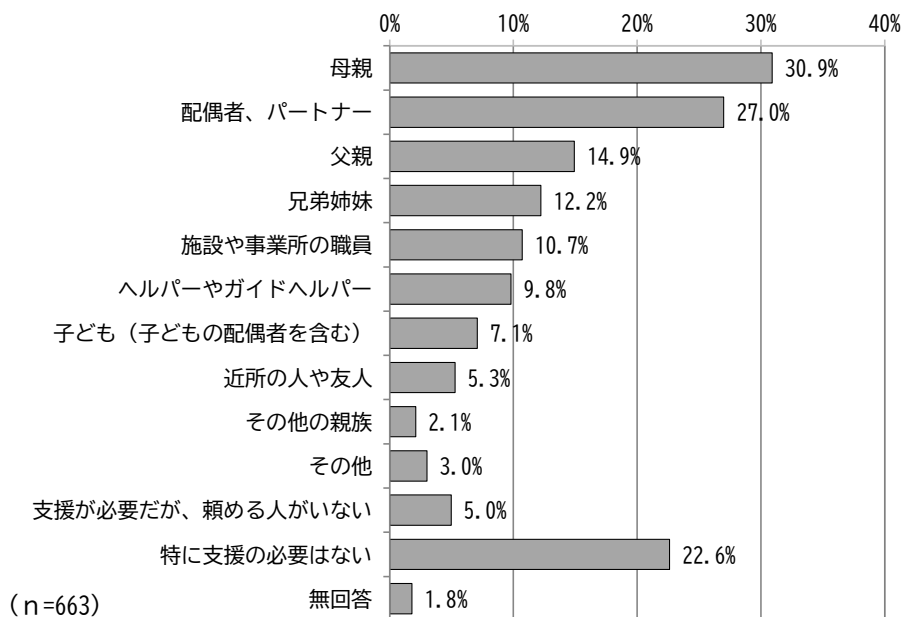


区分	回答数 (人)	ひとり暮らしをしたい	家族と一緒に生活したい	友人と一緒に生活したい	グループホームで共同生活をしたい	入所施設で生活したい	その他	わからない	無回答	
全体	663	24.7%	43.0%	0.9%	4.5%	5.1%	3.3%	16.9%	1.5%	
年齢別	10代 (18・19歳)	7	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
	20代	71	21.1%	29.6%	2.8%	15.5%	4.2%	2.8%	22.5%	1.4%
	30代	88	29.5%	48.9%	0.0%	5.7%	3.4%	2.3%	10.2%	0.0%
	40代	148	21.6%	51.4%	1.4%	4.1%	5.4%	3.4%	11.5%	1.4%
	50代	221	24.9%	38.5%	0.5%	3.2%	5.4%	4.5%	21.3%	1.8%
	60代 (60~64歳)	109	24.8%	45.0%	0.9%	0.0%	7.3%	1.8%	18.3%	1.8%
	無回答	19	42.1%	42.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%
障がい種別	視覚障がい	34	17.6%	61.8%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	14.7%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	29	20.7%	51.7%	0.0%	0.0%	3.4%	10.3%	13.8%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	肢体不自由	110	25.5%	40.0%	1.8%	1.8%	3.6%	4.5%	20.9%	1.8%
	内部障がい	109	22.9%	51.4%	0.0%	0.0%	5.5%	0.9%	19.3%	0.0%
	知的障がい	119	9.2%	37.8%	0.8%	20.2%	9.2%	4.2%	15.1%	3.4%
	発達障がい	88	17.0%	31.8%	1.1%	9.1%	9.1%	4.5%	23.9%	3.4%
	精神障がい	174	37.4%	31.0%	0.6%	1.7%	4.6%	5.2%	17.8%	1.7%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	58.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	難病	125	21.6%	53.6%	0.8%	0.8%	3.2%	2.4%	17.6%	0.0%
	その他	9	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%
無回答	15	40.0%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%	6.7%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問7 日ごろの生活を手伝ってくれる人についておたずねします。
 日ごろの生活を手伝ってくれる人はどなたですか。(あてはまるすべてに○)

- ・日ごろの生活を手伝ってくれる人は、「母親」が30.9%、「配偶者・パートナー」が27.0%、「父親」が14.9%などとなっています。一方、「特に支援の必要はない」は22.6%です。
- ・年齢別では、10代、20代で「母親」、「施設や事業所の職員」の比率が他の年代と比較し若干高く、「特に支援の必要はない」が低くなっています。
- ・障がい種別では、聴覚・平衡機能障がい、難病で「特に支援の必要はない」の比率がやや高くなっています。また、「支援が必要だが、頼める人がいない」の割合が高いのは、発達障がい(13.6%)、精神障がい(10.9%)となっています。



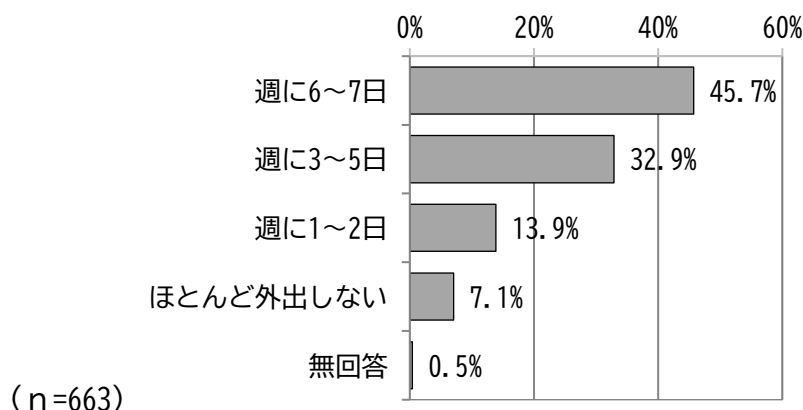
区分	回答数 (人)	父親	母親	兄弟姉妹	配偶者、パートナー	子ども (子どもの配偶者を含む)	その他の親族	近所の人や友人	ヘルパーやガイドヘルパー	施設や事業所の職員	その他	頼める人がいないが、支援が必要	特に支援の必要はない	無回答	
全体	663	14.9%	30.9%	12.2%	27.0%	7.1%	2.1%	5.3%	9.8%	10.7%	3.0%	5.0%	22.6%	1.8%	
年齢別	10代 (18・19歳)	7	57.1%	85.7%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	71	47.9%	77.5%	19.7%	1.4%	0.0%	2.8%	5.6%	18.3%	2.8%	0.0%	14.1%	0.0%	
	30代	88	26.1%	51.1%	15.9%	19.3%	1.1%	1.1%	3.4%	5.7%	15.9%	2.3%	4.5%	20.5%	3.4%
	40代	148	12.8%	31.8%	8.8%	29.7%	7.4%	1.4%	5.4%	8.1%	10.1%	2.0%	4.1%	24.3%	2.0%
	50代	221	8.6%	18.6%	9.5%	29.0%	7.2%	2.3%	4.5%	9.5%	7.2%	4.1%	7.7%	26.7%	1.8%
	60代 (60~64歳)	109	0.0%	7.3%	11.9%	43.1%	17.4%	1.8%	9.2%	12.8%	2.8%	2.8%	2.8%	21.1%	1.8%
	無回答	19	0.0%	15.8%	21.1%	31.6%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	15.8%	21.1%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	34	5.9%	11.8%	11.8%	44.1%	8.8%	8.8%	17.6%	11.8%	2.9%	2.9%	11.8%	0.0%	
	聴覚・平衡機能障がい	29	6.9%	13.8%	13.8%	34.5%	17.2%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	3.4%	34.5%	0.0%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	25.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	肢体不自由	110	10.9%	19.1%	9.1%	33.6%	9.1%	0.0%	5.5%	19.1%	4.5%	1.8%	4.5%	22.7%	0.0%
	内部障がい	109	3.7%	21.1%	11.9%	43.1%	6.4%	0.9%	7.3%	3.7%	1.8%	1.8%	0.9%	30.3%	0.0%
	知的障がい	119	45.4%	77.3%	32.8%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%	21.8%	37.8%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%
	発達障がい	88	35.2%	56.8%	13.6%	12.5%	2.3%	1.1%	1.1%	10.2%	27.3%	10.2%	13.6%	5.7%	0.0%
	精神障がい	174	10.3%	27.6%	10.9%	21.8%	5.2%	1.7%	7.5%	7.5%	8.6%	5.7%	10.9%	21.8%	0.0%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	難病	125	7.2%	16.0%	5.6%	39.2%	14.4%	1.6%	4.0%	6.4%	4.0%	0.8%	2.4%	32.0%	0.0%
	その他	9	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%
	無回答	15	13.3%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	33.3%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問8 外出についておたずねします。

(1)1週間でどのくらい外出しますか。(1つに○)

- ・外出の状況は、「週に6～7日」が45.7%、「週に3～5日」が32.9%、「週に1～2日」が13.9%に対し、「ほとんど外出しない」は7.1%となっており、「週に6～7日」と「週に3～5日」、「週に1～2日」を合わせた「週に1日以上」外出をする人の比率は92.5%です。
- ・年齢別では、60代を除きいずれも「週に6～7日」の比率が最も高くなっています。
- ・外出頻度が週1～2回やほとんど外出しない人の割合が高い部分を見ると、障がい種別、住まい別では「音声・言語・そしゃく機能障がい」が50%、「高次脳機能障がい」「公営・公団(UＲ)等の賃貸住宅」が30%を超えています。

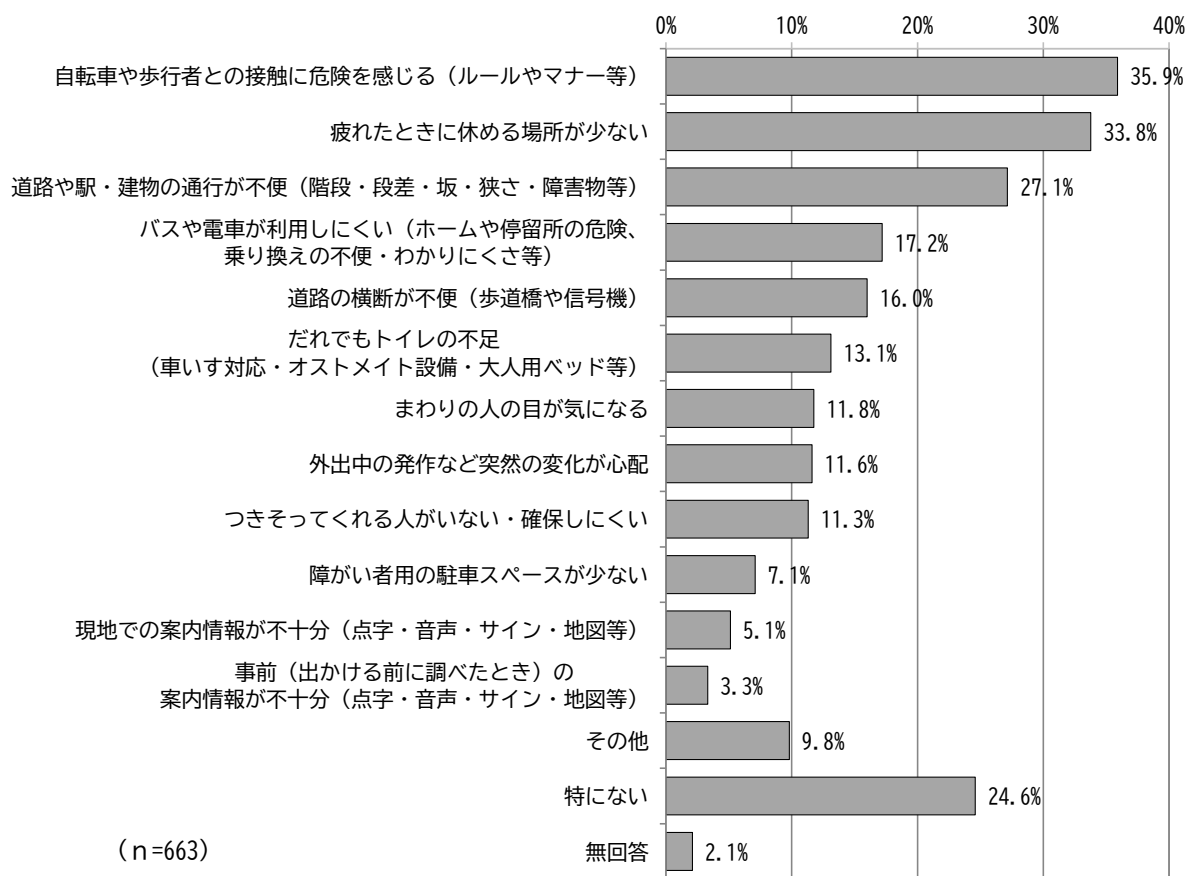


区分		回答数 (人)	週に6～7日	週に3～5日	週に1～2日	ほとんど外出しない	無回答
全体		663	45.7%	32.9%	13.9%	7.1%	0.5%
年齢別	10代 (18・19歳)	7	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	71	60.6%	22.5%	12.7%	4.2%	0.0%
	30代	88	53.4%	31.8%	13.6%	1.1%	0.0%
	40代	148	48.0%	32.4%	10.8%	7.4%	1.4%
	50代	221	39.4%	32.6%	16.7%	11.3%	0.0%
	60代 (60～64歳)	109	37.6%	40.4%	15.6%	5.5%	0.9%
	無回答	19	52.6%	36.8%	5.3%	5.3%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	34	44.1%	29.4%	26.5%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	29	51.7%	24.1%	13.8%	10.3%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	肢体不自由	110	43.6%	28.2%	14.5%	12.7%	0.9%
	内部障がい	109	42.2%	43.1%	11.0%	3.7%	0.0%
	知的障がい	119	52.1%	27.7%	16.0%	4.2%	0.0%
	発達障がい	88	44.3%	28.4%	12.5%	12.5%	2.3%
	精神障がい	174	33.9%	35.6%	14.9%	14.9%	0.6%
	高次脳機能障がい	12	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
	難病	125	46.4%	30.4%	15.2%	8.0%	0.0%
	その他	9	0.0%	66.7%	0.0%	22.2%	11.1%
無回答	15	53.3%	40.0%	0.0%	0.0%	6.7%	
住まい別	自分の持ち家	158	44.3%	37.3%	13.3%	5.1%	0.0%
	家族の持ち家	217	45.6%	34.6%	13.4%	6.0%	0.5%
	民間賃貸住宅	213	46.9%	30.5%	15.0%	7.5%	0.0%
	公営・公団(UＲ)等の賃貸住宅	45	44.4%	24.4%	15.6%	15.6%	0.0%
	グループホーム	13	53.8%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%
	入所施設	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他	11	45.5%	27.3%	0.0%	27.3%	0.0%
	無回答	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問8(2)渋谷区内で外出する際、困っていることはありますか。(あてはまるすべてに○)

- 区内で外出する際困っていることは、「**自転車や歩行者との接触到危険を感じる**」が 35.9%、次いで「**疲れたときに休める場所が少ない**」が 33.8%、「**道路や駅・建物の通行が不便**」が 27.1%、「**バスや電車が利用しにくい**」が 17.2%などとなっています。一方、「**特にない**」は 24.6%です。
- 前回調査結果との比較では、上位5位の順位、割合ともに前回と差のない結果となっています。
- 年齢別では、30代、40代で「**疲れたときに休める場所が少ない**」、50代や60代で「**自転車や歩行者との接触到危険を感じる**」の比率が最も高くなっています。
- 地区別では、北部地区、西部地区で「**自転車や歩行者との接触到危険を感じる**」、東部地区や南部地区で「**疲れたときに休める場所が少ない**」の比率が最も高くなっています。
- 障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由で「**道路や駅・建物の通行が不便**」、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由で「**自転車や歩行者との接触到危険を感じる**」の比率が高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・踏切
- ・ろう者のための視覚情報(字幕や音声認識など)が不十分
- ・キックボードとの接触到危険を感じる
- ・無人レジの使い方が難しい

前回調査結果 上位5位(n=607)	%
自転車や歩行者との接触到危険を感じる	32.0%
疲れたときに休める場所が少ない	31.5%
道路や駅・建物の通行が不便	22.4%
バスや電車が利用しにくい	18.1%
道路の横断が不便	14.2%
特にない	26.7%

区分		回答者数(件)	道路や駅・建物の通行が不便(階段・段差・坂・狭さ・障害物等)	道路の横断が不便(歩道橋や信号機)	障がい者用の駐車スペースが少ない	事前(出かける前に調べたとき)の案内情報が不十分(点字・音声・サイン・地図等)	現地での案内情報が不十分(点字・音声・サイン・地図等)	バスや電車が利用しにくいホームや停留所の危険、乗り換えの不便・わかりにくさ等	自転車や歩行者との接触に危険を感じる(ルールやマナー等)
全体		663	27.1%	16.0%	7.1%	3.3%	5.1%	17.2%	35.9%
年齢別	10代(18・19歳)	7	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%
	20代	71	15.5%	7.0%	2.8%	2.8%	4.2%	12.7%	21.1%
	30代	88	15.9%	5.7%	2.3%	2.3%	3.4%	13.6%	27.3%
	40代	148	23.6%	20.3%	7.4%	2.0%	3.4%	15.5%	34.5%
	50代	221	31.2%	17.2%	7.2%	3.6%	6.3%	21.3%	38.9%
	60代(60~64歳)	109	36.7%	19.3%	9.2%	2.8%	3.7%	14.7%	46.8%
無回答		19	52.6%	36.8%	26.3%	15.8%	21.1%	26.3%	52.6%
地区別	北部地区	194	22.7%	11.9%	9.3%	3.1%	5.2%	15.5%	37.1%
	西部地区	183	27.3%	14.2%	4.4%	3.8%	5.5%	16.9%	36.1%
	東部地区	126	29.4%	17.5%	6.3%	3.2%	4.8%	15.9%	34.1%
	南部地区	153	32.0%	22.2%	8.5%	2.6%	4.6%	20.9%	35.9%
	無回答	7	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%
障がい種別	視覚障がい	34	55.9%	38.2%	0.0%	11.8%	23.5%	29.4%	58.8%
	聴覚・平衡機能障がい	29	27.6%	13.8%	3.4%	0.0%	13.8%	20.7%	31.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%
	肢体不自由	110	59.1%	30.0%	17.3%	6.4%	8.2%	28.2%	47.3%
	内部障がい	109	32.1%	14.7%	17.4%	0.9%	2.8%	13.8%	42.2%
	知的障がい	119	15.1%	10.1%	5.0%	5.0%	5.0%	17.6%	32.8%
	発達障がい	88	14.8%	13.6%	2.3%	2.3%	6.8%	15.9%	25.0%
	精神障がい	174	18.4%	10.3%	1.1%	2.9%	4.0%	15.5%	39.7%
	高次脳機能障がい	12	33.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	25.0%	41.7%
	難病	125	28.8%	15.2%	5.6%	0.8%	1.6%	14.4%	32.8%
	その他	9	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	44.4%
無回答		15	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	20.0%	13.3%

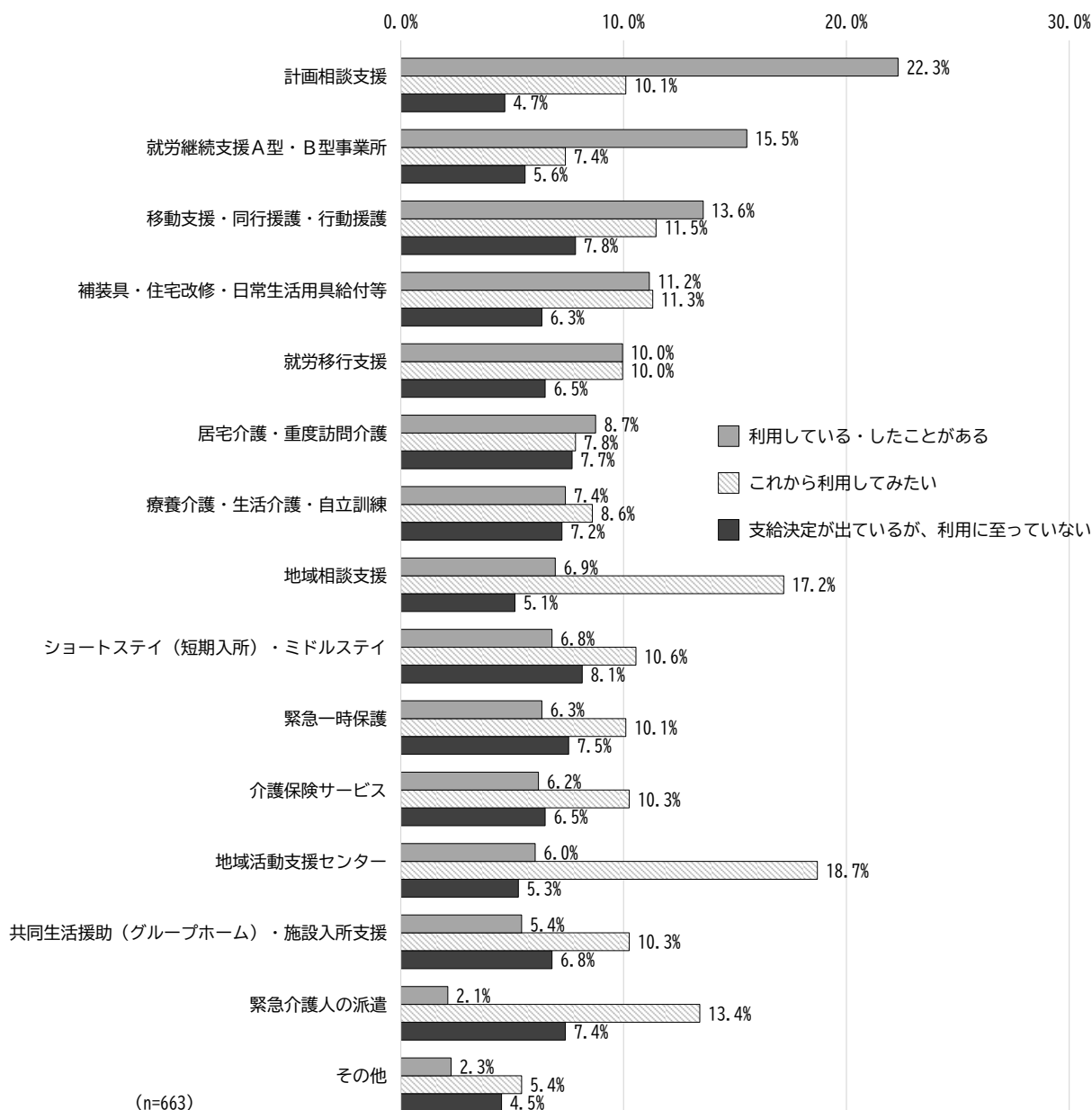
区分		回答者数(件)	外出中の発作など突然の変化が心配	疲れたときに休める場所が少ない	オだれでもトイレの不足(車いす対応・)	まわりの人の目が気になる	確保しにくい	つきそってくれる人がいない・	その他	特にない	無回答
全体		663	11.6%	33.8%	13.1%	11.8%	11.3%	9.8%	24.6%	2.1%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	
	20代	71	12.7%	22.5%	9.9%	18.3%	21.1%	12.7%	23.9%	2.8%	
	30代	88	15.9%	34.1%	6.8%	13.6%	8.0%	9.1%	30.7%	0.0%	
	40代	148	15.5%	41.2%	15.5%	13.5%	6.8%	9.5%	27.0%	1.4%	
	50代	221	6.3%	33.9%	13.6%	10.9%	11.8%	10.0%	23.1%	3.2%	
	60代(60~64歳)	109	12.8%	31.2%	12.8%	5.5%	11.0%	10.1%	22.9%	2.8%	
無回答		19	5.3%	36.8%	31.6%	0.0%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	
地区別	北部地区	194	13.4%	34.0%	10.8%	12.4%	12.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
	西部地区	183	14.8%	27.9%	8.2%	10.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	東部地区	126	8.7%	34.9%	18.3%	13.5%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	南部地区	153	8.5%	39.2%	17.6%	11.1%	14.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	7	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
障がい種別	視覚障がい	34	0.0%	26.5%	5.9%	2.9%	26.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	聴覚・平衡機能障がい	29	0.0%	17.2%	17.2%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	肢体不自由	110	10.0%	33.6%	20.9%	12.7%	14.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	内部障がい	109	11.9%	41.3%	17.4%	4.6%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
	知的障がい	119	12.6%	26.1%	16.0%	17.6%	19.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	発達障がい	88	22.7%	29.5%	10.2%	19.3%	14.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
	精神障がい	174	20.1%	40.2%	11.5%	21.3%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	高次脳機能障がい	12	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	難病	125	10.4%	41.6%	16.0%	6.4%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	9	33.3%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答		15	20.0%	40.0%	13.3%	0.0%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問9 サービスの利用についておたずねします。

(1)下の表のサービスについて、1.利用している・したことがあるもの、2.これから利用してみたいもの、3.支給決定が出ているが、利用に至っていないものがあれば、あてはまる口の欄に○をつけてください。(あてはまるすべてに○)

- ・サービスごとにこれまでの利用状況と今後の利用希望をうかがい、これまでの利用が多い順にならると下図のようになります。
- ・利用経験のあるサービスは、「**計画相談支援**」が **22.3%**と最も高く、次いで「**就労継続支援A型・B型事業所**」が **15.5%**となっています。
- ・これから利用したいサービスは、「**地域活動支援センター**」が **18.7%**と最も高く、次いで「**地域相談支援**」が **17.2%**となっています。
- ・支給決定が出ているが、利用に至っていないサービスは、「**ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ**」が **8.1%**と最も高く、次いで「**移動支援・同行援護・行動援護**」が **7.8%**となっています。
- ・前回調査結果と比較をすると、今回調査上位5位において、実際の利用率は前回に比べて高くなっています。



■ 前回調査比較

サービス	今回調査		前回調査	
	利用している・ したことがある	これから利用 してみたい	利用している・ したことがある	これから利用 してみたい
計画相談支援	「1位」22.3	10.1	「1位」17.6	「3位」12.0
就労継続支援A型・B型事業所	「2位」15.5	7.4	「2位」15.0	7.2
移動支援・同行援護・行動援護	「3位」13.6	「4位」11.5	「3位」12.7	「4位」11.4
補装具・住宅改修・日常生活用具給付等	「4位」11.2	「5位」11.3	6.9	10.7
就労移行支援	「5位」10.0	10.0	「5位」7.2	7.9
居宅介護・重度訪問介護	8.7	7.8	6.9	5.8
療養介護・生活介護・自立訓練	7.4	8.6	「4位」8.2	5.6
地域相談支援	6.9	「2位」17.2	3.3	「2位」14.5
ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ	6.8	10.6	6.6	10.2
緊急一時保護	6.3	10.1	6.9	9.9
介護保険サービス	6.2	10.3	3	8.9
地域活動支援センター	6.0	「1位」18.7	6.1	「1位」20.8
共同生活援助(グループホーム)・施設入所支援	5.4	10.3	6.4	「5位」10.9
緊急介護人の派遣	2.1	「3位」13.4	3.5	10.4

(単位:%)

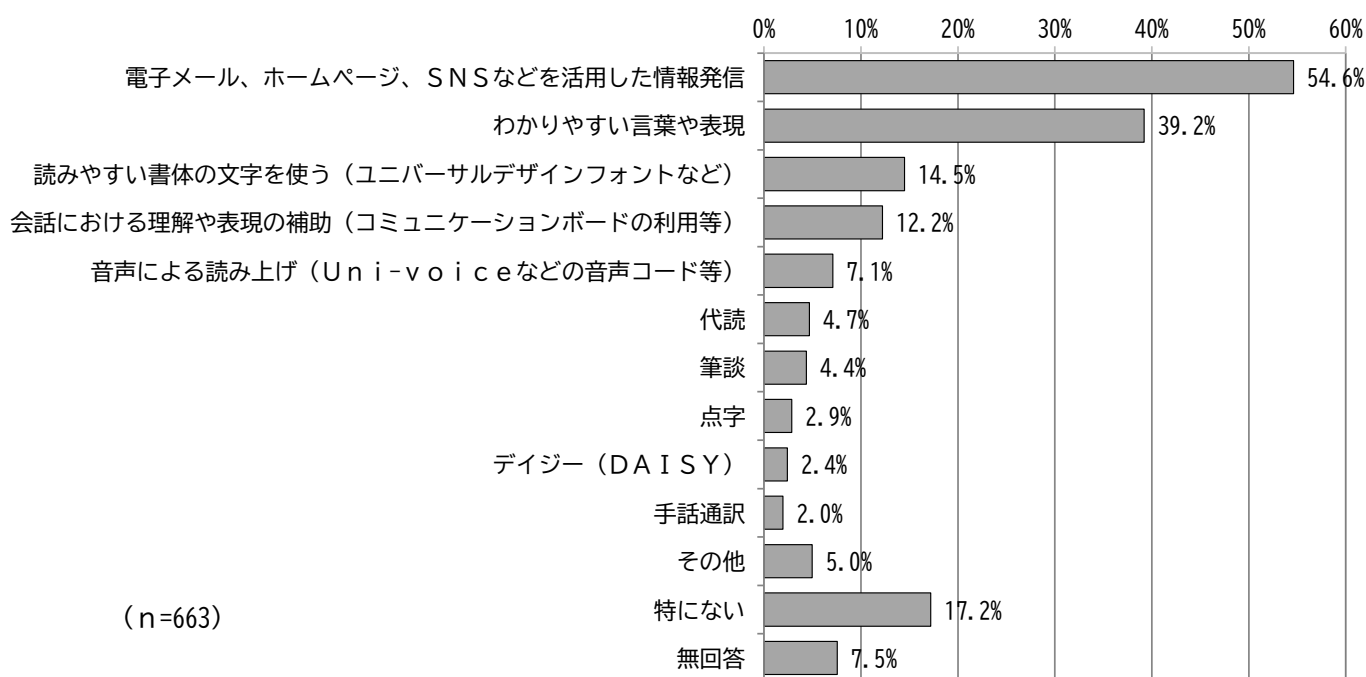
【(1)で「3.支給決定が出ているが、利用に至っていない」をお選びの方におたずねします。
問9(2)利用に至らなかった理由について、あてはまる口の欄に○をつけてください。
(あてはまるすべてに○)

- ・利用に至らなかった理由についてうかがい、事業所が見つからない順に整理しました。
- ・「事業所が見つからない」への回答した人が最も高いのは「ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ」が7人、次いで「緊急一時保護」が5人となっています。
- ・「事業所に断られた」への回答した人が最も高いのは、「移動支援・同行援護・行動援護」が3人となっています。

サービス		対象人数	事業所が見つからない	事業所に断られた	使う必要がない
ショートステイ(短期入所)・ミドルステイ	人数	54人	7人	0人	35人
	割合		13.0%	0.0%	64.8%
計画相談支援	人数	31人	4人	0人	23人
	割合		12.9%	0.0%	74.2%
地域相談支援	人数	34人	4人	0人	23人
	割合		11.8%	0.0%	67.6%
地域活動支援センター	人数	35人	4人	0人	22人
	割合		11.4%	0.0%	62.9%
就労継続支援A型・B型事業所	人数	37人	4人	1人	27人
	割合		10.8%	2.7%	73.0%
緊急一時保護	人数	50人	5人	0人	35人
	割合		10.0%	0.0%	70.0%
療養介護・生活介護・自立訓練	人数	48人	4人	1人	35人
	割合		8.3%	2.1%	72.9%
緊急介護人の派遣	人数	49人	4人	0人	33人
	割合		8.2%	0.0%	67.3%
移動支援・同行援護・行動援護	人数	52人	4人	3人	38人
	割合		7.7%	5.8%	73.1%
就労移行支援	人数	37人	3人	0人	32人
	割合		8.1%	0.0%	86.5%
共同生活援助(グループホーム)・施設入所支援	人数	45人	3人	0人	33人
	割合		6.7%	0.0%	73.3%
居宅介護・重度訪問介護	人数	51人	3人	0人	41人
	割合		5.9%	0.0%	80.4%
補装具・住宅改修・日常生活用具給付等	人数	42人	2人	0人	32人
	割合		4.8%	0.0%	76.2%
介護保険サービス	人数	43人	2人	1人	30人
	割合		4.7%	2.3%	69.8%

問 10 窓口やお店など日ごろの生活のなかで、情報を正確に受け取るための取り組みとして、何が必要だと思いますか。(あてはまるすべてに○)

- ・情報を正確に受け取るための取り組みには、「電子メール、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信」が 54.6%、次いで「わかりやすい言葉や表現」39.2%、「読みやすい書体の文字を使う」14.5%となっています。
- ・年齢別では、10代、20代を除き「電子メール、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信」、10代、20代で「わかりやすい言葉や表現」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、聴覚・平衡機能障がい、「電子メール、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信」、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がい、発達障がい、「わかりやすい言葉や表現」の比率が特に高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・アナログな掲示板
- ・音声変換アプリ
- ・写真や絵による表記

区分	回答数(人)	S N S 電子メール、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信	わかりやすい言葉や表現	(ユニバーサルデザインフォントなど)	読みやすい書体の文字を使う	点字	筆談	音声による読み上げ (Uni・voiceなどの音声コード等)	デージー(DAISY)	手話通訳	代読	会話における理解や表現の補助 (コミュニケーションボードの利用等)	その他	特になし	無回答
全体	663	54.6%	39.2%	14.5%	2.9%	4.4%	7.1%	2.4%	2.0%	4.7%	12.2%	5.0%	17.2%	7.5%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	42.9%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	
	20代	71	52.1%	54.9%	15.5%	4.2%	7.0%	4.2%	2.8%	2.8%	8.5%	21.1%	8.5%	14.1%	4.2%
	30代	88	55.7%	50.0%	17.0%	4.5%	6.8%	9.1%	4.5%	3.4%	4.5%	17.0%	0.0%	17.0%	4.5%
	40代	148	53.4%	37.2%	14.2%	2.0%	2.7%	5.4%	1.4%	2.0%	2.7%	12.8%	4.7%	16.2%	7.4%
	50代	221	55.2%	33.9%	12.7%	2.3%	5.0%	7.2%	2.3%	1.8%	4.5%	9.5%	5.9%	17.2%	8.1%
	60代(60~64歳)	109	54.1%	34.9%	15.6%	3.7%	1.8%	8.3%	2.8%	0.9%	5.5%	6.4%	5.5%	22.0%	11.0%
無回答	19	68.4%	26.3%	10.5%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%	5.3%	5.3%	10.5%	
障がい種別	視覚障がい	34	58.8%	26.5%	23.5%	11.8%	2.9%	44.1%	23.5%	0.0%	35.3%	5.9%	8.8%	5.9%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	29	79.3%	37.9%	24.1%	0.0%	37.9%	6.9%	0.0%	6.9%	0.0%	41.4%	13.8%	3.4%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	37.5%	62.5%	37.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%
	肢体不自由	110	60.9%	31.8%	16.4%	2.7%	5.5%	6.4%	0.0%	1.8%	0.9%	6.4%	2.7%	13.6%	0.0%
	内部障がい	109	67.0%	29.4%	16.5%	0.0%	2.8%	4.6%	1.8%	2.8%	0.9%	5.5%	3.7%	18.3%	0.0%
	知的障がい	119	31.1%	52.1%	11.8%	1.7%	2.5%	4.2%	2.5%	0.8%	6.7%	19.3%	6.7%	16.8%	0.0%
	発達障がい	88	44.3%	52.3%	17.0%	5.7%	5.7%	10.2%	3.4%	4.5%	10.2%	29.5%	9.1%	19.3%	0.0%
	精神障がい	174	53.4%	42.0%	14.4%	4.0%	3.4%	6.3%	1.1%	2.3%	4.0%	16.1%	5.2%	19.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	50.0%	0.0%
	難病	125	69.6%	36.0%	13.6%	0.8%	2.4%	4.0%	0.0%	0.8%	0.0%	4.8%	3.2%	13.6%	0.0%
	その他	9	33.3%	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
無回答	15	13.3%	40.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 11 日ごろの生活で困っていることについてお書きください。

・日ごろの生活で困っていることについて記述式でたずねたところ、224人から246件の回答がありました。経済的支援や支援体制等、「自立・共生の基盤に関わる事項」が76件あげられ、特に経済的な不安や支援ニーズが61件と多くなっています。次いで、「参加・活動・活躍に関わる事項」と「地域での暮らしの安心の確保に関わる事項」はどちらも62件あげられています。集計結果は次の通りです。

●情報・相談ニーズ等に関わる事項(46件)

分類	内訳と主な内容(抜粋・要約)
不安や支援ニーズ (21件)	<p>○現在の不安・負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語しかしゃべれないため不便。 ・家族以外助けてくれる人がいない。 ・介護者へ負担をかけるのが辛い。(2件) ・仕事疲れ。(2件) ・親の介護が重なり、配偶者に負担をかけている。(2件) ・急な体調不良。(2件) <p>○将来的な不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭で生活保護を受給している。自身が病気になり入院した際、知的障がいをもつ娘のことが心配。 ・親が高齢になった際の生活が不安。(3件) ・施設への入所を検討しているが、今後施設が維持され続けるか不安。
情報・相談手続等 (25件)	<p>○相談・連絡先について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先が分からない。(3件) ・相談をする際、うまく伝えることができず、精神的な負担を感じる。 ・相談相手がいない。 ・相談先が分からない。(2件) ・何を相談したらよいか分からない。 ・支援機関との連絡が取りにくい。 ・24時間相談対応可能な窓口が無い。 <p>○手続きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所まで手続きをしに行くのが大変。(3件) ・郵送手続きを導入してほしい。 ・子育てに関する手続きが多すぎる。 <p>○支援サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような支援サービスが用意されているのかわかりにくい。(4件) ・障がい者受給証明書の手続きが不便。 ・ネットの読み上げ機能が不便。 <p>○行政の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の相談先について専門性を確保してほしい。 ・年金、健康保険、税金等各種手続きを行う窓口を一元化してほしい。 ・各種手続きの障がい別早わかり表が欲しい。 ・全公的機関にて筆談でのやりとりが可能となってほしい。

●参加・活動・活躍に関わる事項(62件)

分類	内訳と主な内容(抜粋・要約)
参加・活躍 (4件)	<p><u>○活動場所について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が参加できる、スポーツや習い事を行っている場所が少ない。 ・気軽に利用できる無料の居場所が欲しい。 ・同年代とのコミュニケーションを増やしたい。
外出の円滑化 (58件)	<p><u>○交通手段について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・満員電車がつらい。(2件) ・公共交通機関を利用できない。(3件) ・難聴のため、電車内アナウンスの内容が聞こえない。 ・ホームドアをつけてほしい。 ・駅構内の階段が不便。(2件) ・渋谷駅は頻繁に工事をしており、ルートを覚えられない。 ・優先席に座れない。(2件) ・駅構内のエレベーター、エスカレーターを設置を進めてほしい。(2件) <p><u>○移動支援等について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券の支給金額を増やしてほしい。(5件) ・タクシー券や都営交通無料券をデジタル化してほしい。(3件) ・リフト式タクシーの台数が増えてほしい。(2件) ・区のシェアタクシーの移動範囲を広げてほしい。 ・外出時の同行支援をしてほしい。(8件) ・出血が止まらない時等の移動が困る。 <p><u>○マナーと思いやり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・白杖を使っているが、歩きスマホをしている人とぶつかるため怖い。 ・路上喫煙をやめてほしい。 <p><u>○まちを活動しやすく</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーを推進してほしい。 ・利用できるトイレが少ない。(3件) ・外出途中の休憩場所を増やしてほしい。 ・斜面が多く歩きづらい。(2件)

●地域での暮らしの安心の確保に関わる事項(62件)

分類	内訳と主な内容(抜粋・要約)
住まいについて (4件)	<p><u>○改築の負担</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅を改築する際の費用が足りない。 <p><u>○賃貸住宅の負担</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家賃が高い。
日常生活上の不便 や支援ニーズ (58件)	<p><u>○緊急一時保護について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急一時保護が必要な時に使えるか心配。 <p><u>○ヘルパーについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望するヘルパーさんの派遣を受けられない。(2件) ・安心して預けられるヘルパーさんや支援者が少ない。 ・ヘルパーさんに買い物等の屋外活動も同行支援してほしい。 ・ヘルパーさんの人材不足。(6件) <p><u>○通所について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎支援の利用対象外のため、ショートステイへの送迎が困難。

	<p>○その他ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な生存確認をしてほしい。 ・清掃や高所作業、ごみ捨て等の日常の支援をしてほしい。(3件) ・通院時の付き添いサービス。 ・生活スタイルに合った支援(夜間支援など)。
--	---

●自立・共生の基盤に関わる事項(76件)

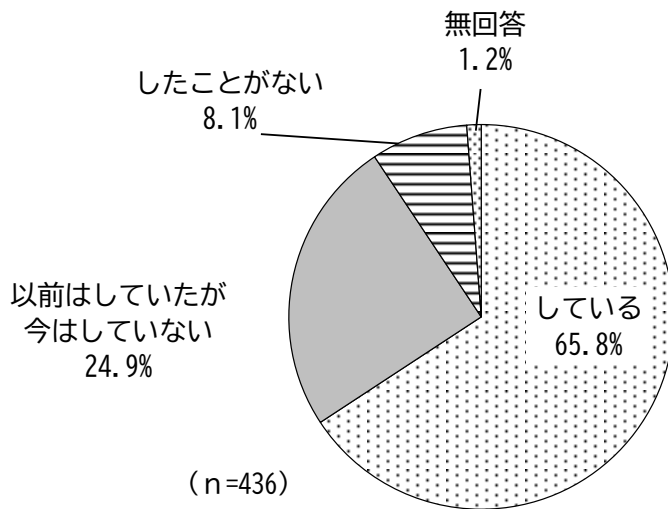
分類	内訳と主な内容(抜粋・要約)
<p>経済的な不安や支援ニーズ (61件)</p>	<p>○経済的な不安や支援ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な不安。経済支援の不足。(33件) ・補聴器購入の補助。(3件) ・補装具の購入資金が足りない。(3件) ・金銭管理が苦手。(3件) ・補装具の助成制限を撤廃してほしい。 ・ガソリン費用の助成を増やしてほしい。 ・ワクチンの接種補助。 ・子どもの成人以降もひとり親補助を続けてほしい。
<p>就労について (9件)</p>	<p>○就労に関する不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無職中の収入面への不安。(3件) ・就職先が決まらない。(3件) ・障害者雇用は年齢を重ねるほどハードルが高くなるため、障がいを隠し、一般雇用枠で働いているが、長続きしない。 ・今後、年齢が上がるにつれて、作業所に通えなくなることが心配。 ・就労継続支援 A 型事業所を増やしてほしい。
<p>支援体制について (6件)</p>	<p>○生涯学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校を卒業し、就労した後も学び続けられる仕組みが欲しい。 ・お金の使い方や金銭管理の指導を受けたい。

(3)就労について

問 12 就労の状況についておたずねします。

(1)あなたは現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- ・現在収入を伴う仕事をしているかは、「(就労)している」が 65.8%、「以前はしていたが今はしていない」が 24.9%、「したことがない」が 8.1%となっています。
- ・年齢別では、10代、20代で「したことがない」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がい、「以前はしていたが今はしていない」、知的障がい、発達障がい「したことがない」の比率が高くなっています。
- ・前回調査と比較すると、「している」への回答割合は、年齢別では30代、障がい種別では発達障がいの人が高くなっている反面、「高次脳機能障がい」「音声・言語・そしゃく機能障がい」の人は割合が低くなっています。



区分	回答数 (人)	今回調査				前回との比較		
		している	以前は していたが 今はして いない	したことが ない	無回答	(前回 調査) している	増減	
全体	663	65.8%	24.9%	8.1%	1.2%	60.8%	5.0	
年齢別	10代 (18・19歳)	7	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%	58.2%	-
	20代	71	70.4%	9.9%	18.3%	1.4%	61.3%	12.6
	30代	88	73.9%	12.5%	11.4%	2.3%	70.1%	-0.5
	40代	148	69.6%	24.3%	4.7%	1.4%	57.5%	4.9
	50代	221	62.4%	31.2%	5.0%	1.4%	56.7%	2.9
	60代 (60～64歳)	109	59.6%	33.0%	7.3%	0.0%	-	-
	無回答	19	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%	-	-
障がい種別	視覚障がい	34	61.8%	29.4%	5.9%	2.9%	57.7%	4.1
	聴覚・平衡機能障がい	29	72.4%	24.1%	3.4%	0.0%	64.5%	7.9
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%	33.3%	-8.3
	肢体不自由	110	56.4%	29.1%	11.8%	2.7%	49.2%	7.2
	内部障がい	109	69.7%	23.9%	5.5%	0.9%	69.0%	0.7
	知的障がい	119	72.3%	9.2%	17.6%	0.8%	66.7%	5.6
	発達障がい	88	63.6%	17.0%	18.2%	1.1%	54.5%	9.1
	精神障がい	174	52.3%	38.5%	8.0%	1.1%	47.4%	4.9
	高次脳機能障がい	12	25.0%	58.3%	8.3%	8.3%	61.5%	-36.5
	難病	125	72.0%	24.0%	3.2%	0.8%	69.8%	2.2
	その他	9	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	-	-
無回答	15	66.7%	13.3%	13.3%	6.7%	-	-	

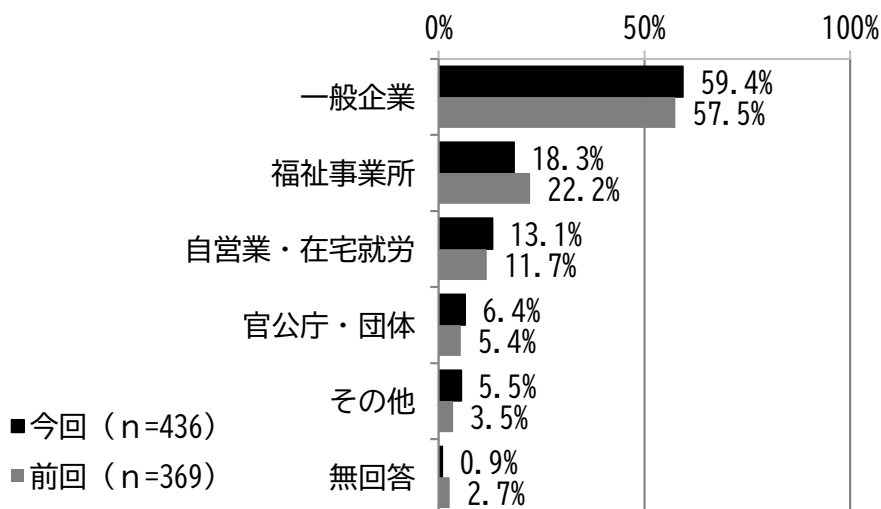
1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色
前回調査と選択肢が異なるため、一部項目は「-」としている

【(1)で「している」を選んだ方は、次の(2)にもお答えください。】

問 12(2)それはどんな働き方ですか。(複数の所属がある場合は、あてはまるすべてに○)

①ご所属

- ・働き方は、「一般企業」が 59.4%、次いで「福祉事業所」が 18.3%、「自営業・在宅就労」が 13.1%、「官公庁・団体」が 6.4%となっています。
- ・障がい種別では、知的障がい、発達障がい、精神障がいで「福祉事業所」の比率が高くなっています。
- ・前回調査(一般企業+官公庁の割合)と比較すると、精神障がいの人は 15.4 ポイント前回より高くなっています。

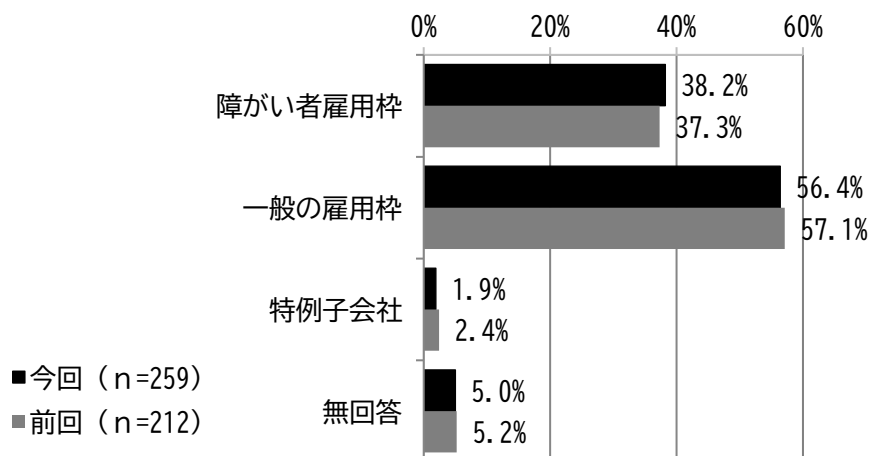


区分	回答数 (人)	今回調査						前回との比較			
		一般企業	官公庁・ 団体	自営業・ 在宅就労	福祉 事業所	その他	無回答	(今回) 一般企業 +官公庁	(前回) 一般企業 +官公庁	増減	
全体	436	59.4%	6.4%	13.1%	18.3%	5.5%	0.9%	65.8%	62.9%	2.9	
障がい種別	視覚障がい	21	42.9%	14.3%	23.8%	9.5%	9.5%	0.0%	57.1%	60.0%	-2.9
	聴覚・平衡機能障がい	21	71.4%	9.5%	19.0%	0.0%	9.5%	0.0%	81.0%	81.3%	-0.3
	音声・言語・そしゃく機能障がい	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	-50.0
	肢体不自由	62	59.7%	11.3%	17.7%	8.1%	3.2%	1.6%	71.0%	69.3%	1.7
	内部障がい	76	69.7%	5.3%	26.3%	0.0%	2.6%	0.0%	75.0%	70.7%	4.3
	知的障がい	86	30.2%	2.3%	0.0%	64.0%	9.3%	1.2%	32.6%	30.6%	2.0
	発達障がい	56	57.1%	1.8%	5.4%	33.9%	7.1%	0.0%	58.9%	52.4%	6.5
	精神障がい	91	59.3%	8.8%	7.7%	17.6%	8.8%	0.0%	68.1%	52.7%	15.4
	高次脳機能障がい	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	62.6%	4.1
	難病	90	70.0%	5.6%	16.7%	2.2%	5.6%	1.1%	75.6%	78.4%	-2.8
	その他	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	-	-
無回答	10	70.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	70.0%	-	-	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色
 前回調査と選択肢が異なるため、一部項目は「-」としている

○一般企業

- ・「一般の雇用枠」が56.4%、「障がい者雇用枠」38.2%、「特例子会社」が1.9%です。
- ・前回調査と比較すると、ほとんど差がありませんでした。

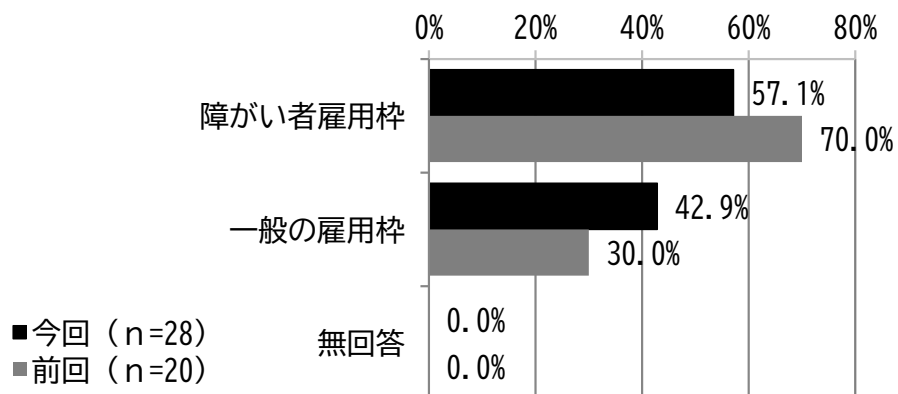


区分	回答数 (人)	障がい者雇用枠	一般の雇用枠	特例子会社	無回答	
全体	259	38.2%	56.4%	1.9%	5.0%	
障がい種別	視覚障がい	9	22.2%	66.7%	0.0%	11.1%
	聴覚・平衡機能障がい	15	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	肢体不自由	37	48.6%	45.9%	2.7%	2.7%
	内部障がい	53	17.0%	79.2%	0.0%	5.7%
	知的障がい	26	88.5%	7.7%	11.5%	0.0%
	発達障がい	32	65.6%	28.1%	9.4%	3.1%
	精神障がい	54	40.7%	55.6%	1.9%	5.6%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	63	9.5%	79.4%	0.0%	11.1%
	その他	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	7	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

○官公庁・団体

- ・「障がい者雇用枠」が 57.1%、「一般の雇用枠」が 42.9%です。
- ・前回調査と比較すると、一般雇用枠が 12.9 ポイント高くなっています。

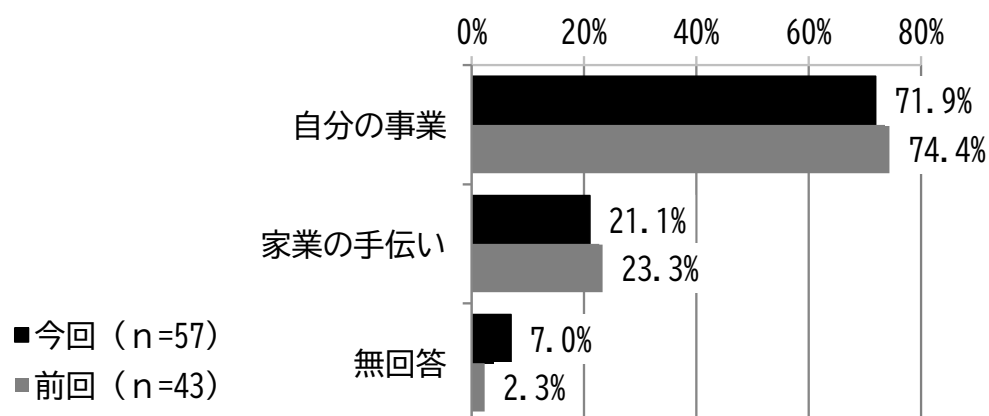


区分		回答数 (人)	障がい者 雇用枠	一般の 雇用枠	無回答
全体		28	57.1%	42.9%	0.0%
障がい 種別	視覚障がい	3	66.7%	33.3%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	2	100.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	7	85.7%	14.3%	0.0%
	内部障がい	4	50.0%	50.0%	0.0%
	知的障がい	2	100.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	1	0.0%	100.0%	0.0%
	精神障がい	8	50.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%
	難病	5	20.0%	80.0%	0.0%
	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

○自営業・在宅就労

- ・「自分の事業」が 71.9%、「家業の手伝い」が 21.1%です。
- ・前回調査とほぼ同様の傾向となっています。

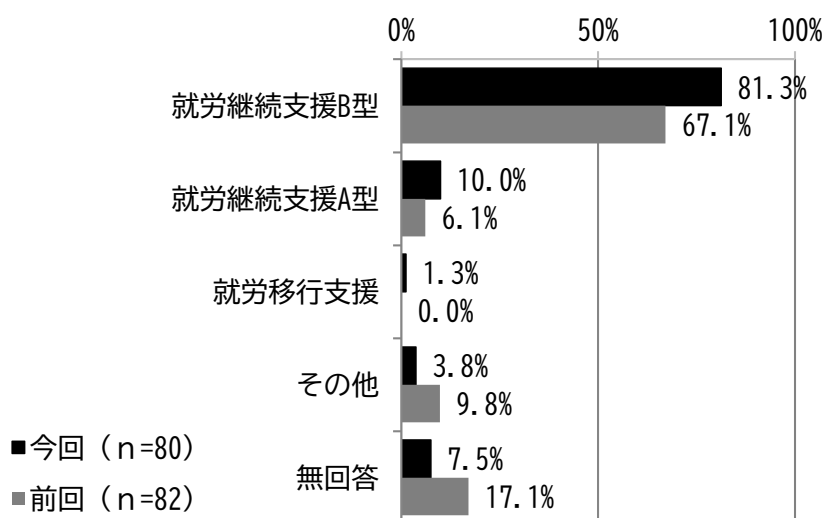


区分		回答数 (人)	自分の 事業	家業の 手伝い	無回答
全体		57	71.9%	21.1%	7.0%
障がい種別	視覚障がい	5	80.0%	0.0%	20.0%
	聴覚・平衡機能障がい	4	75.0%	25.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	11	81.8%	9.1%	9.1%
	内部障がい	20	75.0%	20.0%	5.0%
	知的障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	3	66.7%	33.3%	0.0%
	精神障がい	7	71.4%	28.6%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%
	難病	15	60.0%	33.3%	6.7%
	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

○福祉事業所

- ・「就労継続支援B型」が 81.3%、「就労継続支援 A 型」が 10.0%です。
- ・前回調査と比較して、就労継続支援B型が 14.2 ポイント高くなっています。

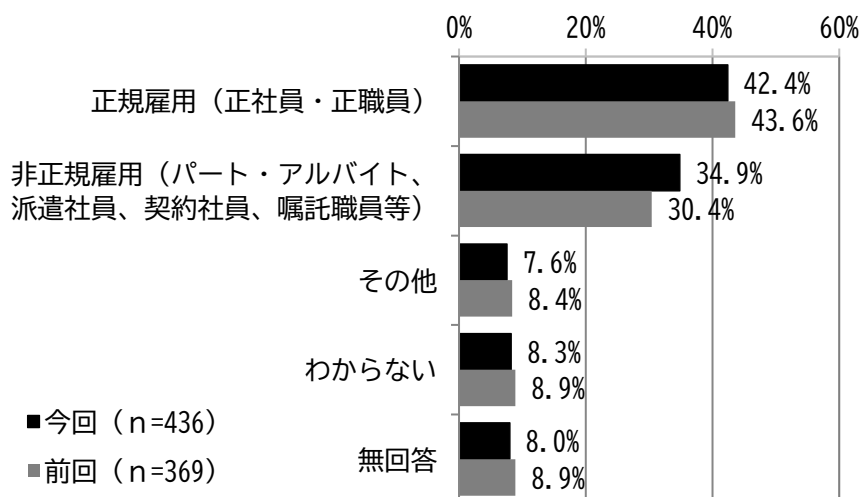


区分	回答数 (人)	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労移行支援	その他	無回答	
全体	80	10.0%	81.3%	1.3%	3.8%	7.5%	
障がい種別	視覚障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	聴覚・平衡機能障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	5	20.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	内部障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	55	10.9%	83.6%	1.8%	0.0%	7.3%
	発達障がい	19	15.8%	73.7%	0.0%	0.0%	10.5%
	精神障がい	16	12.5%	75.0%	0.0%	6.3%	6.3%
	高次脳機能障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	3	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

②雇用形態等

- ・雇用形態は、「正規雇用」が42.4%、「非正規雇用」が34.9%、「その他」が7.6%となっています。前回調査とほぼ同様の傾向となっています。
- ・前回調査と比較すると、正規雇用の比率は全体では前回とほぼ同様ですが、聴覚・平衡機能障がいでは21.1ポイント高くなっています。一方、知的障がいの人は14.0%と低く、前回調査とほぼ同様の傾向となっています。



区分	回答数 (人)	今回調査					前回との比較	
		正規雇用 (正社員・正職員)	非正規雇用 (パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託職員等)	その他	わからない	無回答	(前回調査) 正規雇用 (正社員・正職員)	増減
全体	436	42.4%	34.9%	7.6%	8.3%	8.0%	43.6%	-1.2
障がい種別	視覚障がい	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%	46.7%	5.7
	聴覚・平衡機能障がい	52.4%	33.3%	4.8%	4.8%	4.8%	31.3%	21.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	-20.0
	肢体不自由	56.5%	30.6%	9.7%	0.0%	4.8%	61.5%	-5.0
	内部障がい	67.1%	23.7%	9.2%	1.3%	2.6%	62.1%	5.0
	知的障がい	14.0%	33.7%	7.0%	26.7%	18.6%	14.8%	-0.8
	発達障がい	26.8%	48.2%	7.1%	10.7%	7.1%	21.4%	5.4
	精神障がい	27.5%	49.5%	5.5%	9.9%	8.8%	31.1%	-3.6
	高次脳機能障がい	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%	8.3
	難病	56.7%	26.7%	8.9%	2.2%	5.6%	59.1%	-2.4
	その他	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-
無回答	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%	20.0%	-	-	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色
 前回調査と選択肢が異なるため、一部項目は「-」としている

③ 日数・時間

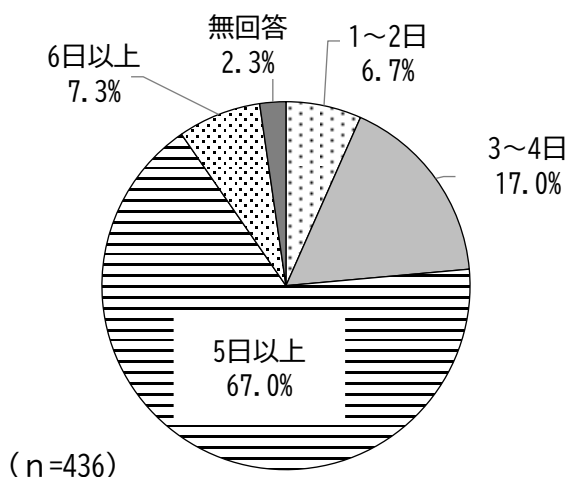
・日数、時間との関係を見ると、**5日で、7時間超～8時間以下が最も高く**、次いで5日で8時間超の順となっています。この2つにあてはまる人は全体の40.6%となっています。

		合計	1時間以下	1時間超～2時間以下	2時間超～3時間以下	3時間超～4時間以下	4時間超～5時間以下	5時間超～6時間以下	6時間超～7時間以下	7時間超～8時間以下	8時間超	無回答
合計		443	4	19	18	22	36	61	54	133	88	8
日数	1～2日	30	1	11	4	1	7	3	2	0	1	0
	3～4日	78	2	6	10	13	13	14	7	5	8	0
	5日	293	1	1	4	5	16	41	43	114	66	3
	6日以上	32	0	0	0	2	0	1	2	13	13	1
	無回答	10	0	1	0	1	0	2	1	1	0	4

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

(A) 日数：1週間あたり

・1週間あたりの働いている日数は、「6日以上」が7.3%、**「5日」が67.0%**、「3～4日」が17.0%、「1～2日」が6.7%となっています。

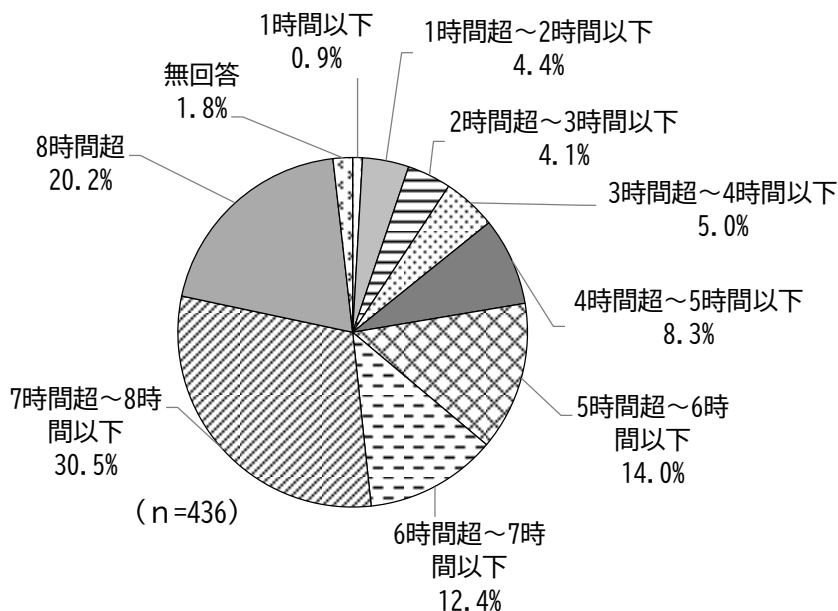


区分		回答数(人)	1～2日	3～4日	5日以上	6日以上	無回答
全体		436	6.7%	17.0%	67.0%	7.3%	2.3%
障がい種別	視覚障がい	21	4.8%	9.5%	71.4%	9.5%	4.8%
	聴覚・平衡機能障がい	21	4.8%	14.3%	76.2%	4.8%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	62	4.8%	9.7%	67.7%	16.1%	1.6%
	内部障がい	76	7.9%	14.5%	61.8%	13.2%	2.6%
	知的障がい	86	3.5%	19.8%	74.4%	1.2%	2.3%
	発達障がい	56	3.6%	21.4%	69.6%	1.8%	3.6%
	精神障がい	91	12.1%	30.8%	52.7%	3.3%	1.1%
	高次脳機能障がい	3	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
	難病	90	6.7%	14.4%	71.1%	7.8%	0.0%
	その他	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	10	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

(B) 時間：1日あたり

・1日あたりの働いている時間は、「1時間以下」が 0.9%、「1時間超～2時間以下」が 4.4%、「2時間超～3時間以下」が 4.1%、「3時間超～4時間以下」が 5.0%、「4時間超～5時間以下」が 8.3%、「5時間超～6時間以下」が 14.0%、「6時間超～7時間以下」が 12.4%、「7時間超～8時間以下」が **30.5%**、「8時間超」が 20.2%となっています。



区分	回答数 (人)	1時間以下	1時間超～2時間以下	2時間超～3時間以下	3時間超～4時間以下	4時間超～5時間以下	5時間超～6時間以下	6時間超～7時間以下	7時間超～8時間以下	8時間超	無回答	
全体	436	0.9%	4.4%	4.1%	5.0%	8.3%	14.0%	12.4%	30.5%	20.2%	1.8%	
障がい種別	視覚障がい	21	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	14.3%	9.5%	33.3%	28.6%	4.8%
	聴覚・平衡機能障がい	21	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	19.0%	9.5%	47.6%	23.8%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	62	1.6%	1.6%	3.2%	11.3%	3.2%	9.7%	8.1%	35.5%	25.8%	0.0%
	内部障がい	76	1.3%	2.6%	5.3%	2.6%	5.3%	3.9%	9.2%	43.4%	23.7%	3.9%
	知的障がい	86	2.3%	3.5%	2.3%	5.8%	15.1%	34.9%	19.8%	11.6%	4.7%	1.2%
	発達障がい	56	3.6%	1.8%	7.1%	7.1%	1.8%	25.0%	10.7%	28.6%	14.3%	1.8%
	精神障がい	91	1.1%	13.2%	5.5%	5.5%	8.8%	15.4%	11.0%	27.5%	13.2%	1.1%
	高次脳機能障がい	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	難病	90	0.0%	2.2%	2.2%	4.4%	8.9%	5.6%	13.3%	34.4%	28.9%	1.1%
	その他	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	10	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

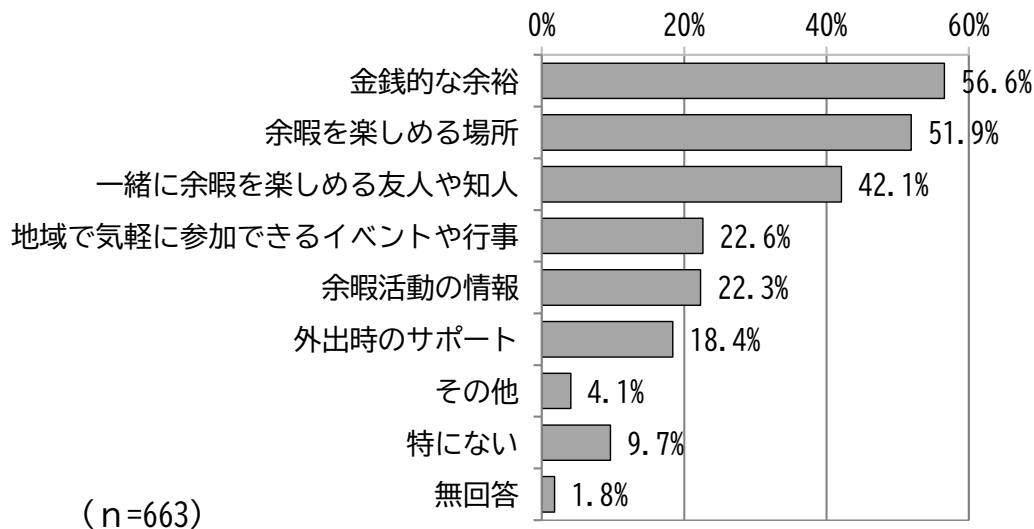
(4)余暇活動について

問 13 余暇活動についておたずねします。

あなたが、余暇(休日や余裕のあるとき)を楽しむときに必要と思うことは何ですか。

(あてはまるすべてに○)

- ・余暇を楽しむときに必要と思うことは、「**金銭的な余裕**」が 56.6%、次いで「余暇を楽しめる場所」が 51.9%、「一緒に余暇を楽しめる友人や知人」が 42.1%となっています。
- ・年齢別では、10 代、20 代で「余暇を楽しめる場所」の比率が最も高く、30 代、40 代で「金銭的な余裕」の比率が若干高くなっています。
- ・障がい種別では、肢体不自由で「余暇を楽しめる場所」、聴覚・平衡機能障がい、「一緒に余暇を楽しめる友人や知人」の比率が高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・余暇を楽しめる時間がない
- ・余暇活動を楽しむだけの体力が必要
- ・1人で参加できるイベントが必要

区分	回答数 (人)	余暇を楽しめる場所	地域で気軽に参加できるイベントや行事	外出時のサポート	金銭的な余裕	一緒に余暇を楽しめる友人や知人	余暇活動の情報	その他	特にない	無回答	
全体	663	51.9%	22.6%	18.4%	56.6%	42.1%	22.3%	4.1%	9.7%	1.8%	
年齢別	10代 (18・19歳)	7	57.1%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
	20代	71	66.2%	32.4%	33.8%	52.1%	47.9%	31.0%	5.6%	2.8%	0.0%
	30代	88	53.4%	19.3%	17.0%	61.4%	46.6%	26.1%	2.3%	8.0%	1.1%
	40代	148	53.4%	29.1%	14.2%	62.2%	50.7%	27.7%	2.0%	5.4%	2.7%
	50代	221	47.5%	19.5%	16.7%	54.8%	33.5%	17.6%	5.9%	13.6%	2.7%
	60代 (60~64歳)	109	45.0%	17.4%	17.4%	51.4%	40.4%	14.7%	3.7%	13.8%	0.9%
	無回答	19	68.4%	15.8%	15.8%	68.4%	47.4%	31.6%	5.3%	0.0%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	34	41.2%	11.8%	32.4%	55.9%	35.3%	11.8%	5.9%	14.7%	5.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	55.2%	10.3%	10.3%	51.7%	58.6%	24.1%	3.4%	3.4%	3.4%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	37.5%	12.5%	62.5%	50.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%
	肢体不自由	110	57.3%	22.7%	24.5%	60.9%	37.3%	17.3%	2.7%	9.1%	0.9%
	内部障がい	109	54.1%	18.3%	11.0%	58.7%	41.3%	14.7%	3.7%	11.0%	2.8%
	知的障がい	119	55.5%	38.7%	43.7%	32.8%	40.3%	35.3%	2.5%	7.6%	2.5%
	発達障がい	88	54.5%	27.3%	30.7%	53.4%	42.0%	33.0%	10.2%	9.1%	1.1%
	精神障がい	174	47.1%	22.4%	13.2%	66.1%	42.5%	26.4%	8.6%	9.2%	2.9%
	高次脳機能障がい	12	33.3%	16.7%	33.3%	41.7%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%
	難病	125	54.4%	22.4%	11.2%	62.4%	44.8%	16.0%	0.8%	9.6%	0.8%
	その他	9	33.3%	22.2%	22.2%	77.8%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%
	無回答	15	46.7%	6.7%	13.3%	46.7%	26.7%	26.7%	6.7%	20.0%	6.7%

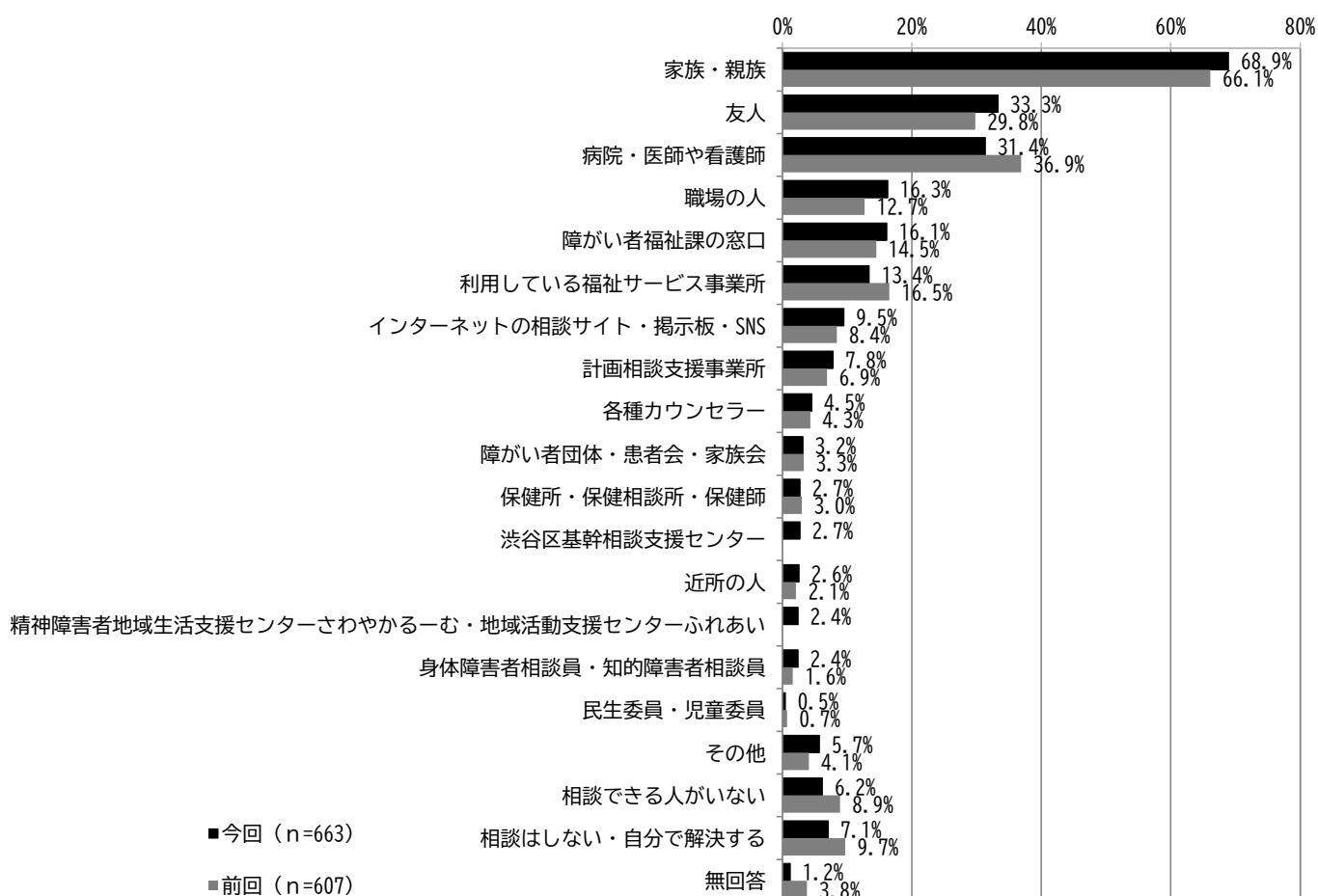
1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

(5)相談について

問 14 困りごとや悩みの解決に向けての情報収集や相談についておたずねします。

(1)困りごとや悩みの主な相談先は、どなた(どこ)ですか。(あてはまるすべてに○)

- ・困りごとや悩みの主な相談先は、「**家族・親族**」が **68.9%**、次いで「友人」が 33.3%、「病院・医師や看護師」が 31.4%となっています。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「家族・親族」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、いずれの障がいでも「家族・親族」の比率が最も高く、知的障がいでは「利用している福祉サービス事業所」、精神障がいでは「病院・医師や看護師」の比率も高くなっています。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はありませんが、「相談できる人がいない」が 6.2%と前回調査と比較して 2.7 ポイント低くなっています。なお、年齢、障がい種別で「相談できる人がいない」の割合が最も高いのは、「高次脳機能障がい」で、16.7%となっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・AI
- ・ケアマネージャー
- ・就労移行支援事業所の職員
- ・障がい者の相談できる場所がわからない

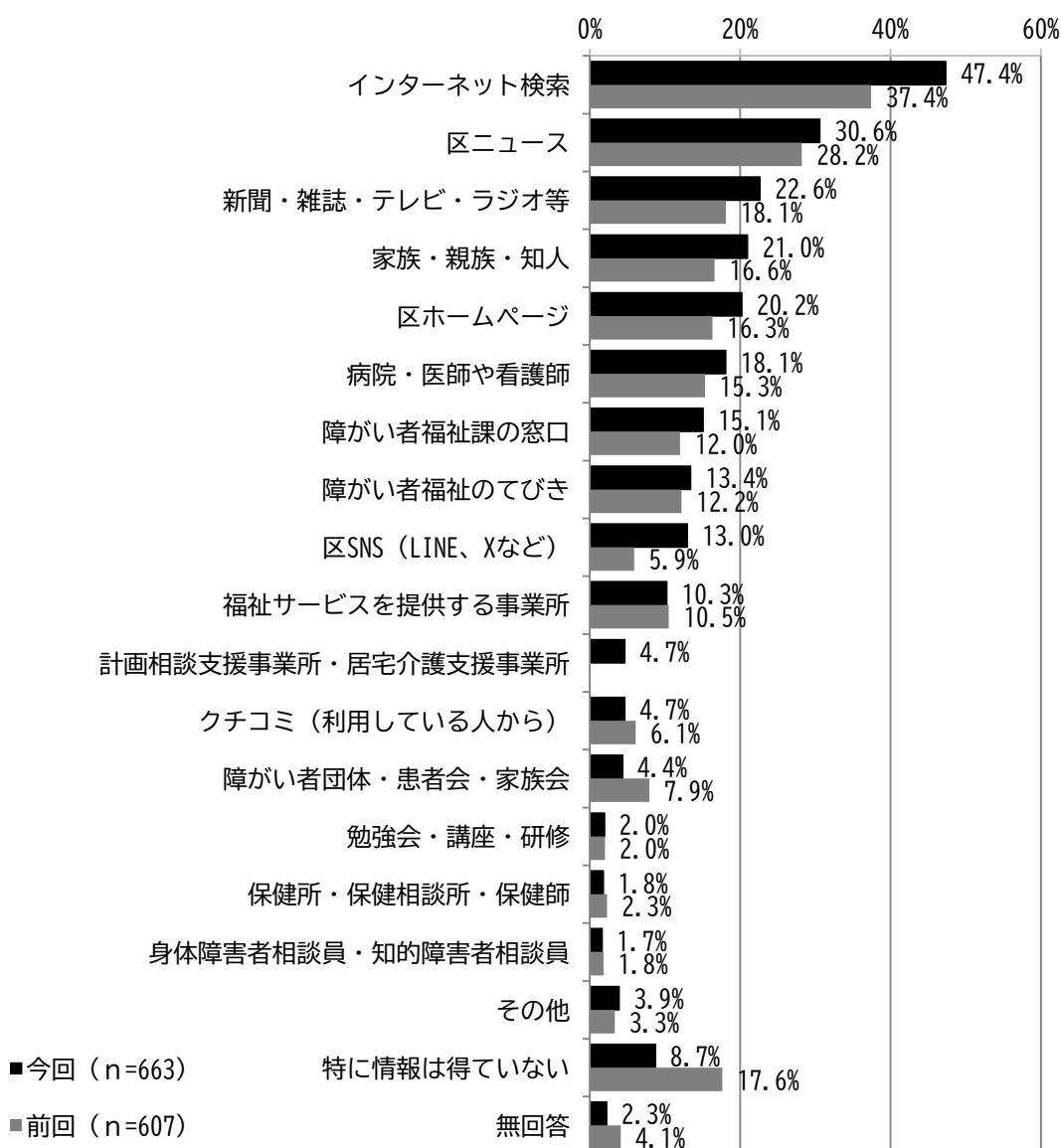
区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人	近所の 人	職場の 人	障 が い 者 福 祉 課 の 窓 口	保 健 所 ・ 保 健 相 談 所 ・ 保 健 師	渋 谷 区 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	精 神 障 害 者 地 域 生 活 支 援 セ ン タ ー さ わ や か る い む ・ 地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー ふ れ あい	障 が い 者 団 体 ・ 患 者 会 ・ 家 族 会	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	
全体	663	68.9%	33.3%	2.6%	16.3%	16.1%	2.7%	2.7%	2.4%	3.2%	0.5%	
年 齢 別	10代 (18・19歳)	7	100.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	
	20代	71	87.3%	23.9%	2.8%	29.6%	16.9%	0.0%	4.2%	9.9%	0.0%	
	30代	88	71.6%	29.5%	1.1%	20.5%	13.6%	1.1%	2.3%	1.1%	0.0%	
	40代	148	72.3%	35.8%	0.0%	15.5%	16.2%	2.7%	2.7%	4.1%	3.4%	0.7%
	50代	221	57.9%	34.8%	1.8%	13.1%	15.8%	4.5%	1.8%	2.7%	1.8%	0.9%
	60代 (60～64歳)	109	72.5%	35.8%	8.3%	13.8%	19.3%	2.8%	3.7%	1.8%	1.8%	0.0%
障 が い 種 別	無回答	19	57.9%	36.8%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	
	視覚障がい	34	76.5%	58.8%	2.9%	14.7%	17.6%	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%	
	聴覚・平衡機能障がい	29	72.4%	48.3%	3.4%	17.2%	27.6%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	100.0%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	肢体不自由	110	68.2%	38.2%	5.5%	16.4%	16.4%	2.7%	4.5%	1.8%	2.7%	0.0%
	内部障がい	109	70.6%	39.4%	2.8%	13.8%	16.5%	4.6%	2.8%	0.9%	0.0%	0.0%
	知的障がい	119	84.0%	11.8%	1.7%	26.1%	21.0%	0.8%	4.2%	2.5%	10.9%	1.7%
	発達障がい	88	67.0%	23.9%	3.4%	22.7%	12.5%	2.3%	3.4%	2.3%	4.5%	0.0%
	精神障がい	174	51.7%	27.0%	2.3%	8.6%	14.4%	6.9%	1.7%	5.7%	1.7%	0.6%
	高次脳機能障がい	12	75.0%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%	8.3%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%
	難病	125	73.6%	42.4%	0.8%	12.8%	11.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
その他	9	66.7%	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	15	60.0%	33.3%	0.0%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	

区分	回答者数 (件)	知的 身体 障害 者 相 談 員 ・ 相 談 員	計 画 相 談 支 援 事 業 所	利 用 し て い る 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所	病 院 ・ 医 師 や 看 護 師	各 種 カ ウ ン セ ラ ー	・ イ ン タ ー ネ ッ ト の 相 談 サ イ ト ・ 掲 示 板 ・ S N S	そ の 他	相 談 で き る 人 が い な い	相 談 は し な い ・ 自 分 で 解 決 す る	無 回 答	
全体	663	2.4%	7.8%	13.4%	31.4%	4.5%	9.5%	5.7%	6.2%	7.1%	1.2%	
年 齢 別	10代 (18・19歳)	7	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	71	5.6%	22.5%	32.4%	29.6%	7.0%	11.3%	8.5%	1.4%	1.4%	0.0%
	30代	88	1.1%	11.4%	17.0%	29.5%	9.1%	10.2%	5.7%	3.4%	9.1%	0.0%
	40代	148	2.7%	8.1%	12.8%	33.1%	7.4%	9.5%	4.7%	8.1%	2.7%	1.4%
	50代	221	1.4%	5.0%	10.4%	29.0%	2.3%	10.4%	7.2%	9.5%	11.8%	1.8%
	60代 (60～64歳)	109	1.8%	2.8%	5.5%	40.4%	0.9%	7.3%	2.8%	1.8%	5.5%	0.9%
障 が い 種 別	無回答	19	10.5%	0.0%	5.3%	21.1%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	5.3%	
	視覚障がい	34	0.0%	8.8%	5.9%	17.6%	0.0%	5.9%	2.9%	2.9%	0.0%	5.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	3.4%	0.0%	0.0%	10.3%	3.4%	10.3%	0.0%	6.9%	6.9%	3.4%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	3.6%	3.6%	10.0%	29.1%	5.5%	11.8%	8.2%	4.5%	5.5%	1.8%
	内部障がい	109	2.8%	0.0%	0.9%	41.3%	1.8%	14.7%	2.8%	1.8%	10.1%	0.9%
	知的障がい	119	5.0%	25.2%	40.3%	19.3%	1.7%	4.2%	8.4%	1.7%	0.8%	0.8%
	発達障がい	88	3.4%	20.5%	33.0%	38.6%	12.5%	12.5%	12.5%	8.0%	6.8%	1.1%
	精神障がい	174	1.1%	6.3%	12.6%	43.7%	9.8%	12.6%	8.0%	10.3%	8.6%	1.1%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%
	難病	125	1.6%	3.2%	6.4%	37.6%	0.8%	12.8%	3.2%	5.6%	8.8%	0.8%
その他	9	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	
無回答	15	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	0.0%	6.7%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 14(2)福祉の情報や生活に必要な情報は、主に何(どこ)から得ていますか。
(あてはまるすべてに○)

- ・福祉に関する情報の入手先は、「インターネット検索」が 47.4%、次いで「区ニュース」が 30.6%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等」が 22.6%などとなっています。一方、「特に情報は得ていない」は 8.7%です。
- ・前回調査と比較すると、「インターネット検索」が 10.0 ポイント、「区 SNS(LINE、X など)」が 7.1 ポイント高くなっています。また「特に情報は得ていない」は 8.9 ポイント、「障がい者団体・患者会・家族会」が 3.5 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「インターネット検索」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、知的障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、高次脳機能障がいで「家族・親族・知人」の比率が最も高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・AI
- ・ケアマネージャー
- ・成年後見人
- ・ハローワーク

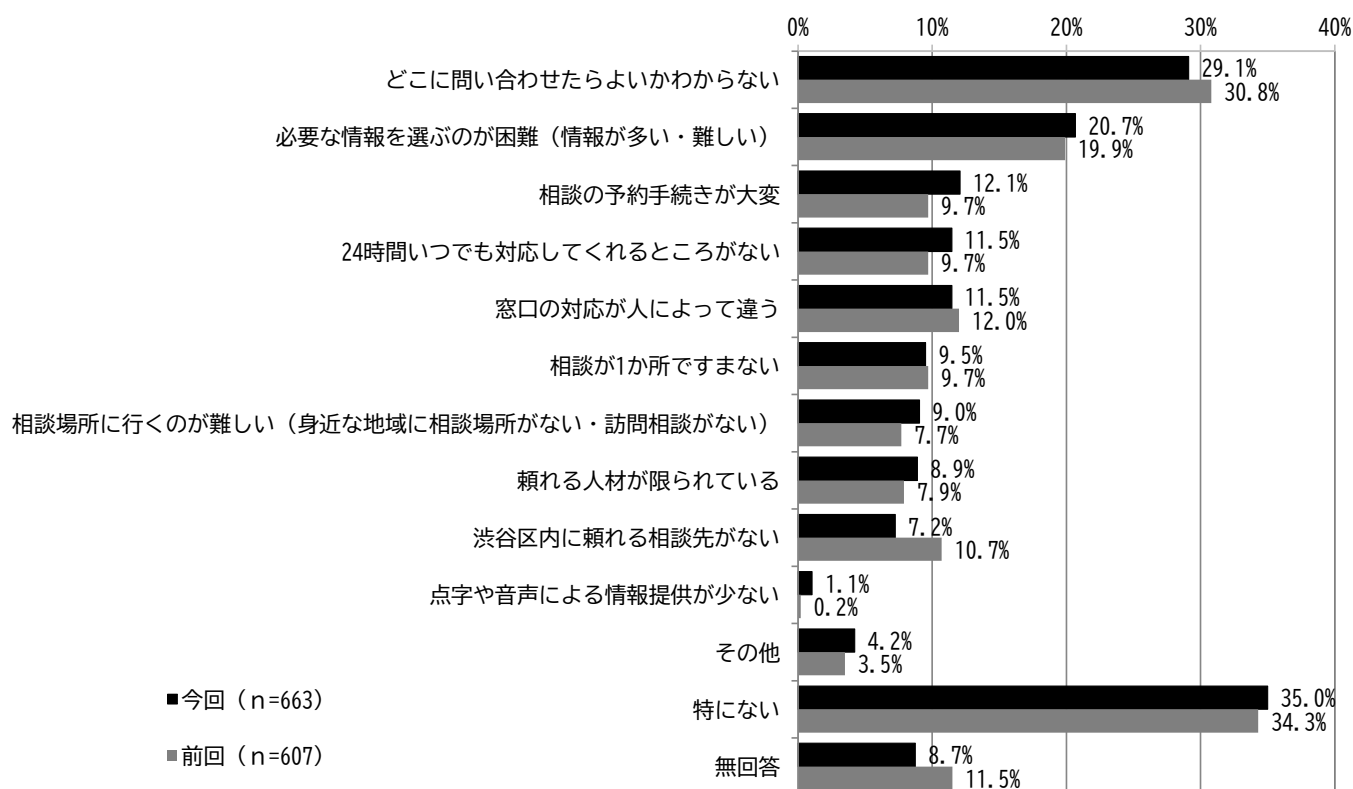
区分	回答者数(件)	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	インターネット検索	区ニュース	区ホームページ	区SNS(LINE、Xなど)	障がい者福祉のてびき	家族・親族・知人	障がい者福祉課の窓口	保健所・保健相談所・保健師	
全体	663	22.6%	47.4%	30.6%	20.2%	13.0%	13.4%	21.0%	15.1%	1.8%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%
	20代	71	19.7%	42.3%	23.9%	14.1%	8.5%	15.5%	36.6%	19.7%	1.4%
	30代	88	9.1%	48.9%	22.7%	22.7%	13.6%	10.2%	27.3%	14.8%	0.0%
	40代	148	19.6%	45.3%	29.7%	13.5%	16.9%	12.8%	18.2%	10.1%	2.7%
	50代	221	28.5%	48.9%	34.4%	21.3%	13.1%	11.8%	15.8%	17.2%	1.8%
	60代(60～64歳)	109	28.4%	49.5%	36.7%	29.4%	8.3%	19.3%	17.4%	14.7%	1.8%
障がい種別	無回答	19	21.1%	36.8%	26.3%	26.3%	10.5%	26.3%	15.8%	5.3%	
	視覚障がい	34	26.5%	50.0%	20.6%	29.4%	11.8%	8.8%	29.4%	14.7%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	10.3%	58.6%	41.4%	31.0%	3.4%	13.8%	10.3%	10.3%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	12.5%	50.0%	37.5%	37.5%	25.0%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%
	肢体不自由	110	30.0%	50.9%	34.5%	25.5%	20.9%	20.9%	20.9%	16.4%	0.9%
	内部障がい	109	28.4%	62.4%	31.2%	31.2%	13.8%	24.8%	17.4%	12.8%	0.9%
	知的障がい	119	18.5%	21.8%	36.1%	10.9%	8.4%	19.3%	41.2%	20.2%	1.7%
	発達障がい	88	13.6%	39.8%	22.7%	13.6%	13.6%	14.8%	27.3%	18.2%	1.1%
	精神障がい	174	20.1%	44.8%	26.4%	17.2%	15.5%	8.6%	14.9%	16.7%	4.6%
	高次脳機能障がい	12	16.7%	33.3%	25.0%	16.7%	25.0%	8.3%	41.7%	33.3%	0.0%
	難病	125	27.2%	63.2%	35.2%	20.0%	13.6%	8.8%	12.8%	11.2%	0.8%
	その他	9	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%
	無回答	15	26.7%	33.3%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	26.7%	20.0%	0.0%

区分	回答者数(件)	障がい者団体・患者会・家族会	身体障害者相談員・知的障害者相談員	計画相談支援事業所・居宅介護支援事業所	福祉サービスを提供する事業所	病院・医師や看護師	クチコミ(利用している人から)	勉強会・講座・研修	その他	特に情報は得ていない	無回答
全体	663	4.4%	1.7%	4.7%	10.3%	18.1%	4.7%	2.0%	3.9%	8.7%	2.3%
年齢別	10代(18・19歳)	7	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	71	12.7%	4.2%	14.1%	26.8%	14.1%	8.5%	4.2%	4.2%	1.4%
	30代	88	3.4%	2.3%	8.0%	11.4%	18.2%	3.4%	0.0%	2.3%	1.1%
	40代	148	6.1%	2.0%	3.4%	9.5%	16.2%	2.7%	2.7%	3.4%	2.7%
	50代	221	1.8%	0.0%	3.2%	7.2%	18.6%	5.4%	1.8%	5.0%	1.4%
	60代(60～64歳)	109	2.8%	0.9%	1.8%	4.6%	23.9%	5.5%	0.9%	4.6%	4.6%
障がい種別	無回答	19	0.0%	10.5%	0.0%	10.5%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%
	視覚障がい	34	8.8%	0.0%	2.9%	5.9%	20.6%	2.9%	2.9%	5.9%	11.8%
	聴覚・平衡機能障がい	29	3.4%	3.4%	0.0%	3.4%	10.3%	0.0%	0.0%	3.4%	6.9%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	2.7%	1.8%	5.5%	10.9%	14.5%	3.6%	0.9%	7.3%	4.5%
	内部障がい	109	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	22.9%	2.8%	0.9%	1.8%	8.3%
	知的障がい	119	17.6%	4.2%	12.6%	31.1%	6.7%	6.7%	5.0%	2.5%	5.9%
	発達障がい	88	6.8%	3.4%	11.4%	25.0%	20.5%	9.1%	4.5%	5.7%	11.4%
	精神障がい	174	0.6%	1.1%	5.2%	9.2%	23.0%	4.6%	2.9%	5.2%	8.6%
	高次脳機能障がい	12	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	難病	125	0.0%	1.6%	4.0%	4.0%	27.2%	4.8%	0.0%	2.4%	11.2%
	その他	9	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	無回答	15	0.0%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 14(3)相談先について困っていることはありますか。(あてはまるすべてに○)

- ・相談先について困っていることは、「どこに問い合わせたらよいかわからない」が 29.1%、次いで「必要な情報を選ぶのが困難」が 20.7%、「相談の予約手続きが大変」が 12.1%となっています。一方、「特になし」は 35.0%です。
- ・前回調査と比較すると、「渋谷区内に頼れる相談先がない」は 3.5 ポイント低くなっていますが、「相談の予約手続きが大変」は 2.4 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、10代、40代で「どこに問い合わせたらよいかわからない」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、精神障がいで「どこに問い合わせたらよいかわからない」の比率が高くなっています。



- ※その他の記入内容(抜粋)
- ・相談所に行くのに抵抗がある
 - ・信頼できる人がいない

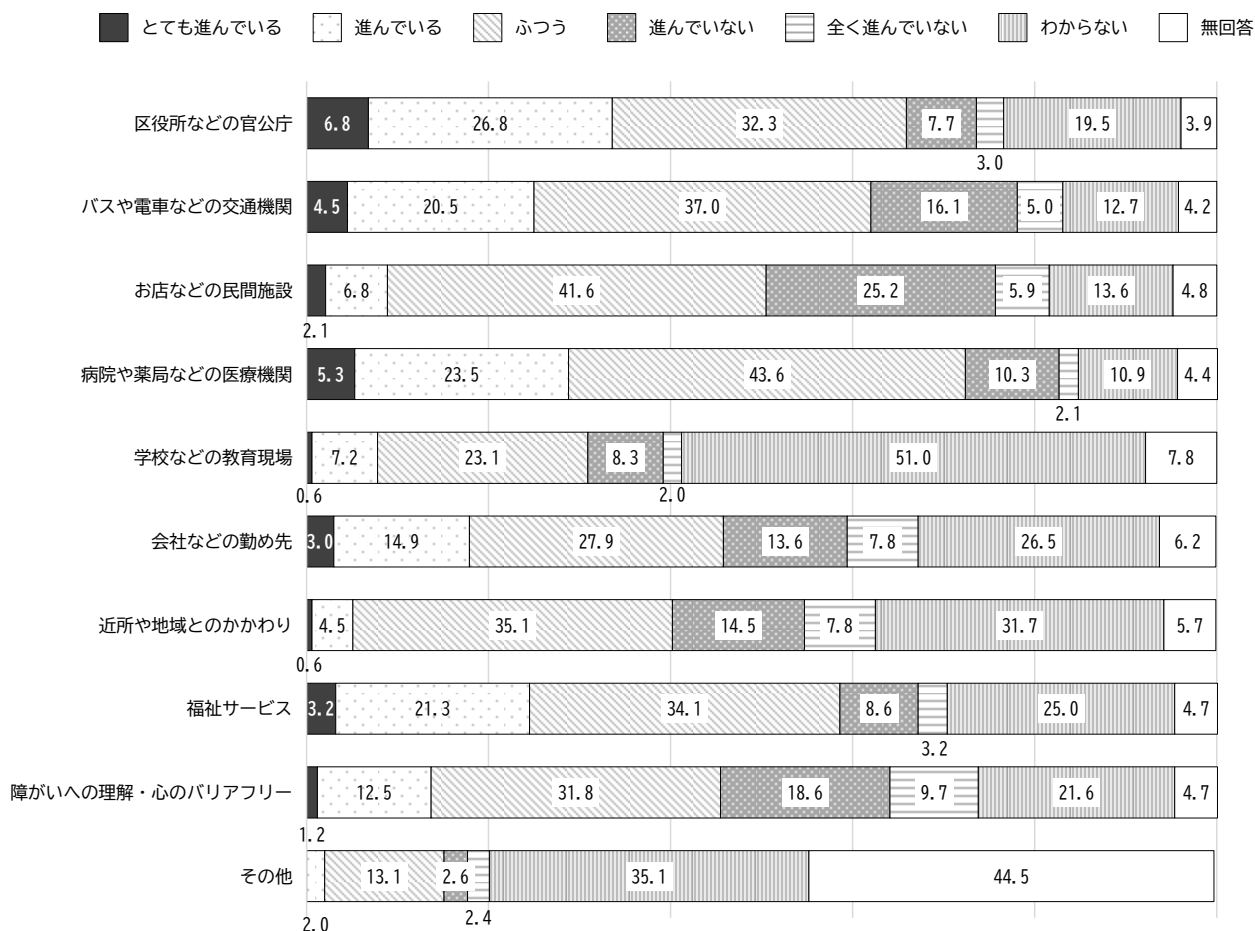
区分	回答数(人)	どこに問い合わせたらよいかわからない	(情報が多し・難しい)	必要な情報を選ぶのが困難	(身近な地域に相談場所がない・訪問相談がない)	渋谷区内に頼れる相談先がない	相談が1か所ですまない	相談の予約手続きが大変	24時間いつでも対応してくれるところがない	点字や音声による情報提供が少ない	頼れる人材に限られている	窓口の対応が人によって違う	その他	特になし	無回答
全体	663	29.1%	20.7%	9.0%	7.2%	9.5%	12.1%	11.5%	1.1%	8.9%	11.5%	4.2%	35.0%	8.7%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
	20代	71	18.3%	22.5%	12.7%	4.2%	9.9%	12.7%	11.3%	0.0%	15.5%	15.5%	4.2%	38.0%	7.0%
	30代	88	20.5%	27.3%	5.7%	8.0%	4.5%	13.6%	11.4%	0.0%	13.6%	8.0%	3.4%	34.1%	6.8%
	40代	148	35.1%	20.9%	10.1%	8.8%	11.5%	13.5%	12.2%	0.0%	8.8%	15.5%	1.4%	28.4%	11.5%
	50代	221	31.2%	20.8%	8.6%	8.6%	9.0%	9.5%	10.0%	1.8%	7.2%	11.8%	5.9%	39.4%	6.3%
	60代(60~64歳)	109	29.4%	12.8%	8.3%	2.8%	11.9%	11.0%	13.8%	2.8%	5.5%	6.4%	5.5%	35.8%	11.0%
障がい種別	無回答	19	31.6%	21.1%	10.5%	15.8%	5.3%	21.1%	5.3%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	26.3%	21.1%
	視覚障がい	34	50.0%	26.5%	17.6%	14.7%	11.8%	5.9%	14.7%	17.6%	20.6%	14.7%	2.9%	26.5%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	13.8%	24.1%	17.2%	6.9%	10.3%	10.3%	24.1%	3.4%	3.4%	13.8%	6.9%	31.0%	10.3%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%
	肢体不自由	110	30.9%	20.9%	13.6%	8.2%	12.7%	13.6%	11.8%	0.0%	9.1%	13.6%	7.3%	32.7%	13.6%
	内部障がい	109	27.5%	21.1%	9.2%	3.7%	13.8%	11.0%	12.8%	0.0%	5.5%	9.2%	1.8%	36.7%	7.3%
	知的障がい	119	20.2%	16.8%	8.4%	2.5%	7.6%	12.6%	10.9%	0.0%	16.8%	10.1%	5.9%	32.8%	13.4%
	発達障がい	88	29.5%	25.0%	11.4%	10.2%	12.5%	9.1%	15.9%	0.0%	19.3%	17.0%	10.2%	30.7%	8.0%
	精神障がい	174	35.1%	24.1%	10.9%	13.2%	13.2%	16.1%	11.5%	0.0%	12.6%	15.5%	6.3%	29.9%	6.3%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	41.7%	16.7%
	難病	125	27.2%	19.2%	9.6%	4.8%	4.8%	12.8%	12.0%	0.0%	4.0%	8.0%	4.0%	39.2%	7.2%
	その他	9	44.4%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%
	無回答	15	40.0%	26.7%	6.7%	13.3%	6.7%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

(6) 権利擁護について

問 15 平成 28 年(2016 年)4月から「障害者差別解消法」が施行されました。
 令和6年(2024 年)4月からは「改正障害者差別解消法」が施行され、事業者の合理的配慮の提供も義務化されました。
 あなたの経験や感じていることについておたずねします。
 (1) 渋谷区内の次の分野や場所について、障がいのある人への配慮がどのくらい進んでいると感じますか。(それぞれ1つに○)

- ・障がいのある人への配慮がどのくらい進んでいるかについて、「とても進んでいる」と「進んでいる」の回答比率は、「区役所などの官公庁」で33.6%、次いで「病院や薬局などの医療機関」が 28.8%、「バスや電車などの交通機関」が 25.0%などとなっています。
- ・「進んでいない」と「全く進んでいない」の回答比率は、「お店などの民間施設」で 31.1%、次いで「障がいへの理解・心のバリアフリー」が28.3%、「近所や地域とのかかわり」が 22.3%などとなっています。
- ・前回調査との比較では、「進んでいない」と「全く進んでいない」の回答比率では、「近所や地域とのかかわり」では 8.3 ポイント低下しています。
- ・障がい種別では、「進んでいない」と「全く進んでいない」の回答比率では、視覚障がいの人は「お店などの民間施設」が 52.9%と高く、次いで「聴覚・平衡機能障がい」の人の「障がいへの理解・心のバリアフリー」が 44.8%と高くなっています。



「とても進んでいる」と「進んでいる」(高い順)

「進んでいない」と「全く進んでいない」(高い順)

1 全体

	今回	前回
1 区役所などの官公庁	33.6%	38.4%
2 病院や薬局などの医療機関	28.8%	32.1%
3 バスや電車などの交通機関	25.0%	21.9%

	今回	前回
1 お店などの民間施設	31.1%	28.9%
2 障がいへの理解・心のバリアフリー	28.2%	30.6%
3 近所や地域とのかかわり	22.3%	30.6%

2 視覚障がい

1 区役所などの官公庁	41.2%
2 バスや電車などの交通機関	29.4%
3 病院や薬局などの医療機関	26.5%

1 お店などの民間施設	52.9%
2 障がいへの理解・心のバリアフリー	35.3%
3 バスや電車などの交通機関	32.4%

3 聴覚・平衡機能障がい

1 病院や薬局などの医療機関	31.0%
2 バスや電車などの交通機関	27.6%
3 区役所などの官公庁	24.1%

1 障がいへの理解・心のバリアフリー	44.8%
2 お店などの民間施設	41.4%
3 近所や地域とのかかわり	34.5%

4 音声・言語・そしゃく機能障がい

1 区役所などの官公庁	50.0%
2 病院や薬局などの医療機関	37.5%
2 福祉サービス	37.5%

1 会社などの勤め先	37.5%
1 障がいへの理解・心のバリアフリー	37.5%
3 お店などの民間施設	25.0%

5 肢体不自由

1 区役所などの官公庁	37.3%
2 病院や薬局などの医療機関	34.5%
3 福祉サービス	24.5%

1 お店などの民間施設	31.8%
2 障がいへの理解・心のバリアフリー	30.0%
3 バスや電車などの交通機関	27.3%

6 内部障がい

1 区役所などの官公庁	43.1%
2 病院や薬局などの医療機関	32.1%
3 福祉サービス	26.6%

1 お店などの民間施設	35.8%
2 会社などの勤め先	26.6%
3 バスや電車などの交通機関	22.0%

「とても進んでいる」と「進んでいる」(高い順)

「進んでいない」と「全く進んでいない」(高い順)

7 知的障がい

1	区役所などの官公庁	29.4%
2	福祉サービス	28.6%
3	会社などの勤め先	26.9%

1	障がいへの理解・心のバリアフリー	24.4%
2	近所や地域とのかかわり	19.3%
3	お店などの民間施設	18.5%

8 発達障がい

1	福祉サービス	28.4%
2	区役所などの官公庁	27.3%
3	病院や薬局などの医療機関	25.0%

1	障がいへの理解・心のバリアフリー	35.2%
2	お店などの民間施設	29.5%
2	近所や地域とのかかわり	29.5%

9 精神障がい

1	区役所などの官公庁	33.3%
2	病院や薬局などの医療機関	29.9%
3	バスや電車などの交通機関	24.1%

1	障がいへの理解・心のバリアフリー	31.6%
2	お店などの民間施設	29.3%
3	近所や地域とのかかわり	28.2%

10 高次脳機能障がい

1	区役所などの官公庁	25.0%
1	障がいへの理解・心のバリアフリー	25.0%
3	病院や薬局などの医療機関	16.7%

1	バスや電車などの交通機関	16.7%
1	お店などの民間施設	16.7%
1	会社などの勤め先	16.7%

11 難病

1	区役所などの官公庁	34.4%
2	病院や薬局などの医療機関	28.8%
3	バスや電車などの交通機関	27.2%

1	お店などの民間施設	30.4%
2	近所や地域とのかかわり	24.8%
3	障がいへの理解・心のバリアフリー	24.0%

問 15(2)「障がいへの対応がよくない・配慮が進んでいない」と感じられることや場所があれば、くわしくお書きください。

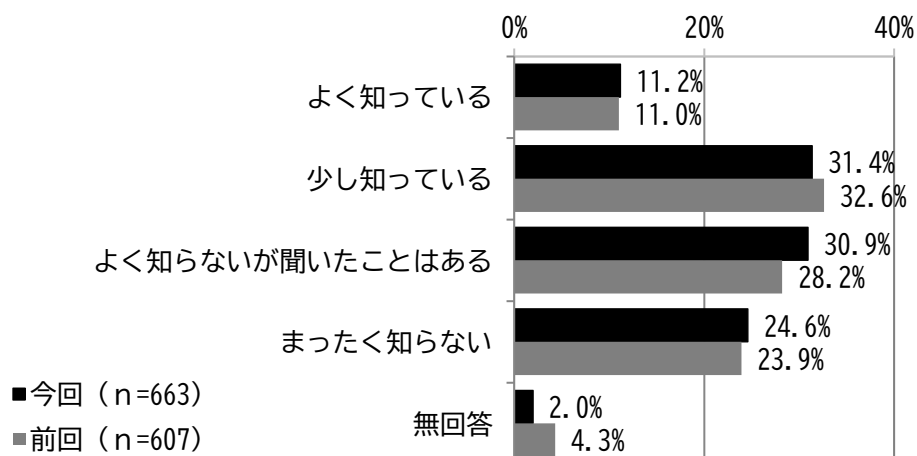
・「障がい者への対応がよくない・配慮が進んでいない」と感じられることや場所について、記述式でたずねたところ、206人から 209 件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
まちの中で (108 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅利用者に対して、設置されているエレベーター数が足りない。エレベーターがない。(9件) ・駅構内や駅周辺(特に混雑に関する意見)。(12件) ・電車やバス等の公共交通機関の車内(特に優先席に関する意見)。(20件) ・車椅子でのタクシー利用対策をしてほしい。 ・駐車場が少ない。(2 件) ・街中の階段や坂、凸凹道、幅員がせまい道、信号のない通り。(13件) ・飲食店での店員の対応。 ・バリアフリーが進んでいないお店や飲食店。(4件) ・飲食店の看板が点字ブロックにかかっている危険。 ・公衆トイレが少ない、使いにくい。(3件) ・病院での対応。(3件) ・休憩スポットが欲しい。(3件)
障がいへの理解 (29件)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆談をしてくれず、会話をあきらめられた。 ・障がいに対し偏見の目を感じる。(2 件) ・インターネットなどのコメント欄。 ・障がい者への接し方の理解が進んでいない。 ・障がいへの理解やヘルプマークの浸透度が低い。 ・外見からは分からない障がいは、理解されにくい。(4件) ・容姿に関する差別。
区役所などの官公庁 (20 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り組織なため、相談をしても担当部署をたらい回しされた。(2 件) ・各種申請方法が分かりにくい。(2件) ・窓口担当者の配慮不足。(5 件) ・相談窓口の営業時間が限定的。平日働いていると、アクセスできない。 ・マイナンバーカードの連携を進めてほしい。
会社などの勤め先 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが就労継続支援 B 型事業所で働いているが、平日昼間に呼び出されることもあり、親はフルタイムで仕事することが難しい。 ・障がいがあると雇用されない。(2 件) ・職場内の人間関係。 ・再就職や復職できる支援施設が少ない。
サービス提供場所 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れてくれる場所が少ない。 ・グループホームが少ない
学校教育について (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の対応。 ・教員や生徒に対し、障がい理解や障がい者への配慮に関する知識を習得させてほしい。
その他 (32件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい当事者同士の交流がない。 ・近所、地域での交流がない。(2 件) ・電子化は障がい者にはハードルが高い。

問 16 成年後見制度についておたずねします。

(1)あなたは、判断能力が十分でない方の権利を守る「成年後見制度」について知っていますか。
(1つに○)

- ・成年後見制度は、「よく知っている」が 11.2%、「**少し知っている**」が **31.4%**に対し、「よく知らないが聞いたことはある」は 30.9%、「まったく知らない」は 24.6%となっており、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている』は 42.6%です。
- ・前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。
- ・年齢別では、10 代、20 代で「まったく知らない」が、50 代、60 代で「少し知っている」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、発達障がい、精神障がいで「よく知らないが聞いたことはある」の比率が少し高くなっています。

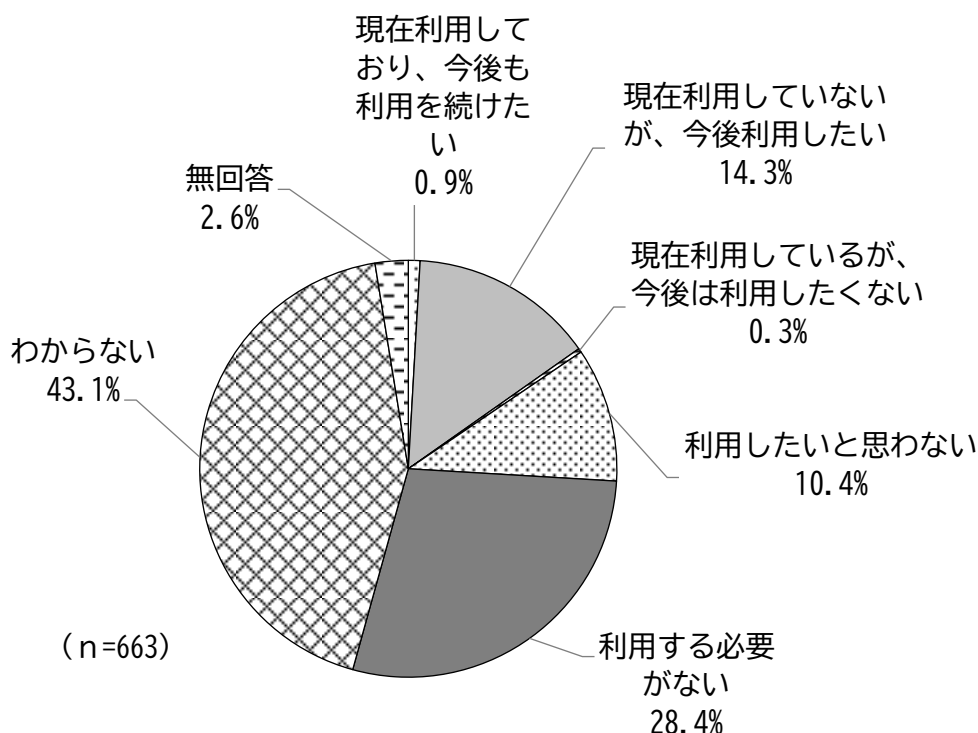


区分	回答数 (人)	よく知っている	少し知っている	よく知らないが聞いたことはある	まったく知らない	無回答	
全体	663	11.2%	31.4%	30.9%	24.6%	2.0%	
年齢別	10代 (18・19歳)	7	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
	20代	71	7.0%	26.8%	26.8%	39.4%	0.0%
	30代	88	9.1%	23.9%	34.1%	31.8%	1.1%
	40代	148	10.1%	32.4%	33.1%	21.6%	2.7%
	50代	221	13.6%	33.5%	26.2%	24.9%	1.8%
	60代 (60～64歳)	109	13.8%	34.9%	33.9%	13.8%	3.7%
	無回答	19	5.3%	42.1%	47.4%	5.3%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	34	14.7%	29.4%	38.2%	14.7%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	20.7%	34.5%	24.1%	20.7%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	肢体不自由	110	13.6%	35.5%	29.1%	18.2%	3.6%
	内部障がい	109	12.8%	38.5%	32.1%	15.6%	0.9%
	知的障がい	119	8.4%	33.6%	31.1%	25.2%	1.7%
	発達障がい	88	8.0%	27.3%	35.2%	29.5%	0.0%
	精神障がい	174	8.0%	29.3%	30.5%	29.9%	2.3%
	高次脳機能障がい	12	8.3%	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%
	難病	125	9.6%	34.4%	32.0%	23.2%	0.8%
	その他	9	0.0%	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%
無回答	15	13.3%	40.0%	0.0%	40.0%	6.7%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 16(2)あなたは、成年後見制度を利用したい(利用を続けたい)と思いますか。
(1つに○)

- ・成年後見制度を利用したいと思うかは、「現在利用しており、今後も利用を続けたい」が 0.9%、「現在利用していないが、今後利用したい」が 14.3%に対し、「利用したいと思わない」が10.4%、「利用する必要がない」が28.4%、「わからない」が43.1%となっています。
- ・障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がい、発達障がい、「現在利用していないが、今後利用したい」の比率がやや高くなっています。



区分	回答数 (人)	現在利用しており、今後も利用を続けたい	現在利用していないが、今後利用したい	現在利用しているが、今後は利用したくない	利用したいと思わない	利用する必要がない	わからない	無回答	
全体	663	0.9%	14.3%	0.3%	10.4%	28.4%	43.1%	2.6%	
年齢別	10代 (18・19歳)	7	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%
	20代	71	2.8%	15.5%	1.4%	8.5%	11.3%	60.6%	0.0%
	30代	88	0.0%	9.1%	0.0%	8.0%	29.5%	51.1%	2.3%
	40代	148	1.4%	16.9%	0.0%	9.5%	33.8%	36.5%	2.0%
	50代	221	0.9%	12.7%	0.0%	11.3%	29.0%	43.0%	3.2%
	60代 (60～64歳)	109	0.0%	15.6%	0.9%	11.0%	30.3%	38.5%	3.7%
無回答	19	0.0%	21.1%	0.0%	21.1%	31.6%	21.1%	5.3%	
障がい種別	視覚障がい	34	0.0%	8.8%	0.0%	8.8%	38.2%	38.2%	5.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	0.0%	10.3%	0.0%	17.2%	41.4%	31.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	肢体不自由	110	0.0%	13.6%	0.0%	9.1%	33.6%	38.2%	5.5%
	内部障がい	109	0.0%	12.8%	0.9%	11.9%	40.4%	33.0%	0.9%
	知的障がい	119	2.5%	26.9%	0.8%	14.3%	5.9%	47.1%	2.5%
	発達障がい	88	3.4%	19.3%	0.0%	12.5%	12.5%	50.0%	2.3%
	精神障がい	174	1.1%	13.8%	0.0%	11.5%	23.6%	47.1%	2.9%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	8.3%
	難病	125	0.0%	12.8%	0.0%	3.2%	38.4%	45.6%	0.0%
	その他	9	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%
無回答	15	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%	13.3%	46.7%	6.7%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

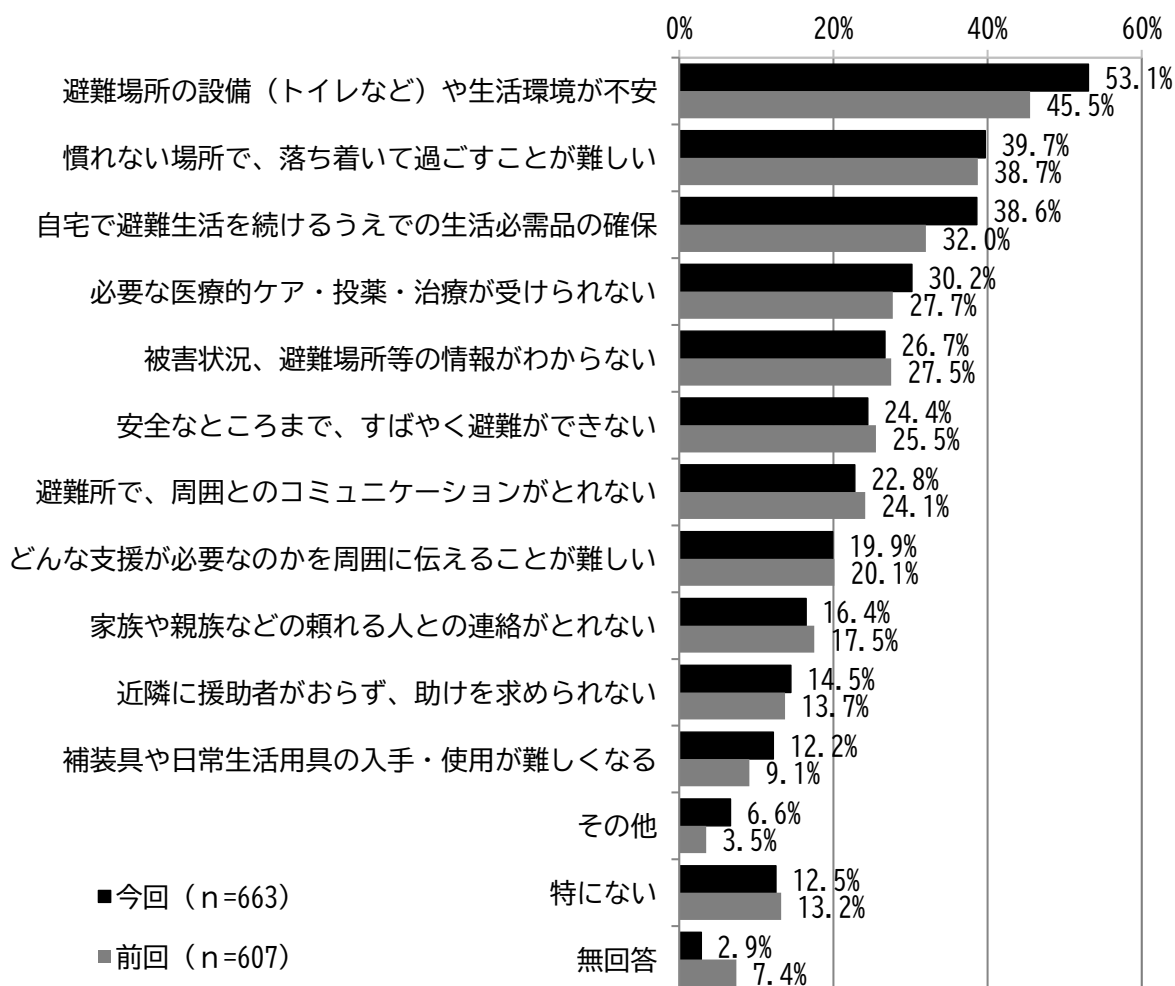
(7)防災について

問 17 防災についておたずねします。

災害からあなたや家族の命を守るうえで、困ることや不安なことはありますか。

(あてはまるすべてに○)

- ・災害からあなたや家族の命を守るうえで困ることや不安なことは、「避難場所の設置(トイレなど)や生活環境が不安」が 53.1%と最も高く、次いで「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」が 39.7%、「自宅で避難生活を続けるうえでの生活必需品の確保」が 38.6%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が 7.6 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、10 代、20 代で「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、知的障がい、精神障がいで「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」の比率が、聴覚・平衡機能障がいで「被害状況、避難場所等の情報がわからない」、「避難所で周囲とのコミュニケーションがとれない」の比率が最も高くなっています。



区分	回答数(人)	被害状況、避難場所等の情報がわからない	避難所で、周囲とのコミュニケーションがとれない	慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい	どんな支援が必要なのかを周囲に伝えることが難しい	家族や親族などの頼れる人との連絡がとれない	避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安	自宅で避難生活を続けるうえで生活必需品の確保	近隣に援助者がおらず、助けを求められない	安全なところまで、すばやく避難ができない	必要な医療的ケア・投薬・治療が受けられない	補装具や日常生活用具の入手・使用が難しくなる	その他	特になし	無回答	
全体	663	26.7%	22.8%	39.7%	19.9%	16.4%	53.1%	38.6%	14.5%	24.4%	30.2%	12.2%	6.6%	12.5%	2.9%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	0.0%	57.1%	57.1%	14.3%	42.9%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	
	20代	71	33.8%	45.1%	49.3%	36.6%	25.4%	42.3%	31.0%	12.7%	22.5%	18.3%	5.6%	1.4%	11.3%	1.4%
	30代	88	23.9%	27.3%	48.9%	26.1%	15.9%	50.0%	33.0%	12.5%	27.3%	9.1%	5.7%	14.8%	2.3%	
	40代	148	23.6%	16.9%	39.9%	19.6%	18.2%	56.8%	39.2%	13.5%	20.9%	35.1%	9.5%	4.7%	11.5%	3.4%
	50代	221	26.2%	17.2%	29.9%	14.9%	14.5%	51.6%	39.4%	18.6%	31.2%	33.9%	14.9%	9.0%	13.6%	3.6%
	60代(60~64歳)	109	30.3%	19.3%	43.1%	13.8%	11.9%	59.6%	43.1%	9.2%	26.6%	27.5%	18.3%	10.1%	11.0%	2.8%
	無回答	19	31.6%	36.8%	47.4%	26.3%	10.5%	63.2%	57.9%	21.1%	26.3%	26.3%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	34	29.4%	17.6%	41.2%	5.9%	8.8%	55.9%	35.3%	17.6%	38.2%	23.5%	14.7%	5.9%	17.6%	5.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	51.7%	51.7%	34.5%	13.8%	6.9%	34.5%	37.9%	13.8%	13.8%	10.3%	27.6%	13.8%	13.8%	3.4%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	37.5%	50.0%	75.0%	12.5%	87.5%	37.5%	25.0%	50.0%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	24.5%	13.6%	32.7%	20.0%	14.5%	59.1%	44.5%	16.4%	58.2%	24.5%	28.2%	7.3%	9.1%	3.6%
	内部障がい	109	23.9%	7.3%	30.3%	13.8%	13.8%	60.6%	42.2%	8.3%	23.9%	42.2%	21.1%	7.3%	16.5%	1.8%
	知的障がい	119	31.1%	43.7%	52.9%	41.2%	26.1%	45.4%	30.3%	15.1%	31.9%	20.2%	5.0%	2.5%	9.2%	3.4%
	発達障がい	88	25.0%	37.5%	54.5%	36.4%	18.2%	56.8%	36.4%	23.9%	26.1%	36.4%	10.2%	6.8%	12.5%	2.3%
	精神障がい	174	28.7%	23.6%	51.7%	17.2%	16.1%	51.1%	42.0%	21.3%	12.6%	39.1%	6.9%	9.2%	8.0%	3.4%
	高次脳機能障がい	12	25.0%	8.3%	33.3%	33.3%	8.3%	50.0%	41.7%	16.7%	41.7%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%
	難病	125	20.8%	14.4%	30.4%	8.8%	16.8%	65.6%	40.8%	9.6%	21.6%	42.4%	11.2%	9.6%	12.8%	0.0%
その他	9	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	33.3%	55.6%	22.2%	22.2%	33.3%	66.7%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	
無回答	15	26.7%	40.0%	40.0%	26.7%	13.3%	60.0%	53.3%	6.7%	13.3%	20.0%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

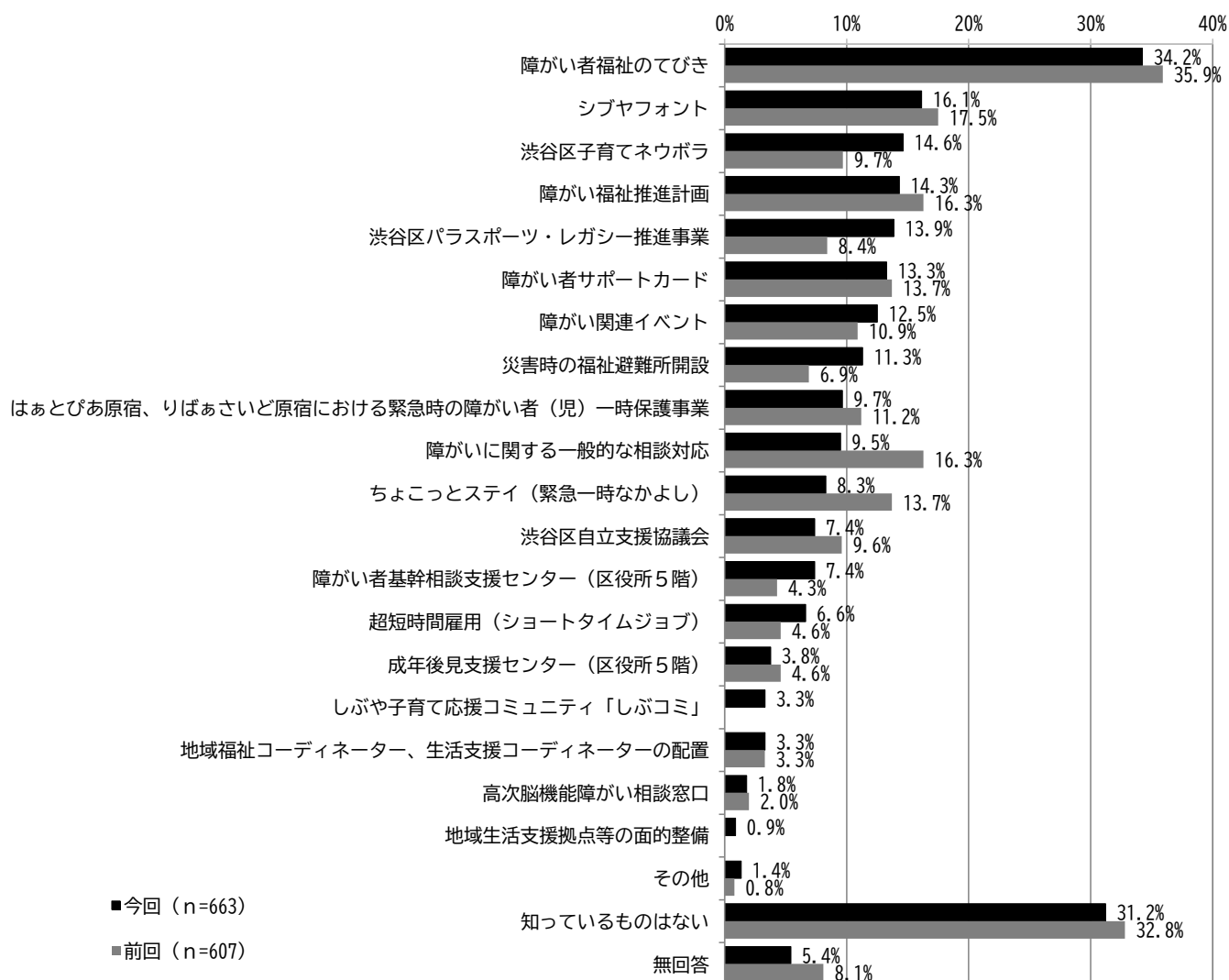
(8) 渋谷区で自分らしく生きるために

問 18 渋谷区の施策についておたずねします。

(1) 渋谷区が実施している以下の施策や取組みで知っているものに○をつけてください。

(あてはまるすべてに○)

- ・渋谷区が実施している施策や取組みで知っているものは、「障がい者福祉のてびき」が34.2%と最も高く、次いで「シブヤフォント」が16.1%、「渋谷区子育てネウボラ」が14.6%となっています。一方、「知っているものはない」は31.2%です。
- ・前回調査と比較すると、「渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業」が5.5ポイント、「渋谷区子育てネウボラ」が4.9ポイント高くなっています。全体的に、知らなくても重大な問題が生じにくいサービスや普段利用をしないサービスの周知度が低くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、聴覚・平衡機能障がい、音声・言語、そしゃく機能障がい、肢体不自由、内部障がい、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がいで「障がい者福祉のてびき」、発達障がいで「シブヤフォント」の比率が最も高くなっています。



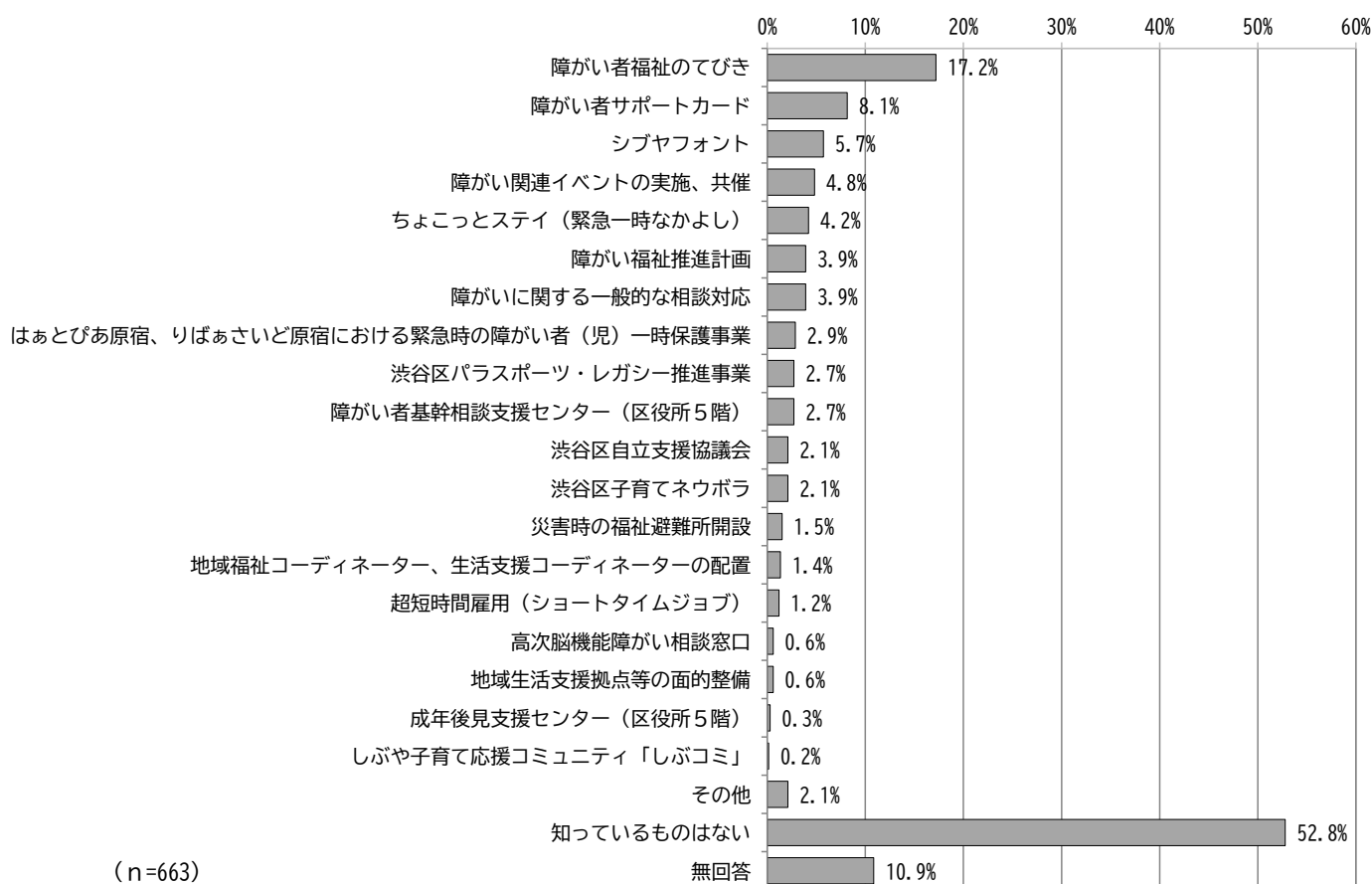
区分	回答者数(件)	障がい福祉推進計画	障がい者福祉のてびき	障がい者サポートカード	シブヤフロント	超短時間雇用(ショートタイムジョブ)	渋谷区自立支援協議会	災害時の福祉避難所開設	ちよこつとステイ(緊急一時なかよし)	緊急時の障がい者(児)一時保護事業	はあとびあ原宿、 りばあさいど原宿における	障がい関連イベント	渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業
全体	663	14.3%	34.2%	13.3%	16.1%	6.6%	7.4%	11.3%	8.3%	9.7%	12.5%	13.9%	
障がい種別	視覚障がい	34	8.8%	38.2%	2.9%	5.9%	5.9%	2.9%	8.8%	0.0%	0.0%	2.9%	14.7%
	聴覚・平衡機能障がい	29	13.8%	55.2%	6.9%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	10.3%	17.2%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%
	肢体不自由	110	18.2%	50.0%	10.9%	10.0%	4.5%	6.4%	12.7%	5.5%	7.3%	11.8%	14.5%
	内部障がい	109	11.0%	49.5%	7.3%	7.3%	2.8%	3.7%	2.8%	0.9%	1.8%	7.3%	12.8%
	知的障がい	119	26.1%	47.9%	40.3%	42.9%	20.2%	13.4%	31.9%	34.5%	32.8%	35.3%	17.6%
	発達障がい	88	12.5%	31.8%	23.9%	34.1%	13.6%	12.5%	17.0%	17.0%	21.6%	18.2%	10.2%
	精神障がい	174	10.3%	18.4%	8.0%	12.6%	6.9%	9.2%	6.3%	5.2%	6.9%	9.8%	9.8%
	高次脳機能障がい	12	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	難病	125	13.6%	24.8%	5.6%	7.2%	0.0%	4.0%	8.0%	3.2%	2.4%	4.8%	14.4%
	その他	9	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%
無回答	15	13.3%	26.7%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	20.0%	13.3%	26.7%	6.7%	6.7%	

区分	回答者数(件)	障がいに関する一般的な相談対応	渋谷区子育てネウボラ	「しびや子育て応援コミュニケーション」	障がい者基幹相談支援センター(区役所5階)	高次脳機能障がい相談窓口	成年後見支援センター(区役所5階)	地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーターの配置	地域生活支援拠点等の面的整備	その他	知っているものはない	無回答	
全体	663	9.5%	14.6%	3.3%	7.4%	1.8%	3.8%	3.3%	0.9%	1.4%	31.2%	5.4%	
障がい種別	視覚障がい	34	5.9%	8.8%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	5.9%	29.4%	11.8%	
	聴覚・平衡機能障がい	29	6.9%	13.8%	3.4%	3.4%	0.0%	6.9%	3.4%	3.4%	24.1%	0.0%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%	
	肢体不自由	110	11.8%	10.0%	1.8%	10.9%	4.5%	3.6%	3.6%	0.9%	0.0%	26.4%	6.4%
	内部障がい	109	3.7%	9.2%	3.7%	4.6%	1.8%	2.8%	1.8%	0.0%	0.0%	30.3%	6.4%
	知的障がい	119	13.4%	11.8%	3.4%	15.1%	2.5%	9.2%	5.9%	2.5%	2.5%	13.4%	2.5%
	発達障がい	88	17.0%	18.2%	2.3%	11.4%	1.1%	6.8%	6.8%	2.3%	2.3%	26.1%	2.3%
	精神障がい	174	10.9%	15.5%	0.6%	3.4%	0.0%	3.4%	1.1%	0.0%	0.6%	38.5%	8.0%
	高次脳機能障がい	12	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	8.3%
	難病	125	6.4%	23.2%	8.0%	4.0%	0.8%	0.8%	3.2%	1.6%	1.6%	42.4%	3.2%
	その他	9	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	22.2%
無回答	15	6.7%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%	13.3%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 18(2) 渋谷区が実施している以下の施策や取組みについて、活用・利用しているものや、参加しているものに○をつけてください。(あてはまるすべてに○)

- ・渋谷区が実施している以下の施策や取組みで活用・利用・参加しているものは、「**障がい者福祉のてびき**」が17.2%、次いで「障がい者サポートカード」が8.1%、「シブヤフォント」が5.7%となっています。一方、「知っているものはない」は52.8%です。
- ・「知っているものはない」の回答割合が高いのは、「難病」が 68.0%、「視覚障がい」が 64.7%となっています。
- ・障がい種別では、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「障がい者福祉のてびき」、知的障がいでは「障がい者サポートカード」の比率が最も高くなっています。



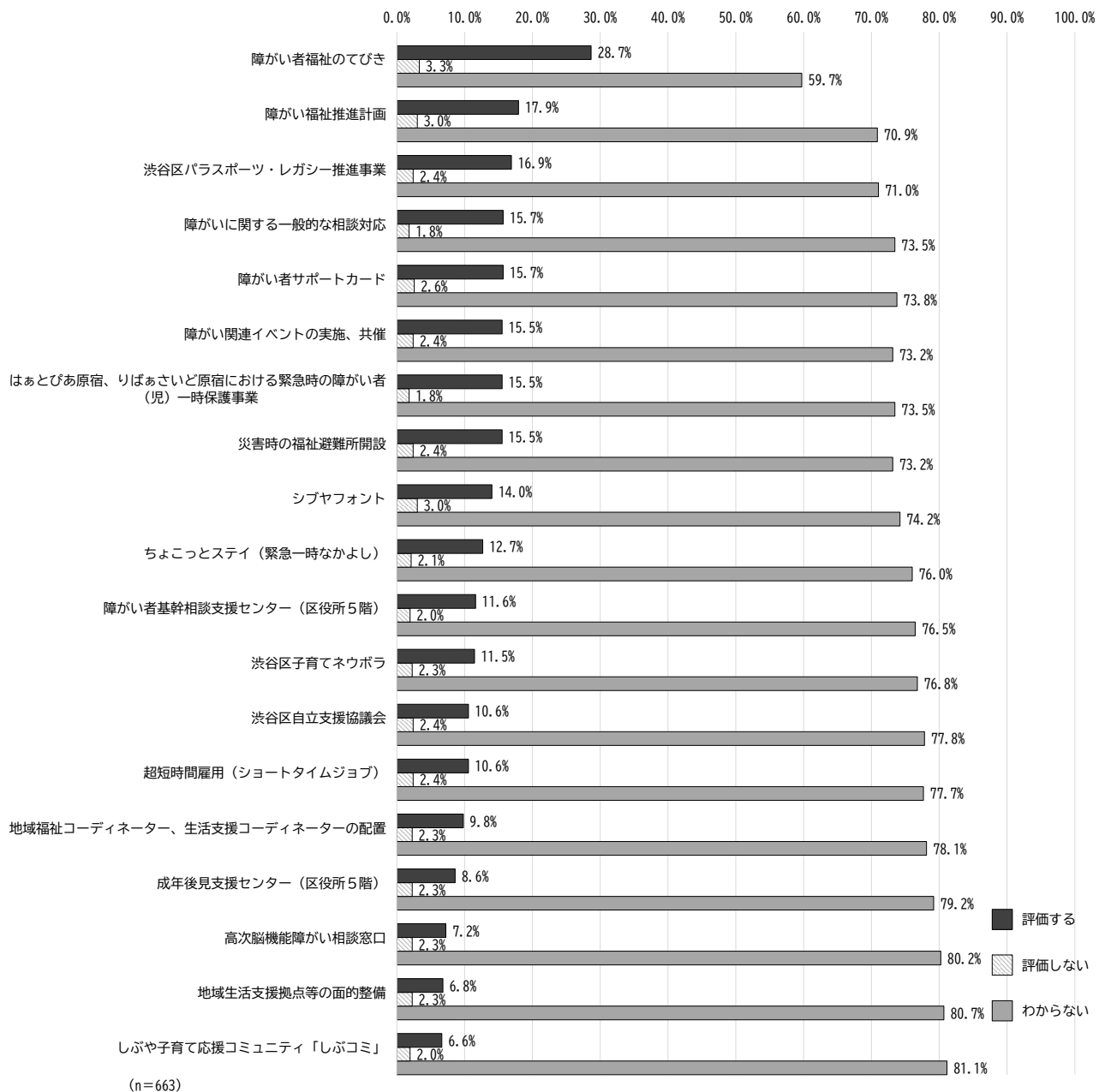
区分	回答者数(件)	障がい福祉推進計画	障がい者福祉のてびき	障がい者サポートカード	シブヤフオント	超短時間雇用(ショートタイムジョブ)	渋谷区自立支援協議会	災害時の福祉避難所開設	ちよこつとステイ(緊急一時なかよし)	緊急時の障がい者(児)一時保護事業	はあとびあ原宿、りばあさいど原宿における	障がい関連イベントの実施、共催	渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業
全体	663	3.9%	17.2%	8.1%	5.7%	1.2%	2.1%	1.5%	4.2%	2.9%	4.8%	2.7%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	71	11.3%	15.5%	22.5%	18.3%	1.4%	2.8%	4.2%	15.5%	9.9%	5.6%	5.6%
	30代	88	3.4%	13.6%	12.5%	8.0%	2.3%	1.1%	2.3%	6.8%	5.7%	6.8%	2.3%
	40代	148	3.4%	15.5%	8.1%	8.8%	2.0%	1.4%	1.4%	6.8%	1.4%	8.1%	4.1%
	50代	221	2.7%	17.2%	3.6%	0.9%	0.5%	2.7%	0.9%	0.0%	1.4%	3.6%	1.4%
	60代(60~64歳)	109	2.8%	23.9%	3.7%	0.9%	0.9%	1.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.8%
障がい種別	無回答	19	5.3%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%
	視覚障がい	34	0.0%	11.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	29	3.4%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	110	3.6%	29.1%	5.5%	0.9%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	0.9%	2.7%
	内部障がい	109	2.8%	31.2%	2.8%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
	知的障がい	119	10.9%	23.5%	29.4%	24.4%	4.2%	2.5%	6.7%	20.2%	9.2%	19.3%	6.7%
	発達障がい	88	4.5%	11.4%	19.3%	14.8%	3.4%	5.7%	3.4%	8.0%	11.4%	8.0%	2.3%
	精神障がい	174	2.9%	8.0%	4.0%	2.9%	0.6%	4.0%	0.0%	2.9%	1.7%	3.4%	2.3%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	125	0.8%	8.0%	2.4%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%
	その他	9	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	15	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	

区分	回答者数(件)	障がいに関する一般的な相談対応	渋谷区子育てネウボラ	「しぶこコミ」	障がい者基幹相談支援センター(区役所5階)	高次脳機能障がい相談窓口	成年後見支援センター(区役所5階)	地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーターの配置	地域生活支援拠点等の面的整備	その他	知っているものはない	無回答	
全体	663	3.9%	2.1%	0.2%	2.7%	0.6%	0.3%	1.4%	0.6%	2.1%	52.8%	10.9%	
年齢別	10代(18・19歳)	7	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	
	20代	71	1.4%	1.4%	0.0%	5.6%	0.0%	1.4%	5.6%	1.4%	45.1%	8.5%	
	30代	88	4.5%	4.5%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	54.5%	9.1%	
	40代	148	3.4%	3.4%	0.7%	2.0%	0.7%	0.7%	1.4%	0.7%	48.6%	14.2%	
	50代	221	4.1%	0.5%	0.0%	2.3%	0.9%	0.0%	1.4%	0.9%	57.9%	8.6%	
	60代(60~64歳)	109	5.5%	0.9%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	53.2%	11.9%	
障がい種別	無回答	19	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%	26.3%	
	視覚障がい	34	5.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	64.7%	14.7%	
	聴覚・平衡機能障がい	29	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	51.7%	6.9%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	
	肢体不自由	110	3.6%	0.9%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	47.3%	14.5%	
	内部障がい	109	0.9%	1.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	53.2%	10.1%	
	知的障がい	119	2.5%	0.8%	0.0%	5.0%	0.0%	0.8%	2.5%	1.7%	4.2%	22.7%	10.9%
	発達障がい	88	9.1%	2.3%	0.0%	5.7%	1.1%	1.1%	4.5%	2.3%	3.4%	44.3%	8.0%
	精神障がい	174	7.5%	2.9%	0.0%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.0%	2.3%	58.0%	10.9%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	58.3%	8.3%
	難病	125	1.6%	4.8%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%	0.8%	0.0%	68.0%	12.0%
	その他	9	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	11.1%
無回答	15	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	46.7%	20.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

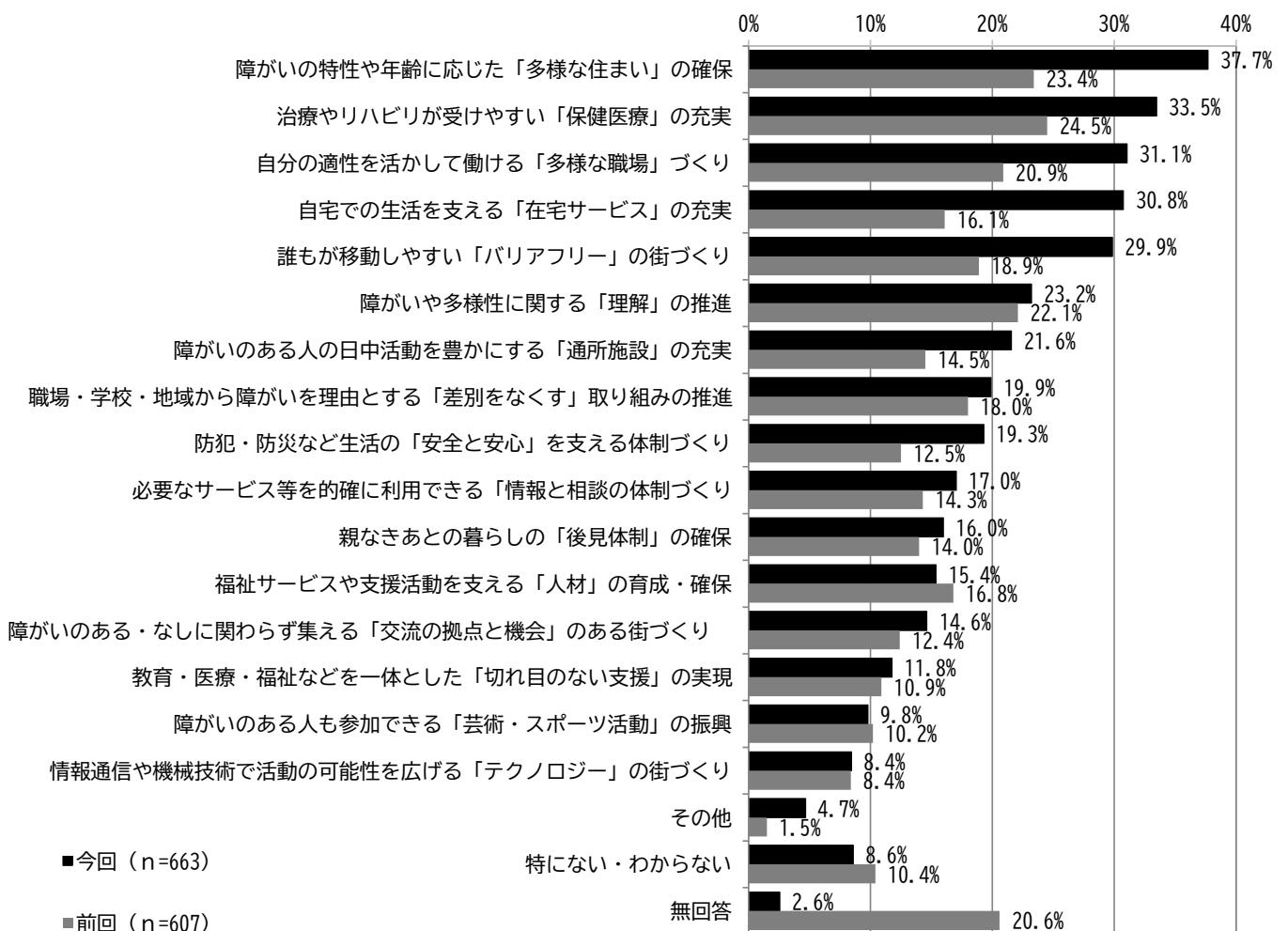
問 18(3)渋谷区が実施している以下の施策や取組みについての評価を教えてください。
(それぞれに1つずつ〇)

- ・施策や取組みごとに評価をうかがい、評価する順にならべると下図のようになります。
- ・「評価する」の回答割合が高いのは、「障がい者福祉のてびき」が 28.7%、次いで「障がい福祉推進計画」が 17.9%となっています。
- ・「評価をしない」の回答割合が高いのは、「障がい者福祉のてびき」が 3.3%、次いで「障がい福祉推進計画」「シブヤフロント」が各々3.0%となっています。



問 18(4)渋谷区で障がいのある人が自分らしく生きていくためには、特にどのような施策を進める必要があると思いますか。(〇は5つまで)

- ・渋谷区で進める必要がある施策は、「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」が37.7%と最も高く、次いで「治療やリハビリが受けやすい「保健医療」の充実」が33.5%、「自分の適性を活かして働ける「多様な職場」づくり」が31.1%などとなっています。一方、「特にない・わからない」は8.6%です。
- ・前回調査と比較すると、「自宅での生活を支える「在宅サービス」の充実」が 14.7 ポイント、「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」が 14.3 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、30 代で「自分の適性を活かして働ける「多様な職場」づくり」、60 代で「治療やリハビリが受けやすい「保健医療」の充実」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、知的障がい、高次脳機能障がいで「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」の比率が高くなっています。
- ・地区別では、北部地区と東部地区で「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」が、西部地区で「治療やリハビリが受けやすい「保健医療」の充実」が、南部地区で「誰もが移動しやすい「バリアフリー」の街づくり」の比率が高くなっています。



区分	回答者数（件）	「治療やリハビリが受けやすい」「保健医療」の充実	「障がいの特性や年齢に応じた」「多様な住まい」の確保	「自宅での生活を支える」「在宅サービス」の充実	「日中活動を豊かにする」「通所施設」の充実	「障がいのある人の」「交流の拠点と機会」のある街づくり	「自分の適性を活かして働ける」「多様な職場」づくり	「障がいのある人も参加できる」「芸術・スポーツ活動」の振興	「誰もが移動ししやすい」「バリアフリー」の街づくり	「活動の可能性を広げる」「テクノロジー」の街づくり	情報通信や機械技術で
全体	663	33.5%	37.7%	30.8%	21.6%	14.6%	31.1%	9.8%	29.9%	8.4%	
年齢別	10代（18・19歳）	7	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	
	20代	71	12.7%	43.7%	22.5%	35.2%	12.7%	36.6%	9.9%	18.3%	4.2%
	30代	88	23.9%	38.6%	22.7%	27.3%	12.5%	43.2%	14.8%	20.5%	8.0%
	40代	148	31.8%	40.5%	25.0%	22.3%	16.9%	39.2%	12.8%	31.1%	10.1%
	50代	221	34.4%	35.3%	32.1%	16.7%	16.7%	25.3%	9.5%	31.7%	8.6%
	60代（60～64歳）	109	51.4%	33.9%	45.0%	17.4%	11.0%	22.0%	2.8%	39.4%	10.1%
地区別	無回答	19	52.6%	36.8%	47.4%	15.8%	15.8%	5.3%	5.3%	42.1%	5.3%
	北部地区	194	29.4%	44.8%	44.8%	27.8%	13.9%	35.6%	12.4%	23.2%	7.7%
	西部地区	183	36.1%	33.9%	26.8%	19.7%	15.8%	35.0%	7.7%	31.7%	7.7%
	東部地区	126	37.3%	44.4%	34.1%	19.8%	15.1%	24.6%	10.3%	31.7%	10.3%
	南部地区	153	33.3%	28.1%	31.4%	18.3%	13.1%	26.8%	8.5%	35.3%	9.2%
無回答	7	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	
障がい種別	視覚障がい	34	23.5%	26.5%	29.4%	2.9%	2.9%	14.7%	11.8%	58.8%	26.5%
	聴覚・平衡機能障がい	29	27.6%	34.5%	31.0%	13.8%	13.8%	24.1%	13.8%	17.2%	10.3%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	75.0%	37.5%	37.5%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	50.0%	12.5%
	肢体不自由	110	52.7%	44.5%	42.7%	15.5%	16.4%	30.0%	5.5%	50.0%	10.0%
	内部障がい	109	44.0%	31.2%	34.9%	9.2%	16.5%	26.6%	9.2%	38.5%	10.1%
	知的障がい	119	15.1%	54.6%	28.6%	44.5%	16.0%	26.1%	14.3%	15.1%	2.5%
	発達障がい	88	18.2%	42.0%	27.3%	35.2%	17.0%	22.7%	11.4%	19.3%	5.7%
	精神障がい	174	33.3%	37.4%	29.3%	24.1%	11.5%	36.2%	8.0%	22.4%	4.6%
	高次脳機能障がい	12	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	25.0%	8.3%
	難病	125	52.0%	31.2%	34.4%	16.0%	13.6%	33.6%	5.6%	37.6%	12.0%
	その他	9	33.3%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%
	無回答	15	13.3%	33.3%	13.3%	20.0%	26.7%	33.3%	0.0%	13.3%	0.0%

区分	回答者数（件）	「障がいや多様性に「理解」の推進	「関する」「理解」の推進	「障がいの特性や年齢に応じた」「多様な住まい」の確保	「自宅での生活を支える」「在宅サービス」の充実	「日中活動を豊かにする」「通所施設」の充実	「障がいのある人の」「交流の拠点と機会」のある街づくり	「自分の適性を活かして働ける」「多様な職場」づくり	「障がいのある人も参加できる」「芸術・スポーツ活動」の振興	「誰もが移動ししやすい」「バリアフリー」の街づくり	「活動の可能性を広げる」「テクノロジー」の街づくり	情報通信や機械技術で
全体	663	19.9%	23.2%	19.3%	17.0%	15.4%	16.0%	11.8%	4.7%	8.6%	2.6%	
年齢別	10代（18・19歳）	7	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	71	22.5%	31.0%	14.1%	9.9%	23.9%	23.9%	12.7%	7.0%	11.3%	4.2%
	30代	88	19.3%	30.7%	14.8%	19.3%	18.2%	17.0%	8.0%	9.1%	8.0%	1.1%
	40代	148	26.4%	23.6%	21.6%	20.3%	12.2%	20.3%	9.5%	4.1%	7.4%	3.4%
	50代	221	16.3%	20.4%	22.2%	14.9%	15.4%	14.9%	14.0%	3.6%	8.1%	2.3%
	60代（60～64歳）	109	15.6%	17.4%	17.4%	21.1%	13.8%	7.3%	12.8%	3.7%	11.0%	2.8%
地区別	無回答	19	21.1%	15.8%	26.3%	15.8%	10.5%	5.3%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%
	北部地区	194	22.2%	20.6%	17.5%	15.5%	14.4%	18.6%	10.3%	4.1%	8.8%	2.1%
	西部地区	183	20.8%	30.1%	21.3%	18.6%	14.8%	12.6%	10.4%	3.8%	7.7%	2.7%
	東部地区	126	15.1%	20.6%	24.6%	17.5%	18.3%	12.7%	13.5%	6.3%	7.9%	2.4%
	南部地区	153	19.0%	21.6%	15.7%	17.0%	15.7%	19.6%	14.4%	5.2%	9.8%	2.0%
無回答	7	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	
障がい種別	視覚障がい	34	17.6%	23.5%	29.4%	32.4%	8.8%	2.9%	8.8%	8.8%	5.9%	2.9%
	聴覚・平衡機能障がい	29	24.1%	17.2%	20.7%	6.9%	13.8%	3.4%	0.0%	20.7%	13.8%	3.4%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
	肢体不自由	110	8.2%	16.4%	17.3%	10.0%	12.7%	11.8%	10.0%	3.6%	5.5%	2.7%
	内部障がい	109	20.2%	13.8%	24.8%	17.4%	10.1%	10.1%	12.8%	3.7%	11.9%	0.9%
	知的障がい	119	20.2%	23.5%	18.5%	16.0%	22.7%	37.0%	10.9%	4.2%	7.6%	4.2%
	発達障がい	88	23.9%	31.8%	9.1%	15.9%	26.1%	23.9%	14.8%	11.4%	9.1%	3.4%
	精神障がい	174	22.4%	29.9%	16.7%	20.7%	18.4%	13.8%	13.8%	4.0%	6.9%	3.4%
	高次脳機能障がい	12	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%
	難病	125	12.8%	22.4%	19.2%	16.8%	16.0%	13.6%	12.8%	1.6%	7.2%	1.6%
	その他	9	22.2%	22.2%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%
	無回答	15	33.3%	53.3%	6.7%	40.0%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 18(5)渋谷区に住んでいて良かったと思ったこと、今後期待することがあれば自由にお書きください。

・渋谷区に住んでいて良かったと思ったこと、今後期待することについて記述式でたずねたところ、354人から405件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

●住んでいて良かったと思ったこと(268件)

分類	内容(抜粋・要約)
立地が良く、利便性が良い (88件)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が便利。(44件) ・ハチ公バスが便利。(5件) ・買い物施設や医療機関が近く便利。(11件) ・暮らしやすい。(2件) ・医療機関や緑・公園、図書館、多様な飲食店が充実している。(4件) ・企業、施設が多い。 ・歩道が広い。 ・区役所へアクセスしやすい。 ・区役所内の動線が分かりやすい。 ・まちがきれい。 ・公共トイレが清潔。 ・学校が近くにある、充実している。(2件)
区への対応や取組み等について (53件)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎となり、窓口が使いやすくなった。(2件) ・対応が親切丁寧。(23件) ・区民サービスセンターにて19時まで手続きを行えるため助かる。 ・多様性に注力され、多種多様な人たちを前向きに受け入れてくれている。(2件) ・デジタル化が進んでいる。(2件) ・先進的な取組みや充実した施設を整えている印象がある。 ・障がい者支援課の窓口がワンストップサービスになったため便利。 ・障がい者施策が他区より充実している。(2件) ・行政サービスが充実している。 ・行政のSNSが使いやすく、分かりやすい。
福祉サービスや支援について (81件)	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体に比べ、助成制度が充実している。 ・以前に比べ福祉サービスが分かりやすくなった。 ・子育て制度が豊富。(5件) ・福祉サービスが充実している。(17件) ・ちょこっとステイがあること。 ・作業所がたくさんある。 ・補装具、理美容券やタクシーチケットがあり助かっている。(7件) ・放課後クラブの利用のしやすさ。 ・都営バス、都営地下鉄のフリーパスはありがたい。 ・通所施設からショートステイ先へバス送迎がありがたい。 ・就労支援センターでよく話をきいてもらっている。
緑地、公園が多い (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と住民が自然と共存できている。 ・緑もあって閑静で、清潔感もあり落ち着いている。 ・緑が多い。(2件)
障がいへの理解が進んでいる (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・デフリンピックでの催しなどを行っているおかげか、以前と比べて障がい理解は進んでいる。 ・優しい人が多い。(3件)
その他 (28件)	<ul style="list-style-type: none"> ・活気があり、若者も多い街だと思う。 ・ハロウィンの沈静化を行ったのは良かった。 ・障がい者対象の成人式フォトサービスに招待されたこと。 ・ベッドタウンとシティセンターの混在が絶妙。

●今後期待すること(137件)

分類	内容(抜粋・要約)
福祉サービスや支援について (48件)	<ul style="list-style-type: none"> ・投薬費が高額なため、サポートがあるとありがたい。 ・今後は親亡き後を考え、グループホームも利用したいがその際の移動支援が不足している。 ・親なき後のグループホームや入所施設が増えるのを期待している。 ・重度の知的障がい者が住めるところを作って欲しい。(2件) ・本人の特性や希望により支援を選べる体制づくりが必要。 ・障がい者が住めるマンションを安く借りられると良い。 ・手話通訳者の常時設置を望む。 ・訪問ヘルパーの人手不足を改善してほしい。 ・人手不足改善のため、介護・医療従事者給与をあげてほしい。 ・配食サービスを充実させてほしい。 ・障がいのある子どもの居場所作り(放課後等デイサービスの拡充など)。 ・障害者雇用の仕事の多様化。 ・障がいを持った親のため、育児支援を充実させてほしい。
街づくりについて (38件)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地区で民泊施設が増えているため、治安が気になる。 ・主要駅から区役所までの直通バスを整備してほしい。 ・都営住宅の再建築よりも民間住宅の賃貸費用への補助や老人ホーム等の施設の充実を期待したい。 ・街の清潔度の向上。ごみのポイ捨てを条例ではなく、罰金にしてほしい。(2件) ・子育て世代向けの低価格かつ住環境の良い、区営住宅の整備。 ・福祉関係の出張所等が併設している、ショッピングモールや大型スーパー等を整備してほしい。 ・バリアフリー化を進めてほしい。 ・点字ブロックを増設してほしい。
区への対応や取組み等について (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定難病受給者証のデジタル化、オンラインで申請・更新できるとよい。 ・ワンストップ相談窓口を設置してほしい。 ・情報をわかりやすく伝える体制の整備をしてほしい。(2件)
共生社会の実現に向けて (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者が多く、近所のコミュニケーションが希薄化しているため、町会活動の推進を期待。 ・地域の障がい者同士が交流できる場が創出されることを期待。同じ悩みや困り事、相談事を話す機会があることで解決につなげたい。
その他 (26件)	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての障がいの種別が、補助犬を利用できる制度。 ・障がい者に特化した防災セットがあると良い。

最後に、アンケート全体や区の障がい者施策、日ごろから感じていることについて、ご意見、ご提案などがあれば自由にお書きください。

(ご家族や介助者等の方が代筆をされている場合は、ご家族や介助者等の立場で感じていることについて、ご意見、ご提案などがあれば自由にお書きください。)

- ・アンケート全体や区の障がい者施策、日ごろから感じていることについて記述式でたずねたところ、265人から350件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
障がいへの対応や相談ニーズについて (28件)	<p>○障がいへの対応について(8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目に見えない障がいこそ、さらに手厚く支援してほしい。 ・“普通に出来るようにする支援”は、とても素晴らしいと思うが、本人の“どうしても不得意なコト”にも目をつけて、ゆっくりと無理のない範囲のペースで急かさず歩ませてほしい(仕事や生活等)。 <p>○心配事や相談について(20件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の事業所がずっと継続する保証がないため不安。 ・自分の障がい以外にも、子どもの発達障がいになる。 ・全体を総合的に見てくれる人がいないため、父への負担が大きい。1人になった時や父が倒れた時にどのように生きていけるかわからない。 ・家族の悩みを相談できるところがわからない。同じ障がいを持つ家族からのアドバイスが欲しいときがある。 ・障がい者への支援をどのように受けるとよいかわかりづらい。 ・オープンに現在苦しいことなどを書ける場所があると良い。 ・両親が高齢になり、親なきあとのことがとても心配。(6件) ・障がい者の兄弟姉妹も、親が障がい者の世話にかかる時間が多くなり悩みを抱えている。障がい者の兄弟姉妹が悩みを打ち明け合える場やカウンセラーとの対話等を望む。ヤングケアラーの苦労もあるかと思う。 ・将来本人が一人になった時、地域で相談にのってくれる人を探しておきたい。現在は、母が手続関係をすべて行っているが、今後は自分でも出来るようにしておかないといけない。
福祉サービスについて (47件)	<p>○手続きについて(16件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場があり、1カ所で全ての手続きが完了することが理想的。インターネットの相談窓口等があれば、なお良い。(2件) ・自立支援や障がい者手帳の手続きは非常に難しい。事前に調べることができる人や介助者がいる人でないと難しい。 ・ワンストップサービスを電話で行えるようになるとありがたい。 ・マイナンバーの更新や障がい者手帳のカードへの切り替えを簡単に行えるようにしてほしい。(3件) ・障がい者手帳や自立支援更新時に必要となる医師の診断書は用紙ではなくアプリでQRコードを発行する等簡素化してほしい。 ・成長や年齢によって補装具のサイズが変わるが、変更の手続きが難しいため、手続きを簡単にしてほしい。 ・難病等医療費助成の申請を1年に1回必要だが、マイナンバーカードと連携することで、申請頻度を少なくしてほしい。 ・タクシーチケットの配布をデジタル化してほしい。 ・自立支援医療や障がい者手帳の取得が区役所のみというのは不便なため、出張所でもできるようにしてほしい。(2件)

	<p>○福祉情報の提供等について(17件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者支援制度の利用や、施設との連絡を LINE などのできる仕組みがあると良い。(2件) ・アンケートを通して初めて知った支援サービスが多くあった。区として支援やサポートを実施している事を、もっとわかりやすく発信していく事が、困っている人を救う第一歩になるのかと思う。(9件) ・AI が個々の障がい内容に合わせ、活用できる制度やサービスを案内してほしい。 ・経済的理由によりスマートフォンを所持していない。スマートフォンを持っていない人や高齢者等にも配慮したサービス、情報提供を行ってほしい。 <p>○窓口対応について(14件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所での障がい者窓口が使いやすく、配慮されていることを感じる。 ・担当者に知識不足を感じることもある。 ・どの相談窓口も大体9時から17時で閉まってしまうため、フレックスに人員を配置し、夜間、休日、祝日も開放してほしい。(3件)
<p>参加・活躍について (21件)</p>	<p>○就労等について(13件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に関して選択肢が少なく驚いた。現在は、仕方なく目黒区で就労している。一人ひとりの学校卒業後の進路ケアを手厚くしてほしい。 ・渋谷区内に障がいに理解のある企業や、障がいを持った人向けの求人紹介の場(ネット上)を設けてほしい。 ・難病は障がい者支援の狭間で国としても縮小傾向なため、就労支援や理解促進など区で取り組んでほしい。 ・超短時間雇用が可能な就労先が、増えてほしい。 ・高齢人口の増加に伴い障がい者も増加するため、障がい者が自立し長生き出来る雇用を創出してほしい。 ・障がい者には限られた仕事しか紹介されないため、希望する仕事や得意が活かせる仕事など、自由に仕事を選べるようにしてほしい。(3件) <p>○様々な活動や交流について(9件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳以降の障がい者の居場所を希望する。いつでも本人が1人で立ち寄れて、誰かと話したり、遊んだり、学んだりできる場所があれば良い。 ・GAYAのような活動場所や機会が増えれば良い。 ・障がい特性や年齢に応じた通所施設や職場、日中活動の充実をよりすすめてほしい。特性上、受け入れが難しかったり、選択肢が少ないことに不安を感じている。 ・精神障がい者のためのフリースペースをさらに増やしてほしい。 ・65才を過ぎてから、“健康はつらつ事業”や“元気すこやか事業”等のスポーツ講座を受けており、体力作りに役に立っている。
<p>活動しやすく (45件)</p>	<p>○交通機関や移動支援について(20件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区役所の障がい者専用駐車場の台数が少し増えてよかった。 ・福祉タクシー券を受給しているが、タクシー代金の値上がりもあり、通院等で使用すると足りなくなるため、増額されると助かる。 ・障がい者手帳所有者のハチ公バス無料化。 ・ハチ公バスの本数をさらに増やしてほしい。 ・ハチ公バスにも障がい者割引制度を導入してほしい。 ・移動支援の条件が厳しいため利用できない。もう少し柔軟に対応してほしい。 ・電動キックボードの走行に危険を感じる。(2件) ・リフト付きタクシーの対象範囲を拡大してほしい。

	<p>○バリアフリーでやさしい環境を(21件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段の手すりと、より平らな歩道へ整備してほしい。(5件) ・ジェンダーレストイレを廃止し、防犯的な危険性の低い普通のトイレを作してほしい。 ・玉川浄水跡の緑道は綺麗になり、床も酸素ポンベを持って歩きやすくなりそうなので期待している。誰もが出かけやすい緑道が整備されることで散歩に行きやすくなるし、どの年代の方にとっても利点があると思う。 ・弱視のため暗い道が不安。街灯を増やしてほしい。(2件) ・子育て中のため、だれでもトイレがあるととても安心する。 ・バリアフリーに対応した駐車場を増やしてほしい。 ・バス停留所のデジタル案内表示板や点字ブロックなどが、故障したままになっている所があるため、速やかに直してほしい。
<p>日常の暮らしについて (21件)</p>	<p>○住まいについて(5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親亡き後に安心して暮らせる場所が少ないと感じるため、生涯安心して暮らせる場所を作してほしい。 ・区営住宅に年収制限等を撤廃した障がい者枠を設けてほしい。 ・都営住宅に応募し続けているが入居出来ていない。障がい者(单身)向け住宅の優先入居対策をしてほしい。 <p>○日常生活の支援について(7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持っている親へのサポート体制が整うことを期待している。 ・緊急時や、用事のある時に預かってもらえる場所が足りない。 ・ショートステイを利用したい際、当日と翌日の送り迎えが難しい時があるため、支援サービスの範囲でヘルパーさんに送迎をお願いしたい。 <p>○災害対策について(6件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害のときに犬と一緒に避難が可能な場所が欲しい。 ・在宅酸素療法をしているため、災害時の停電が不安。酸素ポンベだけでは限度があるため、多くの人が使用できる緊急電源などを確保してほしい。 ・視覚障がい者の災害時の避難行動などがみえないため不安。 ・災害発生時の安全確保が心配。 ・被災時に薬を入手ができないと困る。 <p>○医療について(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区外の病院に通院しているが、病院と区の福祉担当部署で情報共有や連携を行ってほしい。 ・整体も保険適用にしてほしい。 ・歯科健診や乳がん健診など、健診のメニューをさらに充実させてほしい。
<p>生活の保障について (28件)</p>	<p>○経済的支援について(26件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働けていないため、少し余裕ができるくらいの経済的支援が欲しい。 ・所得制限により全ての障がい者が一律に経済的支援を受けられないことに、疑問を感じる。 ・理美容券を色々なところで使えるようにしてほしい。 ・オストメイトのため、ストマ等の補助金額を上げてほしい。 ・補装具(補聴器や義眼)への補助金を増やしてほしい。 <p>○成年後見制度について(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気が進行し、親亡き後の暮らしが心配なため、後見体制の確保をしてほしい。 ・親亡き後、子どもの金銭や契約管理を担ってもらう役割の人が必要となる。成年後見制度を利用しようと考えている人向けに、利用についての相談会などを開催してほしい。

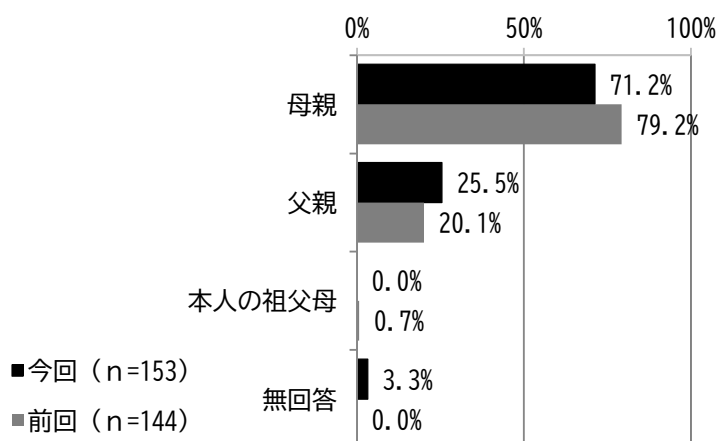
<p>人々が互いに歩み寄れるように (19件)</p>	<p>○差別・偏見の解消、理解促進を(17件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外から見えない内部疾患を持っている人への理解、配慮が適切に進んでほしい。 ・ヘルプマークの配布対象となる人の基準をしっかりと設けてほしい。 ・障がい者へのサポートも大切だが、一般の方々に対する多様な障がいへの理解を啓発する活動にも力を入れてほしい。 ・健常者と障がい者はいまだに離されていると感じるため、義務教育にて障がい者との交流を行ってほしい。 <p>○共生の機会づくりを(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者がより輝き、共に生きる、共生社会の創造を期待している。障がいについて話せる機会、相談できる機会を作っていただきたい。
<p>福祉人材や事業所等の適切な確保を (30件)</p>	<p>○福祉人材の確保・育成について(8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護士など福祉人材の報酬が低いと感じる。高齢化が進む中、障がい者・高齢者の生活支援をされる方たちの存在はますます欠かせなくなるため、もう少しビジネスとして回せる環境が整えてほしい。 ・ヘルパーさんをもっと育成してほしい。 ・福祉部門に従事している役所の方々のケアも充実させるべきと思う。 ・雇用の機会も大事だが、その後の定着につながる支援ができる人材を増やしてほしい。 <p>○事業所について(22件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームや入所施設を充実させてほしい。(7件) ・重度障がい者向けのグループホームが無い。 ・北部地区に福祉事務所(特に就労継続支援B型)がもう少しあるとよい。 ・ショートステイや通所支援でリハビリが出来る所が少ない。 ・「ちょこっとステイ」を増やしてほしい。 ・親が高齢になった時に、一緒に入所できる施設があるとよい(グループホームと老人ホームが一体型の施設)。(4件)
<p>アンケートについて (30件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを通じて、障がい者に対しての支援計画が渋谷区にたくさんあること知った。(4件) ・たくさん文字を読んで疲れた。 ・定期的にこのような調査をしてほしい。 ・本人と保護者の回答欄を分ける、または併用できる形式があるとより実態に沿い、本人の状況や支援ニーズが正確に伝わるのではないかと感じた。 ・VoiceOverにも対応したアンケートだとありがたい。 ・アンケートが膨大で負荷が大きい。(4件) ・アンケートが、どのように活用されるのか何らかの形で知りたい。 ・設問が難しい。(3件)
<p>その他 (81件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案や意見、気づいたこと等をいつでも言える様な場所を作ってほしい。

4 障がい児調査の結果

(1)回答者・本人の属性等

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(〇は1つまで)

- ・アンケートの回答者は、「母親」が71.2%、「父親」が25.5%となっています。
- ・前回調査と比較すると、母親の回答が8.0ポイント低くなり、父親が5.4ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、就学後で「父親」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、内部障がいと精神障がいでは、「父親」の比率が高くなっています。

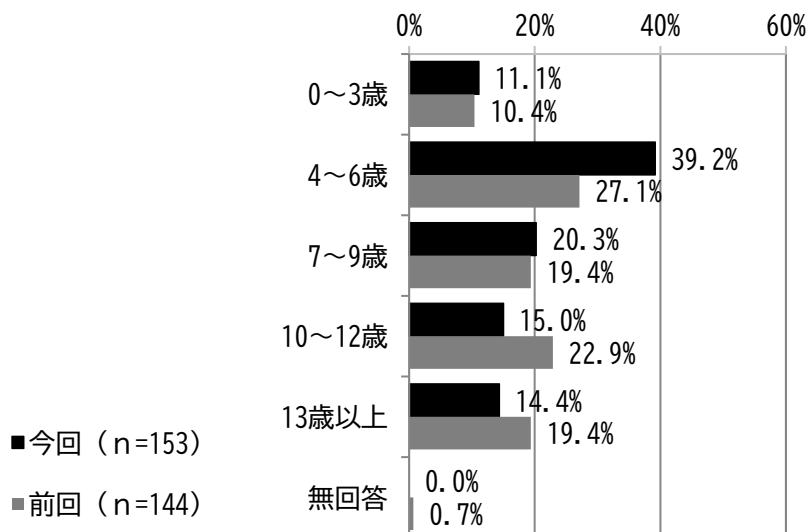


区分		回答数 (人)	父親	母親	本人の 祖父母	その他	無回答
全体		153	25.5%	71.2%	0.0%	0.0%	3.3%
年齢別	就学前	58	13.8%	81.0%	0.0%	0.0%	5.2%
	就学後	95	32.6%	65.3%	0.0%	0.0%	2.1%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	15.4%	69.2%	0.0%	0.0%	15.4%
	肢体不自由	17	35.3%	58.8%	0.0%	0.0%	5.9%
	内部障がい	10	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	48	29.2%	66.7%	0.0%	0.0%	4.2%
	発達障がい	82	22.0%	75.6%	0.0%	0.0%	2.4%
	精神障がい	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	17.6%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問2 令和7年(2025年)10月1日時点のお子さまの年齢は何歳ですか。

- ・年齢は、「4～6歳」が 39.2%、次いで「7～9歳」が 20.3%、「10～12歳」が 15.0%となっています。
- ・前回調査と比較すると、4～6歳の割合が 12.1ポイント高くなっており、全体として就学前の子どもの割合が高くなっています。
- ・障がい種別では、全体の半数以上を占める発達障がいでは4～6歳の年齢の割合が45.1%と高く、視覚障がい、肢体不自由、精神障がい、高次脳機能障害は13歳以上が35%を超えています。
- ・地区別では、いずれの地区においても「4～6歳」の比率が高くなっています。

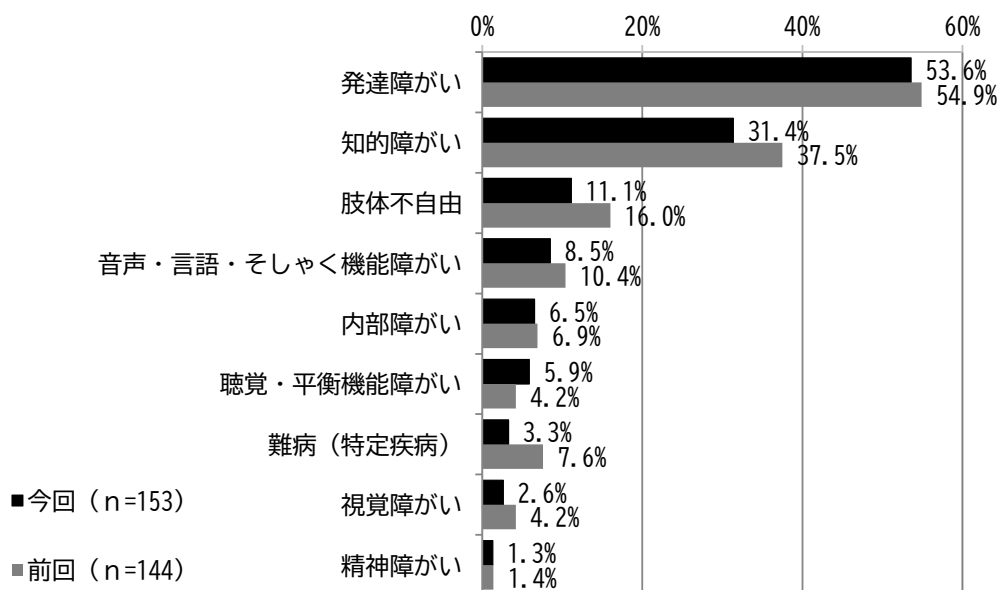


区分	回答数 (人)	0～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	13歳以上	
全体	153	11.1%	39.2%	20.3%	15.0%	14.4%	
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	15.4%	53.8%	15.4%	7.7%	7.7%
	肢体不自由	17	5.9%	23.5%	11.8%	23.5%	35.3%
	内部障がい	10	10.0%	30.0%	20.0%	30.0%	10.0%
	知的障がい	48	2.1%	20.8%	27.1%	27.1%	22.9%
	発達障がい	82	9.8%	45.1%	23.2%	6.1%	15.9%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	難病(特定疾病)	5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	その他	17	23.5%	58.8%	5.9%	5.9%	5.9%
	無回答	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問3 お子さまの状況についておたずねします。
 お子さまの障がいや病気は次のどれですか。(あてはまるすべてに○)

- ・障がいや病気は、「発達障がい」が53.6%、次いで「知的障がい」が31.4%、「肢体不自由」が11.1%となっており、重複障がいの状況は下表の通りです。
- ・前回調査と比較すると、知的障がいが6.1ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、いずれも「発達障がい」の比率が最も高く、就学後では「知的障がい」の比率も高くなっています。
- ・障がい種別で、重複している割合が高いのは、高次脳機能障がいと肢体不自由、知的障がいが高くなっています。



区分	回答数(人)	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由	内部障がい	知的障がい	発達障がい	精神障がい	高次脳機能障がい	難病(特定疾病)	その他	無回答
全体	153	2.6%	5.9%	8.5%	11.1%	6.5%	31.4%	53.6%	1.3%	0.7%	3.3%	11.1%	1.3%
年齢別													
就学前	58	1.7%	5.2%	13.8%	6.9%	5.2%	13.8%	55.2%	0.0%	0.0%	3.4%	15.5%	3.4%
就学後	95	3.2%	6.3%	5.3%	13.7%	7.4%	42.1%	52.6%	2.1%	1.1%	3.2%	8.4%	0.0%

◆重複障がいの状況

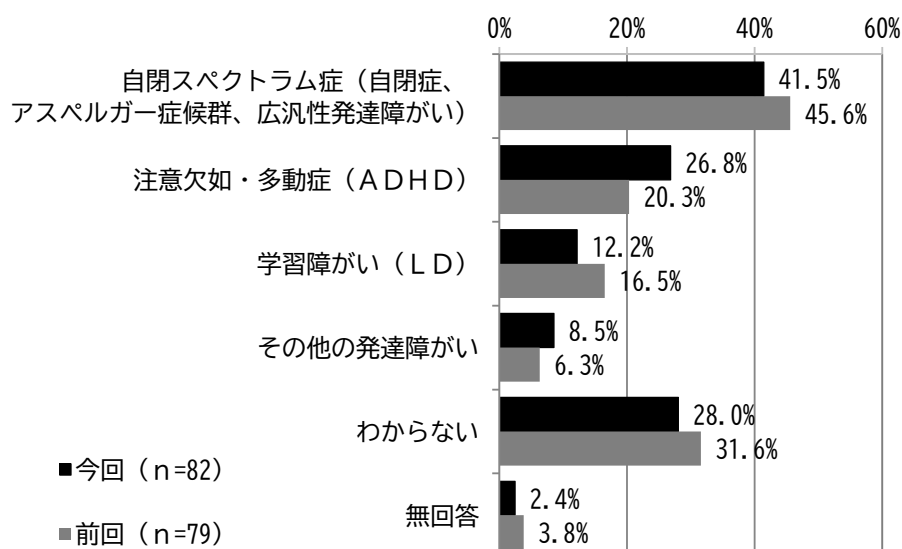
区分	回答数(人)	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由	内部障がい	知的障がい	発達障がい	精神障がい	高次脳機能障がい	難病(特定疾病)	その他	無回答
障がい種別													
視覚障がい	4		25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%		22.2%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	13	15.4%	15.4%		15.4%	7.7%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
肢体不自由	17	11.8%	11.8%	11.8%		17.6%	47.1%	11.8%	0.0%	5.9%	17.6%	11.8%	0.0%
内部障がい	10	10.0%	10.0%	10.0%	30.0%		40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%
知的障がい	48	4.2%	6.3%	6.3%	16.7%	8.3%		35.4%	2.1%	2.1%	8.3%	8.3%	0.0%
発達障がい	82	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	1.2%	20.7%		1.2%	1.2%	0.0%	6.1%	0.0%
精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
難病(特定疾病)	5	20.0%	20.0%	20.0%	60.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	17	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	23.5%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

障がい種別の表全体で、1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

【問3で「発達障がい」をお選びの方におたずねします。】

発達障がいの種類は次のどれですか。(あてはまるすべてに○)

- ・発達障がいの種類は、「**自閉スペクトラム症**」が **41.5%**、次いで「**注意欠如・多動症(ADHD)**」が 26.8%、「**学習障がい(LD)**」が 12.2%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「**注意欠如・多動症(ADHD)**」が 6.5 ポイント高くなっています。
- ・発達障がいの重複状況をみると、**学習障がいと注意欠如・多動症(ADHD)**が 50.0%と最も高くなっています。



区分	回答数 (人)	自閉スペクトラム症	学習障がい(LD)	注意欠如・多動症(ADHD)	その他の発達障がい	わからない	無回答
全体	82	41.5%	12.2%	26.8%	8.5%	28.0%	2.4%
年齢別							
就学前	17	35.3%	0.0%	17.6%	5.9%	41.2%	5.9%
就学後	65	43.1%	15.4%	29.2%	9.2%	24.6%	1.5%

◆重複障がいの状況

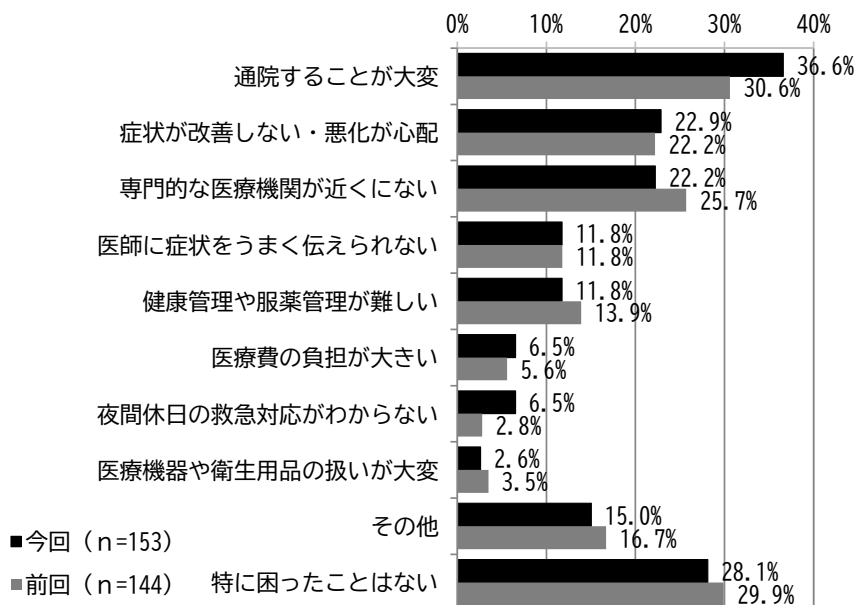
区分	回答数 (人)	自閉スペクトラム症	学習障がい(LD)	注意欠如・多動症(ADHD)	その他の発達障がい	わからない	無回答
発達障がい種別							
自閉スペクトラム症	34		40.0%	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%
学習障がい(LD)	10	11.8%		22.7%	0.0%	0.0%	0.0%
注意欠如・多動症(ADHD)	22	20.6%	50.0%		14.3%	0.0%	0.0%
その他の発達障がい	7	0.0%	0.0%	4.5%		0.0%	0.0%
わからない	23	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

発達障がい種別の表全体で、1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問4 医療との関わりについておたずねします。

(1)健康や医療で困っていることをお答えください。(あてはまるすべてに○)

- ・健康や医療で困っていることは、「通院することが大変」が 36.6%、次いで「症状が改善しない・悪化が心配」が 22.9%、「専門的な医療機関が近くにない」が 22.2%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「通院することが大変」が 6.0 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、就学前で「特に困ったことはない」の比率が高い一方、就学後では「通院することが大変」の比率が高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

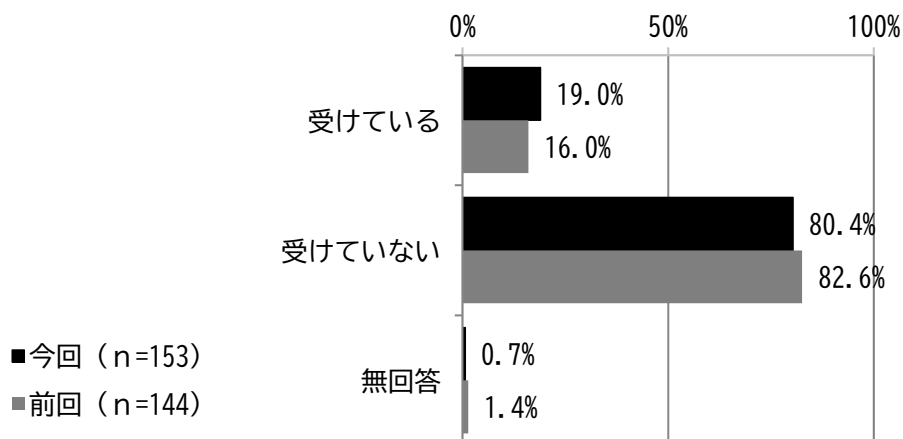
- ・成人後に小児科で診てもらえなくなることが心配。
- ・病院の予約が取れず簡単に受診できる状況でない。
- ・どこに通ってよいかわからない。
- ・通院、入院時の付き添いの負担が大きい。

区分	回答数(人)	専門的な医療機関が近くにない	通院することが大変	医師に症状をうまく伝えられない	健康管理や服薬管理が難しい	扱いが大変 医療機器や衛生用品の	医療費の負担が大きい	症状が改善しない・悪化が心配	夜間休日の救急対応がわからない	その他	特に困ったことはない	無回答
全体	153	22.2%	36.6%	11.8%	11.8%	2.6%	6.5%	22.9%	6.5%	15.0%	28.1%	2.0%
年齢別												
就学前	58	17.2%	31.0%	6.9%	10.3%	3.4%	5.2%	20.7%	8.6%	8.6%	34.5%	3.4%
就学後	95	25.3%	40.0%	14.7%	12.6%	2.1%	7.4%	24.2%	5.3%	18.9%	24.2%	1.1%
障がい種別												
視覚障がい	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
聴覚・平衡機能障がい	9	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	13	38.5%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	38.5%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%
肢体不自由	17	23.5%	64.7%	11.8%	29.4%	17.6%	11.8%	35.3%	0.0%	23.5%	11.8%	0.0%
内部障がい	10	20.0%	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%
知的障がい	48	22.9%	43.8%	18.8%	18.8%	6.3%	6.3%	18.8%	4.2%	20.8%	25.0%	0.0%
発達障がい	82	25.6%	34.1%	17.1%	9.8%	0.0%	3.7%	23.2%	7.3%	15.9%	26.8%	0.0%
精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
難病(特定疾病)	5	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
その他	17	23.5%	35.3%	5.9%	11.8%	5.9%	17.6%	11.8%	0.0%	17.6%	41.2%	0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問4(2)障がいの治療や療養のために医療処置や医療的ケアを受けていますか。(1つに○)

- ・医療処置や医療的ケアは、「**受けている**」が **19.0%** に対し、「**受けていない**」が **80.4%** となっています。
- ・前回調査と比較すると、「**受けている**」が **3.0** ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、いずれも「**受けていない**」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、**精神障がい**、**高次脳機能障がい**、**難病(特定疾患)**で、**受けている**の回答比率が高くなっています。



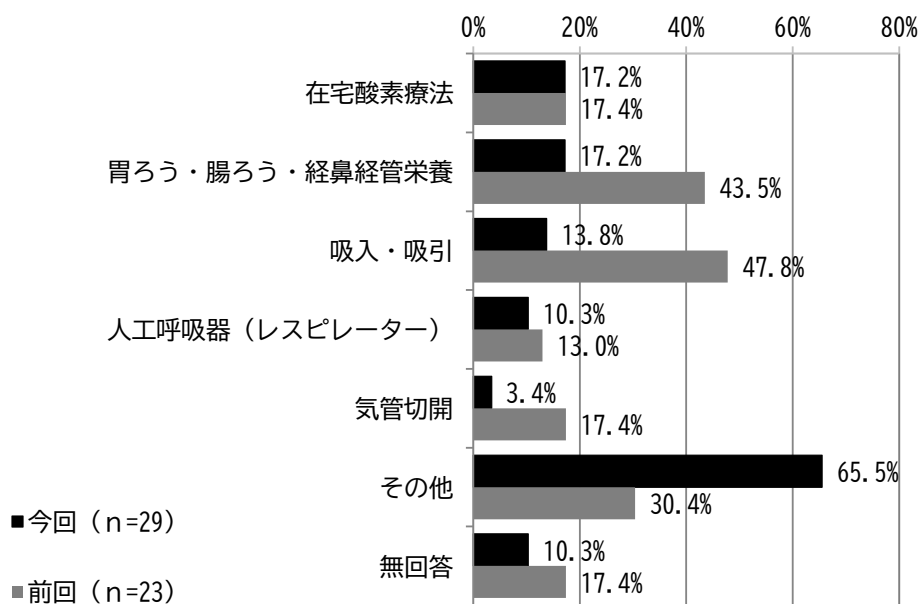
区分		回答数 (人)	受けている	受けて いない	無回答
全体		153	19.0%	80.4%	0.7%
年齢別	就学前	58	15.5%	82.8%	1.7%
	就学後	95	21.1%	78.9%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	75.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	44.4%	55.6%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	23.1%	76.9%	0.0%
	肢体不自由	17	47.1%	52.9%	0.0%
	内部障がい	10	40.0%	60.0%	0.0%
	知的障がい	48	25.0%	75.0%	0.0%
	発達障がい	82	18.3%	81.7%	0.0%
	精神障がい	2	50.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾患)	5	60.0%	40.0%	0.0%
	その他	17	29.4%	70.6%	0.0%
無回答	2	0.0%	50.0%	50.0%	

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

【(2)で「受けている」をお選びの方におたずねします。】

問4(3)どのような医療処置や医療的ケアを受けていますか。(あてはまるすべてに○)

- ・現在受けている医療処置や医療的ケアは、「在宅酸素療法」、「胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養」が17.2%、次いで「吸入・吸引」が13.8%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「吸入・吸引」が34.0ポイント、「胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養」が26.3ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、就学前で「在宅酸素療法」、「胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養」、就学後で「吸入・吸引」の比率が高くなっています。



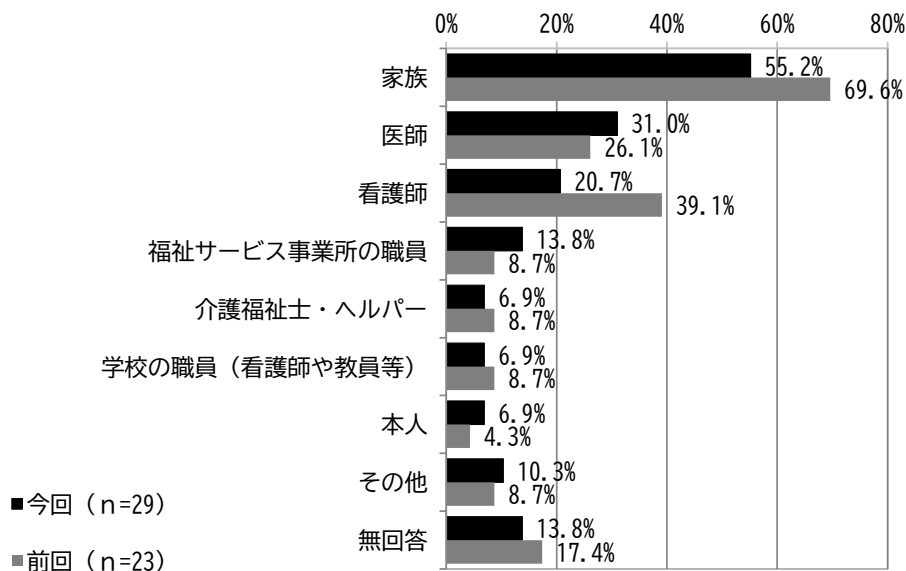
区分	回答数 (人)	在宅酸素療法	吸入・吸引	点滴 (中心静脈栄養等)	じょくそう処置	人工透析	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	経鼻経管栄養	胃ろう・腸ろう	人工ぼうこう・人工肛門	留置カテーテル	導尿・ぼうこう	その他	無回答
全体	29	17.2%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	10.3%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%	65.5%	10.3%	
年齢別															
就学前	9	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%	
就学後	20	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	10.0%	
障がい種別															
視覚障がい	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
聴覚・平衡機能障がい	4	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	
音声・言語・そしゃく機能障がい	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
肢体不自由	8	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	
内部障がい	4	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
知的障がい	12	16.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	8.3%	
発達障がい	15	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	73.3%	6.7%	
精神障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
高次脳機能障がい	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
難病 (特定疾病)	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
その他	5	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

【(2)で「受けている」をお選びの方におたずねします。】

問4(4)医療処置や医療的ケアは、誰が行っていますか。(あてはまるすべてに○)

- ・医療処置や医療的ケアを行っている方は、「家族」が 55.2%、次いで「医師」が 31.0%、「看護師」が 20.7%となっています。
- ・年齢別では、いずれも「家族」の比率が最も高く、就学前は「看護師」の比率も高くなっています。
- ・障がい種別では、医師、看護師の割合が高いのは、視覚障がい、肢体不自由、内部障がい、難病(特定疾患)となっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・保育士

区分		回答数(人)	家族	医師	看護師	介護福祉士・ヘルパー	(学校の職員や教員等)	福祉サービス事業所の職員	本人	その他	無回答
全体		29	55.2%	31.0%	20.7%	6.9%	6.9%	13.8%	6.9%	10.3%	13.8%
年齢別	就学前	9	66.7%	33.3%	44.4%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%
	就学後	20	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	5.0%	10.0%	10.0%	10.0%	15.0%
障がい種別	視覚障がい	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	4	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	3	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	肢体不自由	8	75.0%	50.0%	62.5%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%
	内部障がい	4	75.0%	100.0%	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	12	66.7%	50.0%	33.3%	8.3%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%
	発達障がい	15	53.3%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	20.0%
	精神障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾患)	3	66.7%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	5	80.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

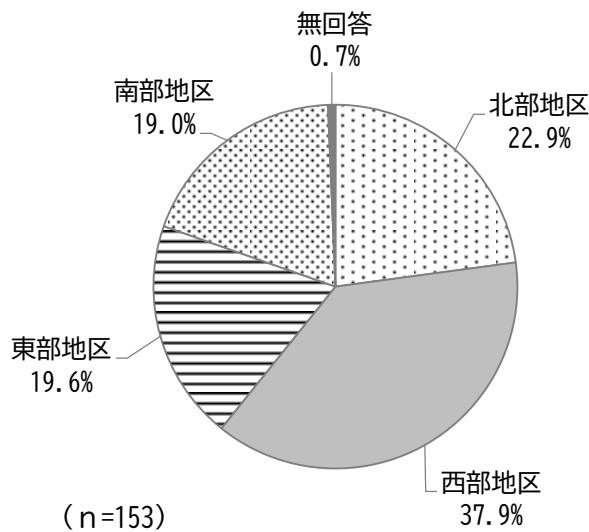
(2)住まいと暮らしについて

問5 住んでいるところについておたずねします。

※お子さまが病院や福祉施設に入院・入所の場合、実家についてお答えください。

(1)お住まいの地区はどちらですか。右の地区名に○をつけてください。(1つに○)

- ・居住地区は、西部地区が 37.9%、次いで北部地区が 22.9%、東部地区が 19.6%、南部地区が 19.0%となっています。
- ・年齢別では、いずれも「西部地区」の比率が最も高くなっています。

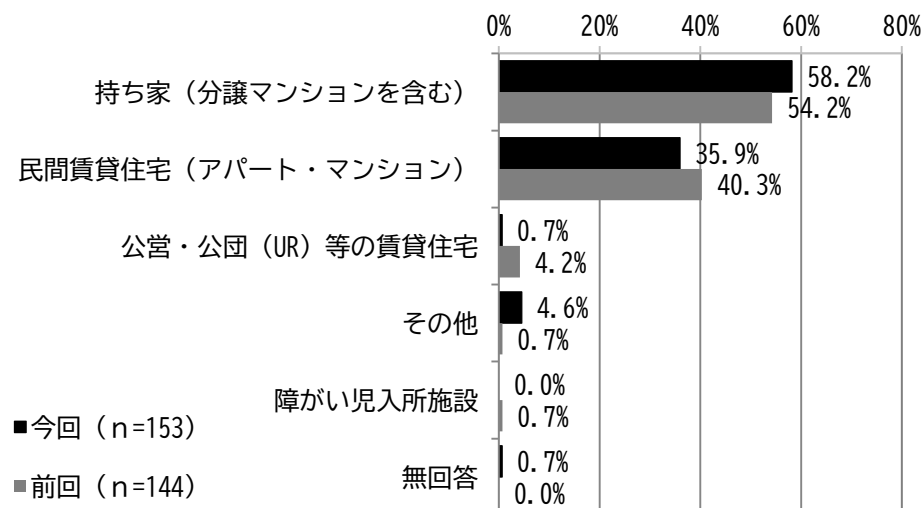


区分		回答数 (人)	北部地区	西部地区	東部地区	南部地区	無回答
全体		153	22.9%	37.9%	19.6%	19.0%	0.7%
年齢別	就学前	58	25.9%	37.9%	19.0%	17.2%	0.0%
	就学後	95	21.1%	37.9%	20.0%	20.0%	1.1%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	33.3%	11.1%	0.0%	55.6%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	15.4%	23.1%	30.8%	30.8%	0.0%
	肢体不自由	17	11.8%	52.9%	11.8%	23.5%	0.0%
	内部障がい	10	10.0%	40.0%	0.0%	40.0%	10.0%
	知的障がい	48	25.0%	31.3%	22.9%	20.8%	0.0%
	発達障がい	82	19.5%	45.1%	20.7%	14.6%	0.0%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	その他	17	35.3%	35.3%	5.9%	23.5%	0.0%
	無回答	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問5(2)お子さまのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

- ・住まいは、「持ち家」が58.2%、次いで「民間賃貸住宅」が35.9%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「持ち家」が4.0ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、就学前で「民間賃貸住宅」、就学後で「持ち家」の比率が最も高くなっています。
- ・地区別では、西部地区と南部地区で「持ち家」、北部地区と東部地区で「民間賃貸住宅」の比率が高くなっています。



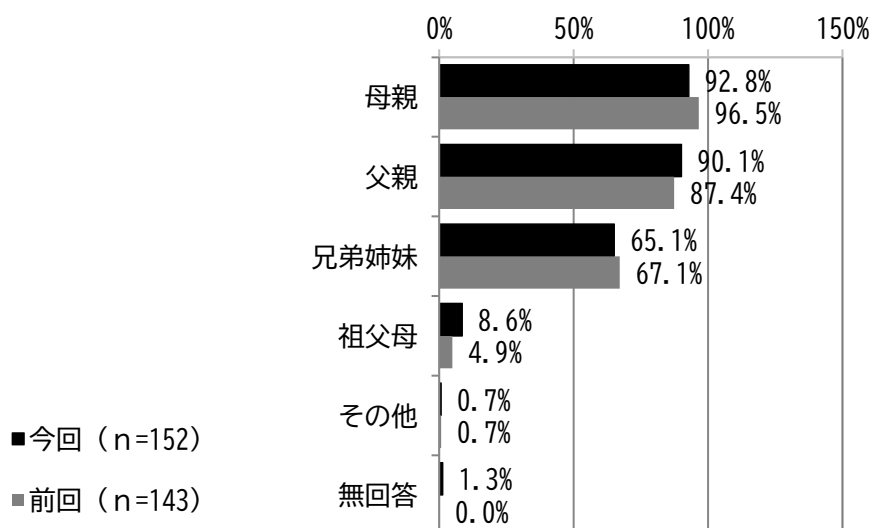
※その他の記入内容(抜粋)
・宿舎

区分		回答数 (人)	持ち家 (分譲マンションを含む)	民間賃貸住宅 (アパート・マンション)	公営・公団 (UR) 等の賃貸住宅	その他	障がい児入所施設	無回答
全体		153	58.2%	35.9%	0.7%	4.6%	0.0%	0.7%
年齢別	就学前	58	46.6%	48.3%	0.0%	5.2%	0.0%	0.0%
	就学後	95	65.3%	28.4%	1.1%	4.2%	0.0%	1.1%
地区別	北部地区	35	45.7%	54.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	西部地区	58	72.4%	24.1%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
	東部地区	30	40.0%	43.3%	3.3%	13.3%	0.0%	0.0%
	南部地区	29	65.5%	31.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

【(2)で「持ち家、民間賃貸住宅、公営・公団等の賃貸住宅、その他」をお選びの方におたずねします。
問5(3)一緒に住んでいるご家族はどなたですか。お子さまとの続柄でお答えください。
(あてはまるすべてに○)

- ・同居家族は、「母親」が92.8%、次いで「父親」が90.1%、「兄弟姉妹」が65.1%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「母親」が3.4ポイント低くなり、「父親」は2.7ポイント高くなっています。

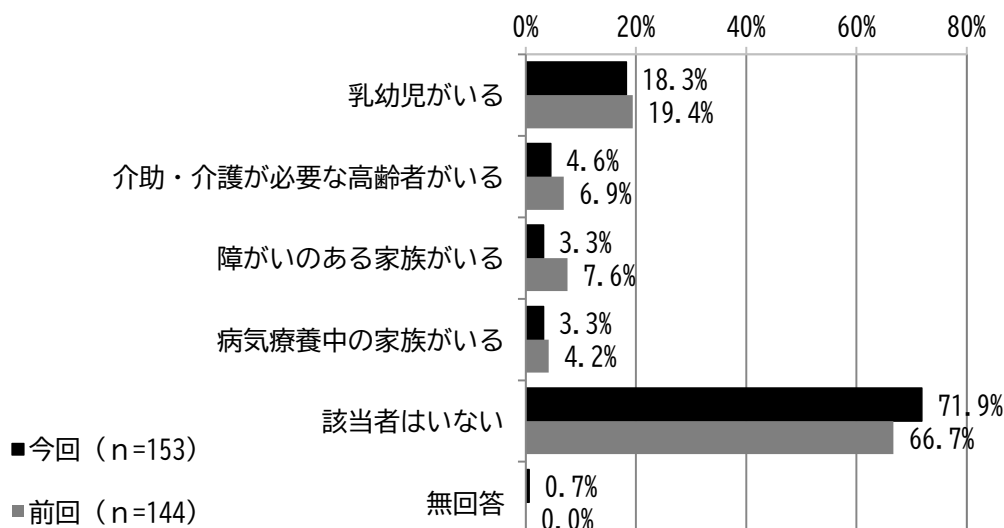


区分		回答数 (人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体		152	90.1%	92.8%	65.1%	8.6%	0.7%	1.3%
年齢別	就学前	58	87.9%	94.8%	65.5%	5.2%	0.0%	1.7%
	就学後	95	90.5%	90.5%	64.2%	10.5%	1.1%	1.1%
障がい種別	視覚障がい	4	100.0%	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	100.0%	100.0%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	92.3%	92.3%	76.9%	15.4%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	17	94.1%	94.1%	58.8%	11.8%	0.0%	0.0%
	内部障がい	9	100.0%	100.0%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	48	89.6%	93.8%	77.1%	8.3%	2.1%	0.0%
	発達障がい	82	85.4%	92.7%	61.0%	9.8%	0.0%	2.4%
	精神障がい	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	80.0%	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	94.1%	94.1%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問5(4)あなたのご家族で、お子さま以外に生活の支援が必要な方はいますか。
(あてはまるすべてに○)

- ・本人以外に支援が必要な同居家族は、「乳幼児がいる」が 18.3%、次いで「介助・介護が必要な高齢者がいる」が 4.6%となっています。一方、「該当者はいない」は 71.9%です。
- ・前回調査と比較すると、「該当者はいない」は 5.2 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、就学前で「乳幼児がいる」の比率が高くなっています。

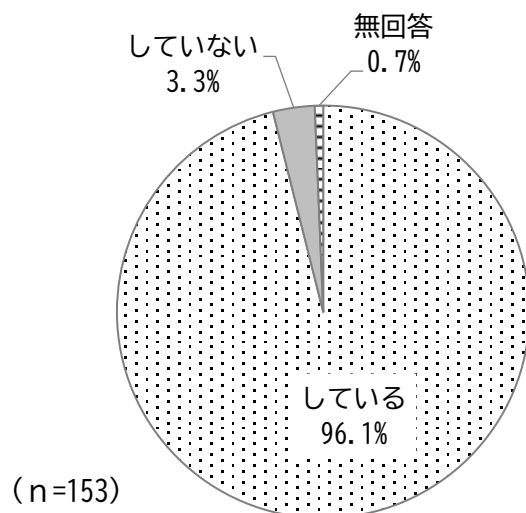


区分		回答数 (人)	障がいのある家族がいる	介助・介護が必要な高齢者がいる	乳幼児がいる	病気療養中の家族がいる	該当者はいない	無回答
全体		153	3.3%	4.6%	18.3%	3.3%	71.9%	0.7%
年齢別	就学前	58	3.4%	1.7%	31.0%	1.7%	62.1%	0.0%
	就学後	95	3.2%	6.3%	10.5%	4.2%	77.9%	1.1%
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	55.6%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	0.0%	7.7%	38.5%	15.4%	46.2%	0.0%
	肢体不自由	17	0.0%	0.0%	23.5%	0.0%	76.5%	0.0%
	内部障がい	10	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	60.0%	10.0%
	知的障がい	48	2.1%	8.3%	10.4%	2.1%	77.1%	0.0%
	発達障がい	82	2.4%	3.7%	17.1%	3.7%	75.6%	0.0%
	精神障がい	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%
	その他	17	0.0%	5.9%	17.6%	0.0%	76.5%	0.0%
無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問5(5)あなたを含むあなたのご家族には、現在仕事(自営を含む)をしている人はいますか。
(1つに〇)

・現在仕事をしているかは、「(就労を)している」が96.1%に対し、「していない」が3.3%となっています。



区分		回答数 (人)	している	していない	無回答
全体		153	96.1%	3.3%	0.7%
年齢別	就学前	58	96.6%	3.4%	0.0%
	就学後	95	95.8%	3.2%	1.1%
障がい種別	視覚障がい	4	100.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	100.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	100.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	17	100.0%	0.0%	0.0%
	内部障がい	10	90.0%	0.0%	10.0%
	知的障がい	48	97.9%	2.1%	0.0%
	発達障がい	82	96.3%	3.7%	0.0%
	精神障がい	2	50.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	100.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2	100.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

【(5)で「1.している」をお選びの方におたずねします。】

問5(6)現在の仕事とお子さまの療育との両立について抱えている悩みや不安、あるといいと感じているサービスがあればお書きください。

・現在の仕事とお子さまの療育との両立について抱えている悩みや不安について記述式でたずねたところ、100人から207件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

●仕事とお子さまの療育との両立について抱えている悩みや不安(100件)

分類	内容(抜粋・要約)
仕事とのバランスについて (47件)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と療育の両立が難しい。(17件) ・仕事を継続できるか不安。(11件) ・仕事を休むことや早退をすることが増える。(7件) ・仕事の調整が困難。(6件) ・学校の長期休みの際、仕事を早く上がる必要がある。(3件) ・時間的・精神的余裕がない。(3件)
預け先について (17件)	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みの時の預け先が確保できない。(2件) ・学校から帰ってきたときの預け先が不安定。(2件) ・ショートステイの充実をしてほしい。(2件) ・聴覚障がい児に特化した放課後の居場所が少ない。 ・夜間の仕事に対応している施設やヘルパーさんがいない(いない)。 ・土曜日に通える時間の選択肢が少ない。 ・利用したいサービスが受けられない。 ・子どもが不登校になり、預け先に困る。
療育について (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援が十分かどうか不安。(2件) ・仕事の都合上、療育支援を週末しか受けることができず、発達の遅れを改善できない。 ・保育園や小学校が発達障がいを十分理解していないため、療育の効果が不十分。 ・幼稚園と併用し療育支援を受けたいが、夕方や土日にサービスを受けられるか不安。
送迎について (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎が負担。(13件) ・送迎のため残業できない、フルタイムで働けない。(3件)
本人以外の家族のことについて (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の面倒に付きっきりになり、他のきょうだいの面倒が見れない。(3件)
その他 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費等の経済的負担。(3件) ・共働きでなんとか生活しているので、どちらかがダウンした時が不安。 ・長時間、家で一人にしておくことが不安。

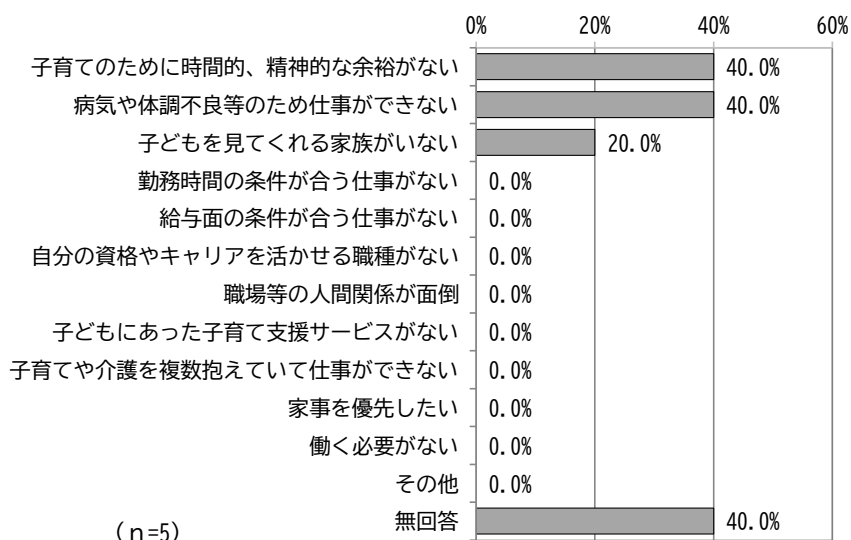
●仕事とお子さまの療育の両立のため、あるといいと感じているサービス(107件)

分類	内容(抜粋・要約)
送迎サービス (38件)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と療育の送迎。(10件) ・学校から放課後等デイサービス等への移動支援。(7件) ・登園・通学サポート。(6件)
放課後等デイサービス、放課後クラブなど (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間が長い放課後等デイサービス。(5件) ・放課後等デイサービス、放課後クラブの休日や深夜対応。(4件) ・放課後等デイサービスを増やしてほしい。(2件) ・聴覚障がいの特化した子どもの居場所があるといい。 ・大きな音が苦手な子どもの部屋の確保。 ・発達障がいの子が安心して利用できる放課後クラブ。 ・健常者と軽度の発達障がい者が共に過ごせる放課後クラブ・遊びの場的なコミュニティ。
療育・学習の支援 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・療育後も預かってほしい。(2件) ・土日に利用できる療育支援。(2件) ・発達障がいをかかえている子どもへの学習サポート。(2件) ・自宅での療育サービス。 ・時間の都合が付けやすい療育サービス。
助成金などの給付 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費等の経済的支援。(4件) ・療育のための費用の経済的支援。(2件)
本人以外の家族のことについて (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の面倒に付きっきりになるため、他のきょうだいの面倒をみってくれるサポートがあればいい。(3件)
その他 (37件)	<ul style="list-style-type: none"> ・シッター、ヘルパーの充実。(5件) ・レスパイトの充実。(3件) ・すぐに相談ができ、サポートを受けられる公的機関。(3件) ・病児保育の充実。(2件)

【(5)で「2. していない」をお選びの方におたずねします。】

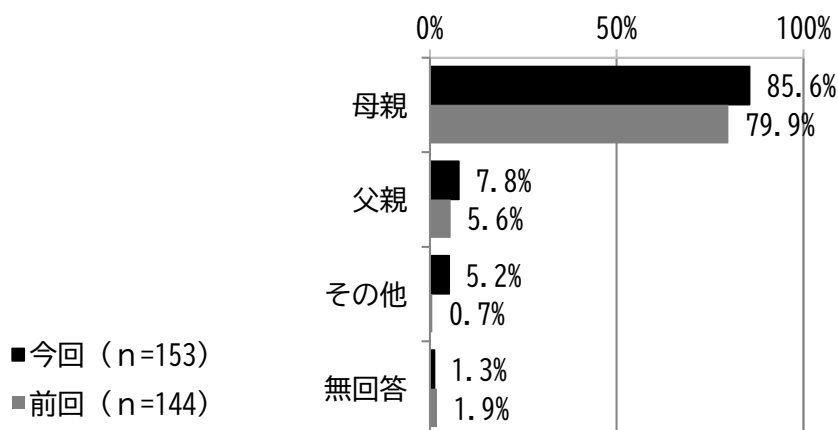
問5(7)現在仕事をしていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

・現在仕事をしていない理由は、「子育てのために時間的、精神的な余裕がない」、「病気や体調不良等のため仕事ができない」が 40.0%、次いで「子どもを見てくれる家族がない」が 20.0%となっています。



問6 お子さまの保育・介助体制についておたずねします。
 (1) 自宅では、お子さまの保育・介助を主にどなたが担当していますか。(1つに○)

- ・主に、保育・介助を担当しているのは、「母親」が85.6%、「父親」が7.8%です。
- ・前回調査と比較すると、「母親」は5.7ポイント高くなっています。
- ・障がい種別では、「父親」が「難病(特定疾患)」では40.0%、「内部障がい」は30.0%となっています。



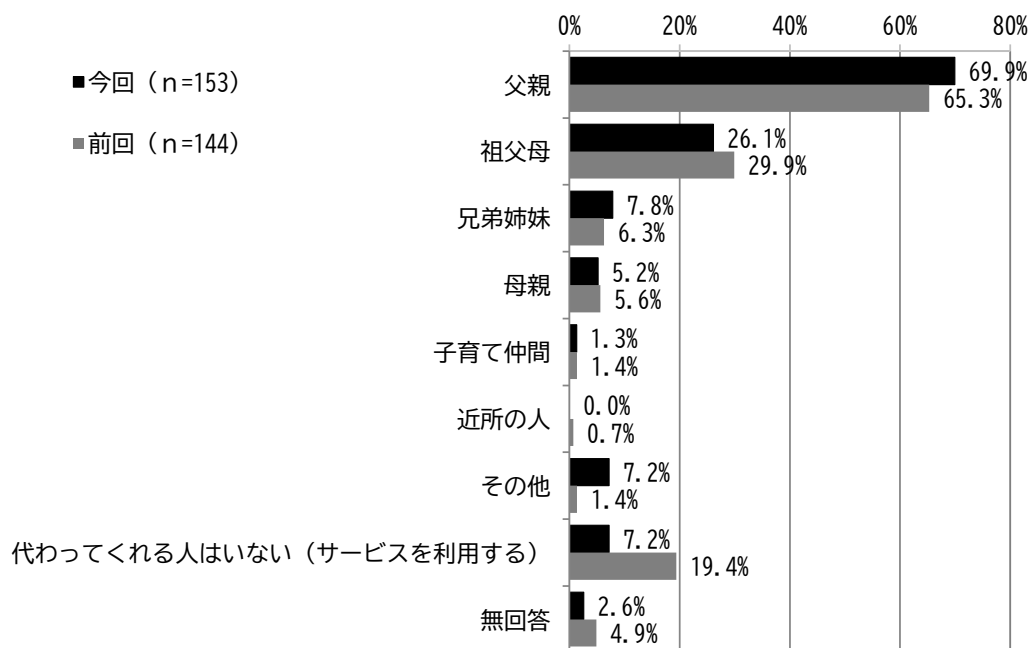
※その他の記入内容(抜粋)
 ・介助の必要なし

区分		回答数 (人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体		153	7.8%	85.6%	0.0%	0.0%	5.2%	1.3%
年齢別	就学前	58	8.6%	89.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
	就学後	95	7.4%	83.2%	0.0%	0.0%	7.4%	2.1%
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	17	5.9%	82.4%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%
	内部障がい	10	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	48	10.4%	83.3%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
	発達障がい	82	8.5%	85.4%	0.0%	0.0%	3.7%	2.4%
	精神障がい	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	0.0%	94.1%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
	無回答	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問6(2)(1)の方が対応できないとき、主にどなたが代わってくれますか。(2つまで○)

- ・保育・介助を代わってくれる人は、「父親」が 69.9%、次いで「祖父母」が 26.1%、「兄弟姉妹」が 7.8%となっています。一方「代わってくれる人はいない(サービスを利用する)」は 7.2%です。
- ・前回調査と比較すると、「代わってくれる人はいない(サービスを利用する)」が 12.2 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、いずれも「父親」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、難病(特定疾患)は、「代わってくれる人はいない(サービスを利用する)」が 40.0%と高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・親戚
- ・保育園

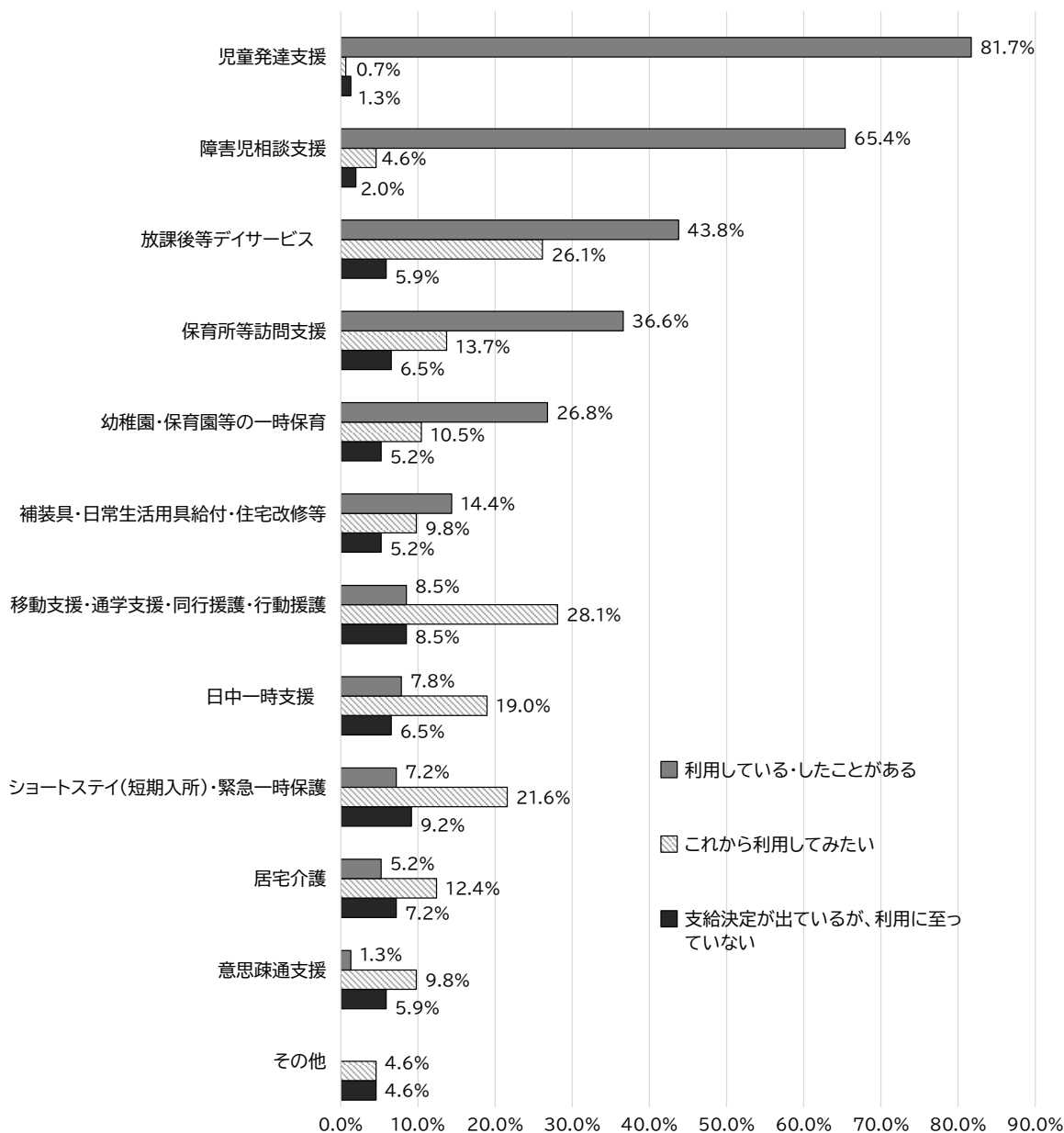
区分	回答数 (人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	近所の人	子育て仲間	その他	代わってくれる人はいない (サービスを利用する)	無回答
全体	153	69.9%	5.2%	7.8%	26.1%	0.0%	1.3%	7.2%	7.2%	2.6%
年齢別										
就学前	58	70.7%	5.2%	3.4%	24.1%	0.0%	0.0%	8.6%	6.9%	3.4%
就学後	95	69.5%	5.3%	10.5%	27.4%	0.0%	2.1%	6.3%	7.4%	2.1%
障がい種別										
視覚障がい	4	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
聴覚・平衡機能障がい	9	77.8%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	13	84.6%	0.0%	15.4%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
肢体不自由	17	58.8%	5.9%	5.9%	23.5%	0.0%	0.0%	11.8%	17.6%	5.9%
内部障がい	10	70.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
知的障がい	48	66.7%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	2.1%	8.3%	10.4%	0.0%
発達障がい	82	67.1%	4.9%	9.8%	25.6%	0.0%	1.2%	6.1%	6.1%	4.9%
精神障がい	2	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病(特定疾患)	5	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
その他	17	88.2%	0.0%	5.9%	23.5%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
無回答	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問7 サービスの利用についておたずねします。

(1)下の表のサービスについて、1.利用している・したことがあるもの、2.これから利用してみたいもの、3.支給決定が出ているが、利用に至っていないものがあれば、あてはまる口の欄に○をつけてください。(あてはまるすべてに○)

- ・サービスごとにこれまでの利用状況と今後の利用希望をうかがい、これまでの利用が多い順にならべると下図のようになります。
- ・利用経験のあるサービスは、「**児童発達支援**」が**81.7%**と最も高く、次いで「**障害児相談支援**」が**65.4%**、「**放課後等デイサービス**」が**43.8%**となっています。
- ・「**これから利用してみたい**」の比率が最も高いのは、「**移動支援・通学支援・同行援護・行動援護**」が**28.1%**、次いで「**放課後等デイサービス**」が**26.1%**となっています。
- ・支給決定が出ているが、利用に至っていないサービスは、「**ショートステイ(短期入所)・緊急一時保護**」が**9.2%**、次いで「**移動支援・通学支援・同行援護・行動援護**」が**8.5%**となっています。
- ・前回調査結果との比較では、「**障害児相談支援**」、「**保育所等訪問支援**」において実際の利用率が前回に比べやや高くなっています。



(N=153)

■前回調査比較

サービス	今回調査		前回調査	
	利用している・ 利用したことがある	これから利用 してみたい	利用している・ 利用したことがある	これから利用 してみたい
児童発達支援	「1位」81.7	0.7	「1位」78.5	4.9
障害児相談支援	「2位」65.4	4.6	「2位」57.6	9.7
放課後等デイサービス	「3位」43.8	「2位」26.1	「3位」50.0	「2位」29.2
保育所等訪問支援	「4位」36.6	「5位」13.7	「4位」24.3	16.7
幼稚園・保育園等の一時保育	「5位」26.8	10.5	「4位」24.3	13.2
補装具・日常生活用具給付・住宅改修等	14.4	9.8	13.9	14.6
移動支援・通学支援・同行援護・行動援護	8.5	「1位」28.1	14.6	「1位」36.1
日中一時支援	7.8	「4位」19.0	8.3	「4位」22.9
ショートステイ(短期入所)・緊急一時保護	7.2	「3位」21.6	16.7	「3位」26.4
居宅介護	5.2	12.4	6.9	「5位」18.1
意思疎通支援	1.3	9.8	0.0	11.8

(単位:%)

【(1)で「3.支給決定が出ているが、利用に至っていない」をお選びの方におたずねします。
問7(2)利用に至らなかった理由について、あてはまる口の欄に○をつけてください。
(あてはまるすべてに○)

- ・利用に至らなかった理由についてうかがい、事業所が見つからない順にならべると下表のようになります。
- ・「事業所が見つからない」の人数が最も高かったのは、「移動支援・通学支援・同行援護・行動援護」が4人、次いで「放課後等デイサービス」、「ショートステイ(短期入所)・緊急一時保護」が3人となっています。
- ・「事業所に断られた」の人数が最も高かったのは、「日中一時支援」が2人となっています。
- ・「使う必要がない」の人数が最も高かったのは、「ショートステイ(短期入所)・緊急一時保護」が9人、次いで「居宅介護」「意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣事業)」が各々8人となっています。

サービス		対象人数	事業所が見つからない	事業所に断られた	使う必要がない
移動支援・通学支援・同行援護・行動援護	人数	13人	4人	1人	6人
	割合		30.8%	7.7%	46.2%
放課後等デイサービス	人数	9人	3人	0人	5人
	割合		33.3%	0.0%	55.6%
ショートステイ(短期入所)・緊急一時保護	人数	14人	3人	1人	9人
	割合		21.4%	7.1%	64.3%
保育所等訪問支援	人数	10人	2人	1人	4人
	割合		20.0%	10.0%	40.0%
幼稚園・保育園等の一時保育	人数	8人	2人	1人	3人
	割合		25.0%	12.5%	37.5%
児童発達支援	人数	2人	1人	0人	1人
	割合		50.0%	0.0%	50.0%
日中一時支援	人数	10人	1人	2人	6人
	割合		10.0%	20.0%	60.0%
その他	人数	7人	1人	0人	6人
	割合		14.3%	0.0%	85.7%
障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	人数	3人	0人	0人	3人
	割合		0.0%	0.0%	100.0%
居宅介護	人数	11人	0人	1人	8人
	割合		0.0%	9.1%	72.7%
意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣事業)	人数	9人	0人	0人	8人
	割合		0.0%	0.0%	88.9%
補装具・日常生活用具給付・住宅改修等	人数	8人	0人	0人	7人
	割合		0.0%	0.0%	87.5%

問8 お子さまを育てながら生活を送る上で、困っていることについてお書きください。

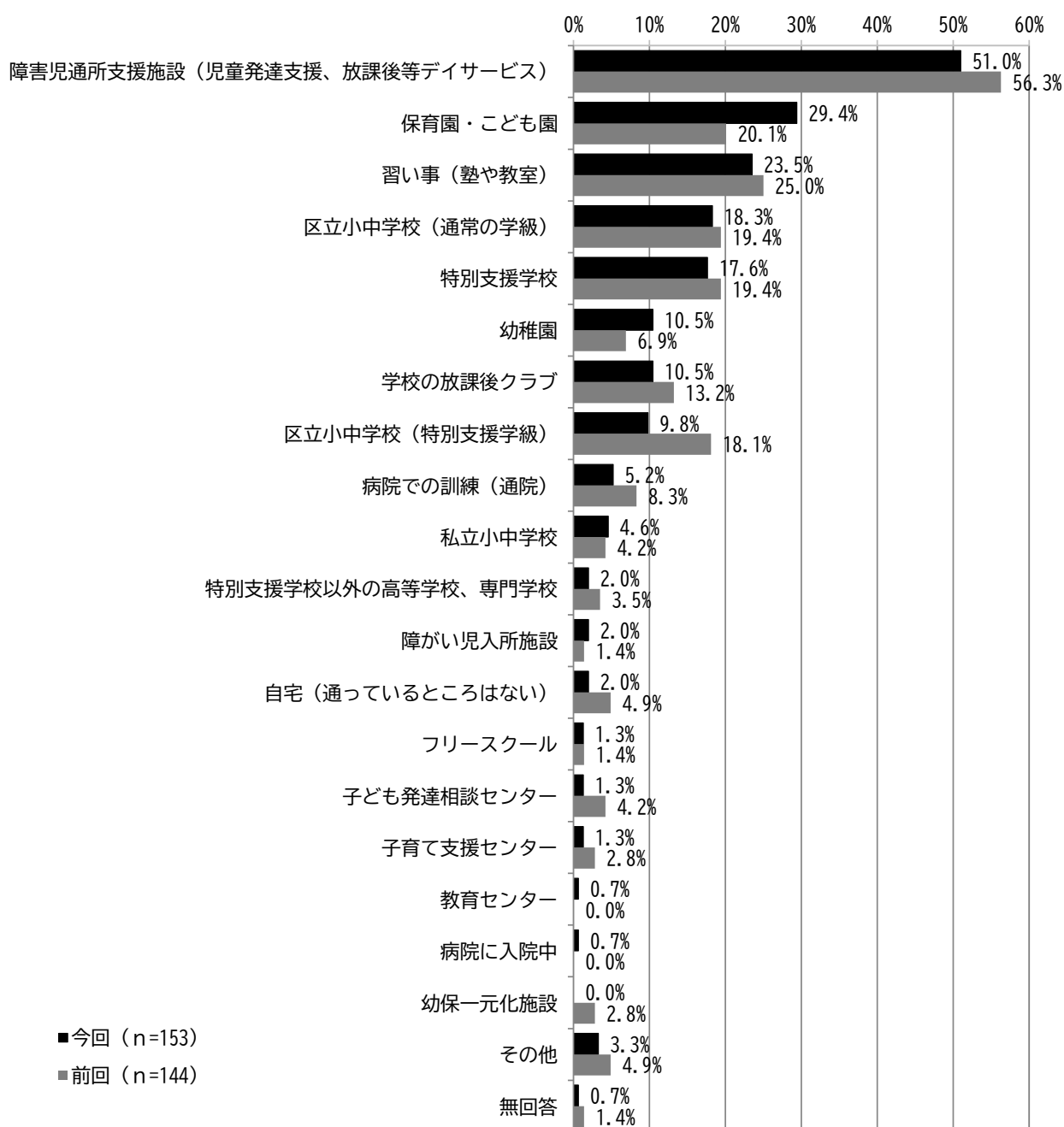
・お子さまを育てながら生活を送るうえでの困りごとについて記述式でたずねたところ、81 人から105 件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
施設・サービスの不足 (33件)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの施設、サービスが不足している。(9 件) ・選べる福祉サービスの幅が狭く選択肢が少ない。(7 件) ・希望する療育内容を実施している事業所が少ない。(3 件) ・ショートステイの受け入れ先が足りない。(3 件) ・言語聴覚士がいる施設を見つけられない。 ・就学に伴いサービスが変わってしまうので、継続した支援を受けられる施設がほしい。 ・学習支援をしてくれるところがわからない。 ・私立に通っていて就学支援が使えない。 ・保育や療育サービスの制約が多い。
経済的な負担 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的負担が大きい。(6 件) ・経済的な支援の不足。(6 件) ・最新の補装具に替えたいが支援がない。
介護者の負担について (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者に何かあった時に頼る人がいない。(5 件) ・送迎が負担。(4 件) ・レスパイトの時間が少ない。
情報入手・社会との接点について (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの情報が入手できない。(8 件) ・相談機会が足りない。(7 件) ・社会との繋がりが少ない。
きょうだいについて (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・療育に連れて行く際にきょうだいの預け先が無い。(3 件) ・障がいのある子のお世話をしているときょうだいの相手が難しい。
仕事との両立について (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに手がかかるため、仕事と子育ての両立が難しい。(8 件) ・仕事を休めないので、療育の時間をあきらめるしかない。(2 件) ・子ども発達相談センターを利用する際、仕事を休まなくてはならない。
その他 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を持った方が少ない。(3 件) ・特性のある子どもの判定やフォロー方法が、あいまいで、原因と解決方法がわからない。 ・都と区の連携がスムーズでない。 ・専門的な児童発達外来がある病院が少なく、受診のハードルが高い。 ・受給者証の更新手続きをオンラインでできると助かる。 ・インクルーシブ教育が小学校に浸透していない。

(3)療育や教育について

問9 お子さまが日中過ごす場所、通っているところについてお答えください。
(あてはまるすべてに○)

- ・日中の過ごす場所、通っているところは、「障害児通所支援施設」が51.0%、次いで「保育園・こども園」が29.4%、「習い事」が23.5%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「保育園・こども園」が9.3ポイント高く、「区立小中学校(特別支援学級)」が8.3ポイント低くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、肢体不自由、精神障がい、高次脳機能障がいでは「特別支援学校」が、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「保育園・こども園」、肢体不自由では「特別支援学校」が最も高くなっています。



区分		回答数（人）	保育園・こども園	幼稚園	幼保一元化施設	特別支援学校	区立小中学校（特別支援学級）	区立小中学校（通常の学級）	私立小中学校	高等学校、専門学校以外の特別支援学校	フリースクール	学校の放課後クラブ
全体		153	29.4%	10.5%	0.0%	17.6%	9.8%	18.3%	4.6%	2.0%	1.3%	10.5%
年齢別	就学前	58	63.8%	19.0%	0.0%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
	就学後	95	8.4%	5.3%	0.0%	28.4%	14.7%	28.4%	7.4%	3.2%	2.1%	16.8%
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	46.2%	15.4%	0.0%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
	肢体不自由	17	5.9%	5.9%	0.0%	41.2%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	内部障がい	10	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	知的障がい	48	12.5%	2.1%	0.0%	45.8%	18.8%	6.3%	2.1%	4.2%	0.0%	12.5%
	発達障がい	82	36.6%	9.8%	0.0%	9.8%	8.5%	23.2%	2.4%	3.7%	2.4%	11.0%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病（特定疾病）	5	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	35.3%	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	23.5%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

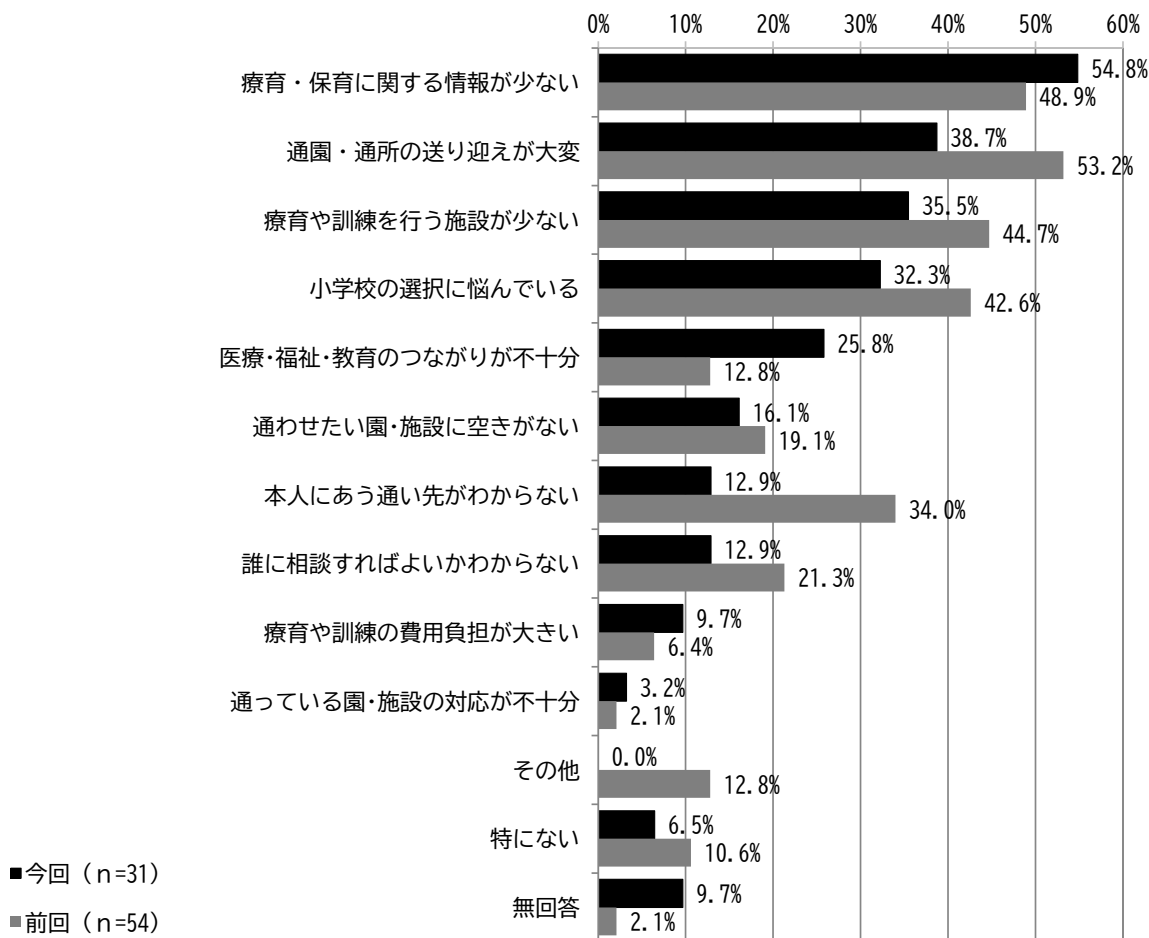
区分		回答数（人）	習い事（塾や教室）	子ども発達相談センター	子育て支援センター	教育センター	放課後等デイサービス（障害児通所支援施設）	病院での訓練（通院）	障がい児入所施設	病院に入院中	自宅（通っていないところはない）	その他	無回答
全体		153	23.5%	1.3%	1.3%	0.7%	51.0%	5.2%	2.0%	0.7%	2.0%	3.3%	0.7%
年齢別	就学前	58	20.7%	1.7%	3.4%	0.0%	58.6%	5.2%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%	1.7%
	就学後	95	25.3%	1.1%	0.0%	1.1%	46.3%	5.3%	3.2%	1.1%	2.1%	3.2%	0.0%
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%
	肢体不自由	17	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%
	内部障がい	10	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	48	14.6%	0.0%	0.0%	0.0%	58.3%	4.2%	4.2%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%
	発達障がい	82	26.8%	2.4%	1.2%	1.2%	53.7%	4.9%	0.0%	0.0%	1.2%	4.9%	1.2%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病（特定疾病）	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	35.3%	0.0%	5.9%	0.0%	70.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問10 就学前のお子さまの、療育・保育についておたずねします。【すでに就学している場合は、問11にお進みください。】

療育・保育に関して困っていることがありますか。(あてはまるすべてに○)

- ・就学前のお子さまの療育・保育で困っていることは、「療育・保育に関する情報が少ない」が 54.8%、「通園・通所の送り迎えが大変」が 38.7%、「療育や訓練を行う施設が少ない」が 35.5%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「本人にあう通い先がわからない」が 21.1 ポイント、「通園・通所の送り迎えが大変」が 14.5 ポイント低く、「医療・福祉・教育のつながりが不十分」が 13.0 ポイント高くなっています。



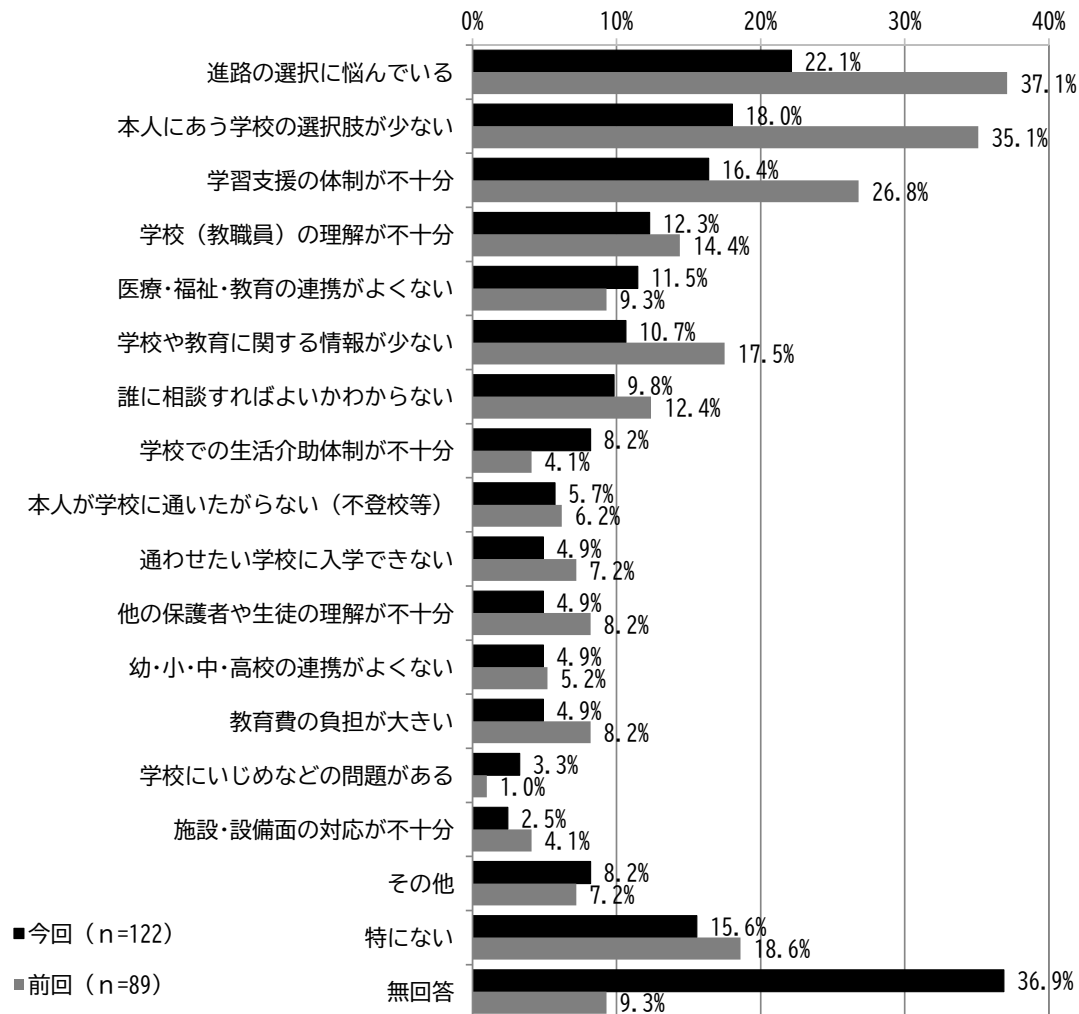
※その他の記入内容(抜粋)

- ・放課後デイサービスを毎日利用できない
- ・安心して頼れる就学相談員がない

問 11 学齢期のお子さまの、教育等についてお答えください。【就学前の場合は、問 12 にお進みください。】

学校に関して困っていることがありますか。(あてはまるすべてに○)

- ・学齢期のお子さまの学校について困っていることは、「進路の選択に悩んでいる」が 22.1%、次いで「本人にあう学校の選択肢が少ない」が 18.0%、「学習支援の体制が不十分」が 16.4%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「本人にあう学校の選択肢が少ない」が 17.1 ポイント、「進路の選択に悩んでいる」が 15.0 ポイント、「学習支援の体制が不十分」が 10.4 ポイント低くなっています。



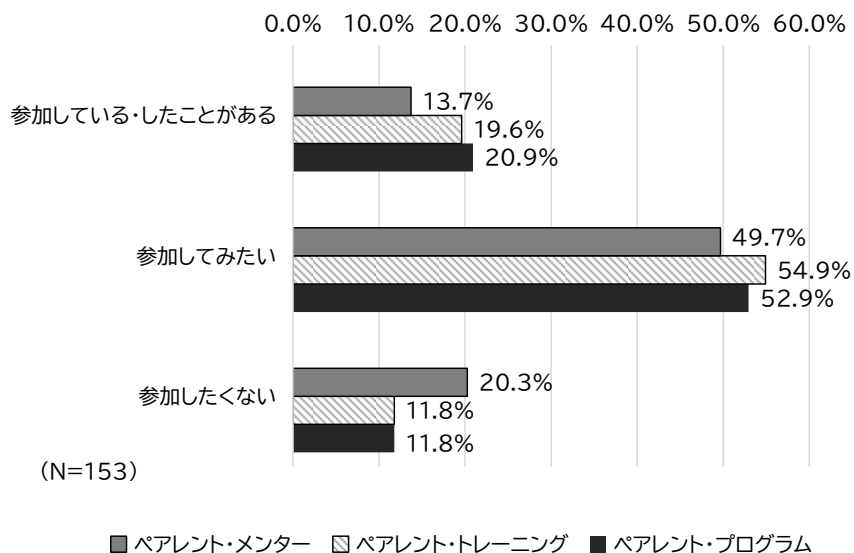
※その他の記入内容(抜粋)

- ・自宅から遠い
- ・学校での PTA 活動などが負担
- ・下校時間が早い
- ・小学校、中学校間での情報共有不足

問 12 療育支援についておたずねします。

下の表の①～③の療育支援の取組みについて、これまでの参加状況や参加の希望を、あてはまる□の欄に○をつけてください。(それぞれ1つずつ○)

- ・療育支援の取組みへの参加状況と今後の参加希望について、「参加している・したことがある」の比率が最も高いのは「ペアレント・プログラム」で 20.9% となっています。
- ・「参加してみたい」の比率が最も高いのは、「ペアレント・トレーニング」で 54.9% となっています。
- ・「参加したくない」の比率が最も高いのは、「ペアレント・メンター」で 20.3% となっています。

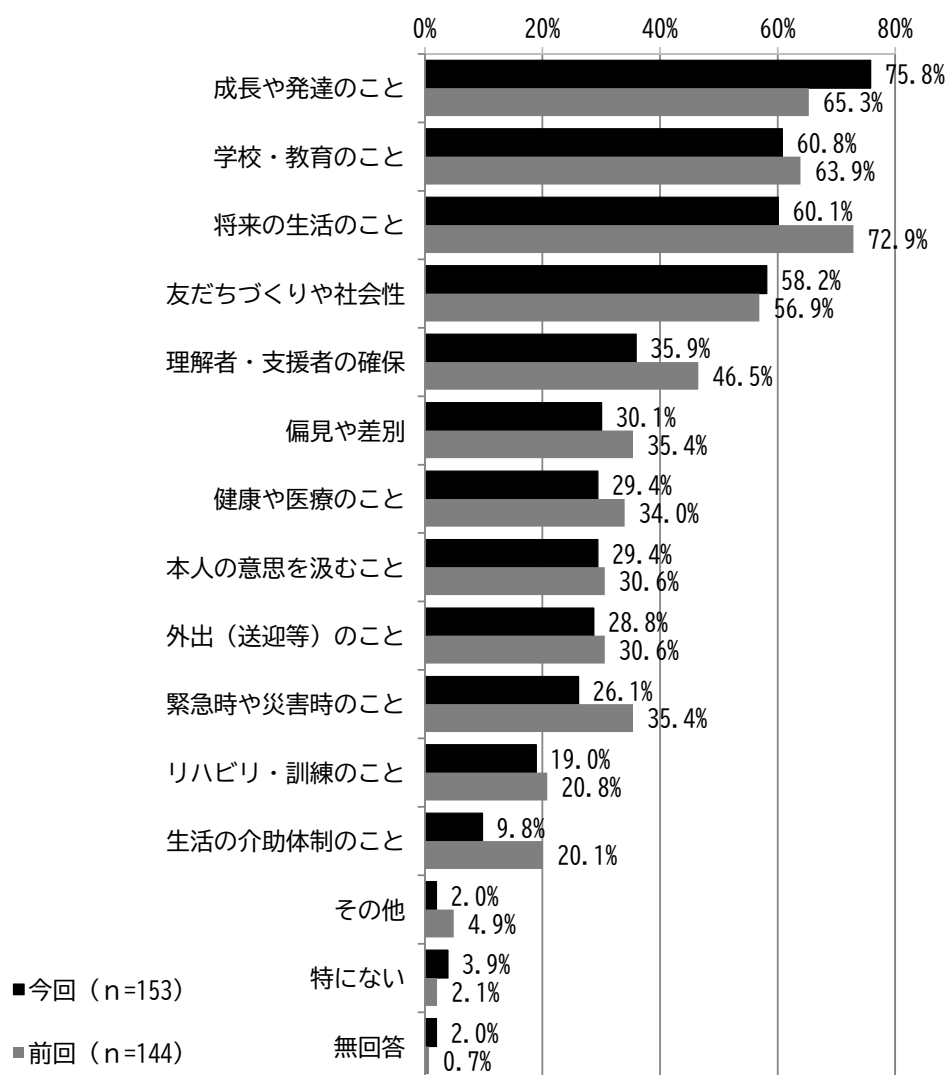


(4)相談について

問 13 悩みや不安、困りごとについておたずねします。

お子さまについての悩みや不安はありますか。(あてはまるすべてに○)

- ・本人についての悩みや不安は、「成長や発達のこと」が75.8%、次いで「学校・教育のこと」が60.8%、「将来の生活のこと」が60.1%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「成長や発達のこと」が10.5ポイント高く、「将来の生活のこと」は12.8ポイント、「理解者・支援者の確保」は10.6ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、就学前、就学後いずれも「成長や発達のこと」が高いですが、就学前では、「学校・教育のこと」、「友だちづくりや社会性」、就学後では、「将来の生活のこと」の比率もやや高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、内部障がいは「健康や医療のこと」、聴覚・平衡機能障がい、精神障がいは「緊急時や災害時のこと」「学校・教育のこと」、難病(特定疾病)は「外出(送迎等)のこと」「学校・教育のこと」が高くなっています。



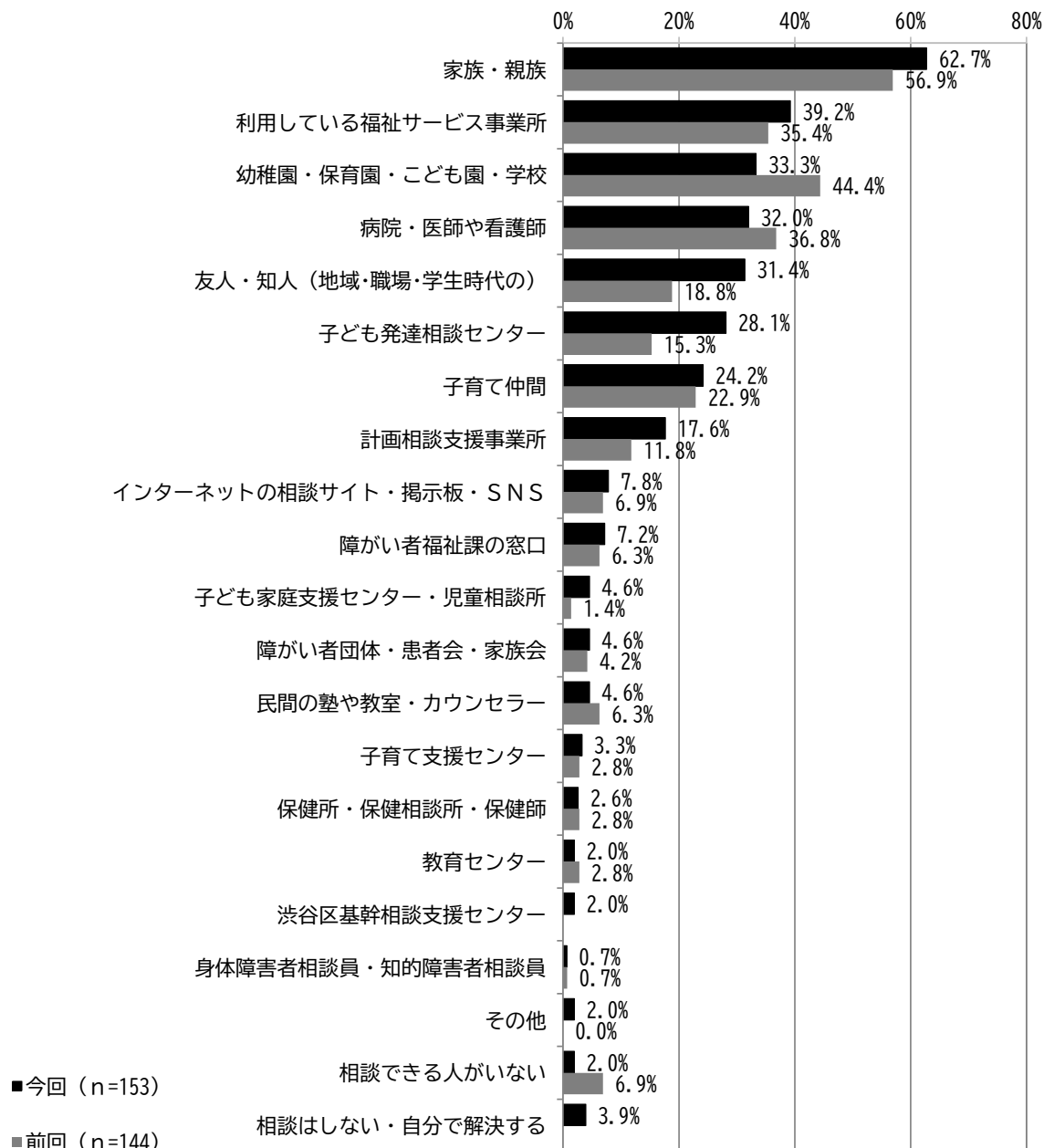
区分	回答数(人)	成長や発達のこと	健康や医療のこと	リハビリ・訓練のこと	学校・教育のこと	生活の介助体制のこと	外出(送迎等)のこと	緊急時や災害時のこと	偏見や差別	本人の意思を汲むこと	友だちづくりや社会性	理解者・支援者の確保	将来の生活のこと	その他	特にない	無回答	
全体	153	75.8%	29.4%	19.0%	60.8%	9.8%	28.8%	26.1%	30.1%	29.4%	58.2%	35.9%	60.1%	2.0%	3.9%	2.0%	
年齢別	就学前	58	86.2%	25.9%	24.1%	65.5%	8.6%	20.7%	22.4%	29.3%	20.7%	65.5%	29.3%	50.0%	1.7%	1.7%	0.0%
	就学後	95	69.5%	31.6%	15.8%	57.9%	10.5%	33.7%	28.4%	30.5%	34.7%	53.7%	40.0%	66.3%	2.1%	5.3%	3.2%
障がい種別	視覚障がい	4	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	100.0%	0.0%	25.0%	50.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	77.8%	44.4%	33.3%	66.7%	22.2%	33.3%	77.8%	66.7%	22.2%	55.6%	11.1%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	100.0%	30.8%	30.8%	46.2%	7.7%	15.4%	30.8%	30.8%	38.5%	23.1%	7.7%	38.5%	7.7%	7.7%	15.4%
	肢体不自由	17	47.1%	58.8%	58.8%	52.9%	35.3%	41.2%	52.9%	47.1%	35.3%	29.4%	23.5%	70.6%	11.8%	23.5%	0.0%
	内部障がい	10	80.0%	90.0%	40.0%	70.0%	30.0%	20.0%	40.0%	30.0%	40.0%	40.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	48	72.9%	35.4%	29.2%	56.3%	27.1%	56.3%	45.8%	41.7%	39.6%	41.7%	45.8%	85.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	82	81.7%	19.5%	9.8%	64.6%	4.9%	24.4%	17.1%	28.0%	30.5%	70.7%	47.6%	58.5%	0.0%	0.0%	1.2%
	精神障がい	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	80.0%	80.0%	60.0%	80.0%	40.0%	80.0%	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	88.2%	47.1%	29.4%	70.6%	11.8%	11.8%	29.4%	29.4%	11.8%	70.6%	29.4%	58.8%	0.0%	5.9%	0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 14 困りごとや悩みの解決に向けての情報収集や相談についておたずねします。

(1)現在の主な相談先は、どなた(どこ)ですか。(あてはまるすべてに○)

- ・現在の主な相談先は、「**家族・親族**」が**62.7%**、次いで「**利用している福祉サービス事業所**」が**39.2%**、「**幼稚園・保育園・こども園・学校**」が**33.3%**となっています。
- ・前回調査と比較すると、「**子ども発達相談センター**」が**12.8**ポイント、「**友人・知人(地域・職場・学生時代の)**」が**12.6**ポイント高く、「**幼稚園・保育園・こども園・学校**」は**11.1**ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、就学前は「**利用している福祉サービス事業所**」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がい、聴覚・平衡機能障がいは「**利用している福祉サービス事業所**」、肢体不自由、内部障がいは「**病院・医師や看護師**」が最も高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・スクールカウンセラー
- ・本

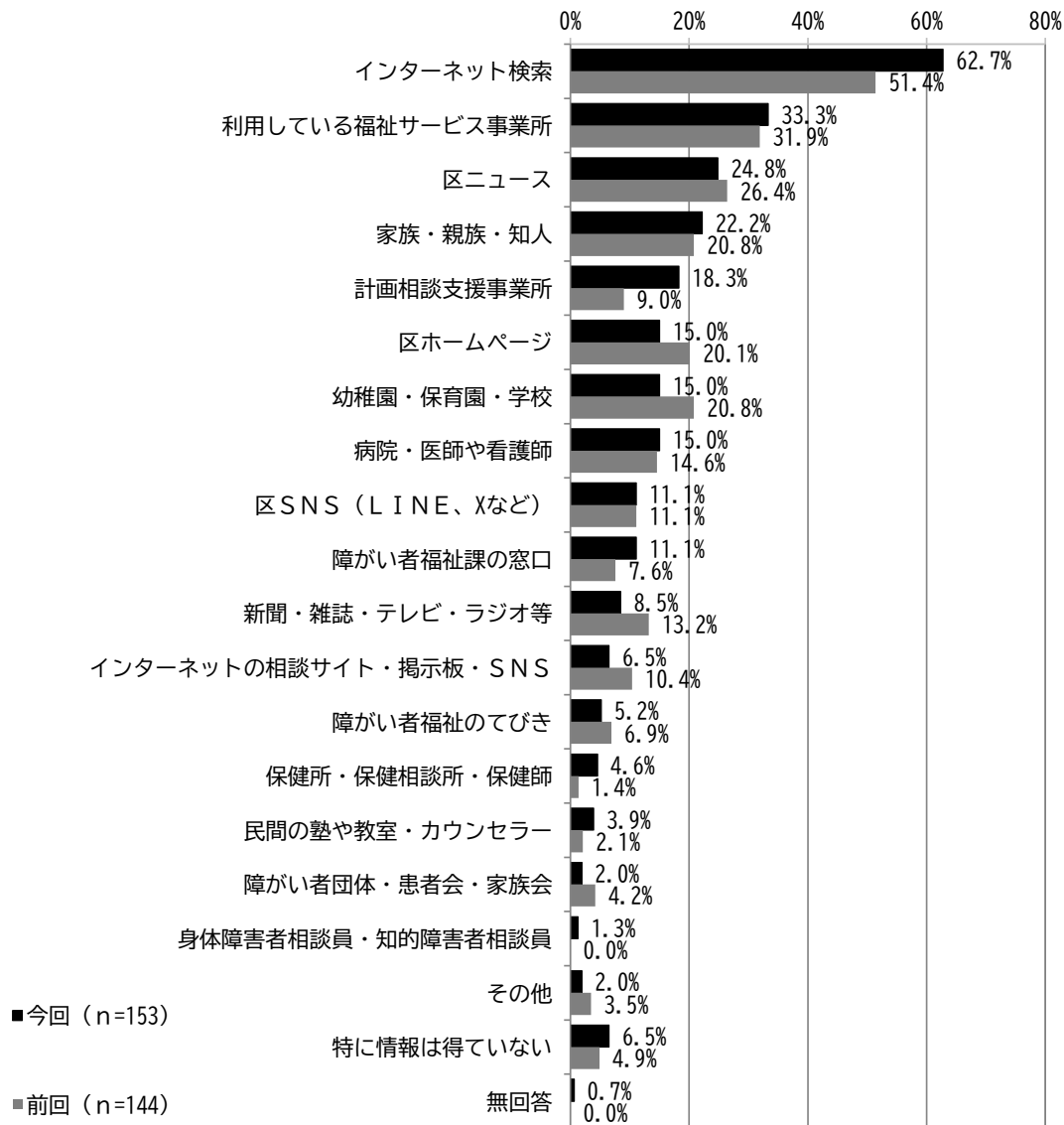
区分	回答数(人)	家族・親族	友人・知人 (地域・職場・学生時代の)	子育て仲間	子ども発達相談センター	子ども家庭支援センター ・児童相談所	子育て支援センター	教育センター	保健所・保健相談所・保健師	渋谷区基幹相談支援センター	障がい者福祉課の窓口	幼稚園・保育園・こども園・学校	
全体	153	62.7%	31.4%	24.2%	28.1%	4.6%	3.3%	2.0%	2.6%	2.0%	7.2%	33.3%	
年齢別	就学前	58	62.1%	27.6%	19.0%	44.8%	3.4%	3.4%	1.7%	5.2%	3.4%	32.8%	
	就学後	95	63.2%	33.7%	27.4%	17.9%	5.3%	3.2%	2.1%	1.1%	1.1%	33.7%	
障がい種別	視覚障がい	4	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
	聴覚・平衡機能障がい	9	33.3%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	53.8%	38.5%	23.1%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%	
	肢体不自由	17	41.2%	0.0%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	29.4%
	内部障がい	10	60.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	知的障がい	48	60.4%	22.9%	37.5%	25.0%	6.3%	2.1%	0.0%	2.1%	4.2%	16.7%	27.1%
	発達障がい	82	65.9%	34.1%	19.5%	31.7%	6.1%	4.9%	2.4%	3.7%	1.2%	2.4%	37.8%
	精神障がい	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	80.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	その他	17	52.9%	35.3%	41.2%	35.3%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%
無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	

区分	回答数(人)	障がい者団体・患者会・家族会	民生委員・児童委員	知的障害者相談員・身体障害者相談員	計画相談支援事業所	福祉サービスマネジメント事業所	利用している	病院・医師や看護師	民間の塾や教室・カウンスラー	SNS相談サイト・掲示板	インターネットの	その他	相談できる人がいない	相談はしない・自分で解決する	無回答
全体	153	4.6%	0.0%	0.7%	17.6%	39.2%	32.0%	4.6%	7.8%	2.0%	2.0%	3.9%	0.0%		
年齢別	就学前	58	3.4%	0.0%	1.7%	8.6%	51.7%	29.3%	5.2%	6.9%	1.7%	1.7%	6.9%	0.0%	
	就学後	95	5.3%	0.0%	0.0%	23.2%	31.6%	33.7%	4.2%	8.4%	2.1%	2.1%	2.1%	0.0%	
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	聴覚・平衡機能障がい	9	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	30.8%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	
	肢体不自由	17	5.9%	0.0%	5.9%	35.3%	47.1%	52.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	
	内部障がい	10	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	50.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	知的障がい	48	10.4%	0.0%	2.1%	39.6%	43.8%	37.5%	2.1%	12.5%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	発達障がい	82	0.0%	0.0%	0.0%	12.2%	40.2%	30.5%	6.1%	7.3%	3.7%	2.4%	3.7%	0.0%	
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	難病(特定疾病)	5	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	80.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	17	0.0%	0.0%	5.9%	17.6%	41.2%	29.4%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 14(2)福祉に関する情報は、主に何(どこ)から得ていますか。(あてはまるすべてに○)

- ・福祉に関する情報の入手先は、「インターネット検索」が 62.7%、次いで「利用している福祉サービス事業所」が 33.3%、「区ニュース」が 24.8%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「インターネット検索」が 11.3 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、いずれも「インターネット検索」の比率が最も高く、次いで「利用している福祉サービス事業所」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がいでは「障がい者福祉課の窓口」、「利用している福祉サービス事業所」、聴覚・平衡機能障がいでは「区ニュース」、高次脳機能障がいは、「家族・親族・知人」が最も高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・渋谷区子育てネウボラ
- ・本

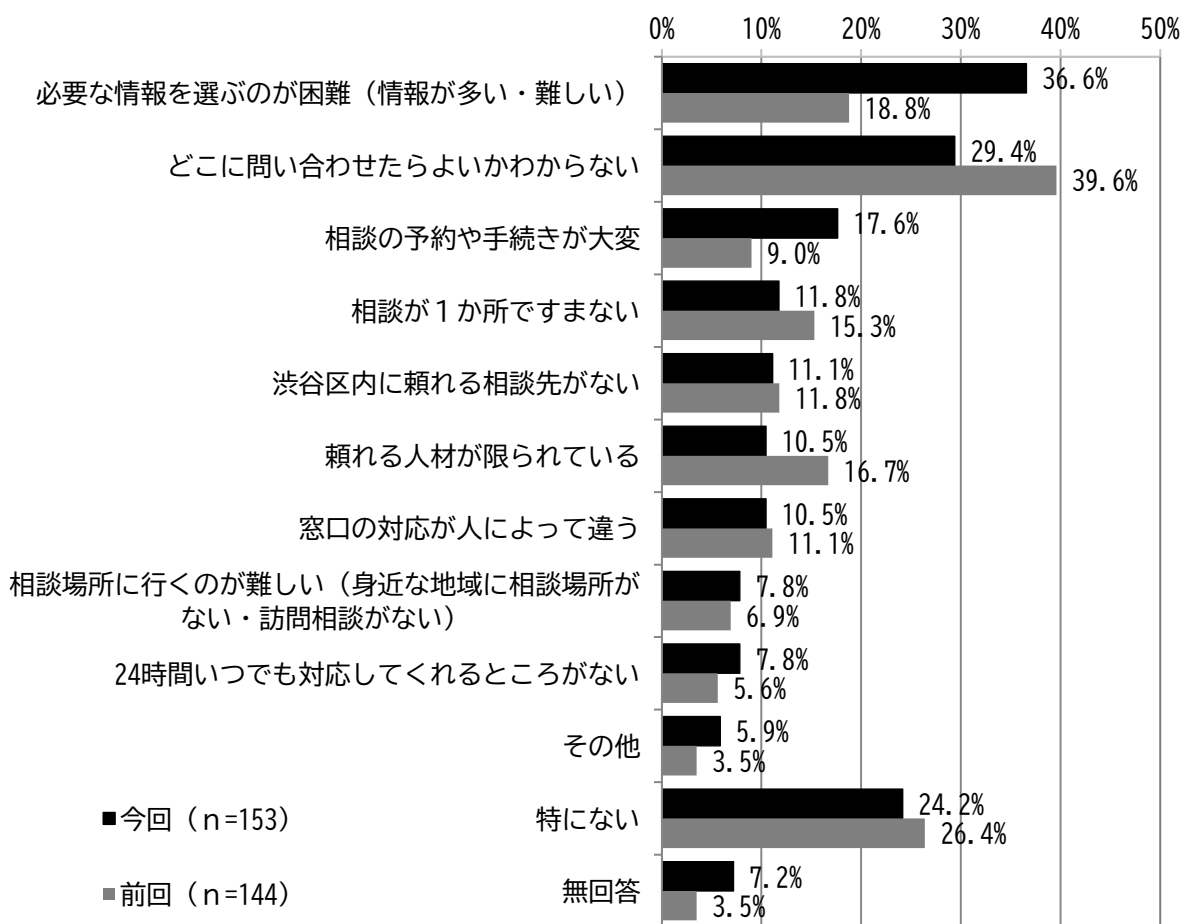
区分		回答数(人)	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	インターネット検索	区ニュース	区ホームページ	区SNS (LINE、Xなど)	障がい者福祉のてびき	家族・親族・知人	保健所・保健相談所・保健師	障がい者福祉課の窓口	幼稚園・保育園・学校
全体		153	8.5%	62.7%	24.8%	15.0%	11.1%	5.2%	22.2%	4.6%	11.1%	15.0%
年齢別	就学前	58	6.9%	63.8%	22.4%	17.2%	10.3%	3.4%	22.4%	6.9%	5.2%	10.3%
	就学後	95	9.5%	62.1%	26.3%	13.7%	11.6%	6.3%	22.1%	3.2%	14.7%	17.9%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	44.4%	55.6%	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	7.7%	38.5%	30.8%	7.7%	15.4%	15.4%	30.8%	0.0%	15.4%	0.0%
	肢体不自由	17	17.6%	58.8%	17.6%	11.8%	17.6%	11.8%	29.4%	0.0%	17.6%	5.9%
	内部障がい	10	10.0%	80.0%	50.0%	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	知的障がい	48	12.5%	60.4%	31.3%	14.6%	12.5%	14.6%	29.2%	2.1%	18.8%	14.6%
	発達障がい	82	6.1%	65.9%	23.2%	12.2%	9.8%	1.2%	20.7%	6.1%	11.0%	18.3%
	精神障がい	2	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	20.0%	80.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	その他	17	17.6%	64.7%	23.5%	17.6%	29.4%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	17.6%
無回答	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

区分		回答数(人)	障がい者団体・患者会・家族会	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	計画相談支援事業所	福祉サービスマニヤ事業所	病院・医師や看護師	民間の塾や教室・カウンスラー	SNS相談サイト・掲示板	インターネットの掲示板	その他	特に情報は得ていない	無回答
全体		153	2.0%	0.0%	1.3%	18.3%	33.3%	15.0%	3.9%	6.5%	2.0%	6.5%	0.7%	
年齢別	就学前	58	1.7%	0.0%	1.7%	12.1%	44.8%	10.3%	3.4%	3.4%	1.7%	8.6%	0.0%	
	就学後	95	2.1%	0.0%	1.1%	22.1%	26.3%	17.9%	4.2%	8.4%	2.1%	5.3%	1.1%	
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	23.1%	15.4%	0.0%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	
	肢体不自由	17	0.0%	0.0%	5.9%	35.3%	41.2%	35.3%	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	
	内部障がい	10	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	
	知的障がい	48	4.2%	0.0%	4.2%	39.6%	37.5%	18.8%	2.1%	10.4%	2.1%	2.1%	0.0%	
	発達障がい	82	0.0%	0.0%	0.0%	13.4%	36.6%	13.4%	4.9%	9.8%	2.4%	6.1%	1.2%	
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	難病(特定疾病)	5	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
	その他	17	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	35.3%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 14(3)相談先について困っていることはありますか。(あてはまるすべてに○)

- ・相談先について困っていることは、「必要な情報を選ぶのが困難」が 36.6%、次いで「どこに問い合わせたらよいかわからない」が 29.4%、「相談の予約や手続きが大変」が 17.6%となっています。一方、「特にない」は 24.2%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「どこに問い合わせたらよいかわからない」は 10.2 ポイント低くなった一方で、「必要な情報を選ぶのが困難(情報が多し・難しい)」が 17.8 ポイント、「相談の予約や手続きが大変」が 8.6 ポイント高くなっています。
- ・障がい種別では、聴覚・平衡機能障がい、内部障がい、難病(特定疾病)では「どこに問い合わせたらよいかわからない」、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由では「特にない」が最も高くなっています。



区分		回答数(人)	どこに問い合わせたらよいかわからない	必要な情報を選ぶのが困難(情報が多し・難しい)	相談場所に行くのが難しい(身近な地域に相談場所がない・訪問相談がない)	渋谷区内に頼れる相談先がない	相談が1か所ですまない	相談の予約や手続きが大変	24時間いつでも対応してくれるところがない	点字や音声による情報提供が少ない	頼れる人材が限られている	窓口の対応が人によって違う	その他	特になし	無回答
全体		153	29.4%	36.6%	7.8%	11.1%	11.8%	17.6%	7.8%	0.0%	10.5%	10.5%	5.9%	24.2%	7.2%
年齢別	就学前	58	29.3%	32.8%	6.9%	8.6%	10.3%	20.7%	10.3%	0.0%	10.3%	5.2%	6.9%	15.5%	8.6%
	就学後	95	29.5%	38.9%	8.4%	12.6%	12.6%	15.8%	6.3%	0.0%	10.5%	13.7%	5.3%	29.5%	6.3%
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	44.4%	44.4%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	7.7%
	肢体不自由	17	35.3%	23.5%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	17.6%	17.6%	0.0%	47.1%	11.8%
	内部障がい	10	50.0%	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	知的障がい	48	35.4%	37.5%	8.3%	12.5%	10.4%	18.8%	0.0%	0.0%	10.4%	18.8%	10.4%	29.2%	6.3%
	発達障がい	82	28.0%	42.7%	9.8%	13.4%	18.3%	20.7%	11.0%	0.0%	14.6%	11.0%	6.1%	17.1%	7.3%
	精神障がい	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	難病(特定疾病)	5	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
その他	17	23.5%	41.2%	5.9%	5.9%	5.9%	29.4%	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%	0.0%	29.4%	5.9%	
無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

(5) 権利擁護について

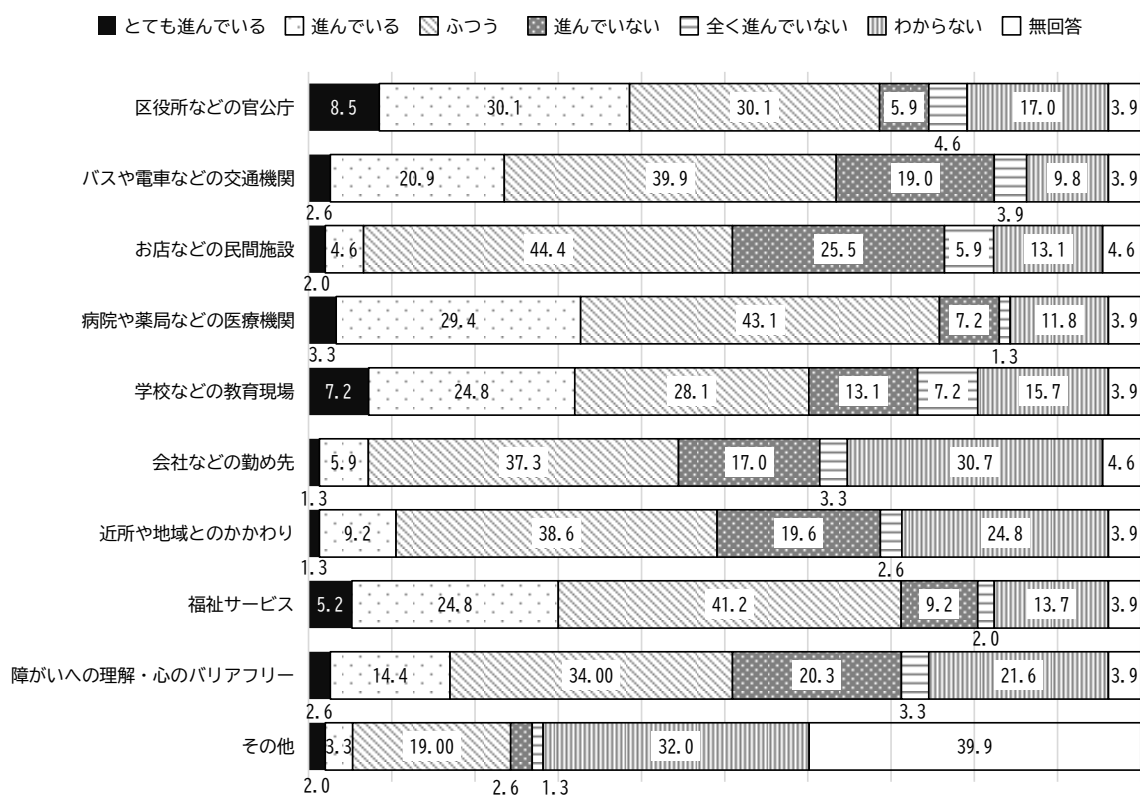
問 15 平成 28 年(2016 年)4月から「障害者差別解消法」が施行されました。

令和6年(2024 年)4月からは「改正障害者差別解消法」が施行され、事業者の合理的配慮の提供も義務化されました。

あなたの経験や感じていることについておたずねします。

(1) 渋谷区内の次の分野や場所について、障がいのある人への配慮がどのくらい進んでいると感じますか。(それぞれ1つに○)

- ・障がいのある人への配慮がどのくらい進んでいるかについて、「とても進んでいる」と「進んでいる」の回答比率は、「区役所などの官公庁」で 38.6%、次いで「病院や薬局などの医療機関」で 32.7%、「学校などの教育現場」で 32.0%などとなっています。
- ・「進んでいない」と「全く進んでいない」の回答比率は、「お店などの民間施設」で 31.4%、「障がいへの理解・心のバリアフリー」で 23.6%、「バスや電車などの交通機関」で 22.9%となっています。
- ・前回との比較では、「進んでいない」と「全く進んでいない」の回答比率で、「お店などの民間施設」で 20.0 ポイント、「障がいへの理解・心のバリアフリー」で 19.6 ポイント、「バスや電車などの交通機関」で 13.9 ポイント低くなっています。
- ・障がい種別では、「進んでいない」と「全く進んでいない」の回答比率では、「お店などの民間施設」で難病(特定疾患)が 80.0%、肢体不自由が 58.8%と高くなっています。



「とても進んでいる」と「進んでいる」(高い順)

「進んでいない」と「全く進んでいない」(高い順)

1 全体

	今回	前回
1 区役所などの官公庁	38.6%	36.8%
2 病院や薬局などの医療機関	32.7%	29.9%
3 学校などの教育現場	32.0%	23.6%

	今回	前回
1 お店などの民間施設	31.4%	51.4%
2 障がいへの理解・心のバリアフリー	23.5%	43.1%
3 バスや電車などの交通機関	22.9%	36.8%

2 視覚障がい

区役所などの官公庁	50.0%
病院や薬局などの医療機関	50.0%
バスや電車などの交通機関	25.0%

1 バスや電車などの交通機関	50.0%
1 お店などの民間施設	50.0%
1 障がいへの理解・心のバリアフリー	50.0%

3 聴覚・平衡機能障がい

1 区役所などの官公庁	55.6%
1 福祉サービス	55.6%
3 病院や薬局などの医療機関	44.4%

1 お店などの民間施設	44.4%
2 バスや電車などの交通機関	33.3%
2 障がいへの理解・心のバリアフリー	33.3%

4 音声・言語・そしゃく機能障がい

1 病院や薬局などの医療機関	38.5%
2 区役所などの官公庁	30.8%
3 学校などの教育現場	23.1%

1 バスや電車などの交通機関	38.5%
1 お店などの民間施設	38.5%
3 障がいへの理解・心のバリアフリー	23.1%

5 肢体不自由

1 学校などの教育現場	41.2%
2 区役所などの官公庁	35.3%
2 病院や薬局などの医療機関	35.3%

1 お店などの民間施設	58.8%
2 バスや電車などの交通機関	41.2%
2 障がいへの理解・心のバリアフリー	41.2%

6 内部障がい

1 病院や薬局などの医療機関	50.0%
2 区役所などの官公庁	30.0%
2 福祉サービス	30.0%

1 お店などの民間施設	40.0%
2 バスや電車などの交通機関	30.0%
2 学校などの教育現場	30.0%

「とても進んでいる」と「進んでいる」(高い順)

「進んでいない」と「全く進んでいない」(高い順)

7 知的障がい

1	区役所などの官公庁	37.5%
2	学校などの教育現場	35.4%
3	病院や薬局などの医療機関	25.0%

1	お店などの民間施設	39.6%
2	障がいへの理解・心のバリアフリー	37.5%
3	バスや電車などの交通機関	33.3%

8 発達障がい

1	区役所などの官公庁	36.6%
1	福祉サービス	36.6%
3	学校などの教育現場	32.9%

1	お店などの民間施設	29.3%
2	近所や地域とのかかわり	25.6%
3	会社などの勤め先	24.4%

9 精神障がい

1	区役所などの官公庁	50.0%
1	バスや電車などの交通機関	50.0%
1	病院や薬局などの医療機関	50.0%

1	区役所などの官公庁	50.0%
1	学校などの教育現場	50.0%
1	会社などの勤め先	50.0%

10 高次脳機能障がい

1	学校などの教育現場	100.0%
---	-----------	--------

1	バスや電車などの交通機関	100.0%
1	お店などの民間施設	100.0%
1	近所や地域とのかかわり	100.0%

*回答1人

11 難病

1	区役所などの官公庁	40.0%
1	病院や薬局などの医療機関	40.0%
3	学校などの教育現場	20.0%

1	お店などの民間施設	80.0%
2	バスや電車などの交通機関	60.0%
2	近所や地域とのかかわり	60.0%

問 15(2)「障がいへの対応がよくない・配慮が進んでいない」と感じられることや場所があれば、くわしくお書きください。

・障がいへの対応がよくない・配慮が進んでいないと感じたことや場所について記述式でたずねたところ、58人から62件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
公共の場・学校など (27件)	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーが進んでいない。(6件) ・学校や公共施設。(6件) ・バスや電車内。(5件) ・駅のエレベーターが不足している。(4件) ・「だれでもトイレ」が少なすぎる。 ・福祉タクシー券が利用出来るタクシーかどうか分からない。 ・最近、地下鉄の窓口に係員がいないので、割引などが受けづらい。 ・渋谷区に特別支援学校がない。
意識や障がい者への対応 (23件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対する理解不足、教育が行き届いていない。(9件) ・教師や相談員の障がい者への理解不足。(9件) ・もっと一般的に補聴器を知ってほしい。 ・教育現場の合理的配慮などが全く出来ていない。
その他 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の理解。 ・区役所からの手紙に「障がい者福祉課」と差出人表記されるのが嫌。 ・療育を受けるための受給者証に「障害」の文字を入れないでほしい。 ・ピアキッズの名称ですが、看板に「障害者福祉」の字があることが嫌。

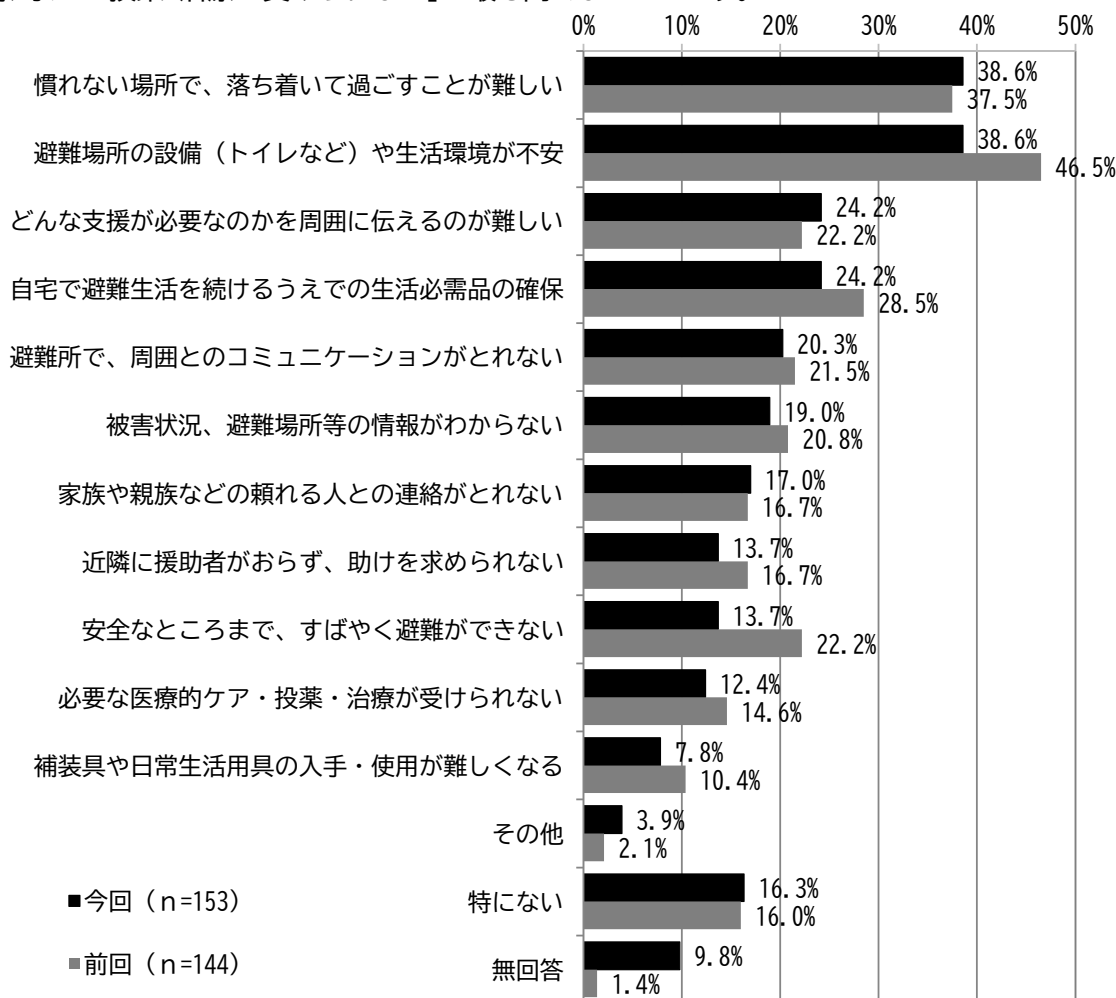
(6)防災について

問 16 防災についておたずねします。

災害からお子さまや家族の命を守るうえで、困ることや不安なことはありますか。

(あてはまるすべてに○)

- ・お子さまや家族の命を守るうえで困ることや不安なことは、「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」、「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が 38.6%、次いで「どんな支援が必要なのかを周囲に伝えるのが難しい」、「自宅で避難生活を続けるうえでの生活必需品の確保」が 24.2%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「安全なところまで、すばやく避難ができない」が 8.5 ポイント、「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が 7.9 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、就学前で「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が、就学後で「慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がいでは「安全なところまで、すばやく避難ができない」、聴覚・平衡機能障がいでは「避難所で、周囲とのコミュニケーションがとれない」、内部障がいでは「必要な医療的ケア・投薬・治療が受けられない」、難病(特定疾病)では「どんな支援が必要なのかを周囲に伝えるのが難しい」「近隣に援助者がおらず、助けを求められない」「安全なところまで、すばやく避難ができない」「必要な医療的ケア・投薬・治療が受けられない」が最も高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

- ・親亡き後の対応
- ・福祉避難所への誘導
- ・内服薬の確保

区分		回答数(人)	被害状況、避難場所等の情報がわからない	避難所で、周囲とのコミュニケーションがとれない	慣れない場所で、落ち着いて過ごすことが難しい	どんな支援が必要なのかを周囲に伝えるのが難しい	家族や親族などの頼れる人との連絡がとれない	避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安	自宅で避難生活を続けるうえでの生活必需品の確保	近隣に援助者がおらず、助けを求められない	安全なところまで、すばやく避難ができない	必要な医療的ケア・投薬・治療が受けられない	補装具や日常生活用具の入手・使用が難しくなる	その他	特になし	無回答
全体		153	19.0%	20.3%	38.6%	24.2%	17.0%	38.6%	24.2%	13.7%	13.7%	12.4%	7.8%	3.9%	16.3%	9.8%
年齢別	就学前	58	13.8%	13.8%	41.4%	15.5%	17.2%	46.6%	24.1%	13.8%	6.9%	13.8%	8.6%	5.2%	15.5%	12.1%
	就学後	95	22.1%	24.2%	36.8%	29.5%	16.8%	33.7%	24.2%	13.7%	17.9%	11.6%	7.4%	3.2%	16.8%	8.4%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	66.7%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	15.4%	15.4%	46.2%	15.4%	0.0%	38.5%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%
	肢体不自由	17	35.3%	23.5%	29.4%	35.3%	23.5%	70.6%	52.9%	35.3%	41.2%	52.9%	35.3%	5.9%	11.8%	0.0%
	内部障がい	10	20.0%	10.0%	30.0%	20.0%	30.0%	50.0%	40.0%	30.0%	30.0%	70.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	知的障がい	48	27.1%	29.2%	39.6%	35.4%	22.9%	37.5%	35.4%	25.0%	25.0%	14.6%	12.5%	4.2%	10.4%	8.3%
	発達障がい	82	14.6%	15.9%	45.1%	26.8%	11.0%	32.9%	15.9%	6.1%	7.3%	6.1%	1.2%	2.4%	19.5%	12.2%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病(特定疾病)	5	40.0%	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	60.0%	60.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	11.8%	11.8%	35.3%	11.8%	29.4%	47.1%	35.3%	11.8%	29.4%	17.6%	5.9%	0.0%	23.5%	5.9%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

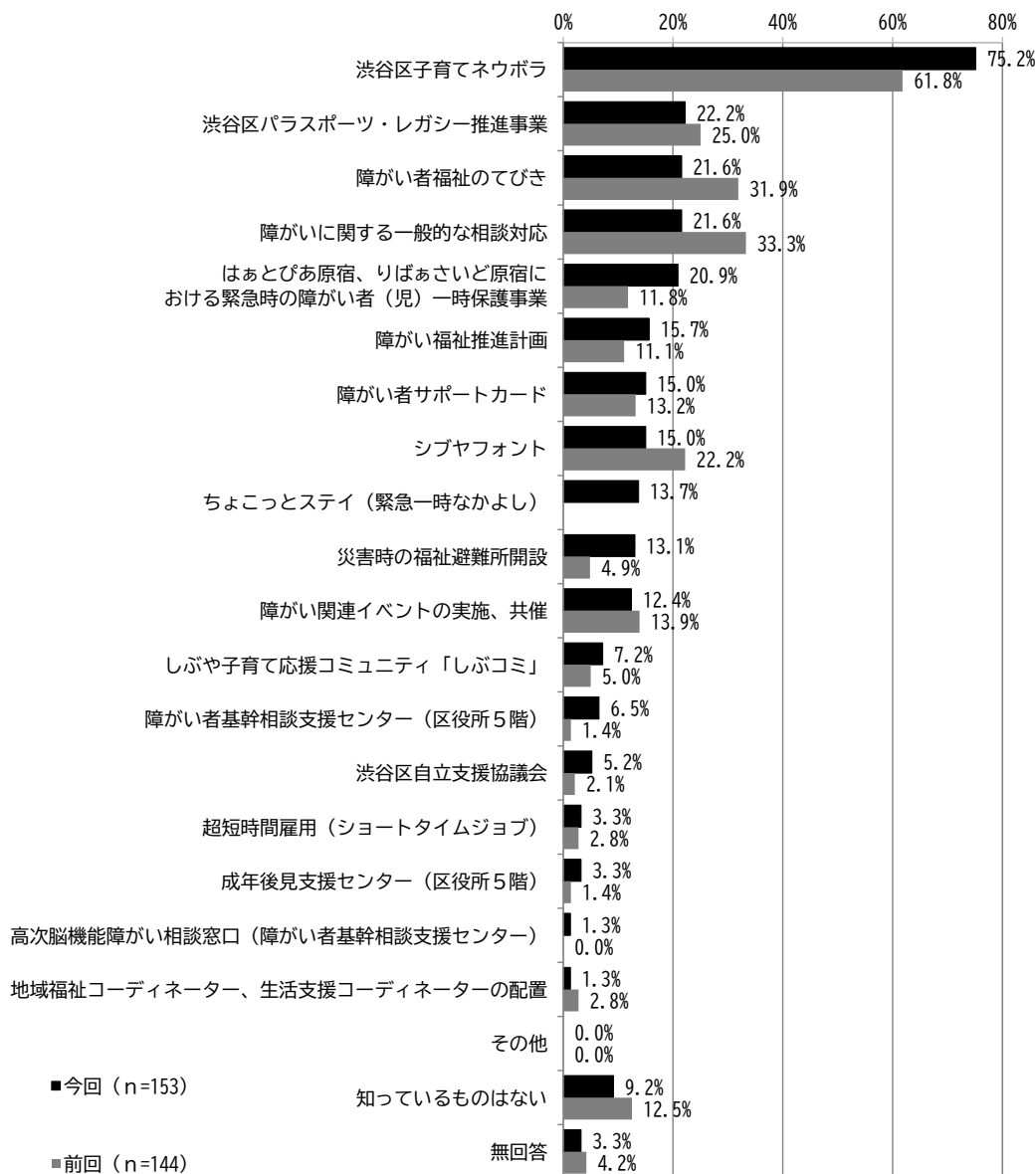
(7) 渋谷区で自分らしく生きるために

問 17 渋谷区の施策についておたずねします。

(1) 渋谷区が実施している以下の施策や取組みで知っているものに○をつけてください。

(あてはまるすべてに○)

- ・渋谷区が実施している施策や取組について知っているのは、「渋谷区子育てネウボラ」が 75.2%、次いで「渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業」が 22.2%、「障がい者福祉のてびき」、「障がいに関する一般的な相談対応」が 21.6%となっています。一方、「知っているものはない」は 9.2%です。
- ・前回調査と比較すると、「渋谷区子育てネウボラ」が 13.4 ポイント、「はあとびあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の障がい者（児）一時保護事業（前回のはあとびあ原宿のみ）」が 9.1 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、いずれも「渋谷区子育てネウボラ」の比率が最も高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がいでは、肢体不自由では「障がい者福祉のてびき」が最も高くなっています。



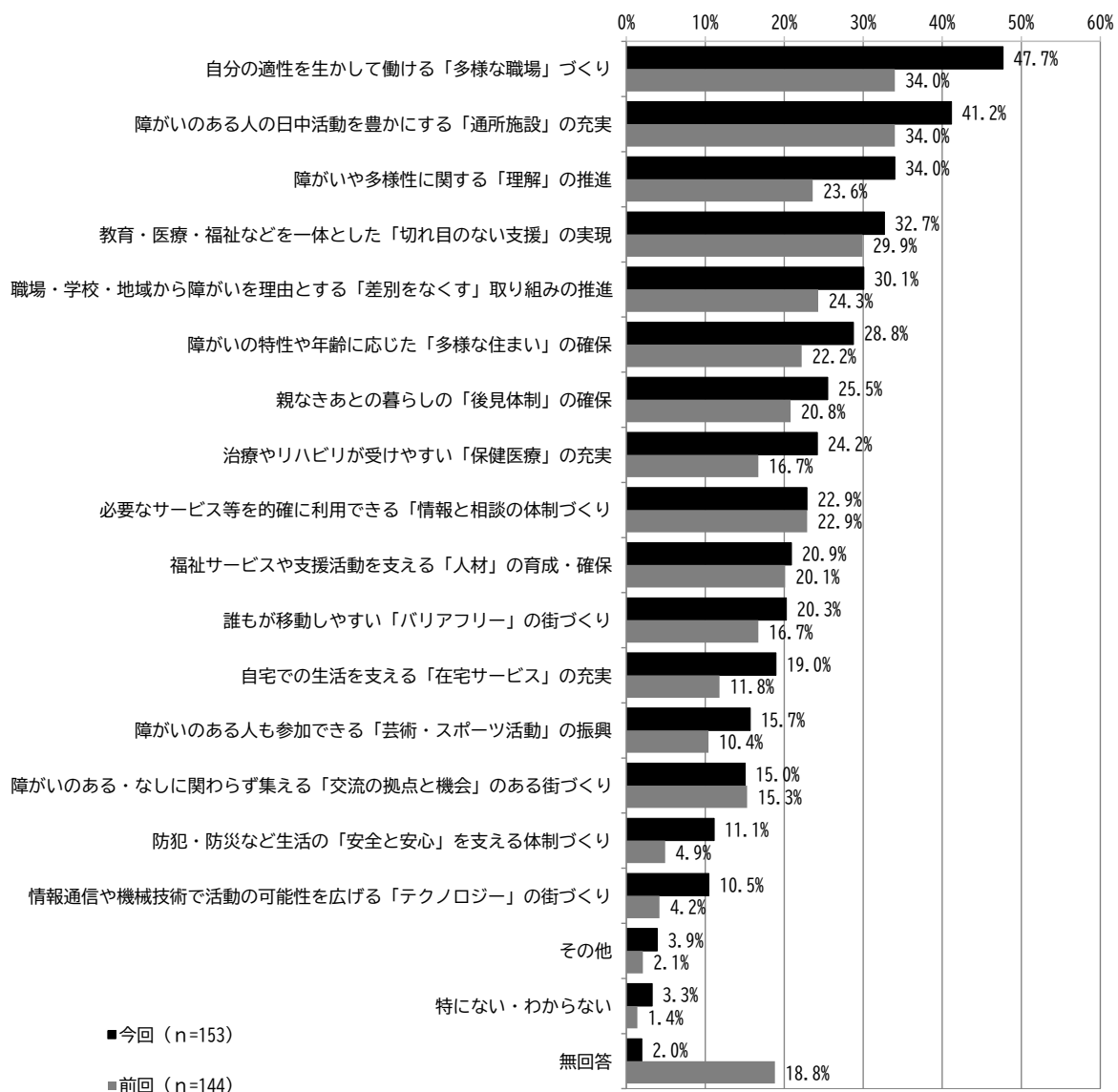
区分		回答数（人）	障がい福祉推進計画	障がい者福祉のてびき	障がい者サポートカード	シブヤフオント	超短時間雇用（ショートタイムジョブ）	渋谷区自立支援協議会	災害時の福祉避難所開設	ちよこつとステイ（緊急一時なかよし）	緊急時の障がい者（児）一時保護事業	障がい関連イベントの実施、共催
全体		153	15.7%	21.6%	15.0%	15.0%	3.3%	5.2%	13.1%	13.7%	20.9%	12.4%
年齢別	就学前	58	12.1%	13.8%	8.6%	13.8%	3.4%	5.2%	10.3%	6.9%	15.5%	8.6%
	就学後	95	17.9%	26.3%	18.9%	15.8%	3.2%	5.3%	14.7%	17.9%	24.2%	14.7%
障がい種別	視覚障がい	4	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	11.1%	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	30.8%	30.8%	30.8%	30.8%	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	23.1%	15.4%
	肢体不自由	17	23.5%	58.8%	52.9%	23.5%	5.9%	0.0%	29.4%	11.8%	29.4%	23.5%
	内部障がい	10	10.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	30.0%	30.0%
	知的障がい	48	18.8%	33.3%	27.1%	18.8%	4.2%	4.2%	25.0%	33.3%	33.3%	22.9%
	発達障がい	82	13.4%	12.2%	11.0%	13.4%	2.4%	7.3%	9.8%	9.8%	17.1%	11.0%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	難病（特定疾病）	5	20.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	その他	17	5.9%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	17.6%	0.0%	11.8%	11.8%
無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	

区分		回答数（人）	渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業	障がいに関する一般的な相談対応	渋谷区子育てネウボラ	しぶや子育て応援コミュニティ「しぶこみ」	障がい者基幹相談支援センター（区役所5階）	高次脳機能障がい相談窓口（障がい者基幹相談支援センター）	成年後見支援センター（区役所5階）	地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーターの配置	その他	知っているものはない	無回答
全体		153	22.2%	21.6%	75.2%	7.2%	6.5%	1.3%	3.3%	1.3%	0.0%	9.2%	3.3%
年齢別	就学前	58	20.7%	22.4%	89.7%	6.9%	5.2%	3.4%	1.7%	3.4%	0.0%	6.9%	0.0%
	就学後	95	23.2%	21.1%	66.3%	7.4%	7.4%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	22.2%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	23.1%	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%
	肢体不自由	17	23.5%	35.3%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%
	内部障がい	10	40.0%	20.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	知的障がい	48	22.9%	31.3%	66.7%	6.3%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	10.4%	2.1%
	発達障がい	82	20.7%	20.7%	79.3%	9.8%	8.5%	1.2%	6.1%	1.2%	0.0%	8.5%	2.4%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病（特定疾病）	5	40.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	その他	17	23.5%	11.8%	82.4%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%
無回答	2	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 17(2) 今後、渋谷区で障がいのある人や子どもが自分らしく生きていくためには、特にどのような施策を進める必要があると思いますか。(〇は5つまで)

- ・特に進めていく必要がある施策は、「自分の適性を生かして働ける「多様な職場」づくり」が 47.7%、次いで「障がいのある人の日中活動を豊かにする「通所施設」の充実」が 41.2%、「障がいや多様性に関する「理解」の推進」が 34.0%、「教育・医療・福祉などを一体とした「切れ目のない支援」の実現」が 32.7%、「職場・学校・地域から障がいを理由とする「差別をなくす」取り組みの推進」が 30.1%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「自分の適性を生かして働ける「多様な職場」づくり」が 13.7 ポイント、「障がいや多様性に関する「理解」の推進」が 10.4 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、いずれも「自分の適性を生かして働ける「多様な職場」づくり」、「障がいのある人の日中活動を豊かにする「通所施設」の充実」の比率が高くなっています。
- ・障がい種別では、視覚障がいでは「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」などの5項目、聴覚・平衡機能障がいでは「職場・学校・地域から障がいを理由とする「差別をなくす」取り組みの推進」など2項目、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「誰もが移動しやすい「バリアフリー」の街づくり」、肢体不自由では「治療やリハビリが受けやすい「保健医療」の充実」など2項目、内部障がいでは「誰もが移動しやすい「バリアフリー」の街づくり」など2項目、知的障がいでは「障がいのある人の日中活動を豊かにする「通所施設」の充実」、難病(特定疾病)では「教育・医療・福祉などを一体とした「切れ目のない支援」の実現」が最も高くなっています。



区分		回答数（人）	治療やリハビリが受けやすい 「保健医療」の充実	障がい者の特性や年齢に応じた 「多様な住まい」の確保	自宅での生活を支える 「在宅サービス」の充実	障がいのある人の 「日中活動を豊かにする 通所施設」の充実	障がいの拠点と機会 「交流の拠点と機会」のある街づくり	障がいのある人も参加できる 「芸術・スポーツ活動」の振興	誰もが移動しやすい 「バリアフリー」の街づくり	情報通信や機械技術で 活動の可能性を広げる 「テクノロジー」の街づくり	
全体		153	24.2%	28.8%	19.0%	41.2%	15.0%	47.7%	15.7%	20.3%	10.5%
年齢別	就学前	58	24.1%	22.4%	19.0%	41.4%	12.1%	48.3%	12.1%	25.9%	10.3%
	就学後	95	24.2%	32.6%	18.9%	41.1%	16.8%	47.4%	17.9%	16.8%	10.5%
障がい種別	視覚障がい	4	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	22.2%	22.2%	0.0%	44.4%	22.2%	55.6%	44.4%	11.1%	33.3%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	23.1%	30.8%	7.7%	38.5%	15.4%	23.1%	15.4%	46.2%	7.7%
	肢体不自由	17	58.8%	47.1%	17.6%	58.8%	23.5%	29.4%	29.4%	47.1%	11.8%
	内部障がい	10	40.0%	20.0%	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%	50.0%	10.0%
	知的障がい	48	22.9%	45.8%	27.1%	56.3%	16.7%	50.0%	16.7%	14.6%	6.3%
	発達障がい	82	18.3%	23.2%	18.3%	37.8%	20.7%	50.0%	15.9%	18.3%	6.1%
	精神障がい	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	難病（特定疾病）	5	40.0%	80.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	その他	17	35.3%	47.1%	29.4%	52.9%	17.6%	52.9%	29.4%	23.5%	5.9%
無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

区分		回答数（人）	職場・学校・地域から 「差別をなくす」取り組みの推進	障がいや多様性に関する 「理解」の推進	を「防犯・防災など生活の 安全と安心」	必要なサービス等を的確に 「情報と相談の体制づくり」に利用できる	福祉サービスや支援活動を 「人材」の育成・確保で支える	「親なきあとの暮らしの 「後見体制」の確保	「教育・医療・福祉などを 「切れ目のない支援」の実現とした	その他	特になし・わからない	無回答
全体		153	30.1%	34.0%	11.1%	22.9%	20.9%	25.5%	32.7%	3.9%	3.3%	2.0%
年齢別	就学前	58	32.8%	31.0%	8.6%	20.7%	17.2%	22.4%	27.6%	3.4%	5.2%	1.7%
	就学後	95	28.4%	35.8%	12.6%	24.2%	23.2%	27.4%	35.8%	4.2%	2.1%	2.1%
障がい種別	視覚障がい	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	9	55.6%	55.6%	22.2%	0.0%	44.4%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	13	38.5%	38.5%	15.4%	15.4%	38.5%	15.4%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%
	肢体不自由	17	35.3%	35.3%	17.6%	17.6%	35.3%	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	内部障がい	10	20.0%	30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	48	27.1%	35.4%	8.3%	27.1%	39.6%	50.0%	37.5%	6.3%	0.0%	0.0%
	発達障がい	82	30.5%	39.0%	8.5%	25.6%	15.9%	25.6%	31.7%	3.7%	4.9%	2.4%
	精神障がい	2	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病（特定疾病）	5	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	60.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	17	17.6%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%	23.5%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 17(3)渋谷区に住んでいて良かったと思ったこと、今後期待することがあれば自由にお書きください。

・渋谷区に住んでいて良かったと思ったこと、今後期待することについて記述式でたずねたところ、79人から114件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

●住んでいて良かったと思ったこと(75件)

分類	内容(抜粋・要約)
サービスや支援について (55件)	<ul style="list-style-type: none"> ・療育がスムーズで十分なサービスが提供されている。(12件) ・子育てネウボラを中心とした施設が充実している。(5件) ・はぁとぴあ原宿や、りばぁさいど原宿の存在。(5件) ・支援体制がしっかりしている。(5件) ・相談窓口や支援者が親切。(5件) ・療育を無料で受けられる。(3件) ・他区よりも支援が充実している。(3件) ・学校の先生達の支援がとても手厚い。(2件) ・特別支援学校に通う児童も放課後クラブを利用できる。 ・診断が出ない段階でも療育の必要性を認めてもらえて受給者証が取れたこと。 ・支援計画書の作成を親ではなく、子ども発達相談センターの方に作成していただけなのは助かった。 ・プールの授業の時は必ず介助員さんがついてくれる。
区の対応について (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性に対する受容は進んでいる。(3件) ・区役所の対応が素晴らしい。(2件) ・情報発信にとっても熱心。 ・申請がインターネットからできることが多く便利。
その他 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな病院があり、レベルの高い医療が提供されている。(2件) ・「ちがいをちからに変える」というスローガンと取組みを評価している。(2件) ・育児・出産に関して手厚いサポートがあるのはとても嬉しかった。

●今後期待すること(39件)

分類	内容(抜粋・要約)
まちづくりについて (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内にグループホーム等障がい者の住まいとなる場所の開設を希望する。(3件) ・バリアフリーの普及をすすめてほしい。 ・合理的配慮を理解して行動されることに期待。
支援・サービスについて (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に放課後等デイサービスを増やしてほしい。(4件) ・専門の支援機関が増えてほしい。(2件) ・私立小学校入学後も、区立小学校の実施する「きこえとことばの教室」を使える枠組みを作ってほしい。(2件) ・インクルーシブ教育の実現に向けた体制整備。 ・補装具の最新機器へのアップグレード支援。 ・障がい児用アプリがあるとコミュニティーが広がる。 ・子育てネウボラなどで療育的な親子教室を開催してほしい。 ・就学後にサービスを受ける場合の費用負担が大きいので補助拡充をしてほしい。
その他 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の都立高校内の支援級を設立してほしい。(2件) ・港区を参考に障がい福祉サービスを充実してほしい。(2件) ・区が主導して障がい福祉サービスの質を高めてほしい。 ・外国人に対する施策だけではなく、日本の障がい者に目を向けて欲しい。

最後に、アンケート全体や区の障がい者施策、日ごろから感じていることについて、ご意見、ご提案などがあれば自由にお書きください。

・アンケート全体や区の障がい者施策、日ごろから感じていることについて記述式でたずねたところ、48人から72件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
障がいへの対応や相談ニーズについて (9件)	<p>○障がいの対応について(2件) ・未就学児には支援が大きい、就学後は支援が縮小している印象。 ・親が発達に関して心配に思っていることは沢山あるが、本当に必要なサポートを今受けているのかは親も子ども本人もわからない。</p> <p>○情報・相談について(5件) ・まだ支援の手は足りていないので自分たちで情報を探さないといけないが、その時間がない。(2件) ・乳児健診などで気になることを相談しても、子ども発達相談センターと部署が違うため何度も訪問したり、予約をしたりして調整をする必要があり手間がかかった。</p> <p>○人材の育成・配置について(2件) ・就学相談員の方は自分の目線ではなくチームや保育園、療育等としっかり連携をとってほしい。就学相談員に振り回されづらい思いをした。</p>
療育・教育について (8件)	<p>○療育について(2件) ・他の区では、通所日数や区の人が療育先に様子を確認しに行くなど、渋谷区より手厚く感じた。他の区の対応など確認しつつ拡充されていくと良いと思う。</p> <p>○学校教育について(4件) ・知的の遅れはないが授業を受けることが難しい子が、通常級において、その子にあったやり方で授業を受けることができるようになってほしい。 ・聴覚、視覚など相手とのコミュニケーション方法に考慮が必要な子が安心して学べる場がほしい。 ・公立小中学校の体制が、他の区に比べると遅れている。</p> <p>○放課後等デイサービスについて(2件) ・もっと放課後等デイサービスの受け入れを増やしてほしい。 ・不登校の子が、放課後等デイサービスを利用した際に登校扱いすることで、子どもの心理的負担が減ると思う。</p>
福祉サービスについて (11件)	<p>○福祉サービスの不足について(5件) ・土日に預け先や利用できる福祉サービスがない。 ・利用したい時に、近くにないことや空きがないため利用が難しい。</p> <p>○移動支援等について(3件) ・希望する親には通常級の児童の親と同条件で働けるように移動支援を利用できるようにしてほしい。 ・副籍交流の後の小学校から特別支援学校の移動についても支援があれば嬉しい。 ・障がい者やその付き添いの方が利用できる、交通サービス(例えばタクシーアプリの導入等)があれば、他の区との差別化が図られる。</p> <p>○所得制限/費用負担について(3件) ・遠い病院に行くときの補助があればありがたい。 ・両親の年収によって、利用する施設の利用費の負担額が変わるのはおかしい。</p>

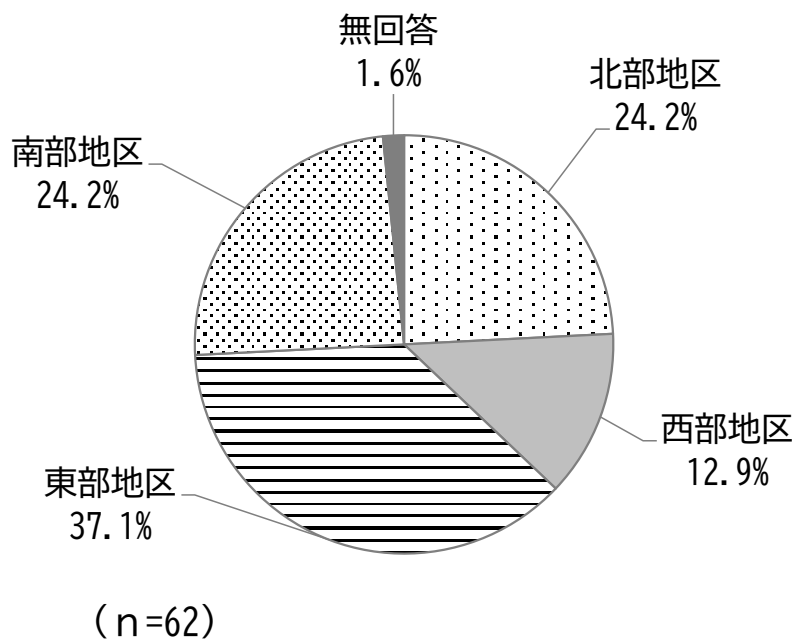
<p>共生社会の実現に向けて (16件)</p>	<p><u>○理解の推進について(10件)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の皆さんが多様性を受け止めて助け合える人材となるような教育や人材育成が重要だと思う。(3件) ・インクルーシブな社会の実現に向けた取り組みを願っている。 ・公立の小学校・中学校で、教員や生徒の方々へ正しい理解が促進されるような学習の機会を望む。 <p><u>○交流の場について(4件)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の保護者が気軽に繋がれてやり取りできる場が増えてほしい。 ・せめて小学生～中学生までは健常者と発達障がいとの生活・教育の垣根が低くなると良い。 <p><u>○環境について(2件)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・街中等のバリアフリー化、エレベーター設置を進めて欲しい。(2件)
<p>区に対する意見 (28件)</p>	<p><u>○区への期待(12件)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区の福祉行政がますます活発になってほしい。(3件) ・渋谷区は、障がい者、障がい児に対する取り組みが他区と比較すると圧倒的に少ない。隣接する区と比較すると歴然と少ないため、頑張っていただきたい。 ・子が大人になったときに頼ることができる場所がある街にして欲しい。(2件) ・障がい児支援に関わる全ての方の適切な報酬や休養が保たれてほしい。 <p><u>○アンケートについて(8件)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果集計するだけでなく良い意見は吸い上げて、課題は改善し、どんどんよい街づくりに繋げてほしい。(2件) ・アンケートの量が多すぎる。 <p><u>○その他(8件)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の障がい者福祉課からお知らせがくるたびに『障害者』という言葉を見て心がかき乱される。子供の発達に関する窓口の名称をご一考願いたい。(2件) ・障がい者への権利保護は際限がなくなるから一定程度に留めることが費用対効果の観点からは妥当。 ・障がい児を持ってはじめて、いかに社会がマジョリティの基準で動いているかを痛感する。

5 事業所調査の結果

(1) 事業所の概況(回答事業所の属性)

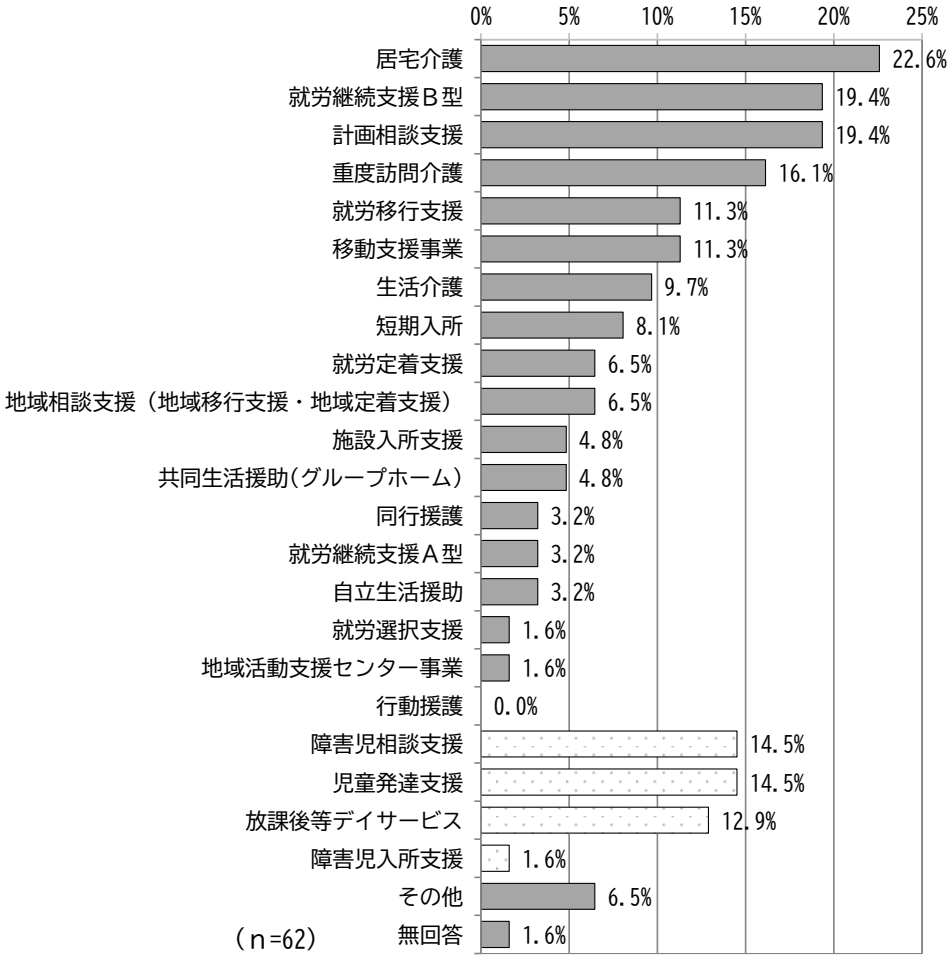
問1 事業所がある地区はどちらですか。(1つに○)

・回答した事業所がある地区は、「**東部地区**」が 37.1%、次いで「南部地区」、「北部地区」が 24.2%、「西部地区」が 12.9%となっています



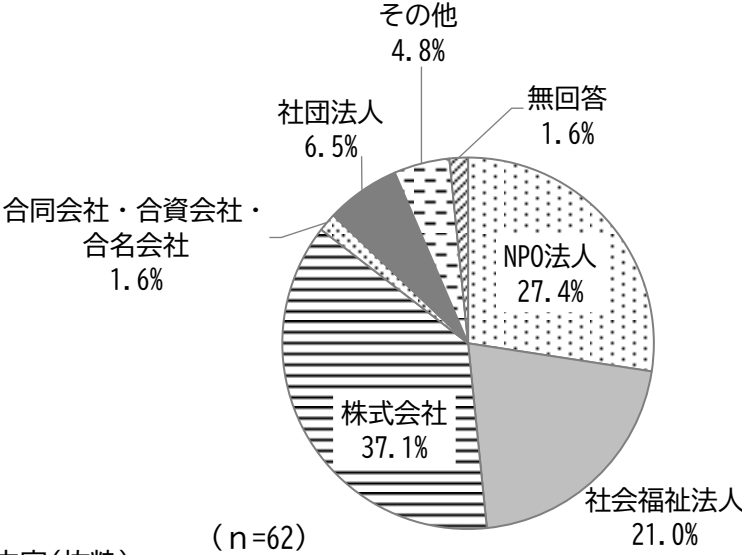
問2 事業所の提供しているサービスは何ですか。(複数選択可)

- ・回答した事業所が提供しているサービスは、「居宅介護」が 22.6%、次いで「就労継続支援 B 型」、「計画相談支援」が 19.4%、「重度訪問介護」が 16.1%などとなっています。
- ・障がい児を対象とするサービスは、「障害児相談支援」、「児童発達支援」が 14.5%、次いで「放課後等デイサービス」が 12.9%、「障害児入所支援」が 1.6%となっています。



問3 事業所の経営母体はどれですか。(1つに○)

・回答した事業所の経営母体は、「株式会社」が 37.1%、次いで「NPO 法人」が 27.4%、「社会福祉法人」が 21.0%などとなっています。

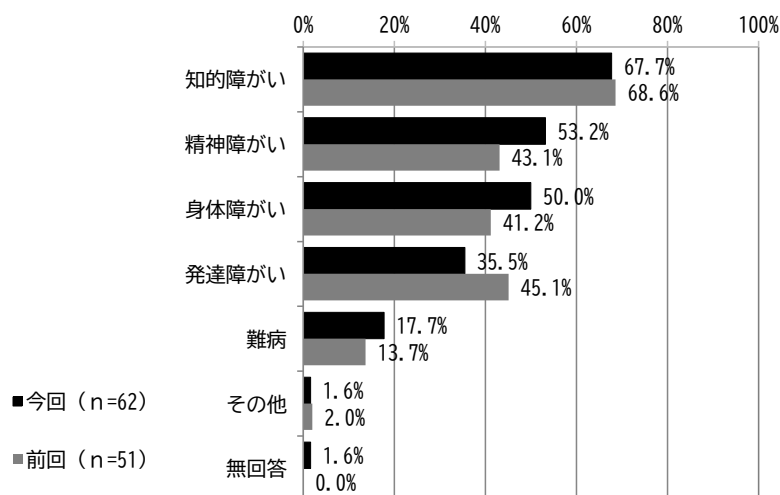


※その他の記入内容(抜粋)
・医療法人
・特殊法人

問4 事業所の利用者についてお伺いします。

(1)主な障がい種別は何ですか。(複数選択可)

- ・利用者の主な障がい種別は、「知的障がい」が 67.7%、次いで「精神障がい」が 53.2%、「身体障がい」が 50.0%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、精神障がい が 10.1 ポイント高くなっています。
- ・事業所サービス別では、居宅介護、重度訪問介護、短期入所、生活介護、施設入所支援、移動支援事業では「身体障がい」、就労移行支援、就労定着支援、地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)では「精神障がい」、児童発達支援、放課後等デイサービスでは「知的障がい」と「発達障がい」が最も高くなっています。

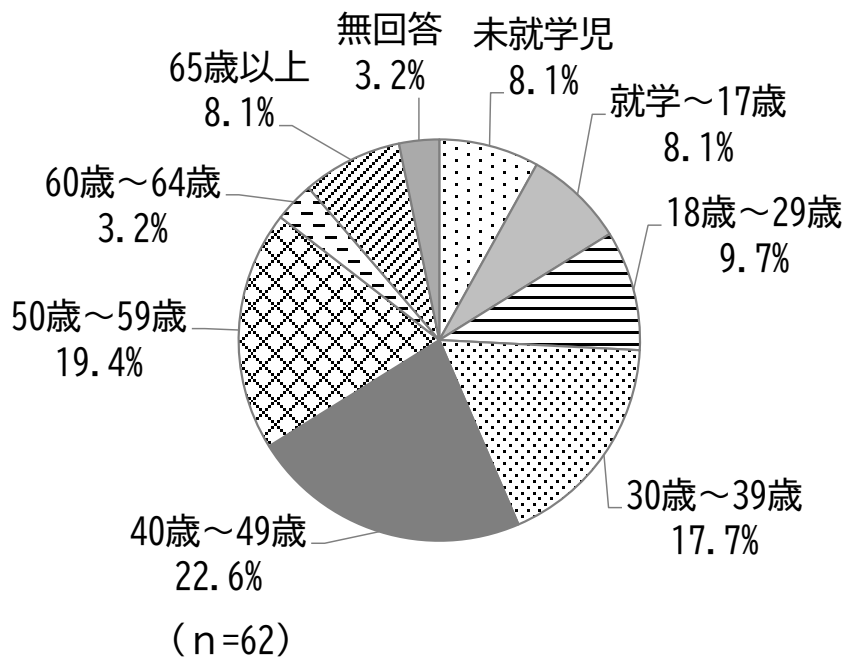


区分	回答数 (件)	身体 障がい	知的 障がい	精神 障がい	難病	発達 障がい	その他	無回答	
全体	62	50.0%	67.7%	53.2%	17.7%	35.5%	1.6%	1.6%	
事業所サービス別	居宅介護	14	92.9%	57.1%	71.4%	35.7%	14.3%	0.0%	0.0%
	重度訪問介護	10	90.0%	50.0%	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	同行援護	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	生活介護	6	83.3%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	施設入所支援	3	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	就労移行支援	7	28.6%	42.9%	100.0%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%
	就労継続支援A型	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	12	41.7%	75.0%	50.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	就労定着支援	4	50.0%	75.0%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	就労選択支援	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	自立生活援助	2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	共同生活援助(グループホーム)	3	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計画相談支援	12	50.0%	75.0%	66.7%	33.3%	58.3%	0.0%	0.0%
	地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	4	25.0%	75.0%	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	7	85.7%	71.4%	85.7%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
	障害児相談支援	9	55.6%	77.8%	55.6%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%
	児童発達支援	9	33.3%	77.8%	11.1%	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%
放課後等デイサービス	8	37.5%	75.0%	12.5%	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%	
障害児入所支援	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	0.0%	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

(2)主な年齢層はどれですか。(1つだけ選択)

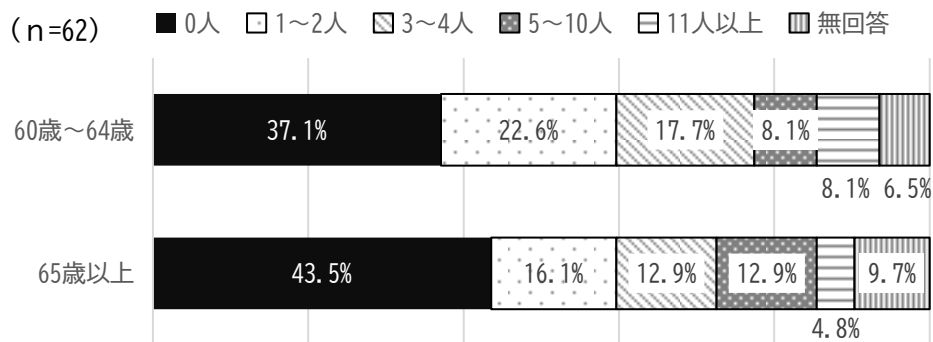
- ・回答した事業所の利用者の主な年齢層は、「40歳～49歳」が22.6%、次いで「50歳～59歳」が19.4%、「30歳～39歳」が17.7%などとなっています。
- ・60歳以上の利用者数については、60歳～64歳は、「0人」が37.1%、次いで「1人～2人」が22.6%、「3～4人」が17.7%などとなっています。
- ・65歳以上は、「0人」が43.5%、次いで「1～2人」が16.1%、「3人～4人」、「5～10人」が12.9%などとなっています。



区分	回答数 (件)	未就学 児	就学～ 17歳	18歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳以 上	無回答
全体	62	8.1%	8.1%	9.7%	17.7%	22.6%	19.4%	3.2%	8.1%	3.2%
事業所サ ービス別	居宅介護	14	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	21.4%	14.3%	35.7%	0.0%
	重度訪問介護	10	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	30.0%	10.0%	30.0%
	同行援護	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	生活介護	6	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
	施設入所支援	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	就労移行支援	7	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援A型	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	12	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	33.3%	41.7%	0.0%	0.0%
	就労定着支援	4	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労選択支援	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自立生活援助	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	共同生活援助(グループホーム)	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	計画相談支援	12	16.7%	0.0%	8.3%	33.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	4	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	7	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%
	障害児相談支援	9	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	児童発達支援	9	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
放課後等デイサービス	8	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
障害児入所支援	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

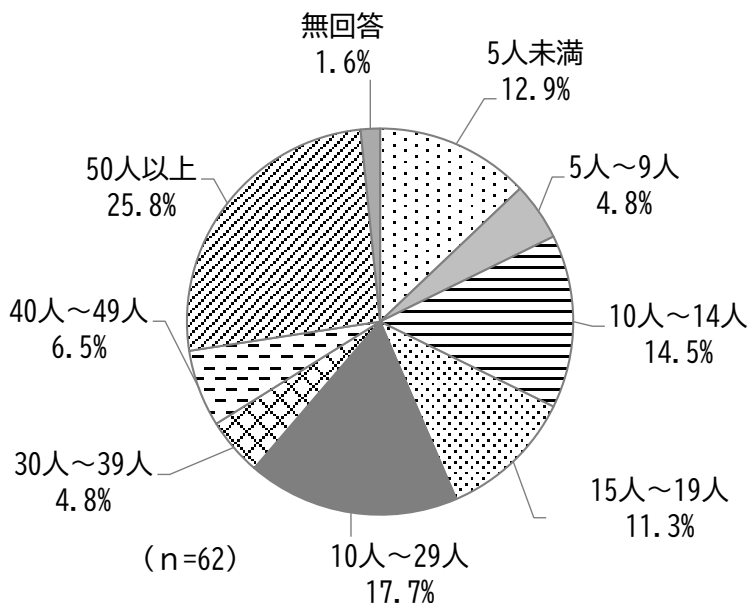
1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

○60歳以上の利用者数(利用者のうち60歳～64歳の人数、利用者のうち65歳以上の人数)



(3)事業所の利用者数はどれですか。(1つに○)

- ・回答した事業所の利用者数は、「50人以上」が25.8%、次いで「20人～29人」が17.7%、「10人～14人」が14.5%などとなっています。
- ・経営母体別では、NPO法人で「20～29人」、社会福祉法人で「50人以上」、株式会社で「5人未満」、「10～14人」の比率が高くなっています。

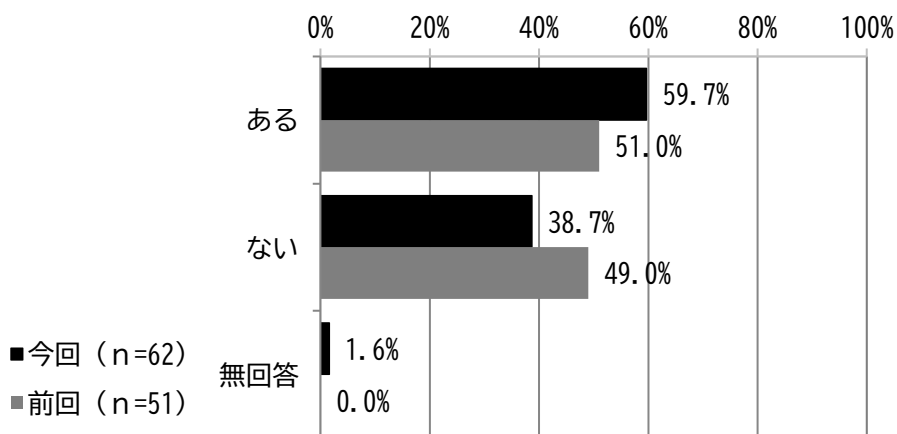


区分	回答数 (件)	5人 未満	5人～ 9人	10人～ 14人	15人～ 19人	20人～ 29人	30人～ 39人	40人～ 49人	50人 以上	無回答
全体	62	12.9%	4.8%	14.5%	11.3%	17.7%	4.8%	6.5%	25.8%	1.6%
経営 母体 別	NPO法人	17	17.6%	11.8%	5.9%	11.8%	23.5%	11.8%	5.9%	0.0%
	社会福祉法人	13	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%	46.2%
	株式会社	23	21.7%	4.3%	21.7%	8.7%	17.4%	4.3%	8.7%	13.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問5 事業所において新規のサービス提供依頼者数が増えている事業はありますか。

- ・新規のサービス提供依頼者数が増えている事業があるかは、「ある」が 59.7% に対し、「ない」が 38.7% となっています。
- ・前回調査と比較すると、「ある」が 8.7 ポイント高くなっています。
- ・事業所サービス別では、生活介護と児童発達支援、放課後等デイサービスで「ある」、「重度訪問介護」で「ない」の比率が高くなっています。

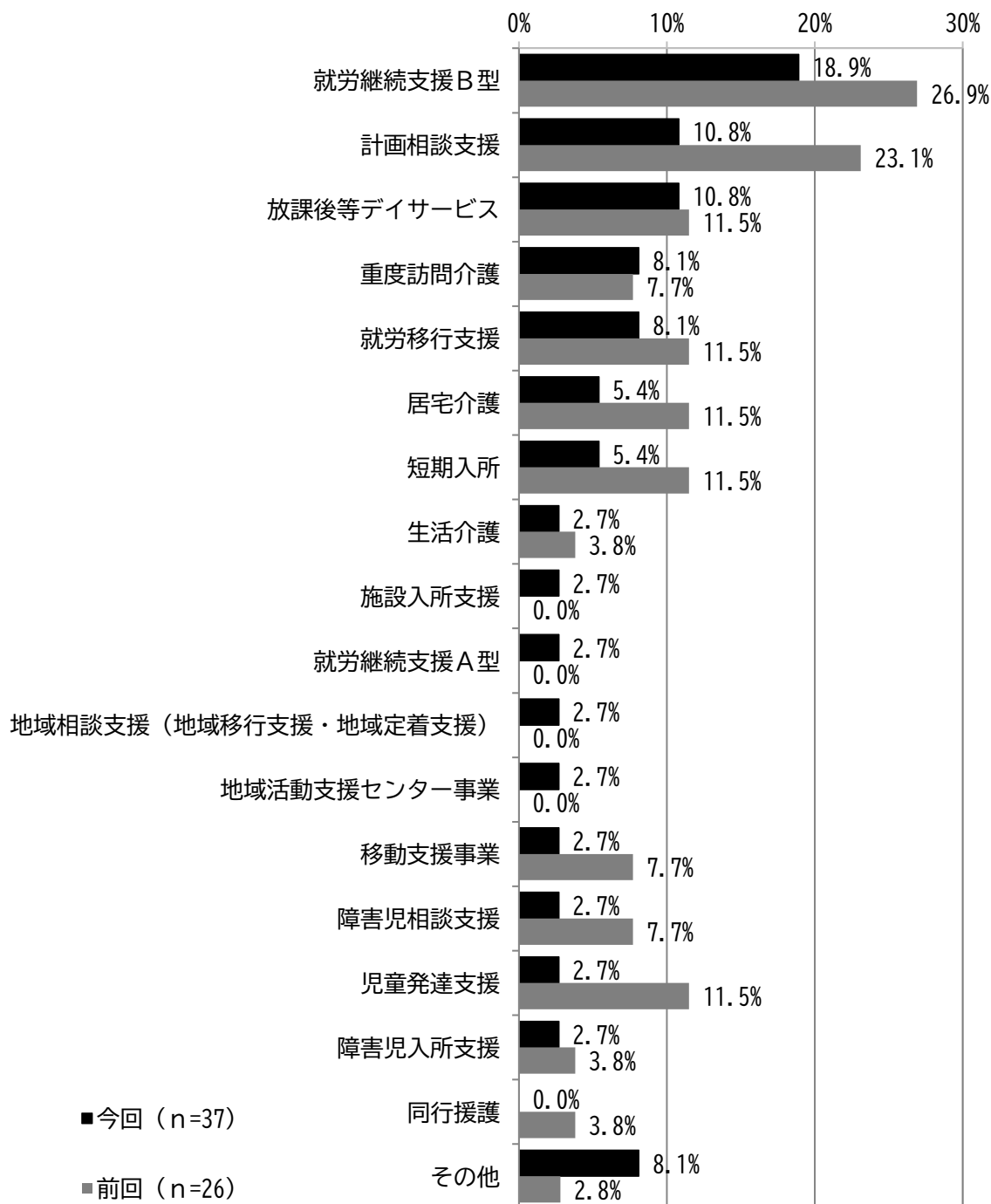


区分		回答数 (件)	ある	ない	無回答
全体		62	59.7%	38.7%	1.6%
事業所サービス別	居宅介護	14	57.1%	42.9%	0.0%
	重度訪問介護	10	40.0%	60.0%	0.0%
	同行援護	2	100.0%	0.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	100.0%	0.0%	0.0%
	生活介護	6	83.3%	16.7%	0.0%
	施設入所支援	3	100.0%	0.0%	0.0%
	就労移行支援	7	57.1%	42.9%	0.0%
	就労継続支援A型	2	100.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	12	58.3%	41.7%	0.0%
	就労定着支援	4	75.0%	25.0%	0.0%
	就労選択支援	1	0.0%	100.0%	0.0%
	自立生活援助	2	100.0%	0.0%	0.0%
	共同生活援助	3	0.0%	100.0%	0.0%
	計画相談支援	12	66.7%	33.3%	0.0%
	地域相談支援	4	75.0%	25.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	100.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	7	57.1%	42.9%	0.0%
	障害児相談支援	9	55.6%	44.4%	0.0%
	児童発達支援	9	88.9%	11.1%	0.0%
放課後等デイサービス	8	75.0%	25.0%	0.0%	
障害児入所支援	1	100.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	100.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

【問5で「ある」と回答した事業所にお聞きします】
 問6(1)該当するサービスを選択してください。(1つに○)

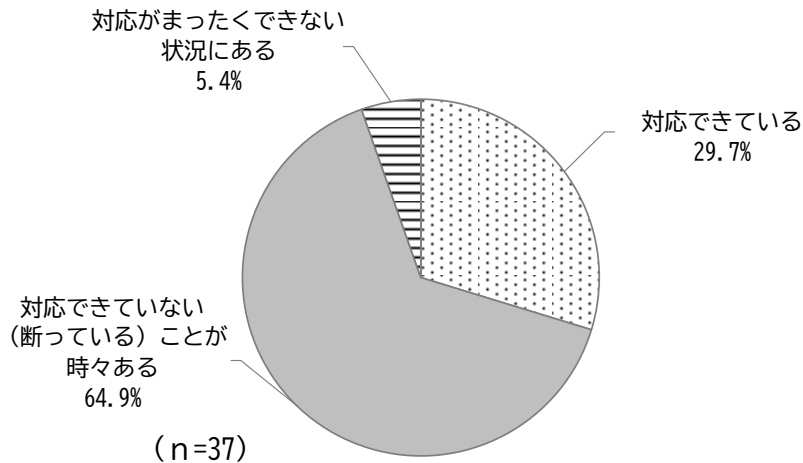
- ・該当するサービスは、「就労継続支援B型」が 18.9%、次いで「計画相談支援」、「放課後等デイサービス」が 10.8%、「重度訪問介護」、「就労移行支援」が 8.1%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「計画相談支援」で 12.3 ポイント、「児童発達支援」で 8.8 ポイント低くなっています。



【問5で「ある」と回答した事業所にお聞きします】

(2)サービス提供依頼者の増加に対応できているかをお答えください。(1つに○)

- ・サービス提供依頼者の増加に対応できているかは、「対応できている」が29.7%に対し、「対応できていない(断っている)ことが時々ある」が64.9%、「対応がまったくできない状況にある」が5.4%となっています。
- ・事業所サービス別でみると、「対応がまったくできない状況にある」への回答があるサービスは、短期入所、生活介護、施設入所支援、児童発達支援、放課後等デイサービスとなっています。



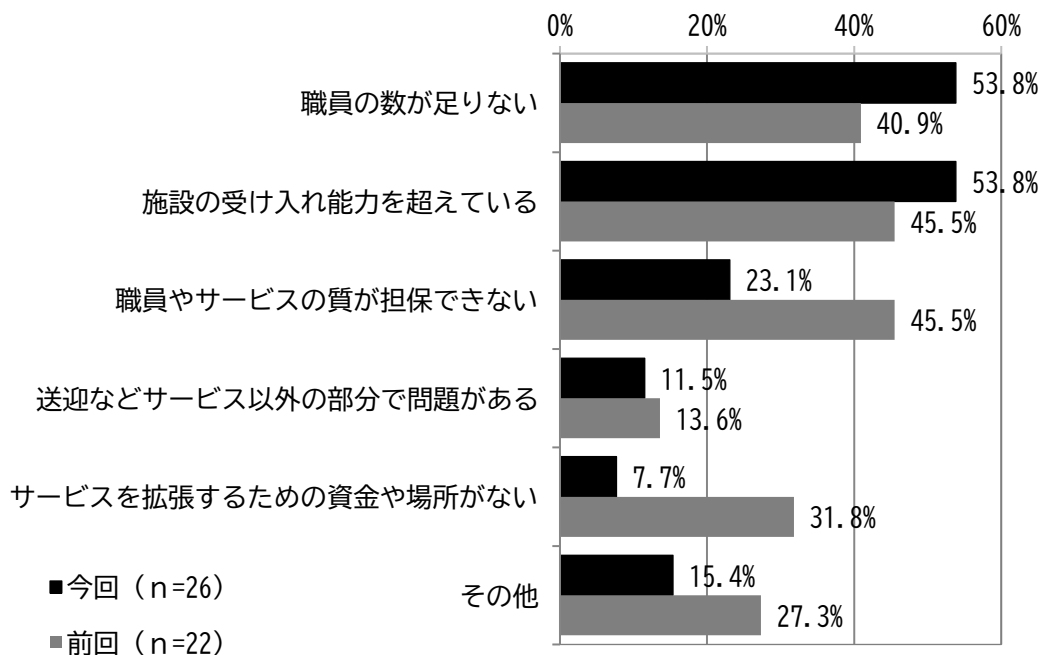
区分	回答数(件)	対応できている	対応できていない(断っている)ことが時々ある	対応がまったくできない状況にある	無回答	
全体	37	29.7%	64.9%	5.4%	0.0%	
事業所サービス別	居宅介護	8	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	重度訪問介護	4	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	同行援護	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	生活介護	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
	施設入所支援	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	就労移行支援	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援A型	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	7	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
	就労定着支援	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労選択支援	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自立生活援助	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	共同生活援助(グループホーム)	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計画相談支援	8	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	4	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	障害児相談支援	5	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	児童発達支援	8	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
放課後等デイサービス	6	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	
障害児入所支援	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

【問6(2)で「対応できていない(断っている)ことが時々ある」、「3 対応がまったくできない状況にある」と回答した事業所にお聞きします】

(3)対応できていない理由をお答えください。(複数選択可)

- ・対応できていない理由は、「職員の数が足りない」、「施設の受け入れ能力を超えている」が 53.8%、次いで職員やサービスの質が担保できない」が 23.1、「送迎などサービス以外の部分で問題がある」が 11.5%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「職員の数が足りない」が 12.9 ポイント高くなっています。



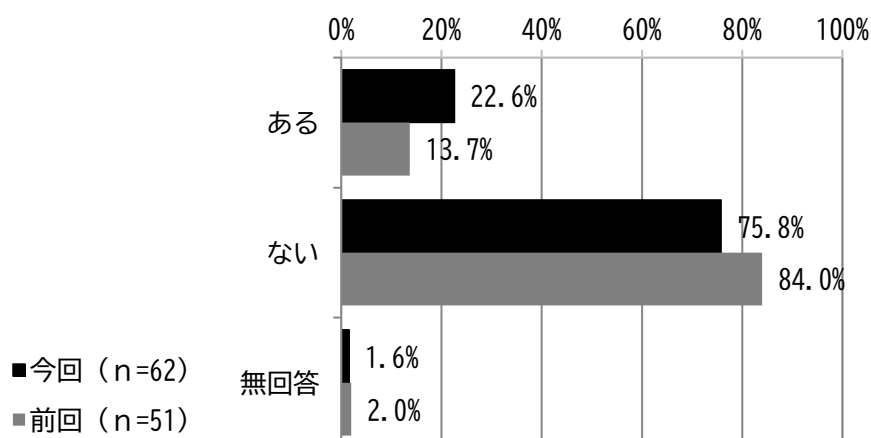
※その他の記入内容(抜粋)

- ・受け入れを行うと利用定員を超過するため。
- ・支援難易度が高く、訪問ヘルパー1名に対する負担が大きい場合は断っている。
- ・介助者の指名がある場合や、時間の指定がある場合は、対応できないケースがある。

問7 サービス利用者についてお伺いします。

(1)事業所において新規サービス利用者の依頼が減っている事業はありますか。(1つに○)

- ・新規のサービス提供依頼者数が減っている事業があるかは、「ある」が22.6%に対し、「ない」が75.8%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「ある」が8.9ポイント高くなっています。
- ・経営母体別では、NPO法人で「ない」の比率が高くなっています。
- ・地区別では、西部地区と東部地区で「ある」の比率が、他の地区と比べやや高くなっています。

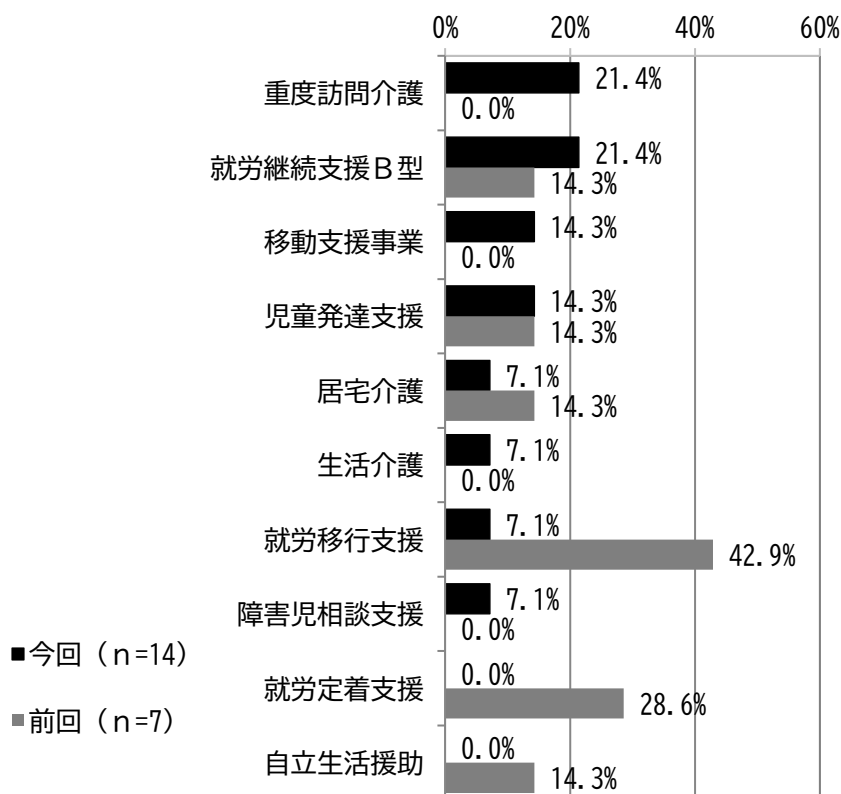


区分		回答数 (件)	ある	ない	無回答
全体		62	22.6%	75.8%	1.6%
経営母体別	NPO法人	17	17.6%	82.4%	0.0%
	社会福祉法人	13	23.1%	76.9%	0.0%
	株式会社	23	30.4%	69.6%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	100.0%	0.0%
	社団法人	4	25.0%	75.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%
地区別	北部地区	15	13.3%	86.7%	0.0%
	西部地区	8	37.5%	62.5%	0.0%
	東部地区	23	30.4%	69.6%	0.0%
	南部地区	15	13.3%	86.7%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

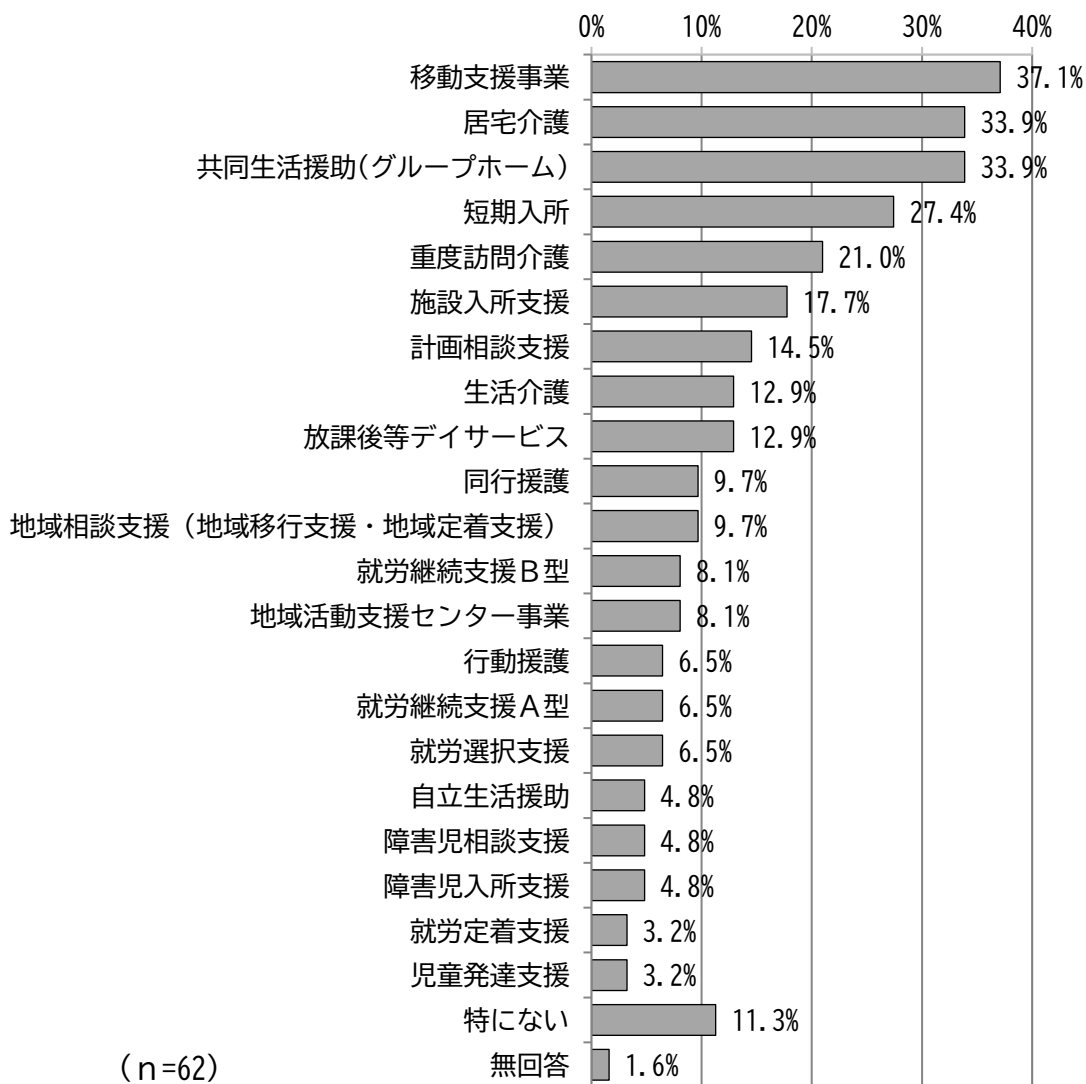
【問7(1)で「ある」と回答した事業所にお聞きします】
 (2)該当するサービスを選択してください。(1つに○)

- ・新規サービス利用者の依頼が減っているサービスは、「**重度訪問介護**」、「**就労継続支援B型**」が**21.4%**、次いで「**移動支援事業**」、「**児童発達支援**」が**14.3%**、「**居宅介護**」、「**生活介護**」、「**就労移行支援**」、「**障害児相談支援**」が**7.1%**となっています。
- ・前回調査と比較すると、「**重度訪問介護**」は**21.4**ポイント高く、「**就労移行支援**」は**35.8%**、「**就労定着支援**」は**28.6**ポイント低くなっています。



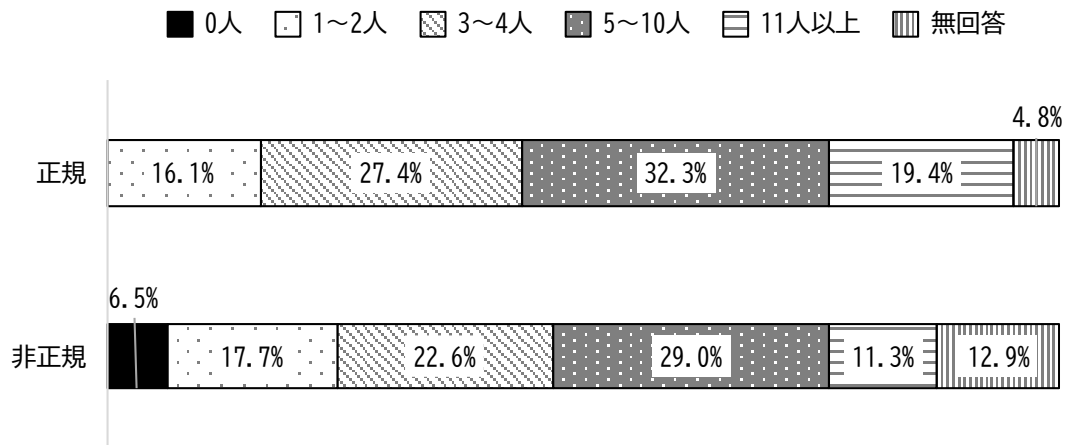
問8 事業所から見て、サービス利用者に対し不足していると思うサービスはありますか。
(複数選択可)

・不足していると思うサービスは、「移動支援事業」が 37.1%、次いで「居宅介護」、「共同生活援助(グループホーム)」が 33.9%、「短期入所」が 27.4%などとなっています



問9 雇用している従業員数をご回答ください。

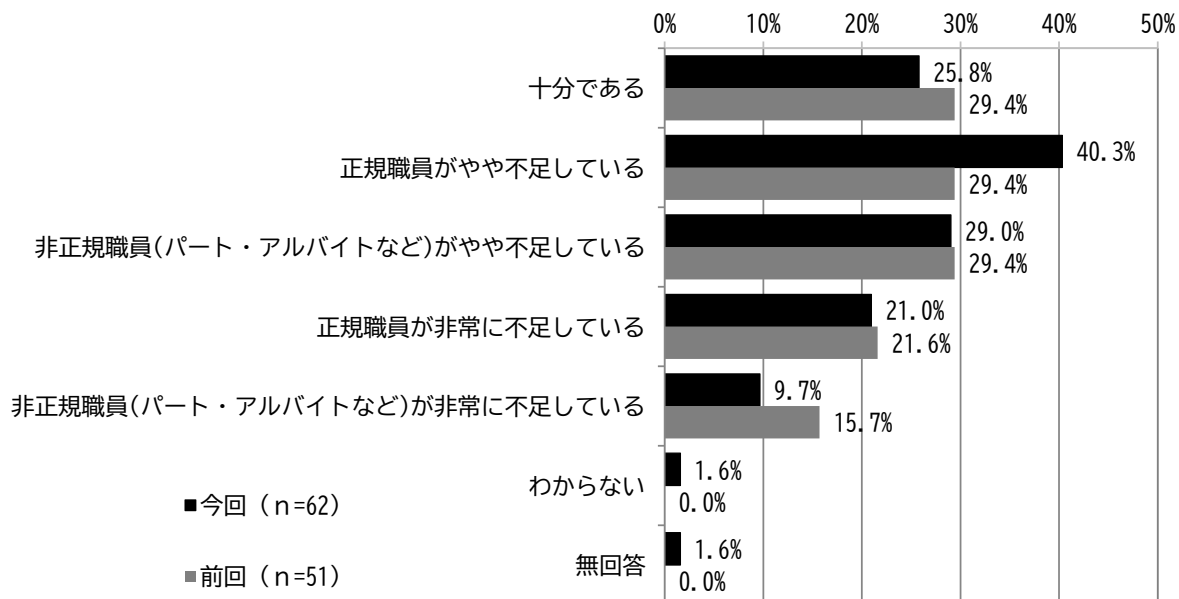
- ・雇用している従業員数について、正規職員は、「5～10人」が32.3%、次いで「3～4人」が27.4%、「11人以上」が19.4%などとなっています。
- ・非正規職員は、「5～10人」が29.0%、次いで「3～4人」が22.6%、「1～2人」が17.7%などとなっています。



(n=62)

問 10 業務量に対して、職員数は足りていますか。(複数選択可)

- ・業務量に対する職員数については、「正規職員がやや不足している」が 40.3%、次いで「非正規職員(パート・アルバイトなど)がやや不足している」が 29.0%、「十分である」が 25.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「正規職員がやや不足している」が 10.9 ポイント高くなっています。
- ・経営母体別では、社会福祉法人と株式会社、社団法人で「正規職員がやや不足している」の比率が高くなっています。
- ・事業所サービス別では、移動支援事業で「非正規職員(パート・アルバイトなど)が非常に不足している」の比率が高くなっています。



区分		回答数 (件)	十分である	正規職員がやや不足している	非正規職員(パート・アルバイト)がやや不足している	正規職員が非常に不足している	非正規職員(パート・アルバイト)が非常に不足している	わからない	無回答
全体		62	25.8%	40.3%	29.0%	21.0%	9.7%	1.6%	1.6%
経営母体別	NPO法人	17	23.5%	41.2%	41.2%	23.5%	23.5%	0.0%	0.0%
	社会福祉法人	13	23.1%	38.5%	23.1%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	株式会社	23	26.1%	43.5%	26.1%	17.4%	8.7%	4.3%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社団法人	4	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
事業所サービス別	居宅介護	14	14.3%	14.3%	35.7%	42.9%	35.7%	0.0%	0.0%
	重度訪問介護	10	10.0%	20.0%	30.0%	50.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	同行援護	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	生活介護	6	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	施設入所支援	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労移行支援	7	28.6%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援A型	2	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	12	41.7%	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労定着支援	4	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労選択支援	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自立生活援助	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	共同生活援助	3	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	計画相談支援	12	33.3%	25.0%	16.7%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	地域相談支援	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	7	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	障害児相談支援	9	33.3%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	児童発達支援	9	22.2%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
放課後等デイサービス	8	25.0%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
障害児入所支援	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

どのような職員(職種、時間帯、常勤・パート・アルバイトなど)が足りていないのか、具体的にご記入ください。

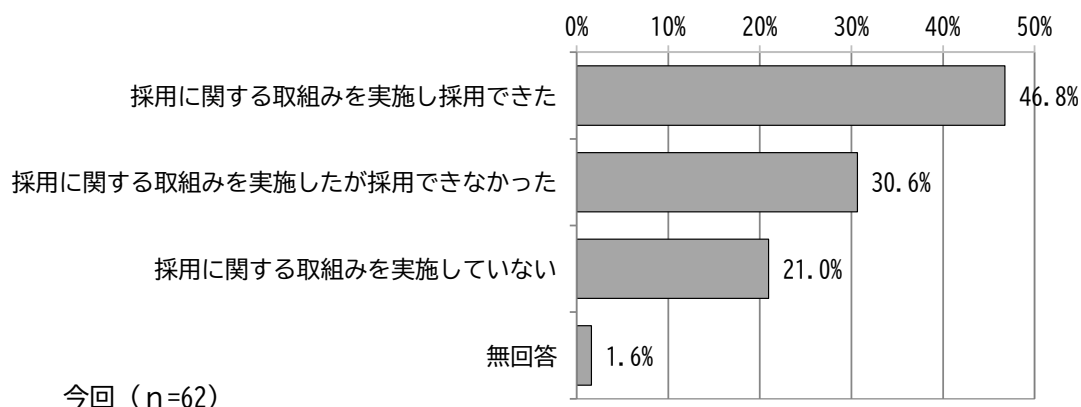
・業務量に対して、どのような職員が足りていないかについて記述式でたずねたところ、38人から39件の回答がありました。集計結果は下表の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
常勤職員 (29件)	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が足りていない。(3件) ・男性職員が足りていない。 ・保育士等資格を持った正規職員が足りていない。 ・生活介護支援員が足りていない。(2件) ・相談支援専門員が足りていない。(4件) ・事務職員が足りていない。(2件) ・非正規職員、正規職員に関わらず人数が足りていない。 ・若手の職員が足りていない。(2件) ・支援員で資格を保持しており、職務経験のある職員が足りていない。
夜勤・宿直職員 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤を伴う業務を担う職員が足りていない。(2件) ・夜勤のある重度訪問介護の女性職員が足りていない。 ・24時間のシフト、早番遅番夜勤ができるスタッフが足りていない。
その他 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員が休みの際のアルバイト手配が大変。 ・職務経験のあるヘルパー。 ・放課後等デイサービスの受け入れ、バス送迎者。 ・休日の非常勤職員。

問 11 事業所の人材採用についてお伺いします。

(1)過去1年間、採用に関する取組みを実施していますか。(1つに○)

- ・採用に関する取組みの実施について、「採用に関する取組みを実施し採用できた」が 46.8%、次いで「採用に関する取組みを実施したが採用できなかった」が 30.6%、「採用に関する取組みを実施していない」が 21.0%などとなっています。
- ・経営母体別では、NPO 法人と株式会社で「採用に関する取組みを実施し採用できた」の比率が高くなっています。
- ・事業所サービス別では、放課後等デイサービスで「採用に関する取組みを実施したが採用できなかった」の比率が高くなっています。

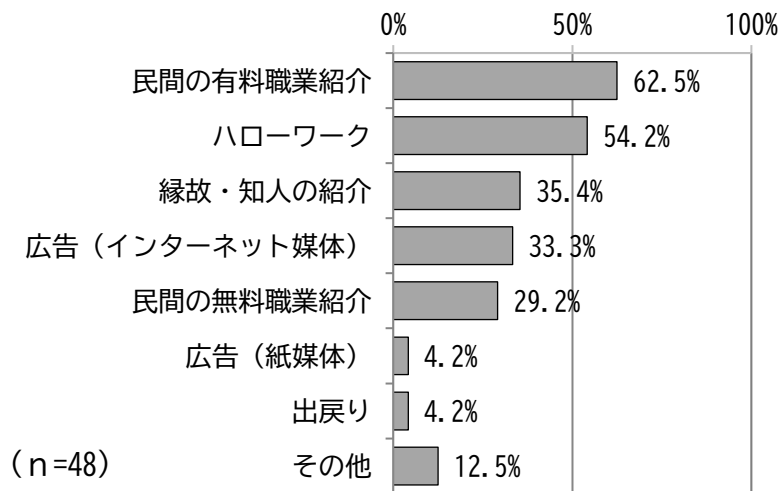


区分	回答数(件)	採用に関する取組みを実施したが採用できなかった	採用に関する取組みを実施し採用できた	採用に関する取組みを実施していない	無回答	
全体	62	30.6%	46.8%	21.0%	1.6%	
経営母体別	NPO法人	17	29.4%	47.1%	23.5%	0.0%
	社会福祉法人	13	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%
	株式会社	23	26.1%	56.5%	17.4%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
事業所サービス別	居宅介護	14	50.0%	28.6%	21.4%	0.0%
	重度訪問介護	10	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%
	同行援護	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	生活介護	6	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	施設入所支援	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	就労移行支援	7	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
	就労継続支援A型	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	12	0.0%	58.3%	41.7%	0.0%
	就労定着支援	4	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	就労選択支援	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	自立生活援助	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	共同生活援助	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	計画相談支援	12	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	地域相談支援	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	7	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%
	障害児相談支援	9	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%
	児童発達支援	9	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
放課後等デイサービス	8	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	
障害児入所支援	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

(2)過去1年間の募集方法を教えてください。(複数選択可)

・募集方法について、「民間の有料職業紹介」が 62.5%、次いで「ハローワーク」が 54.2%、「縁故・知人の紹介」が 35.4%などとなっています。

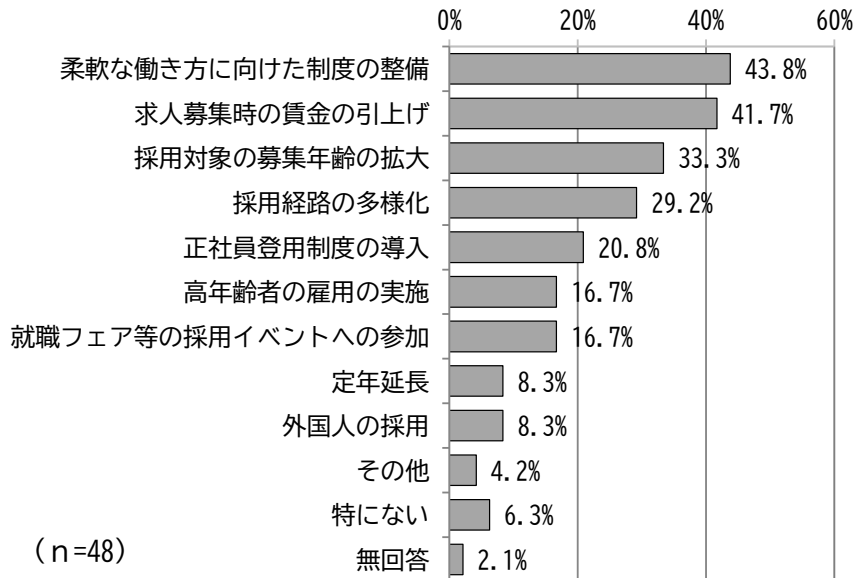


※その他の記入内容(抜粋)

・大学からの紹介

(3)人材を採用するにあたり実施をした取組みがあれば教えてください。(複数選択可)

・募集方法について、「柔軟な働き方に向けた制度の整備」が 43.8%、次いで「求人募集時の賃金の引上げ」が 41.7%、「採用対象の募集年齢の拡大」が 33.3%などとなっています。

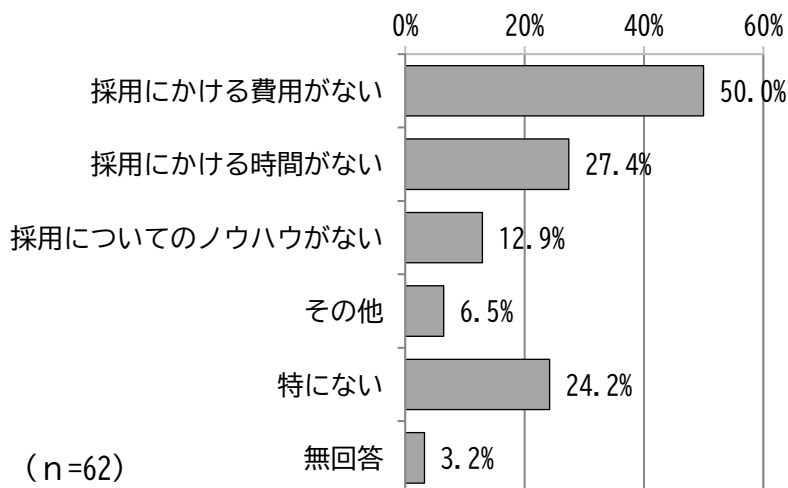


※その他の記入内容(抜粋)

・応募要件を見直し、資格不問とした

(4)採用に関する取組みを実施する上での課題があれば教えてください。(複数選択可)

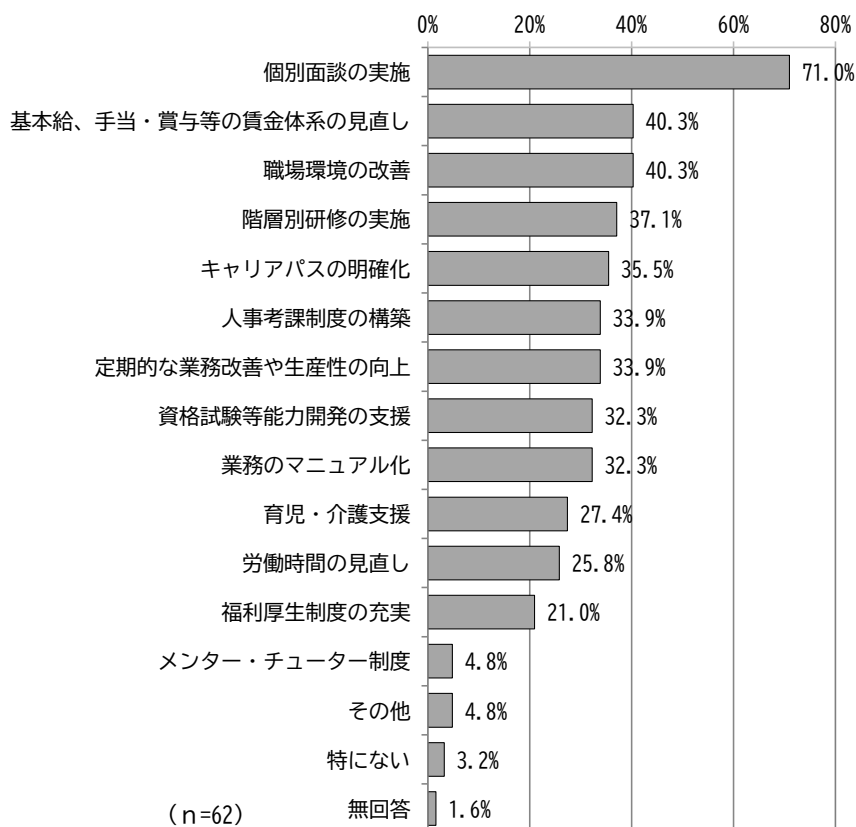
・採用に関する取組みを実施する上での課題は、「採用にかかる費用がない」が 50.0%、次いで「採用にかかる時間がない」が 27.4%、「採用についてのノウハウがない」が 12.9%などとなっています。一方、「特にない」は 24.2%です。



問 12 事業所の人材育成と定着についてお伺いします。

(1)人材を育成・定着させるために実施をしている取組みがあれば教えてください。(複数選択可)

- ・人材育成と定着について、「個別面談の実施」が 71.0%、次いで「基本給、手当・賞与等の賃金体系の見直し」、「職場環境の改善」が 40.3%、「階層別研修の実施」が 37.1%などとなっています。
- ・経営母体別でも、「個別面談の実施」が高いです。NPO 法人で「資格試験等能力開発の支援」、株式会社で「職場環境の改善」の比率が、他の経営母体と比較しやや高くなっています。



※その他の記入内容(抜粋)

・AI システムの導入

区分	回答数(件)	階層別研修の実施	個別面談の実施	人事考課制度の構築	キャリアパスの明確化	資格試験等能力開発の支援	労働時間の見直し	福利厚生制度の充実	基本給、手当・賞与等の賃金体系の見直し	育児・介護支援	職場環境の改善	定期的な業務改善や生産性の向上	業務のマニュアル化	メンター・チューター制度	その他	特にない	無回答
全体	62	37.1%	71.0%	33.9%	35.5%	32.3%	25.8%	21.0%	40.3%	27.4%	40.3%	33.9%	32.3%	4.8%	4.8%	3.2%	1.6%
経営母体別	NPO法人	17	35.3%	70.6%	23.5%	41.2%	41.2%	52.9%	23.5%	58.8%	23.5%	47.1%	52.9%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	社会福祉法人	13	61.5%	69.2%	46.2%	15.4%	30.8%	7.7%	7.7%	30.8%	30.8%	15.4%	23.1%	38.5%	7.7%	0.0%	7.7%
	株式会社	23	34.8%	78.3%	39.1%	47.8%	21.7%	17.4%	26.1%	39.1%	26.1%	60.9%	34.8%	30.4%	0.0%	8.7%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

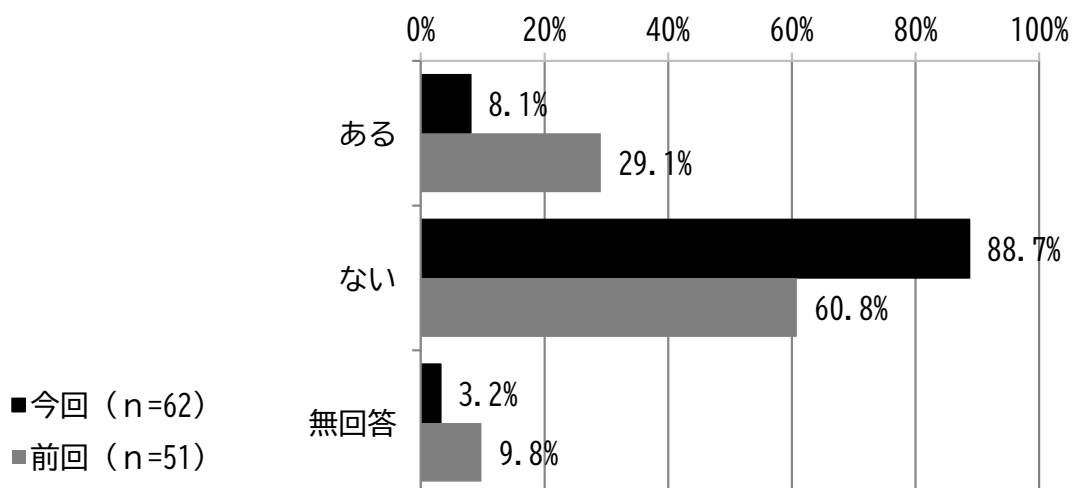
(2)人材を育成・定着する上での課題があれば教えてください。

・人材を育成・定着する上での課題について記述式でたずねたところ、24 人から 28 件の回答がありました。集計結果は下表の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
給料・福利厚生 の向上 (12 件)	・給与水準をあげる必要がある。(8件) ・福利厚生を充実させる。(2件) ・待遇を改善してほしい。(2件)
育成 (9 件)	・新人教育・研修がないため育成・定着しない。(2件) ・育成にかかる時間をとれない。育成システムがない。(6件)
ワークライフ バランス (3 件)	・夜勤(宿直)。 ・他の施設、企業に比べ休暇が少ない。(2 件)
その他 (6 件)	・福祉の仕事の良さや魅力が伝わらない。

問 13 今後区内で新規参入したい(拡大したい)事業はありますか。(1つに○)

- ・区内で新規参入したい事業は、「ある」が 8.1%に対し、「ない」が 88.7%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「ある (具体的に)」の比率が 21.0 ポイント低くなっています。
- ・具体的に新規参入したい(拡大したい)事業について、「就労定着支援」、「就労選択支援」、「就労継続支援 B 型」などの回答がありました。



※「ある」の具体的内容

- ・就労定着支援
- ・就労選択支援
- ・就労継続支援 B 型
- ・自立生活援助
- ・体験型グループホーム
- ・カレッジや知的分野

区分		回答数(件)	ある	ない	無回答
全体		62	8.1%	88.7%	3.2%
経営母体別	NPO法人	17	11.8%	88.2%	0.0%
	社会福祉法人	13	0.0%	100.0%	0.0%
	株式会社	23	13.0%	82.6%	4.3%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	100.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	100.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

【問 13 で「ある」と回答した事業所にお聞きします】

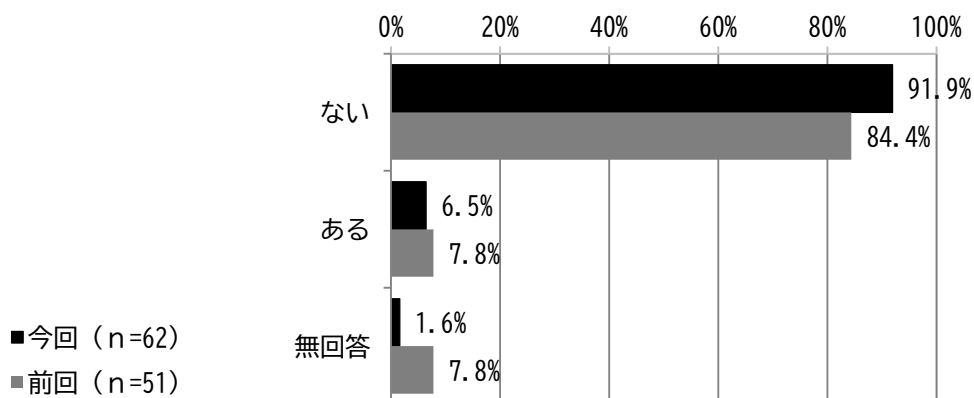
事業の新規参入(拡大)を検討する理由、懸念点や迷っている理由は何ですか。

- ・事業の新規参入(拡大)を検討する理由、懸念点や迷っている理由について記述式でたずねたところ、5人から5件の回答がありました。集計結果は下表の通りです。

内容(抜粋・要約)
(新規参入(拡大)を検討する理由) ・就労移行支援のみの運営だと、適切な支援を実施することが難しい方(就労が可能な段階にない方等)の相談も多いため。 ・就労移行支援からの一気通貫な支援のため、事業拡大を検討している。
(懸念点や迷っている理由) ・渋谷区の地価や家賃が高すぎるため、新規参入(拡大)する場所がない。 ・収益性の確保、研修を含む社内体制の構築、新規参入に係る申請の複雑さ。

問 14 提供しているサービスのなかで撤退したい(縮小したい)事業はありますか。
(1つに○)

- ・区内で撤退したい事業は、「ある」が 6.5%に対し、「ない」が 91.9%となっています。
- ・前回調査と比較すると、「ない」が 7.5 ポイント高くなっています。
- ・具体的に撤退したい(縮小したい)事業について、「移動支援」、「短期入所」、「一般相談支援」などの回答がありました。



※「ある」の具体的内容

- ・移動支援
- ・短期入所
- ・一般相談支援 など

区分		回答数(件)	ある	ない	無回答
全体		62	6.5%	91.9%	1.6%
経営母体別	NPO法人	17	11.8%	88.2%	0.0%
	社会福祉法人	13	7.7%	92.3%	0.0%
	株式会社	23	4.3%	95.7%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	100.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	100.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

【問 14 で「1 ある」と回答した事業所にお聞きします】

事業の撤退(縮小)を検討する理由、懸念点や迷っている理由は何ですか。

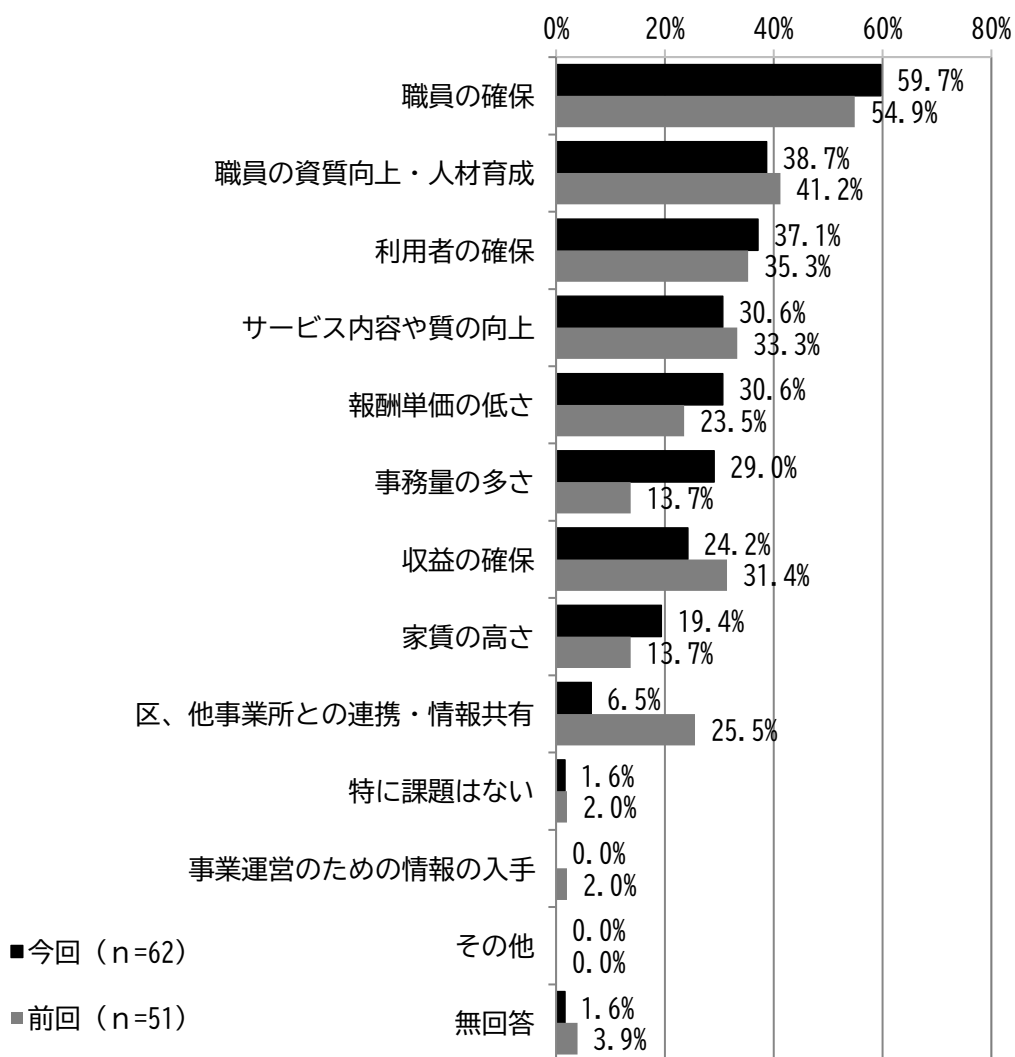
- ・事業の撤退(縮小)を検討する理由、懸念点や迷っている理由について記述式でたずねたところ、3 人から 3 件の回答がありました。集計結果は下表の通りです。

内容(抜粋・要約)

- ・介護保険に比べ、移動支援のサービス単価は安く、ヘルパーへの払い出し時給も低いため、事業継続が難しいから。
- ・採算がとれないから。
- ・報酬が低いから。

問 15 事業の運営における課題は何ですか。(上位3つまで)

- ・事業の運営における課題は、「**職員の確保**」が 59.7%、次いで「**職員の資質向上・人材育成**」が 38.7%、「**利用者の確保**」が 37.1%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「**事務量の多さ**」が 15.3 ポイント、「**報酬単価の低さ**」が 7.1 ポイント、「**家賃の高さ**」が 5.7 ポイント高くなっています。「**区、他事業所との連携・情報共有**」は 19.0 ポイント低くなっています。
- ・経営母体別では、NPO法人で「**業務量の多さ**」、社会福祉法人で「**区、他事業所との連携・情報共有**」、株式会社で「**利用者の確保**」の比率が高くなっています。
- ・利用者数別では、15～19 人で「**職員の資質向上・人材育成**」、40～49 人で「**サービス内容や質の向上**」の比率が高くなっています。
- ・事業所サービス別では、就労継続支援B型で「**業務量の多さ**」の比率が高くなっています。



区分	回答数（件）	利用者の確保	職員の確保	サービスの内容及質の向上	職員の資質向上・人材育成	区、他事業所との連携・情報共有	事業運営のための情報の入手	家賃の高さ	収益の確保	報酬単価の低さ	事務量の多さ	経営ノウハウの習得	特に課題はない	その他	無回答
全体	62	37.1%	59.7%	30.6%	38.7%	6.5%	0.0%	19.4%	24.2%	30.6%	29.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%
経営母体別	NPO法人	17	29.4%	47.1%	11.8%	52.9%	0.0%	23.5%	11.8%	47.1%	64.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社会福祉法人	13	38.5%	76.9%	46.2%	30.8%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	株式会社	23	56.5%	65.2%	43.5%	39.1%	0.0%	0.0%	17.4%	26.1%	17.4%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
利用者数別	5人未満	8	25.0%	87.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5人～9人	3	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	10人～14人	9	55.6%	66.7%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	15人～19人	7	28.6%	42.9%	42.9%	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20人～29人	11	45.5%	54.5%	9.1%	45.5%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	27.3%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	30人～39人	3	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40人～49人	4	25.0%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50人以上	16	25.0%	56.3%	37.5%	31.3%	18.8%	0.0%	25.0%	18.8%	25.0%	37.5%	0.0%	6.3%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
事業所サービス別	居宅介護	14	50.0%	85.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%
	重度訪問介護	10	40.0%	90.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	同行援護	2	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	行動援護	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所	5	20.0%	80.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	生活介護	6	16.7%	66.7%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	施設入所支援	3	33.3%	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労移行支援	7	100.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援A型	2	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労継続支援B型	12	33.3%	25.0%	8.3%	41.7%	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%	25.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労定着支援	4	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就労選択支援	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自立生活援助	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	共同生活援助	3	0.0%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	計画相談支援	12	16.7%	50.0%	41.7%	41.7%	25.0%	0.0%	25.0%	16.7%	41.7%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域相談支援	4	25.0%	75.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域活動支援センター事業	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	移動支援事業	7	57.1%	85.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	障害児相談支援	9	22.2%	66.7%	44.4%	44.4%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	児童発達支援	9	33.3%	66.7%	88.9%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
放課後等デイサービス	8	25.0%	62.5%	87.5%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
障害児入所支援	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

課題や困っていることについて、具体的にご記入ください。

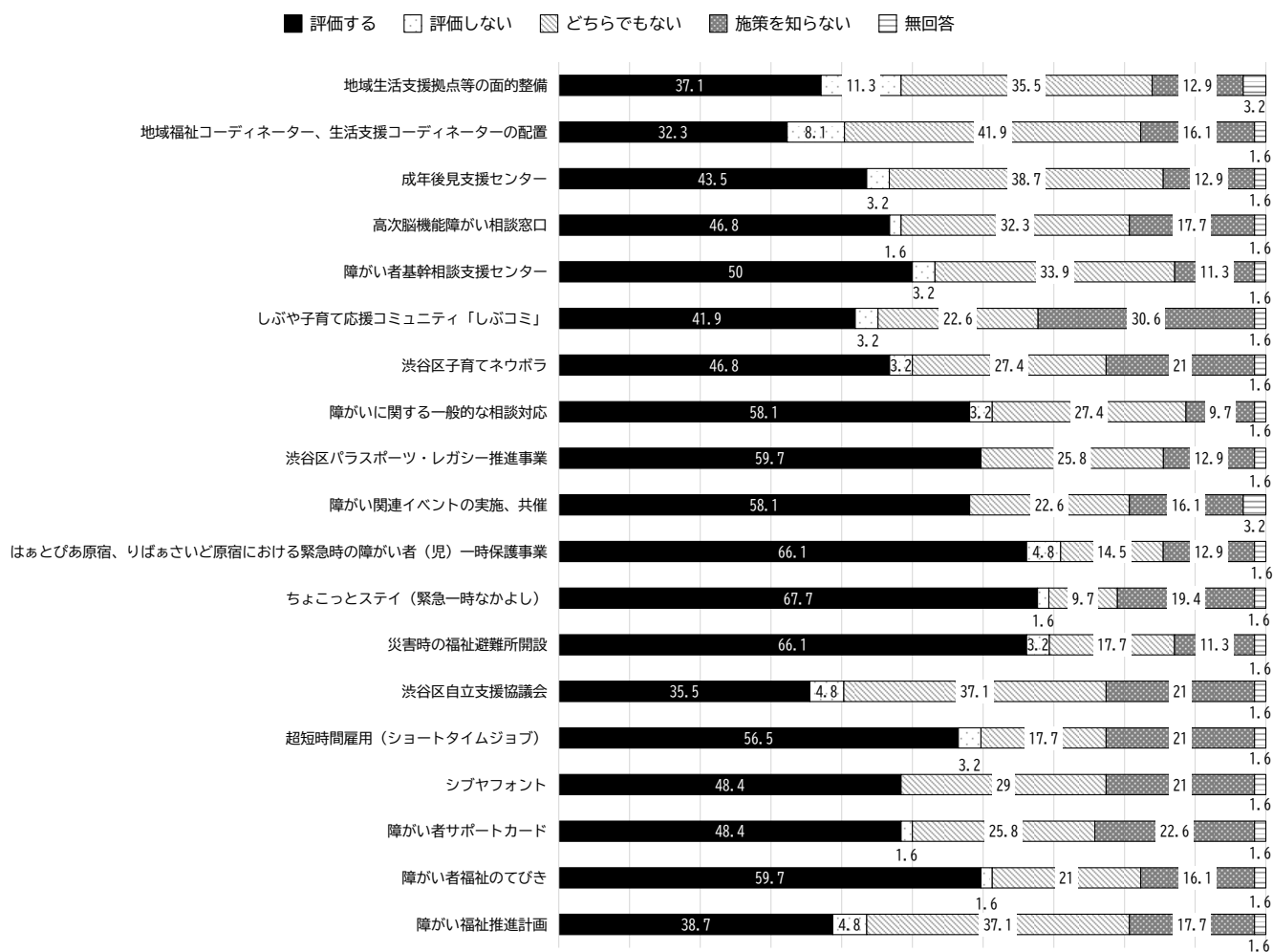
・事業の運営における課題や困っていることについて記述式でたずねたところ、24 人から 29 件の回答がありました。集計結果は下表の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
人材の確保 (6 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正等により義務となる業務(それに伴う事務量)が年々増える一方、対応するマンパワーが増えないため、人材が不足している。 ・他業界への転職等による人手不足。 ・職員を募集しても反応がない。 ・若手の就職率が低い。 ・事業所で送迎人材を雇うことが難しい。 ・サービス管理責任者の採用が難しい。
人材育成 (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員やアルバイトの支援資質の向上が必要。 ・採用した人材が、業務習熟まで一定期間を要することから、採用・育成に係る経費が先行して発生すること。 ・次世代への引継ぎ。
利用者が集まらない (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の確保が課題。(4 件) ・事業所の周知度が低い。
賃金・収益 (9 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉業界全体の賃金が、昨今の物価高に伴っていない。 ・利用者の体調による利用状況の変動に伴い、収益に波が発生することから、安定した事業運営が難しい。(2 件) ・処遇改善の支援は進んでいるが、事業所の収入は変わっていない。 ・事業が報酬に依存しているため、安定した収入を得られにくく、職員採用が難しい。 ・家賃が高いため、固定費を圧迫し、人件費に回せるお金が少ない。 ・利用者により支援量が異なり、報酬に見合わないことがある。
その他 (4 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤スタッフ数に応じた定員の柔軟な対応を検討してほしい。 ・作業場所がとても狭く、移動が大変。 ・業務量の多さに対応するため、法令遵守を前提とした効率化・簡略化していくことが課題。計画書や手続きにおいて可能な範囲でペーパーレスやサインレスをすることや、デジタル署名可能になるとよい。

問 16 渋谷区の施策についておたずねします。

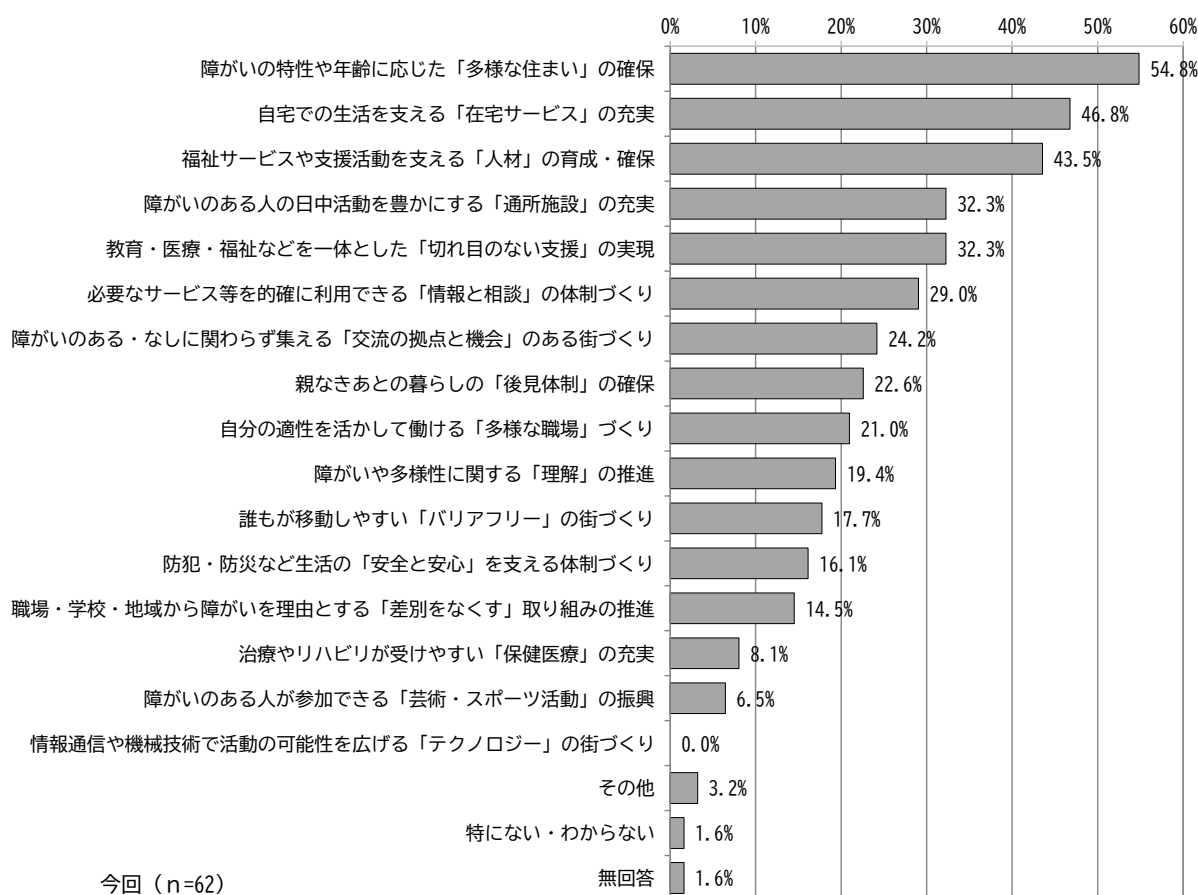
(1)渋谷区が実施している以下の施策や取組みについての評価を教えてください。
(それぞれに1つずつ○)

- ・施策や取組みへの評価は、『評価する』では、「**ちよこっとステイ(緊急一時なかよし)**」が **67.7%**、次いで「災害時の福祉避難所開設」、「はあとびあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の障がい者(児)一時保護事業」が **66.1%**、「渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業」、「障がい者福祉のてびき」が **59.7%**などとなっています。
- ・『評価しない』では、「**地域生活支援拠点等の面的整備**」が **11.3%**、次いで「地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーターの配置」が **8.1%**、「はあとびあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の障がい者(児)一時保護事業」、「渋谷区自立支援協議会」、「障がい福祉推進計画」が **4.8%**などとなっています。



(2)渋谷区で障がいのある人が自分らしく生きていくためには、特にどのような施策を進める必要があると思いますか。(〇は5つまで)

- ・進める必要がある施策について、「障がいの特性や年齢に応じた「多様な住まい」の確保」が 54.8%、次いで「自宅での生活を支える「在宅サービス」の充実」が 46.8%、「福祉サービスや支援活動を支える「人材」の育成・確保」が 43.5%などとなっています。
- ・経営母体別では、NPO法人で「福祉サービスや支援活動を支える「人材」の育成・確保」が、社会福祉法人で「障がいや多様性に関する「理解」の推進」が、株式会社で「誰もが移動しやすい「バリアフリー」の街づくり」の比率が、他の経営母体と比較しやや高くなっています。



区分	回答数（件）	治療やリハビリが受けやすい 「保健医療」の充実	障がいのある人や年齢に応じた 「多様な住まい」の確保	自宅での生活を支える 「在宅サービス」の充実	障がいのある人の 「通所施設」の充実	障がいのある・なしに関わらず集える 「交流の拠点と機会」のある街づくり	自分の適性を活かして働ける 「多様な職場」づくり	障がいのある人が参加できる 「芸術・スポーツ活動」の振興	誰もが移動しやすい 「バリアフリー」の街づくり	情報通信や機械技術で 活動の可能性を広げる 「テクノロジー」の街づくり	
全体	62	8.1%	54.8%	46.8%	32.3%	24.2%	21.0%	6.5%	17.7%	0.0%	
経営母体別	NPO法人	17	0.0%	88.2%	47.1%	47.1%	23.5%	29.4%	5.9%	11.8%	0.0%
	社会福祉法人	13	7.7%	69.2%	38.5%	23.1%	23.1%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%
	株式会社	23	17.4%	21.7%	52.2%	26.1%	26.1%	26.1%	4.3%	26.1%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

区分	回答数（件）	障がいや多様性に関する 「理解」の推進	職場・学校・地域から 「差別をなくす」取り組みの推進	障がいや多様性に関する 「理解」の推進	防犯・防災など生活の 「安全と安心」を支える 体制づくり	必要なサービス等を 「情報と相談」の体制づくりに 利用できる	福祉サービスの育成・確保 「人材」の育成・確保	親なきあとの暮らしの 「後見体制」の確保	教育・医療・福祉などを 一体とした 「切れ目のない支援」の実現	その他	特にない・わからない	無回答
全体	62	14.5%	19.4%	16.1%	29.0%	43.5%	22.6%	32.3%	3.2%	1.6%	1.6%	
経営母体別	NPO法人	17	11.8%	5.9%	29.4%	11.8%	76.5%	35.3%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	社会福祉法人	13	15.4%	46.2%	0.0%	30.8%	53.8%	30.8%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	株式会社	23	17.4%	17.4%	8.7%	39.1%	26.1%	8.7%	21.7%	0.0%	4.3%	0.0%
	合同会社・合資会社・合名会社	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	社団法人	4	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	財団法人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

最後に、本調査全体や区の障がい者施策、日ごろから感じていることについて、ご意見、ご提案などがあれば自由にお書きください。

・事業の運営における課題や困っていることについて記述式でたずねたところ、24人から29件の回答がありました。集計結果は下表の通りです。

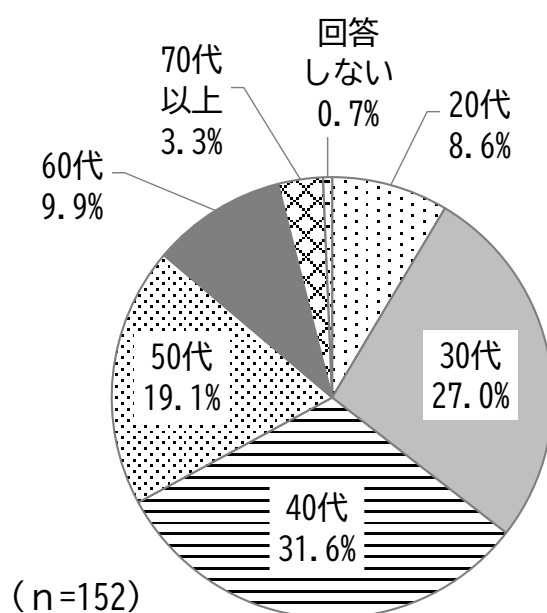
分類	内容(抜粋・要約)
事業・施設について (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の移動支援事業を拡充してほしい。 ・区の事業に対する評価・検証を定期的に行ってほしい。 ・精神障がい者用の区立の施設がなく、民間が引き受けている。他の障がいと同じように区立施設と同等のサービスを提供できる体制づくりをしてほしい。 ・渋谷区において事業を実施するにあたり、家賃の高さが障壁となっており、事業者の自己負担が運営を圧迫している。 ・身体の機能が低下している方へ、無料のストレッチ指導や医療機器を地域拠点で利用できるとよい。
住まいについて (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者への多様な住まいの確保と生活支援に関する仕組みを作ることが必要。 ・暮らしの選択肢を広めるためにも、自宅での暮らしを支援する取り組みが必要。
人材確保 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材として、外国人を雇用しやすい、区独自のシステムがあるとよい。
その他 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの全体像が分かるような情報発信をしてほしい。 ・民間企業への障がい者施策の理解増進や啓発については、引き続き連携しながら様々な方が安心して働き暮らせる地域づくりを進めていきたい。 ・障がい分野で活躍する事業所には、定期的に利用者の情報を共有してほしい。

6 事業所従業員調査の結果

(1)回答者の属性等

問1 令和7年10月1日現在の年齢についてお伺いします。(1つに○)

・本調査に回答した人の年齢は、「40代」が31.6%、次いで「30代」が27.0%、「50代」が19.1%などとなっています。

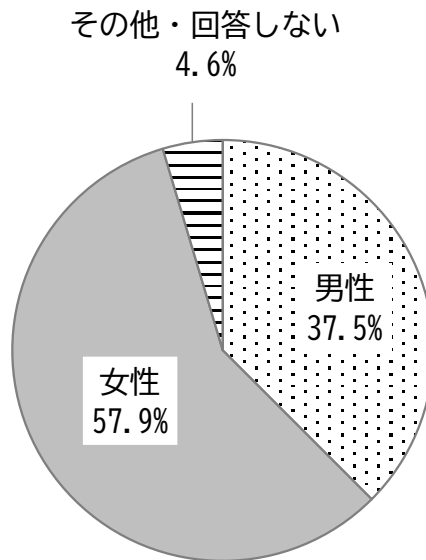


区分	回答数 (人)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	回答 しない	無回答
全体	152	0.0%	8.6%	27.0%	31.6%	19.1%	9.9%	3.3%	0.7%	0.0%
性別	男性	57	0.0%	7.0%	29.8%	35.1%	15.8%	7.0%	5.3%	0.0%
	女性	88	0.0%	10.2%	22.7%	29.5%	22.7%	12.5%	2.3%	0.0%
	その他・回答しない	7	0.0%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
居住地別	渋谷区内	17	0.0%	0.0%	11.8%	35.3%	23.5%	23.5%	5.9%	0.0%
	東京23区内	89	0.0%	10.1%	28.1%	33.7%	18.0%	6.7%	2.2%	1.1%
	都内市部	19	0.0%	5.3%	36.8%	26.3%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%
	都外	27	0.0%	11.1%	25.9%	25.9%	22.2%	11.1%	3.7%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問2 性別についてお伺いします。(1つに○)

・本調査に回答した人の性別は、「女性」が 57.9%、次いで「男性」が 37.5%などとなっています。

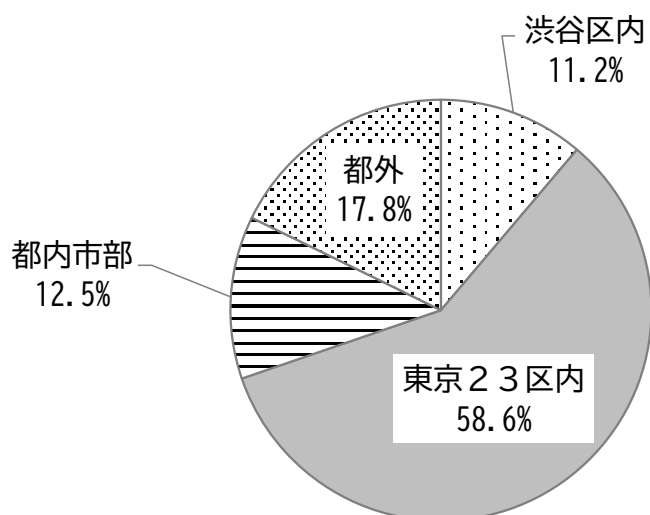


(n=152)

問3 お住まいについてお伺いします。

(1)お住まいの住所はどちらですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の住所は、「東京23区内」が58.6%、次いで「都外」が17.8%などとなっています。
- ・年齢別では、いずれも「東京23区内」の比率が最も高く、他にも年齢が低い層ほど「都外」の比率が高くなっています。
- ・性別では、いずれも「東京23区内」の比率が最も高く、他にも女性で「渋谷区内」の比率がやや高くなっています。



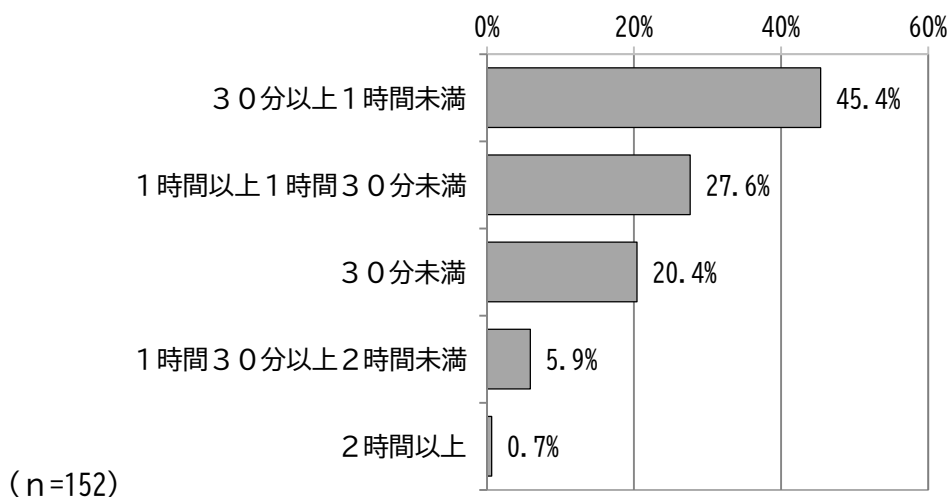
(n=152)

区分		回答数 (人)	渋谷区内	東京23区 内	都内市部	都外	無回答
全体		152	11.2%	58.6%	12.5%	17.8%	0.0%
年齢別	20~30代	54	3.7%	63.0%	14.8%	18.5%	0.0%
	40~50代	77	13.0%	59.7%	10.4%	16.9%	0.0%
	60代以上	20	25.0%	40.0%	15.0%	20.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	5.3%	59.6%	17.5%	17.5%	0.0%
	女性	88	15.9%	59.1%	8.0%	17.0%	0.0%
	その他・回答しない	7	0.0%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問3(2)通勤時間(片道)はどのくらいですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の通勤時間は、「30分以上1時間未満」が 45.4%、次いで「1時間以上1時間30分未満」が 27.6%、「30分未満」が 20.4%などとなっています。
- ・年齢別では、20～30代と40～50代で「30分以上1時間未満」が、60代以上で「1時間以上1時間30分未満」の比率が高くなっています。
- ・性別では、いずれも「30分以上1時間未満」の比率が最も高く、他にも女性で「30分未満」が、男性で「1時間以上1時間30分未満」の比率がやや高くなっています。



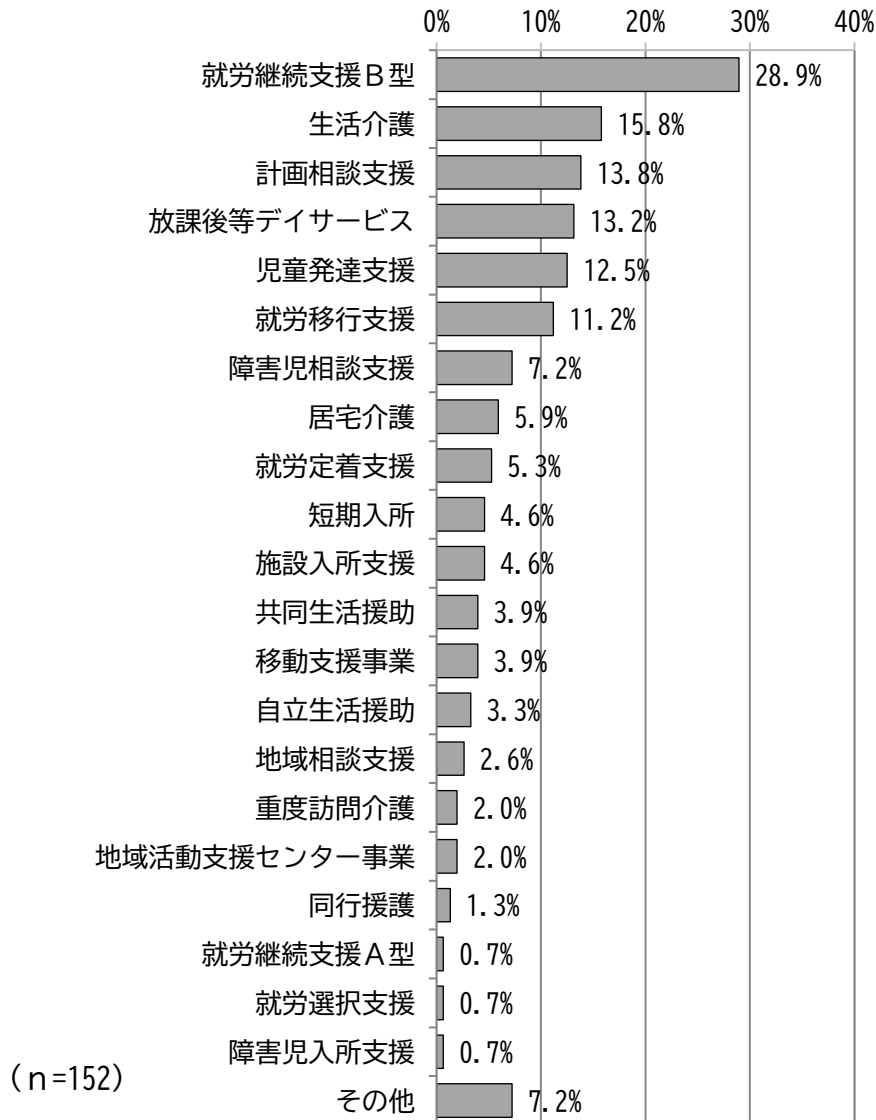
区分		回答数(人)	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上	無回答
全体		152	20.4%	45.4%	27.6%	5.9%	0.7%	0.0%
年齢別	20～30代	54	13.0%	55.6%	24.1%	7.4%	0.0%	0.0%
	40～50代	77	23.4%	42.9%	27.3%	5.2%	1.3%	0.0%
	60代以上	20	30.0%	30.0%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	12.3%	49.1%	31.6%	7.0%	0.0%	0.0%
	女性	88	26.1%	44.3%	22.7%	5.7%	1.1%	0.0%
	その他・回答しない	7	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

(2)仕事内容について

問4 あなたが従事している障がい福祉サービスの種別は何ですか。(複数選択可)

・本調査に回答した人の従事している障がい福祉サービスは、「就労継続支援B型」が 28.9%、次いで「生活介護」が 15.8%、「計画相談支援」13.8%などとなっています。



- ・性別では、男性で「生活介護」、女性で「就労継続支援B型」の比率が高くなっています。
- ・年齢別では、年代が高い層ほど「就労継続支援B型」が、20～30代では「就労移行支援」の比率が高くなっています。
- ・居住地別では、渋谷区内と都内市部で「就労継続支援B型」の比率が最も高くなっています。
- ・主な介助者別では、身体障がい「居宅介護」、知的障がいと精神障がい「就労継続支援B型」、発達障がい「児童発達支援」の比率が高くなっています。

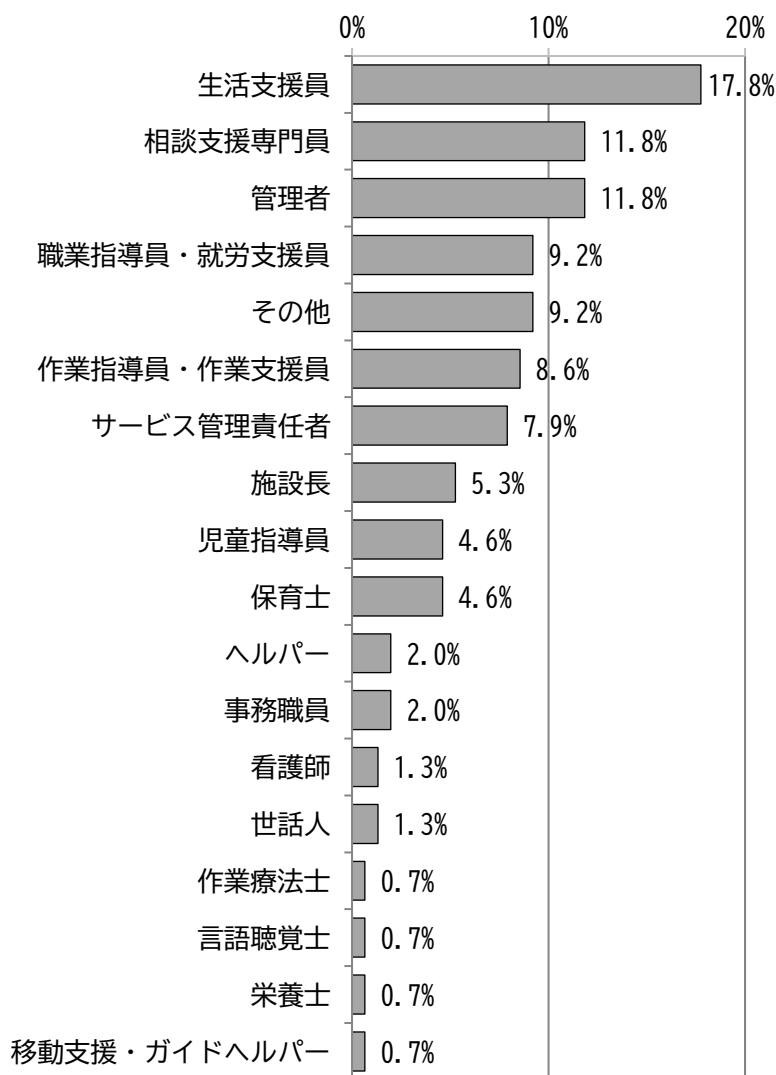
区分		回答数(件)	居宅介護	重度訪問介護	同行支援	行動支援	短期入所	生活介護	施設入所支援	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労定着支援	就労選択支援
全体		152	5.9%	2.0%	1.3%	0.0%	4.6%	15.8%	4.6%	11.2%	0.7%	28.9%	5.3%	0.7%
年齢別	20～30代	54	9.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	1.9%	24.1%	0.0%	14.8%	11.1%	1.9%
	40～50代	77	3.9%	1.3%	1.3%	0.0%	9.1%	20.8%	7.8%	5.2%	1.3%	33.8%	2.6%	0.0%
	60代以上	20	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	0.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	5.3%	1.8%	0.0%	0.0%	7.0%	24.6%	5.3%	17.5%	0.0%	22.8%	8.8%	1.8%
	女性	88	5.7%	1.1%	2.3%	0.0%	2.3%	10.2%	3.4%	6.8%	1.1%	31.8%	2.3%	0.0%
	その他・回答しない	7	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	0.0%	0.0%
	東京23区内	89	6.7%	1.1%	1.1%	0.0%	3.4%	16.9%	2.2%	10.1%	1.1%	25.8%	5.6%	0.0%
	都内市部	19	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	15.8%	10.5%	26.3%	0.0%	31.6%	15.8%	5.3%
	都外	27	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	25.9%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	8.8%	33.3%	8.8%	1.8%	0.0%	38.6%	0.0%	0.0%
	精神障がい	54	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	25.9%	1.9%	35.2%	13.0%	1.9%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%
	その他	6	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

区分		回答数(件)	自立生活援助	共同生活援助	計画相談支援	地域相談支援	地域活動支援センター事業	移動支援事業	障害児相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	障害児入所支援	その他	無回答
全体		152	3.3%	3.9%	13.8%	2.6%	2.0%	3.9%	7.2%	12.5%	13.2%	0.7%	7.2%	0.0%
年齢別	20～30代	54	1.9%	0.0%	11.1%	3.7%	3.7%	3.7%	1.9%	20.4%	18.5%	1.9%	7.4%	0.0%
	40～50代	77	3.9%	6.5%	15.6%	2.6%	1.3%	3.9%	11.7%	9.1%	9.1%	0.0%	6.5%	0.0%
	60代以上	20	5.0%	5.0%	15.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	15.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	5.3%	3.5%	12.3%	5.3%	1.8%	7.0%	5.3%	7.0%	14.0%	0.0%	5.3%	0.0%
	女性	88	2.3%	4.5%	14.8%	1.1%	1.1%	2.3%	8.0%	15.9%	12.5%	1.1%	9.1%	0.0%
	その他・回答しない	7	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%
	東京23区内	89	3.4%	4.5%	15.7%	3.4%	1.1%	2.2%	9.0%	13.5%	12.4%	0.0%	6.7%	0.0%
	都内市部	19	0.0%	5.3%	15.8%	0.0%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
	都外	27	3.7%	0.0%	11.1%	3.7%	0.0%	7.4%	7.4%	18.5%	25.9%	3.7%	7.4%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	0.0%	7.0%	3.5%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	3.5%	12.3%	1.8%	5.3%	0.0%
	精神障がい	54	3.7%	3.7%	24.1%	5.6%	5.6%	1.9%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%	17.4%	69.6%	52.2%	0.0%	13.0%	0.0%
	その他	6	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問5 あなたの職種は何ですか。(1つに○)

・本調査に回答した人の職種は、「生活支援員」が 17.8%、次いで「相談支援専門員」、「管理者」が 11.8%、「職業指導員・就労支援員」が 9.2%などとなっています。

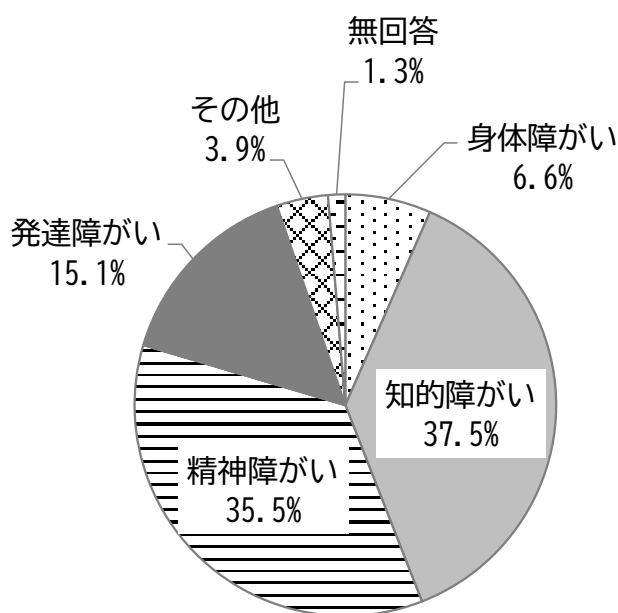


(n=152)

問6 利用者についてお伺いします。

(1)あなたが担当している利用者の主な障がい種別は何ですか。(1つに○)

- ・利用者の主な障がい種別について、「知的障がい」が37.5%、次いで「精神障がい」が35.5%、「発達障がい」が15.1%などとなっています。
- ・年齢別では、20～30代で「精神障がい」が、40～50代と60代以上で「知的障がい」の比率が高くなっています。
- ・性別では、男性で「知的障がい」、女性で「精神障がい」の比率が高くなっています。



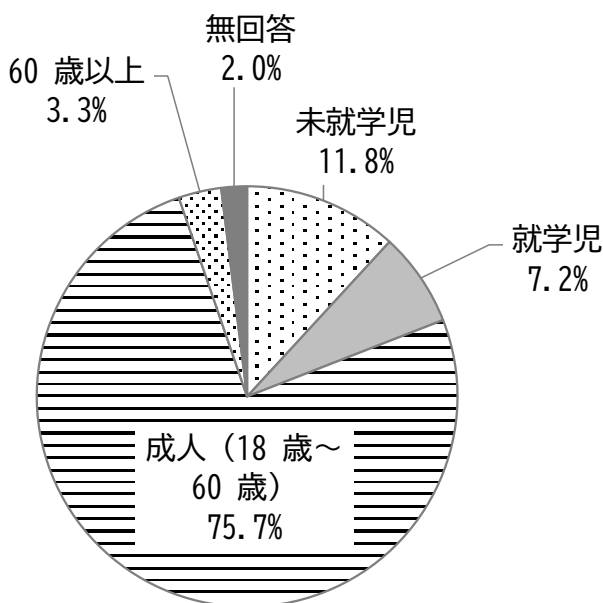
(n=152)

区分		回答数 (人)	身体 障がい	知的 障がい	精神 障がい	難病	発達 障がい	その他	無回答
全体		152	6.6%	37.5%	35.5%	0.0%	15.1%	3.9%	1.3%
年齢別	20～30代	54	7.4%	24.1%	48.1%	0.0%	18.5%	1.9%	0.0%
	40～50代	77	7.8%	44.2%	27.3%	0.0%	15.6%	2.6%	2.6%
	60代以上	20	0.0%	50.0%	30.0%	0.0%	5.0%	15.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	5.3%	50.9%	33.3%	0.0%	7.0%	3.5%	0.0%
	女性	88	6.8%	29.5%	35.2%	0.0%	21.6%	4.5%	2.3%
	その他・回答しない	7	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問6(2)主な年齢層はどれですか。(1つに○)

- ・利用者の年齢層について、「成人(18歳～60歳)」が75.7%、次いで「未就学児」が11.8%、「就学児」が7.2%などとなっています。
- ・年齢別では、いずれも「成人(18歳～60歳)」の比率が高くなっています。
- ・性別では、いずれも「成人(18歳～60歳)」の比率が高く、他にも女性で「未就学児」の比率が高くなっています。



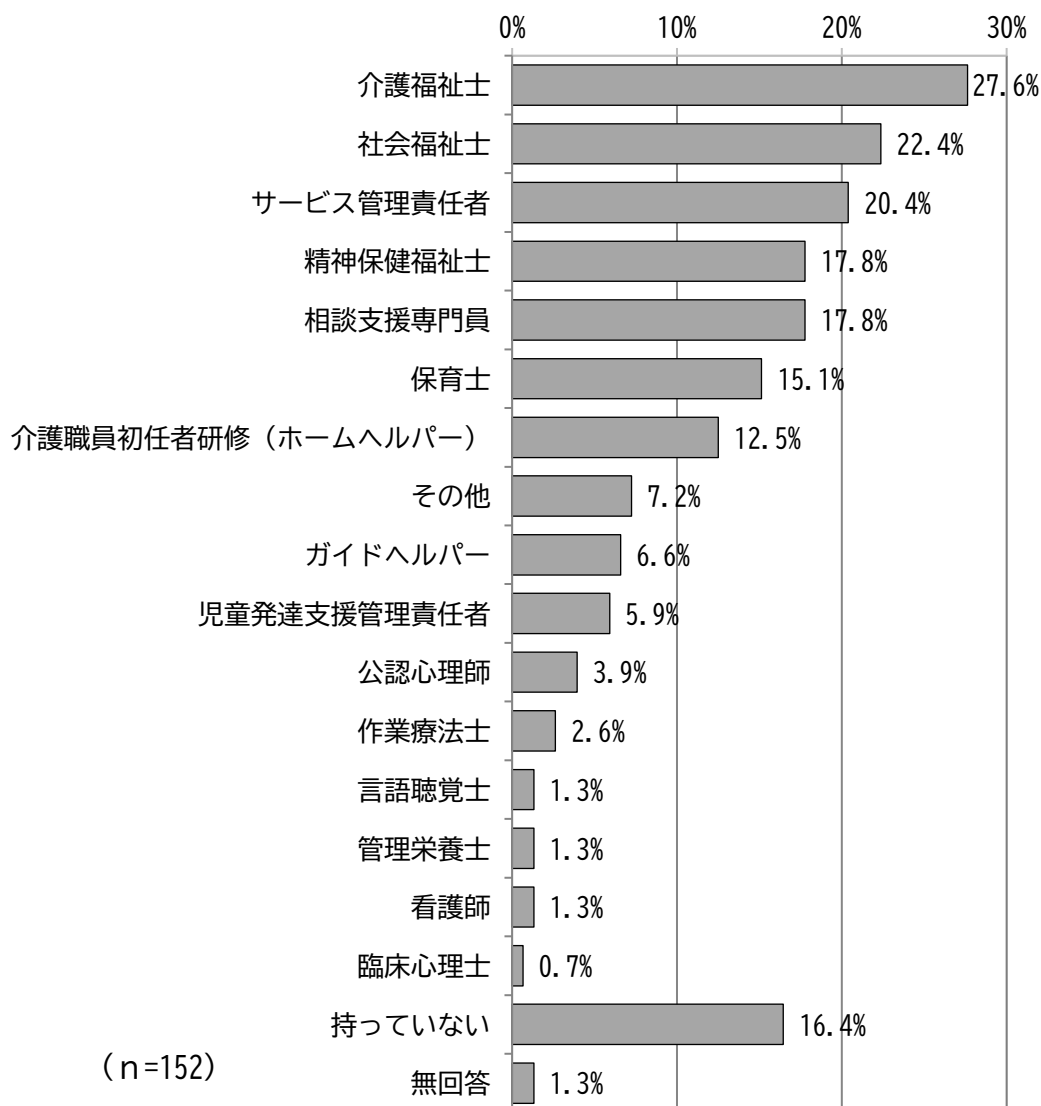
(n=152)

区分		回答数 (人)	未就学児	就学児	成人(18歳～60歳)	60歳以上	無回答
全体		152	11.8%	7.2%	75.7%	3.3%	2.0%
年齢別	20～30代	54	16.7%	7.4%	72.2%	3.7%	0.0%
	40～50代	77	10.4%	6.5%	77.9%	2.6%	2.6%
	60代以上	20	5.0%	10.0%	75.0%	5.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	1.8%	12.3%	80.7%	3.5%	1.8%
	女性	88	19.3%	4.5%	70.5%	3.4%	2.3%
	その他・回答しない	7	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	0.0%	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%
	知的障がい	57	1.8%	12.3%	84.2%	0.0%	1.8%
	精神障がい	54	0.0%	0.0%	96.3%	3.7%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	73.9%	13.0%	13.0%	0.0%	0.0%
	その他	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%
	無回答	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問7 障がい者福祉に係る資格等を持っていますか。(複数回答可)

- ・本調査に回答した人の保有している資格について、「介護福祉士」が 27.6%、次いで「社会福祉士」が 22.4%、「サービス管理責任者」が 20.4%などとなっています。
- ・年齢別では、20～30 代と 40～50 代で「介護福祉士」、60 代以上で「社会福祉士」の比率が高くなっています。
- ・性別では、男性で「サービス管理責任」、女性で「保育士」の比率がやや高くなっています。
- ・介助者別では、身体障がい・知的障がい「介護福祉士」、精神障がい「精神保健福祉士」、発達障がい「保育士」の比率が高くなっています。



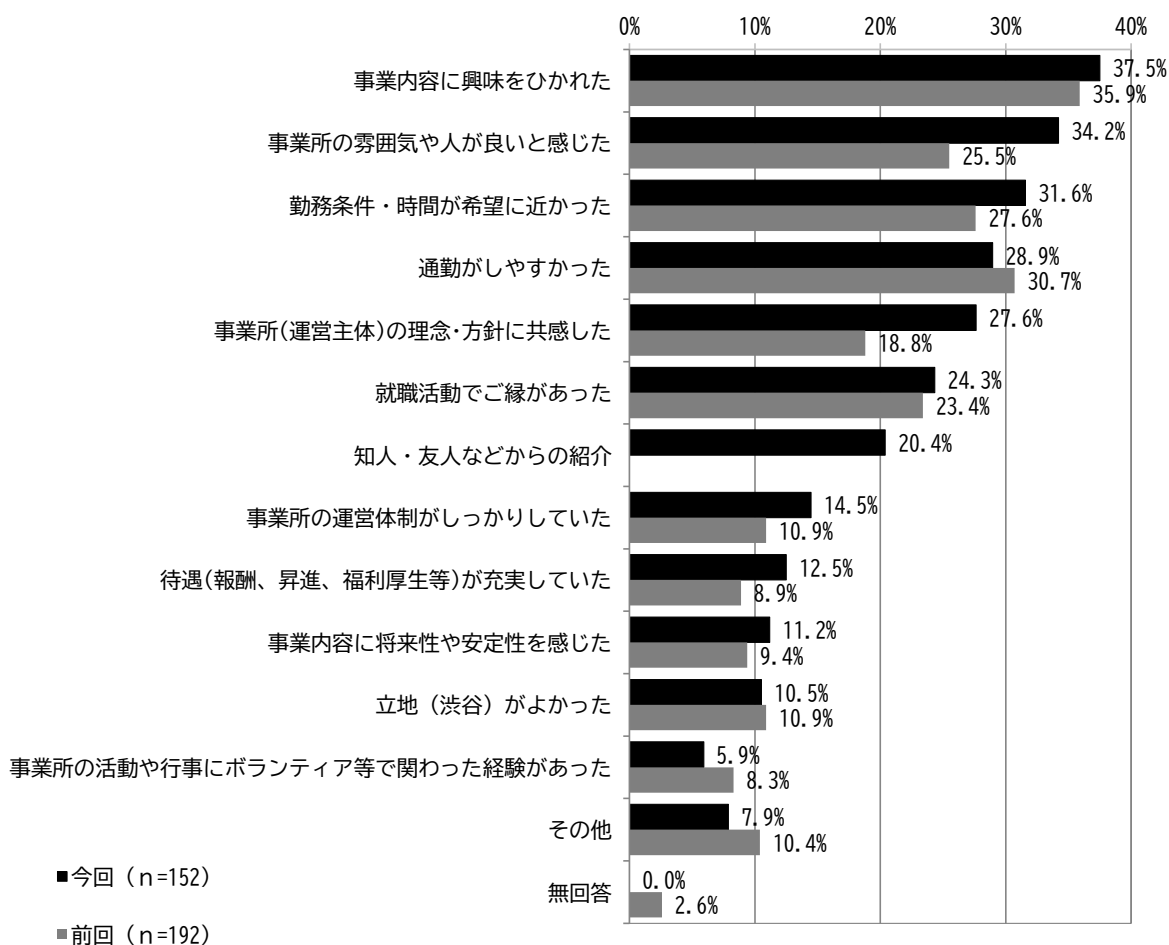
区分		回答数 (件)	介護福祉士	介護職員 初任者研修 (ホームヘルパー)	社会福祉士	精神保健福祉士	相談支援 専門員	公認心理師	臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
全体		152	27.6%	12.5%	22.4%	17.8%	17.8%	3.9%	0.7%	0.0%	2.6%	1.3%
年齢別	20~30代	54	29.6%	7.4%	16.7%	24.1%	14.8%	3.7%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%
	40~50代	77	31.2%	16.9%	23.4%	14.3%	19.5%	5.2%	0.0%	0.0%	3.9%	2.6%
	60代以上	20	10.0%	10.0%	30.0%	15.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	38.6%	12.3%	24.6%	15.8%	15.8%	3.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
	女性	88	20.5%	12.5%	19.3%	18.2%	18.2%	4.5%	1.1%	0.0%	3.4%	2.3%
	その他・回答しない	7	28.6%	14.3%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主な 介助者別	身体障がい	10	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	31.6%	12.3%	26.3%	3.5%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
	精神障がい	54	24.1%	16.7%	29.6%	44.4%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%	13.0%	13.0%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%
	その他	6	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

区分		回答数 (件)	手話通訳士	管理栄養士	保育士	看護師	管サ ービス 責任者	管理 児童 発達 支援 責任者	ガイ ド ヘル パー	その他	持 っ て い な い	無 回 答
全体		152	0.0%	1.3%	15.1%	1.3%	20.4%	5.9%	6.6%	7.2%	16.4%	1.3%
年齢別	20~30代	54	0.0%	3.7%	22.2%	0.0%	11.1%	7.4%	1.9%	3.7%	14.8%	1.9%
	40~50代	77	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	28.6%	5.2%	6.5%	10.4%	16.9%	0.0%
	60代以上	20	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%	15.0%	5.0%	20.0%	5.0%	20.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	28.1%	7.0%	5.3%	7.0%	17.5%	1.8%
	女性	88	0.0%	2.3%	18.2%	2.3%	15.9%	5.7%	8.0%	6.8%	15.9%	1.1%
	その他・回答しない	7	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
主な 介助者別	身体障がい	10	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	知的障がい	57	0.0%	0.0%	15.8%	3.5%	22.8%	3.5%	8.8%	10.5%	19.3%	0.0%
	精神障がい	54	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	22.2%	1.9%	1.9%	3.7%	11.1%	1.9%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	0.0%	4.3%	47.8%	0.0%	8.7%	21.7%	8.7%	13.0%	13.0%	0.0%
	その他	6	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問8 現在の事業所を選んだ一番の理由は何ですか。(複数選択可)

- ・本調査に回答した人が現在の事業所を選んだ理由は、「事業内容に興味をひかれた」が 37.5%、次いで「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」が 34.2%、「勤務条件・時間が希望に近かった」が 31.6% などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「事業所(運営主体)の理念・方針に共感した」が 8.8 ポイント、「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」が 8.7 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、20～30代で「事業内容に興味をひかれた」、40～50代、60代以上で「勤務条件・時間が希望に近かった」、「通勤がしやすかった」の比率が最も高くなっています。
- ・性別では、女性で「事業内容に興味をひかれた」、「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」、「勤務条件・時間が希望に近かった」が、男性で「事業内容に興味をひかれた」の比率が高くなっています。

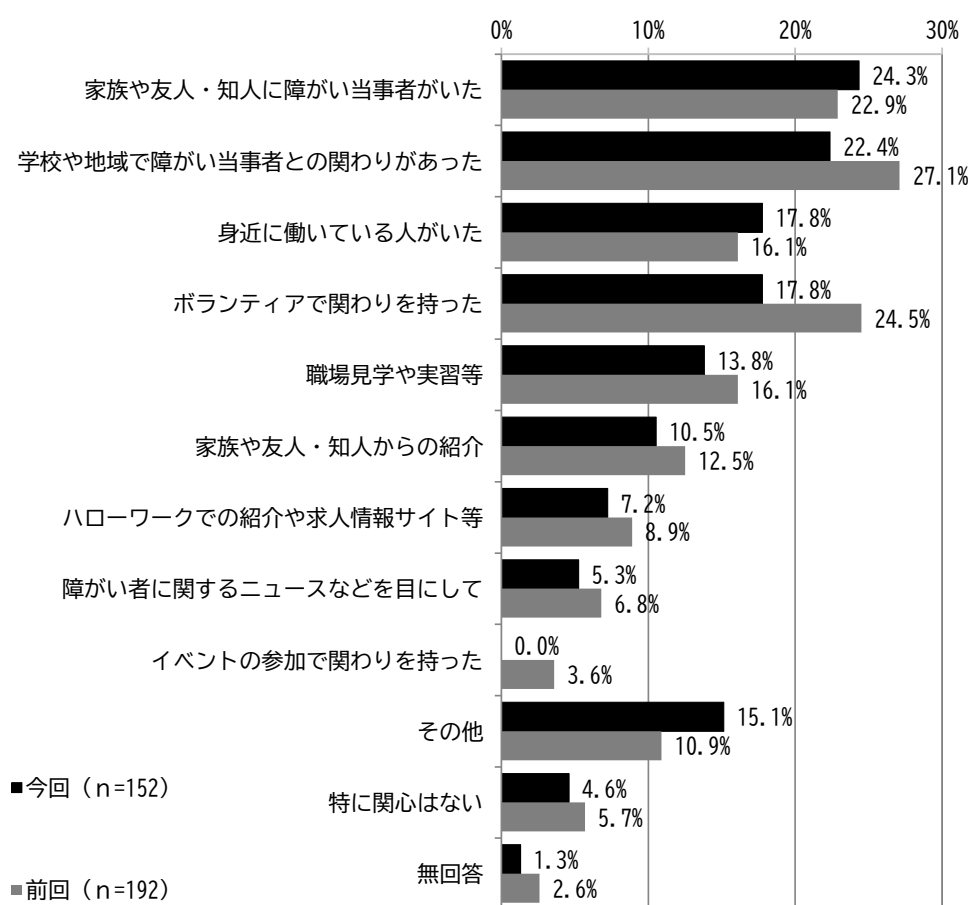


区分	回答数（人）	事業所（運営主体）の理念・方針に共感した	事業所の運営体制がしっかりしていた	事業所の雰囲気や人が良いと感じた	事業内容に興味をひかれた	事業内容に将来性や安定性を感じた	勤務条件・時間が希望に近かった	通勤がしやすかった	待遇（報酬、昇進、福利厚生等）が充実していた	関わった経験があった	事業所の活動や行事にボランティア等で	就職活動でご縁があった	立地（渋谷）がよかった	知人・友人などからの紹介	その他	無回答
全体	152	27.6%	14.5%	34.2%	37.5%	11.2%	31.6%	28.9%	12.5%	5.9%	24.3%	10.5%	20.4%	7.9%	0.0%	
年齢別	20～30代	54	29.6%	14.8%	40.7%	50.0%	14.8%	29.6%	27.8%	18.5%	1.9%	31.5%	11.1%	11.1%	13.0%	0.0%
	40～50代	77	28.6%	15.6%	33.8%	33.8%	10.4%	35.1%	32.5%	11.7%	9.1%	22.1%	10.4%	27.3%	2.6%	0.0%
	60代以上	20	20.0%	10.0%	15.0%	20.0%	5.0%	25.0%	15.0%	0.0%	5.0%	10.0%	10.0%	20.0%	15.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	29.8%	14.0%	29.8%	38.6%	12.3%	28.1%	21.1%	10.5%	8.8%	28.1%	8.8%	17.5%	12.3%	0.0%
	女性	88	26.1%	14.8%	35.2%	35.2%	10.2%	35.2%	34.1%	13.6%	4.5%	20.5%	11.4%	22.7%	5.7%	0.0%
	その他・回答しない	7	28.6%	14.3%	57.1%	57.1%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	50.0%	40.0%	50.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	知的障がい	57	19.3%	7.0%	24.6%	26.3%	1.8%	29.8%	22.8%	1.8%	10.5%	24.6%	14.0%	19.3%	8.8%	0.0%
	精神障がい	54	31.5%	13.0%	40.7%	44.4%	13.0%	27.8%	27.8%	16.7%	3.7%	27.8%	5.6%	25.9%	3.7%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	30.4%	30.4%	43.5%	56.5%	21.7%	43.5%	43.5%	26.1%	0.0%	30.4%	17.4%	8.7%	4.3%	0.0%
	その他	6	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問9 障がい者福祉に関心をもったきっかけは何ですか。(複数選択可)

- ・本調査に回答した人が障がい福祉に関心をもったきっかけについて、「**家族や友人・知人に障がい当事者がいた**」が 24.3%、次いで「**学校や地域で障がい当事者との関わりがあった**」が 22.4%、「**身近に働いている人がいた**」が 17.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「ボランティアで関わりを持った」6.7 ポイント、「学校や地域で障がい当事者との関わりがあった」が 4.7 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代と 60 代以上で「家族や友人・知人に障がい当事者がいた」が、40～50 代で「学校や地域で障がい当事者との関わりがあった」、「ボランティアで関わりを持った」の比率が高くなっています。
- ・介助者別では、身体障がいでは「身近に働いている人がいた」、精神障がいでは「家族や友人・知人に障がい当事者がいた」、知的障がいと発達障がいでは「学校や地域で障がい当事者との関わりがあった」の比率が高くなっています。

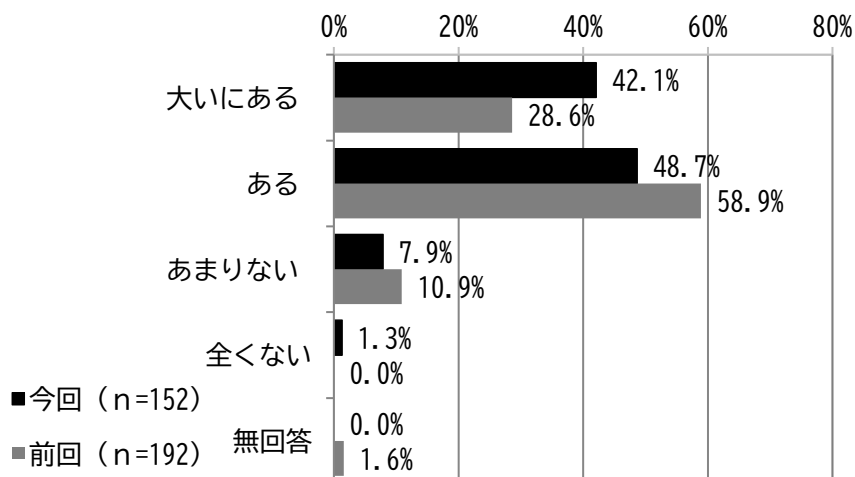


区分		回答数（人）	家族や友人・知人に障がい当事者がいた	学校や地域で障がい当事者との関わりがあった	身近に働いている人がいた	家族や友人・知人からの紹介	ハローワークでの紹介や求人情報サイト等	職場見学や実習等	ボランティアで関わりを持った	イベントの参加で関わりを持った	障がい者に関するニュースなどを目にして	その他	特に関心はない	無回答
全体		152	24.3%	22.4%	17.8%	10.5%	7.2%	13.8%	17.8%	0.0%	5.3%	15.1%	4.6%	1.3%
年齢別	20～30代	54	29.6%	20.4%	14.8%	9.3%	5.6%	13.0%	5.6%	0.0%	5.6%	18.5%	7.4%	1.9%
	40～50代	77	20.8%	26.0%	20.8%	11.7%	9.1%	14.3%	26.0%	0.0%	2.6%	13.0%	1.3%	1.3%
	60代以上	20	25.0%	15.0%	15.0%	10.0%	5.0%	10.0%	20.0%	0.0%	15.0%	15.0%	10.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	19.3%	19.3%	14.0%	10.5%	12.3%	17.5%	19.3%	0.0%	5.3%	15.8%	5.3%	0.0%
	女性	88	28.4%	23.9%	18.2%	9.1%	3.4%	10.2%	17.0%	0.0%	5.7%	15.9%	4.5%	1.1%
	その他・回答しない	7	14.3%	28.6%	42.9%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
主な介助者別	身体障がい	10	10.0%	0.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%
	知的障がい	57	19.3%	24.6%	21.1%	12.3%	12.3%	15.8%	17.5%	0.0%	3.5%	10.5%	3.5%	0.0%
	精神障がい	54	31.5%	18.5%	18.5%	9.3%	3.7%	14.8%	18.5%	0.0%	3.7%	16.7%	3.7%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	21.7%	39.1%	8.7%	4.3%	4.3%	17.4%	26.1%	0.0%	13.0%	17.4%	8.7%	0.0%
	その他	6	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 10 仕事についてお伺いします。仕事内容にやりがいを感じますか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人のやりがいについて、「ある」が48.7%、次いで「大いにある」が42.1%となっており、**9割の人がやりがいを感じている**ことがわかります。一方で、「あまりない」が7.9%、「全くない」が1.3%などとなっています。
- ・年齢別では、いずれも「ある」の比率が最も高くなっているものの、60代で「あまりない」の比率が他の年代と比較しやや高くなっています。
- ・介助者別では、精神障がい「大いにある」の比率が高くなっています。



区分		回答数 (人)	大いにある	ある	あまりない	全くない	無回答
全体		152	42.1%	48.7%	7.9%	1.3%	0.0%
年齢別	20～30代	54	40.7%	51.9%	3.7%	3.7%	0.0%
	40～50代	77	45.5%	46.8%	7.8%	0.0%	0.0%
	60代以上	20	35.0%	45.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	45.6%	45.6%	7.0%	1.8%	0.0%
	女性	88	42.0%	50.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	その他・回答しない	7	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	42.1%	45.6%	12.3%	0.0%	0.0%
	精神障がい	54	46.3%	46.3%	3.7%	3.7%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	30.4%	60.9%	8.7%	0.0%	0.0%
	その他	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

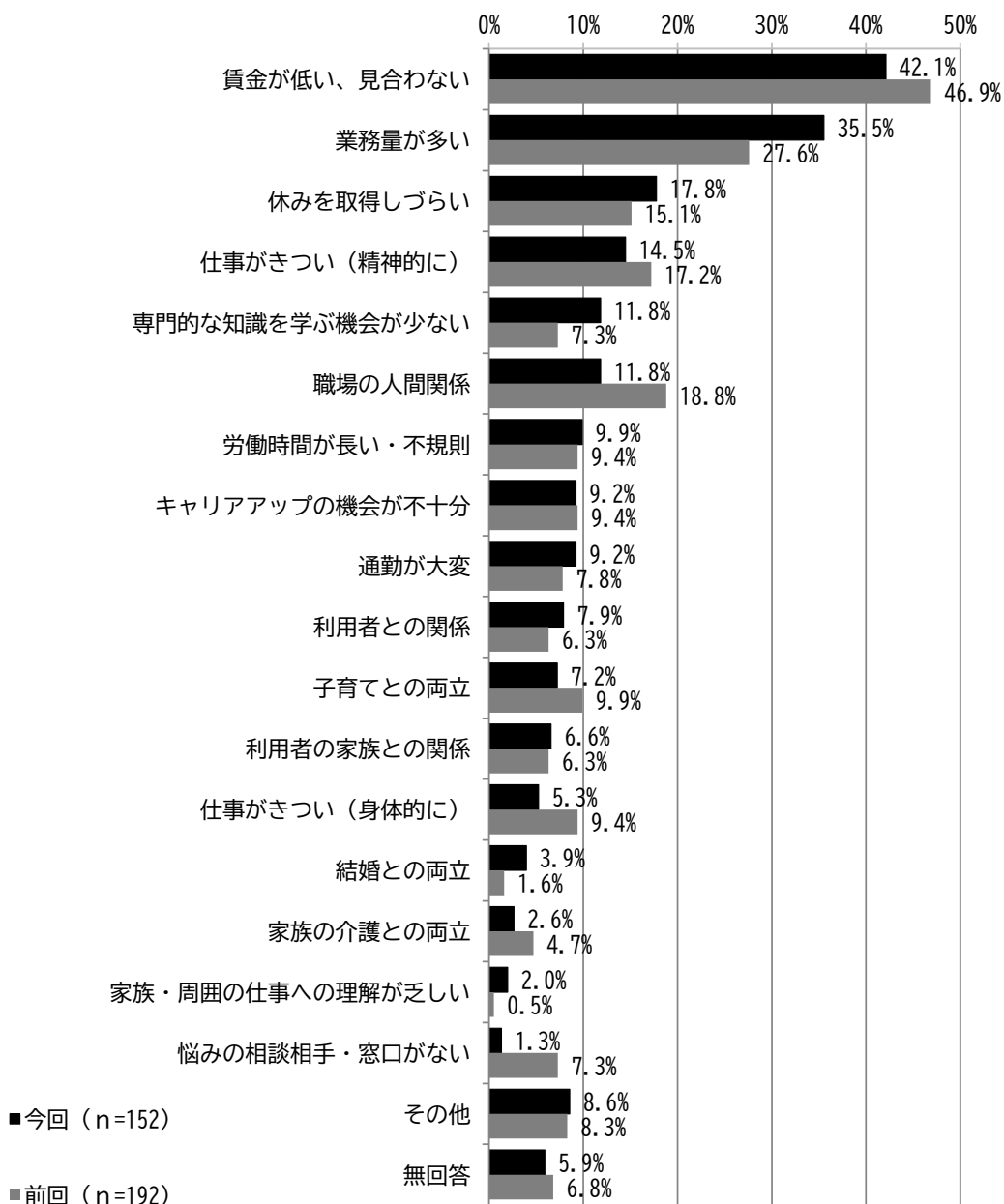
仕事内容に「やりがいがある」または「やりがいがない」と感じる理由を教えてください。

・仕事内容にやりがいを感じる理由について記述式でたずねたところ、118 人から 118 件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
<p>やりがいがある (109 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関わる人たちの変化、成長を直に感じることができるから。(4 件) ・子どもの成長を見届けられる。障がい児支援ができる。(9 件) ・福祉に貢献でき、役にたてていると感じる。(7 件) ・思いつめた様子で相談に来た保護者の方が、療育を通して成長していく子どもの姿に心から喜び、「利用してよかった」と直接言ってもらえることがあるから。 ・知的障がいのある方の自分に正直な生き方に共感する。彼らとのかかわりの中で、自分の価値観が変わっていくことが楽しい。 ・専門職として、職場に貢献できていることや自分のスキルアップに繋がっていることを実感するから。 ・利用者が自立できるよう、生活に寄り添った支援をできるため。 ・利用者一人一人に合わせた支援を考え実行することに魅力を感じているから。 ・自身の経験や能力を仕事に活かしているため。(4 件) ・利用者との交流を通して、その方がその方らしく過ごせるお手伝いができる事を嬉しく思うとともに、利用者から元気をもらえる。利用者をお預かりすることで、そのご家族が働くことができることや、余暇の時間が持てることで、利用者だけではなく、利用者のご家族のことも支えられること。 ・本人を取り巻くチームでうまく支援ができた時にやりがいを感じる。 ・その方の居場所であったり、社会と繋がることのできる場所であったりするため、環境をつくっていくことに面白さを感じる。 ・利用者が生き生きと仕事をしている姿を見るとやりがいを感じる。 ・利用者の皆さんが、「作業所が楽しい」と言って通所してくれること。 ・渋谷区との関わりが長くなり、多方面で区と協働して事業を行うことが多くなり、やりがいを感じている。 ・生きる意味や色々な人を知ることができる。 ・障がいのある方とのアート活動を通じて、思いがけず素晴らしい作品が生まれたり、それが販売につながったりと、活動の広がりを実感できる点にやりがいを感じる。 ・何年、何十年この仕事に従事していても正解がなく、常に考え、新しい知見を知りながらアップデートしていけるから。
<p>やりがいがない (9 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する業務内容でないから。 ・業務に追われている感覚で充実感や達成感はなかなか感じづらいため。(2件) ・支援に注力したいところを事務作業やその他の業務が多いから。 ・意思が通じない方の支援は、心身とも大変なエネルギーを消費し、安々と「やりがい」という美化に変換できないため。 ・勉強したことが活かさないから。

問 11 仕事を続けるにあたって不安要素はありますか。(上位3つまで)

- ・本調査に回答した人が仕事を続けるにあたっての不安要素は、「賃金が低い、見合わない」が 42.1%、次いで「業務量が多い」が 35.5%、「休みを取得しづらい」が 17.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「賃金が低い、見合わない」が 4.8 ポイント低くなった一方で、「業務量が多い」が 7.9 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代、40～50 代で「賃金が低い、見合わない」が、60 代以上で「専門的な知識を学ぶ機会が少ない」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、身体障がい、精神障がいは「業務量が多い」の比率が高くなっています。



区分	回答数（人）	業務量が多い	労働時間が長い・不規則	賃金が低い、見合われない	休みを取得しづらい	仕事がついに（身体的に）	仕事がついに（精神的に）	キャリアアップの機会が不十分	専門的な知識を学ぶ機会が少ない	利用者との関係
全体	152	35.5%	9.9%	42.1%	17.8%	5.3%	14.5%	9.2%	11.8%	7.9%
年齢別	20～30代	54	29.6%	1.9%	46.3%	20.4%	3.7%	14.8%	11.1%	7.4%
	40～50代	77	42.9%	15.6%	46.8%	18.2%	5.2%	15.6%	9.1%	7.8%
	60代以上	20	20.0%	10.0%	15.0%	10.0%	5.0%	5.0%	15.0%	25.0%
	回答しない	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	36.8%	8.8%	43.9%	17.5%	5.3%	14.0%	10.5%	7.0%
	女性	88	31.8%	10.2%	40.9%	18.2%	4.5%	13.6%	9.1%	14.8%
	その他・回答しない	7	71.4%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%
主な介助者別	身体障がい	10	40.0%	10.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	30.0%	0.0%
	知的障がい	57	40.4%	10.5%	47.4%	15.8%	1.8%	12.3%	8.8%	15.8%
	精神障がい	54	37.0%	9.3%	35.2%	22.2%	5.6%	14.8%	7.4%	3.7%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	26.1%	13.0%	56.5%	8.7%	13.0%	26.1%	8.7%	21.7%
	その他	6	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

区分	回答数（人）	利用者の家族との関係	職場の人間関係	へ家族・解が乏しい仕事	結婚との両立	子育てとの両立	家族の介護との両立	窓の相談相手・悩みがない	通勤が大変	その他	無回答
全体	152	6.6%	11.8%	2.0%	3.9%	7.2%	2.6%	1.3%	9.2%	8.6%	5.9%
年齢別	20～30代	54	11.1%	13.0%	0.0%	11.1%	13.0%	3.7%	1.9%	16.7%	5.6%
	40～50代	77	5.2%	11.7%	3.9%	0.0%	5.2%	1.3%	1.3%	5.2%	9.1%
	60代以上	20	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	15.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	8.8%	8.8%	0.0%	5.3%	3.5%	1.8%	0.0%	15.8%	7.0%
	女性	88	4.5%	14.8%	3.4%	3.4%	10.2%	3.4%	1.1%	5.7%	10.2%
	その他・回答しない	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%
	知的障がい	57	8.8%	15.8%	5.3%	1.8%	3.5%	1.8%	1.8%	7.0%	8.8%
	精神障がい	54	3.7%	7.4%	0.0%	9.3%	7.4%	5.6%	1.9%	13.0%	9.3%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%
	その他	6	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

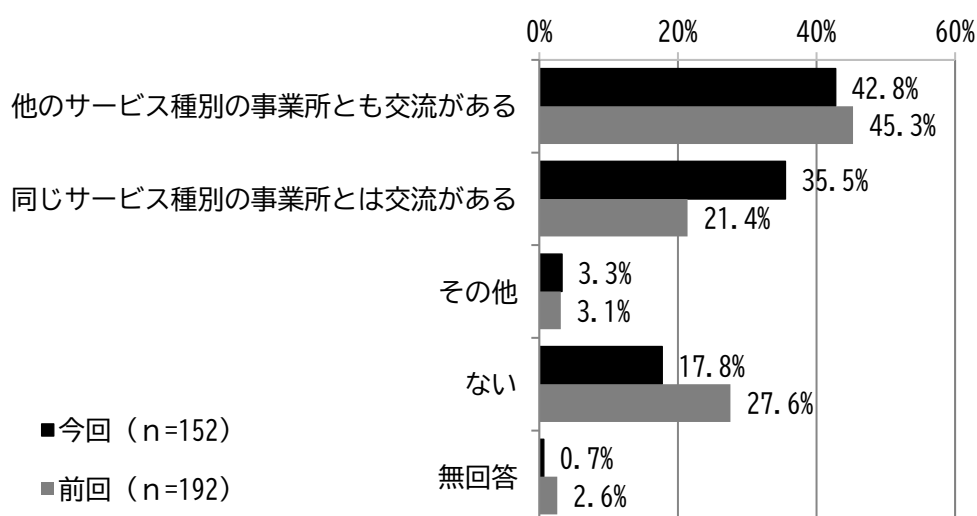
問 12 現在の仕事について、不安なこと、悩みや不満について、具体的にご記入ください。

・現在の仕事について、不安なこと、悩みや不満について記述式でたずねたところ、96 人から 106 件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
職場の人間関係 (3 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が少ない職場のため、人間関係が乱れると大変。(2件) ・新しく知り合う関係機関の職員と打ち解けられるか、信頼関係が築けるか。
賃金が低い、見合わない (19 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金が低い。給与が見合わないと感じる。(13 件) ・給料が少なく一人暮らしがやっとなのため、結婚のビジョンが持てない。 ・法人の住宅手当が一律であるため、家賃の高い渋谷地区の職員は住宅手当を上げて欲しい。 ・賃金が低いため子育てをしながら働くことの難しさを実感している。(2件) ・利用者や家族の高齢化、新規利用者の障がいの重度化が進んでおり、業務内容や拘束時間の増加など、負担が重くなる可能性を感じている。
人材不足 (12 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足。(3 件) ・ライフスタイルの変化、結婚や出産等で欠員が出た場合に新たな人材を確保できるかどうか不安。 ・職員を募集しても応募がない。 ・余裕のある人員配置にならないこと。(2 件) ・職員の定着率が低く、業務の負担が増えるばかりであること。
業務量が多い (11 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務量が職員によって偏っている。業務の分担も思うようにできない。 ・緊急時の対応がよくある、休日出勤が多い。 ・毎日仕事量が多く、障がい重度化する利用者の支援策を十分検討する時間がないこと。 ・業務量が多い。(4 件)
体力、体調面について (10 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神的な負担がある。 ・思い切り体を動かすことや、子どもに飛びつかれたり蹴られたりすることも多いため、妊娠したり高齢になるとできる仕事ではないと感じる。 ・心身共にハードワークであるため、年齢を重ねるにつれ体力的に続けていけるか不安があります。 ・渋谷までの通勤ラッシュが負担。 ・通勤に時間がかかるため、年長的にいつまで続けられるか自分でも分からない。
事業所の経営について (7 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成や将来的な事業の継承。 ・職員を雇用するための経費や、事務所の家賃が高く、経費が負担となっている。 ・障がい特性から利用者が安定して通所することが難しく、通所に応じて報酬費が支払われる仕組みでは、運営費が安定せず経営が厳しくなる。(2 件)
その他 (44 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・1人しか配置されていない専門職があり、視点が偏る心配がある。 ・福祉関連の講座に参加する機会が少なく、研修制度が確立されていないことが不安。 ・休憩や休みが取りづらい。(2件) ・キャリアを積めないこと。キャリアアップがしにくいこと(6件) ・通勤が遠い。 ・障がいの重度化、高齢化に対し、国の施策や考え方が従来から見直されていない部分がある。 ・DM 関係の作業が多く、ペーパーレス化の風潮の影響が気になる。 ・入居者からの虐待には注目されるが、その逆は相手にされないこと。

問 13 区内の他の事業所と交流・ネットワークはありますか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の他の事業所との交流・ネットワークについて、「他のサービス種別の事業所とも交流がある」が 42.8%、次いで「同じサービス種別の事業所とは交流がある」が 35.5%、「ない」が 17.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「ない」が 9.8 ポイント低く、「同じサービス種別の事業所とは交流がある」が 14.1 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、40～50 代で「同じサービス種別の事業所とは交流がある」が、20～30 代で「ない」の比率がやや高くなっています。
- ・介助者別では、発達障がい「同じサービス種別の事業所とは交流がある」の比率が高くなっています。



区分		回答数 (人)	他のサービス種別の事業所とも交流がある	同じサービス種別の事業所とは交流がある	その他	ない	無回答
全体		152	42.8%	35.5%	3.3%	17.8%	0.7%
年齢別	20～30代	54	46.3%	27.8%	1.9%	24.1%	0.0%
	40～50代	77	41.6%	41.6%	3.9%	13.0%	0.0%
	60代以上	20	40.0%	30.0%	5.0%	20.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	52.6%	22.8%	3.5%	21.1%	0.0%
	女性	88	35.2%	44.3%	3.4%	15.9%	1.1%
	その他・回答しない	7	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	20.0%	50.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	知的障がい	57	45.6%	26.3%	7.0%	21.1%	0.0%
	精神障がい	54	48.1%	42.6%	0.0%	9.3%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	21.7%	47.8%	4.3%	26.1%	0.0%
	その他	6	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

【「ない」以外を選んだ方にお伺いします。】
 差支えなければ交流のきっかけを教えてください。

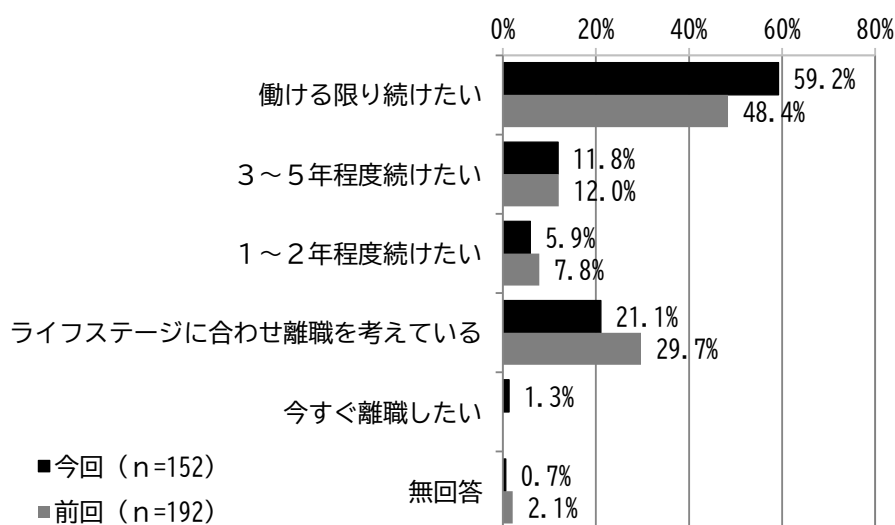
・交流のきっかけについて記述式でたずねたところ、76人から82件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
連絡会を通じて (27件)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会。(3件) ・連絡会。(10件) ・次世代ネットワーク。(6件) ・圏域地域ケア会議。 ・定例会議。 ・地域の会議。 ・高齢障がいの連携会議。 ・利用者のモニタリングや区内会議。 ・障がい者団体連合会。 ・自立支援協議会。
イベント等を通じて (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・催事やイベントで繋がることできる。 ・合同地域清掃(活動提供内)や大交流会。 ・笹塚十号のいえの販売会や代々木公園のイベントの販売会、Tボール大会。 ・連合会企画イベントなど。 ・区のイベント販売会など。(2件)
交流会を通じて (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区の交流会。 ・若手を対象とした福祉交流会。 ・大交流会。(2件) ・ハローワーク主催の交流会や渋谷区内の就労系の集まり、LGBTQ支援者交流会など。 ・ハートバレーの交流会。
同法人内 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ法人だから。(2件) ・同じ法人内に他の事業所があるため。
研修会を通じて (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・区で開催された研修会。 ・障がい部会の研修等。 ・研修会。(5件) ・IT×福祉勉強会。
その他 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ・所有資格での勉強会。 ・業務のやり取りを通じて。(5件) ・職員交換。 ・担当ケースを通じて。(3件)

問 14 今後のキャリアについてお伺いします。

(1)現在勤めている事業所で働き続けたいと思いますか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人が現在の事業所で働き続けたいかについて、「働ける限り続けたい」が 59.2%、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が 21.1%、「3～5 年程度続けたい」が 11.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「働ける限り続けたい」が 10.8 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代、40～50 代で「ライフステージに合わせ離職を考えている」の比率が比較的高くなっています。
- ・性別では、いずれも「働ける限り続けたい」が最も高く、他にも男性では「ライフステージに合わせ離職を考えている」の比率が高くなっています。
- ・居住地別では、渋谷区内と都内市部で「働ける限り続けたい」の比率が高くなっています。
- ・介助者別では、発達障がい「ライフステージに合わせ離職を考えている」の比率がやや高くなっています。



区分		回答数 (人)	働ける限り 続けたい	3～5年 程度 続けたい	1～2年 程度 続けたい	ライフ ステージに 合わせ 離職を 考えている	今すぐ 離職したい	無回答
全体		152	59.2%	11.8%	5.9%	21.1%	1.3%	0.7%
年齢別	20～30代	54	50.0%	13.0%	11.1%	24.1%	1.9%	0.0%
	40～50代	77	63.6%	10.4%	1.3%	23.4%	1.3%	0.0%
	60代以上	20	70.0%	10.0%	10.0%	5.0%	0.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	56.1%	12.3%	7.0%	22.8%	1.8%	0.0%
	女性	88	63.6%	10.2%	5.7%	18.2%	1.1%	1.1%
	その他・回答しない	7	28.6%	28.6%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	82.4%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%
	東京23区内	89	56.2%	13.5%	5.6%	22.5%	2.2%	0.0%
	都内市部	19	63.2%	15.8%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%
	都外	27	51.9%	11.1%	14.8%	22.2%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	60.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	59.6%	8.8%	7.0%	22.8%	1.8%	0.0%
	精神障がい	54	61.1%	11.1%	5.6%	20.4%	1.9%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	47.8%	13.0%	8.7%	30.4%	0.0%	0.0%
	その他	6	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	無回答	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

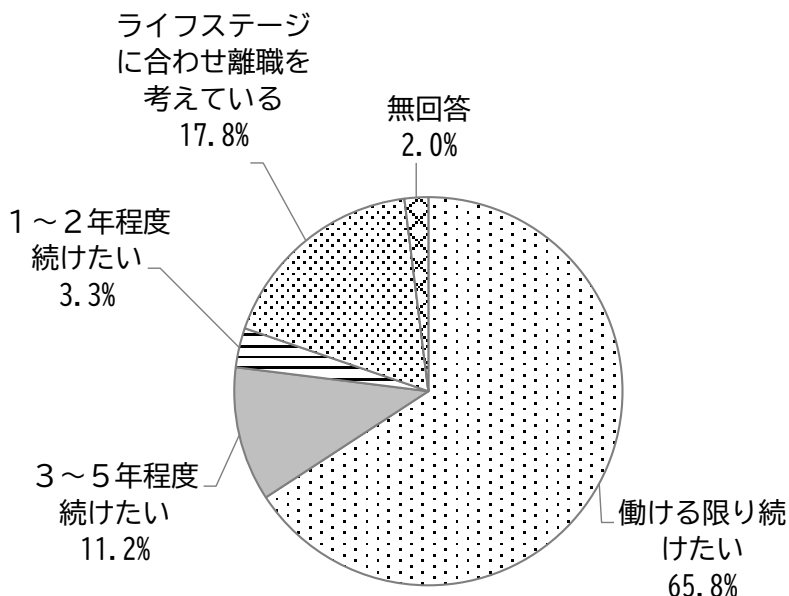
現在勤めている事業所で働きたい・離職を考えている、その理由を教えてください。

・現在勤めている事業所で働きたい・離職を考えている理由について記述式でたずねたところ、115人から115件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
働きたい理由 (65件)	<ul style="list-style-type: none"> ・やりがいがあるから。(9件) ・理念や方針が一致しているから。(2件) ・住まいから近いから。(2件) ・この仕事が好きだから。(3件) ・安定して働ける。 ・職場での人間関係が安定しており、現状維持できている限りは続けていきたい。(4件) ・働きやすいから。(4件) ・未来を作る仕事であるため。 ・支援、運営共に関わり責任ある立場でやりがいがあるため。 ・次の世代に事業を引き継ぐ責任があると思うから。(2件) ・辞めたいと思う理由がない。(2件)
離職・転職を考えている理由 (35件)	<ul style="list-style-type: none"> ・持病や家族との兼ね合い。 ・児童だけではなく大人の相談もできるようになりたいため。 ・プライベートを大切にしたいため。 ・給与の手取りが低いため。(2件) ・ライフスタイルに合わなくなるため。 ・体力的に通勤がきついため、将来的に近隣の職場を探したい。 ・現在の経験を活かし、将来的には自分で会社や団体等を作ることを検討しているため。 ・高齢のため。(2件)
その他 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・定年を機にその後を考える。 ・ライフステージの変化や給与面を考えると現職を正社員で続けていくことができるかわからない。 ・キャリアのことを考えられていない。

問 14(2)障がい者福祉の仕事で働き続けたいと思いますか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人が障がい者福祉の仕事で働き続けたいかについて、「働ける限り続けたい」が **65.8%**と最も高く、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が 17.8%、「3～5年程度続けたい」が 11.2%などとなっています。
- ・年齢別では、20～30代、40～50代で「ライフステージに合わせ離職を考えている」の比率が比較的高くなっています。
- ・性別では、いずれも「働ける限り続けたい」が最も高く、他にも男性では「ライフステージに合わせ離職を考えている」の比率が高くなっています。
- ・介助者別では、身体障がい、「3～5年程度続けたい」が、発達障がい「ライフステージに合わせ離職を考えている」の比率がやや高くなっています。



(n=152)

区分		回答数 (人)	働ける限り続けたい	3～5年程度続けたい	1～2年程度続けたい	ライフステージに合わせ離職を考えている	今すぐ離職したい	無回答
全体		152	65.8%	11.2%	3.3%	17.8%	0.0%	2.0%
年齢別	20～30代	54	64.8%	11.1%	1.9%	22.2%	0.0%	0.0%
	40～50代	77	68.8%	10.4%	1.3%	18.2%	0.0%	1.3%
	60代以上	20	60.0%	10.0%	15.0%	5.0%	0.0%	10.0%
	回答しない	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	57.9%	14.0%	1.8%	24.6%	0.0%	1.8%
	女性	88	72.7%	8.0%	3.4%	13.6%	0.0%	2.3%
	その他・回答しない	7	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	60.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	70.2%	7.0%	1.8%	19.3%	0.0%	1.8%
	精神障がい	54	68.5%	13.0%	5.6%	13.0%	0.0%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	52.2%	8.7%	4.3%	34.8%	0.0%	0.0%
	その他	6	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

障がい者福祉の仕事を働きたい・離職を考えている、その理由を教えてください。

・障がい者福祉の仕事を働きたい・離職を考えている理由について記述式でたずねたところ、97人から件の97回答がありました。集計結果は次の通りです。

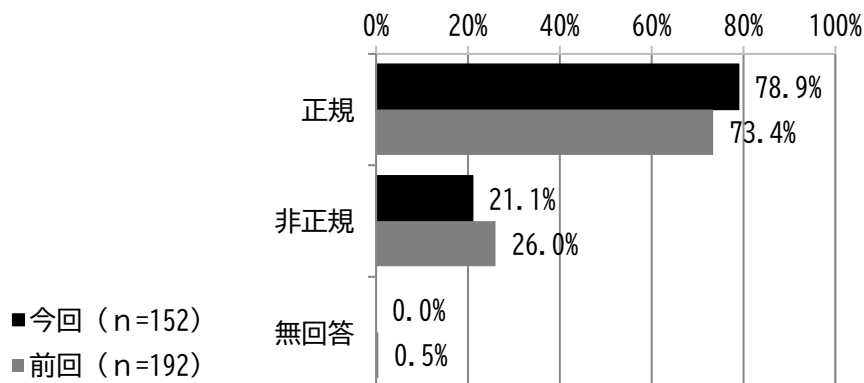
分類	内容(抜粋・要約)
働きたい理由 (68件)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の仕事にやりがいを感じるから。(16件) ・持っているスキルや専門性を活かせるため。(7件) ・関わっている利用者やご家族のことは出来る限り最後まで支えていきたい気持ちがあるため。 ・他にやりたいことがないから。 ・障がい児支援をしたいから。 ・利用者に関わることがとても楽しいし自分も常に学べるから。 ・この仕事が好きだから。(3件) ・いつも元気をもらえてるから。 ・キャリアを積みたい。
離職・転職を考えている理由 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ・給料が低いため。(3件) ・精神的な負担があるので別の業種を検討したい。(2件) ・身体がもつか不安なため。(2件) ・高齢、年齢のため。(2件) ・ほかの職種が合うのであれば、無理に障がい福祉にこだわることは考えていない。
転職を考えている業界 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉の経験を活かして障がい年金請求関連・企業へのコンサルタントなど。 ・高齢者福祉。
その他 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は続けていきたいが、業務量と収入が見合っていないため、気持ちが変わる可能性が高い。 ・賃金の問題や将来的な人間関係、身体的負担の増大などの不安があり、必要であれば将来的に他業種に転職せざるを得ない。

(3)現在の勤務条件等について

問 15 雇用契約内容についてお伺いします。

(1)雇用形態は何ですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の雇用形態について、「正規」が78.9%、「非正規」が21.1%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「正規」が5.5ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、60代を除き「正規」の比率が高くなっています。
- ・性別では、いずれも「正規」の比率が高く、一方で女性の「非正規」の割合もやや高くなっています。
- ・居住地別では東京23区内と都外で「正規」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、いずれも「正規」の比率が高い一方、知的障がいでは「非正規」の比率がやや高くなっています。



区分		回答数 (人)	正規	非正規
全体		152	78.9%	21.1%
年齢別	20～30代	54	90.7%	9.3%
	40～50代	77	80.5%	19.5%
	60代以上	20	40.0%	60.0%
	回答しない	1	100.0%	0.0%
性別	男性	57	87.7%	12.3%
	女性	88	71.6%	28.4%
	その他・回答しない	7	100.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	52.9%	47.1%
	東京23区内	89	80.9%	19.1%
	都内市部	19	73.7%	26.3%
	都外	27	92.6%	7.4%
主な介助者別	身体障がい	10	80.0%	20.0%
	知的障がい	57	75.4%	24.6%
	精神障がい	54	87.0%	13.0%
	難病	0	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	78.3%	21.7%
	その他	6	50.0%	50.0%
	無回答	2	50.0%	50.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 15(2)一か月あたりの平均勤務日数は何日ですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の一ヶ月の日数、時間との関係を見ると、**20日**で、7時間超～8時間以下が最も**高く**、次いで20日で8時間超の順となっています。この2つにあてはまる人は全体の73.0%となっています。
- ・正規職員は、20日で、8時間超、非正規職員は20日で、7時間超～8時間以下が最も高くなっています。

全体

	合計	8時間超	7時間超～ 8時間以下	6時間超～ 7時間以下	5時間超～ 6時間以下	4時間超～ 5時間以下	3時間超～ 4時間以下	2時間超～ 3時間以下	2時間未満	無回答
合計	152	63	68	7	9	0	1	2	2	0
日数	25日以上	6	4	1	0	1	0	0	0	0
	20日程度	124	55	56	6	4	0	0	1	2
	15日程度	17	3	9	0	3	0	1	1	0
	10日程度	5	1	2	1	1	0	0	0	0
	5日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～3日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

正規職員

	合計	8時間超	7時間超～ 8時間以下	6時間超～ 7時間以下	5時間超～ 6時間以下	4時間超～ 5時間以下	3時間超～ 4時間以下	2時間超～ 3時間以下	2時間未満	無回答
合計	120	58	53	4	2	0	0	1	2	0
日数	25日以上	6	4	1	0	1	0	0	0	0
	20日程度	109	52	49	4	1	0	0	1	2
	15日程度	5	2	3	0	0	0	0	0	0
	10日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～3日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

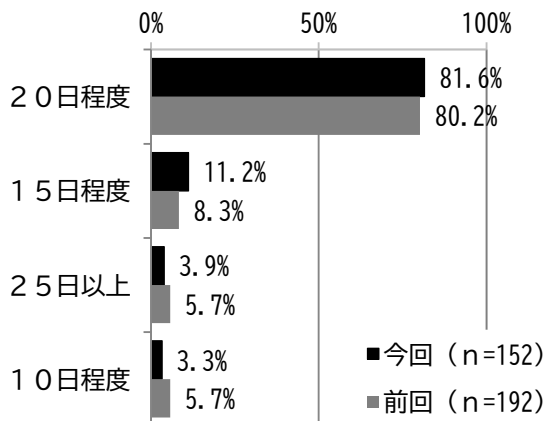
1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

非正規職員

	合計	8時間超	7時間超～ 8時間以下	6時間超～ 7時間以下	5時間超～ 6時間以下	4時間超～ 5時間以下	3時間超～ 4時間以下	2時間超～ 3時間以下	2時間未満	無回答
合計	32	5	15	3	7	0	1	1	0	0
日数	25日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20日程度	15	3	7	2	3	0	0	0	0
	15日程度	12	1	6	0	3	0	1	1	0
	10日程度	5	1	2	1	1	0	0	0	0
	5日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～3日程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

- ・本調査に回答した人の一か月の平均勤務日数について、「20 日程度」が 81.6%、「15 日程度」が 11.2%、「25 日程度」が 3.9%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、15 日程度が 2.9 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代で「20 日程度」が、60 代以上で「15 日程度」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、発達障がい「25 日以上」がやや高くなっています。

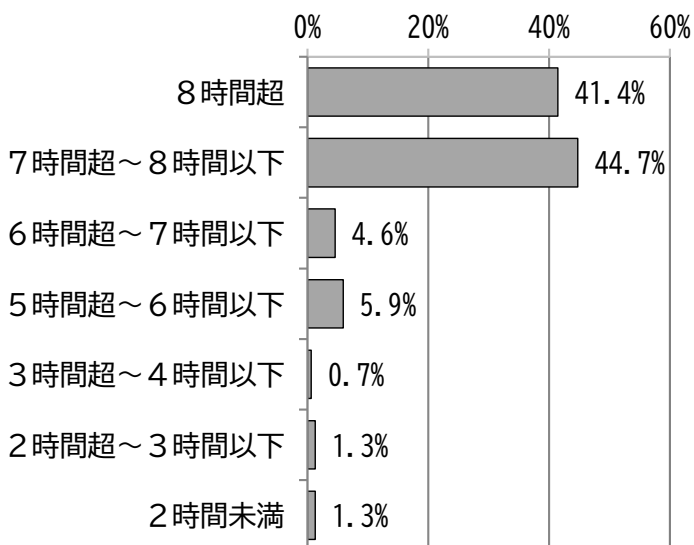


区分		回答数 (人)	25日以上	20日程度	15日程度	10日程度
全体		152	3.9%	81.6%	11.2%	3.3%
年齢別	20～30代	54	5.6%	87.0%	7.4%	0.0%
	40～50代	77	3.9%	83.1%	9.1%	3.9%
	60代以上	20	0.0%	60.0%	30.0%	10.0%
	回答しない	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	3.5%	84.2%	8.8%	3.5%
	女性	88	4.5%	78.4%	13.6%	3.4%
	その他・回答しない	7	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	1.8%	86.0%	10.5%	1.8%
	精神障がい	54	3.7%	79.6%	11.1%	5.6%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	4.3%	82.6%	13.0%	0.0%
	その他	6	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%
	無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 15(3)一日の平均勤務時間(超過勤務を除く)は何時間ですか。(1つに〇)

- ・本調査に回答した人の一日の平均勤務時間について、「7時間超～8時間以下」が44.7%、「8時間超」が41.4%、「5時間超～6時間以下」が5.9%などとなっています。
- ・年齢別では、20～30代で「8時間超」、40～50代で「7時間超～8時間以下」、60代以上で「5時間超～6時間以下」の比率が高くなっています。
- ・性別では、男性の方が女性より「8時間超」、「7時間超～8時間以下」の比率が高くなっています。
- ・居住地別では、都内市部と都外で「8時間超」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、発達障がい「8時間超」が、知的障がい「7時間超～8時間以下」の比率が高くなっています。



(n=152)

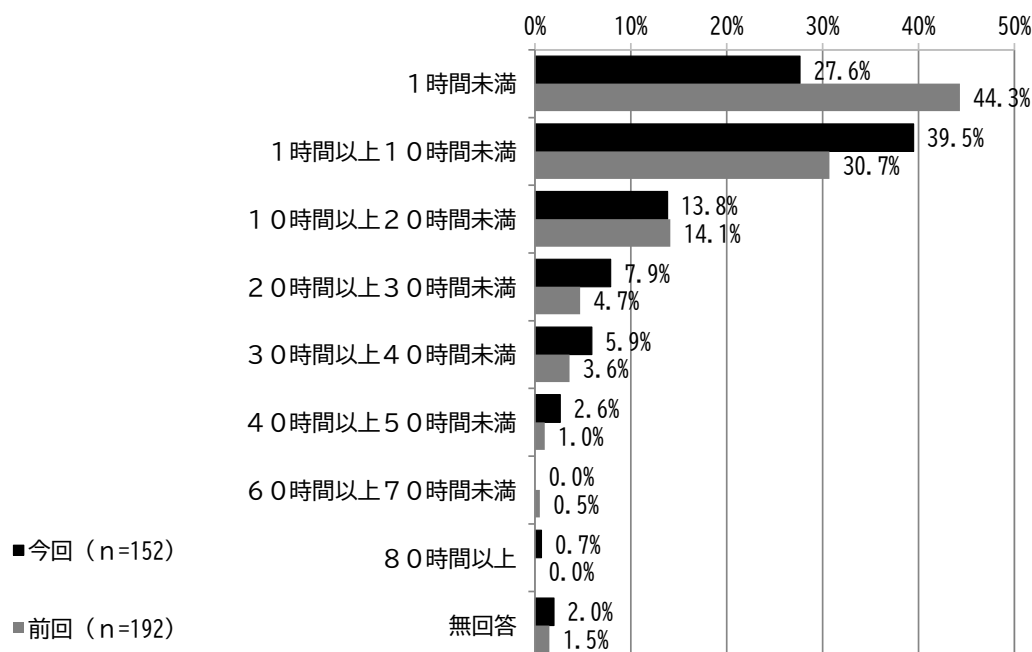
区分		回答数 (人)	8時間超	7時間超 ～8時間 以下	6時間超 ～7時間 以下	5時間超 ～6時間 以下	4時間超 ～5時間 以下	3時間超 ～4時間 以下	2時間超 ～3時間 以下	2時間 未満
全体		152	41.4%	44.7%	4.6%	5.9%	0.0%	0.7%	1.3%	1.3%
年齢別	20～30代	54	53.7%	38.9%	5.6%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～50代	77	37.7%	50.6%	5.2%	3.9%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%
	60代以上	20	20.0%	40.0%	0.0%	25.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%
	回答しない	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	40.4%	49.1%	0.0%	3.5%	0.0%	1.8%	1.8%	3.5%
	女性	88	39.8%	43.2%	8.0%	8.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
	その他・回答しない	7	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	23.5%	47.1%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
	東京23区内	89	39.3%	46.1%	4.5%	5.6%	0.0%	1.1%	1.1%	2.2%
	都内市部	19	52.6%	42.1%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	都外	27	51.9%	40.7%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	33.3%	54.4%	1.8%	3.5%	0.0%	1.8%	1.8%	3.5%
	精神障がい	54	44.4%	42.6%	5.6%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	56.5%	34.8%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	6	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 16 勤怠の状況についてお伺いします。

(1)超過勤務(残業)はひと月の平均でどのくらいありますか。(1に○)

- ・本調査に回答した人のひと月の超過勤務(残業)時間について、「1時間以上10時間未満」が39.5%、「1時間未満」が27.6%、「10時間以上20時間未満」が13.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「1時間以上10時間未満」が8.8ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、女性の方が男性より「1時間以上10時間未満」の比率が高くなっています。
- ・居住地別では、都外で「10時間以上20時間未満」の比率が他の居住地と比較やや高くなっています。
- ・主な介助者別では、知的障がい「1時間未満」、発達障がい「1時間以上10時間未満」の比率が高くなっています。

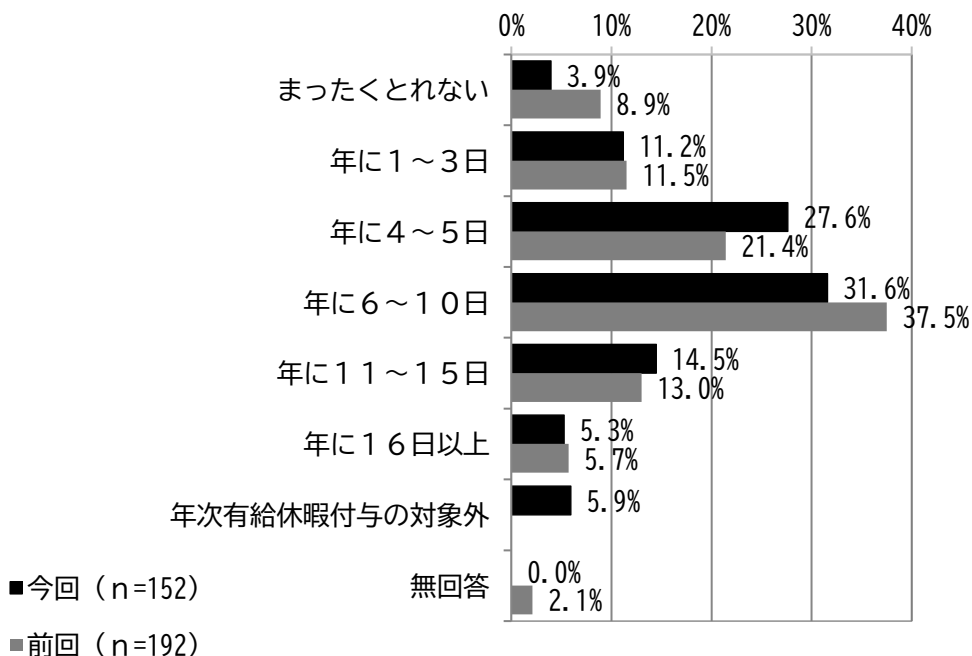


区分		回答数 (人)	1時間 未満	1時間 以上 10時間 未満	10時間 以上 20時間 未満	20時間 以上 30時間 未満	30時間 以上 40時間 未満	40時間 以上 50時間 未満	80時間 以上	無回答
全体		152	27.6%	39.5%	13.8%	7.9%	5.9%	2.6%	0.7%	2.0%
年齢別	20~30代	54	27.8%	40.7%	11.1%	14.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	40~50代	77	26.0%	39.0%	15.6%	5.2%	5.2%	5.2%	1.3%	2.6%
	60代以上	20	35.0%	40.0%	15.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	35.1%	33.3%	8.8%	15.8%	3.5%	0.0%	1.8%	1.8%
	女性	88	23.9%	44.3%	15.9%	2.3%	6.8%	4.5%	0.0%	2.3%
	その他・回答しない	7	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	29.4%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%
	東京23区内	89	30.3%	40.4%	11.2%	9.0%	5.6%	2.2%	0.0%	1.1%
	都内市部	19	26.3%	26.3%	10.5%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%
	都外	27	18.5%	37.0%	29.6%	3.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	20.0%	40.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	35.1%	35.1%	14.0%	8.8%	3.5%	1.8%	0.0%	1.8%
	精神障がい	54	22.2%	38.9%	16.7%	5.6%	11.1%	3.7%	1.9%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	30.4%	52.2%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	6	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 16(2)年次有給休暇の取得状況はどのぐらいですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の年次有給休暇の取得状況について、「年に6～10日」が 31.6%、「年に4～5日」が 27.6%、「年に11～15日」が 14.5%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「年に4～5日」が 6.2 ポイント高く、「年に6～10日」が 5.9 ポイント低くなっています。

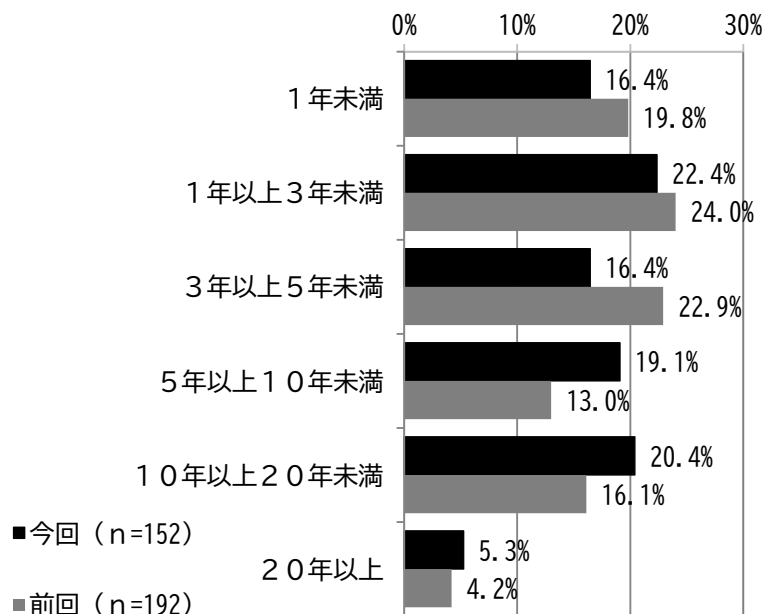


区分		回答数 (人)	まったく とれない	年に 1～3日	年に 4～5日	年に 6～10日	年に 11～ 15日	年に 16日以上	年次有給 休暇付与 の対象外	無回答
全体		152	3.9%	11.2%	27.6%	31.6%	14.5%	5.3%	5.9%	0.0%
年齢別	20～30代	54	1.9%	11.1%	29.6%	37.0%	11.1%	3.7%	5.6%	0.0%
	40～50代	77	5.2%	9.1%	27.3%	29.9%	16.9%	5.2%	6.5%	0.0%
	60代以上	20	5.0%	20.0%	25.0%	25.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
主な 介助者 別	身体障がい	10	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	5.3%	8.8%	29.8%	31.6%	10.5%	8.8%	5.3%	0.0%
	精神障がい	54	3.7%	13.0%	37.0%	24.1%	11.1%	3.7%	7.4%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	0.0%	17.4%	17.4%	39.1%	21.7%	0.0%	4.3%	0.0%
	その他	6	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問 17 現在の事業所での勤続年数は何年ですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の現在の事業所での勤続年数について、「1年以上3年未満」が 22.4%、「10年以上20年未満」が 20.4%、「5年以上10年未満」が 19.1%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「5年以上10年未満」が 6.1 ポイント高く、「3年以上5年未満」が 6.5 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、20～30代で「1年未満」の比率が高くなっています。
- ・性別では、女性よりも男性で「1年未満」の比率が高くなっています。
- ・居住地別では、渋谷区内で「5年以上10年未満」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、精神障がいで「1年未満」の比率が高くなっています。

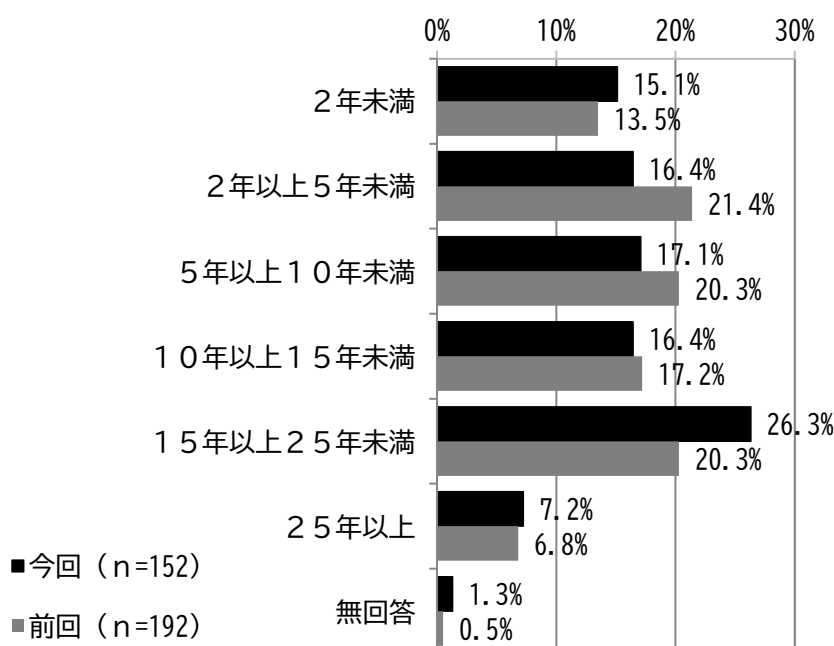


区分		回答数 (人)	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答
全体		152	16.4%	22.4%	16.4%	19.1%	20.4%	5.3%	0.0%
年齢別	20～30代	54	22.2%	35.2%	20.4%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
	40～50代	77	14.3%	15.6%	14.3%	22.1%	27.3%	6.5%	0.0%
	60代以上	20	10.0%	15.0%	15.0%	15.0%	30.0%	15.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	19.3%	12.3%	24.6%	17.5%	17.5%	8.8%	0.0%
	女性	88	14.8%	28.4%	11.4%	19.3%	22.7%	3.4%	0.0%
	その他・回答しない	7	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	17.6%	5.9%	11.8%	41.2%	17.6%	5.9%	0.0%
	東京23区内	89	19.1%	24.7%	18.0%	16.9%	18.0%	3.4%	0.0%
	都内市部	19	10.5%	26.3%	15.8%	0.0%	36.8%	10.5%	0.0%
	都外	27	11.1%	22.2%	14.8%	25.9%	18.5%	7.4%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	10.0%	50.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	10.5%	7.0%	12.3%	33.3%	28.1%	8.8%	0.0%
	精神障がい	54	24.1%	24.1%	22.2%	11.1%	13.0%	5.6%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	17.4%	43.5%	13.0%	8.7%	17.4%	0.0%	0.0%
	その他	6	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 18 他の事業所での経験を含めて、障がい福祉サービスに従事している経験年数は通算して何年ですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の障がい福祉サービスに従事している経験年数について、「15年以上25年未満」が 26.3%、「5年以上10年未満」が 17.1%、「2年以上5年未満」、「10年以上15年未満」が 16.4% などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「15年以上25年未満」が 6.0 ポイント高く、「2年以上5年未満」が 5.0 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、20～30代で「5年以上10年未満」が、40～50代で「15年以上25年未満」の比率が高くなっており、年齢層が高いほど経験年数が高い傾向がみられます。
- ・性別では、女性よりも男性の方が経験年数が高い傾向にあります。
- ・居住地別では、渋谷区内で「15年以上25年未満」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、知的障がい経験年数が高い人の比率が高くなっています。

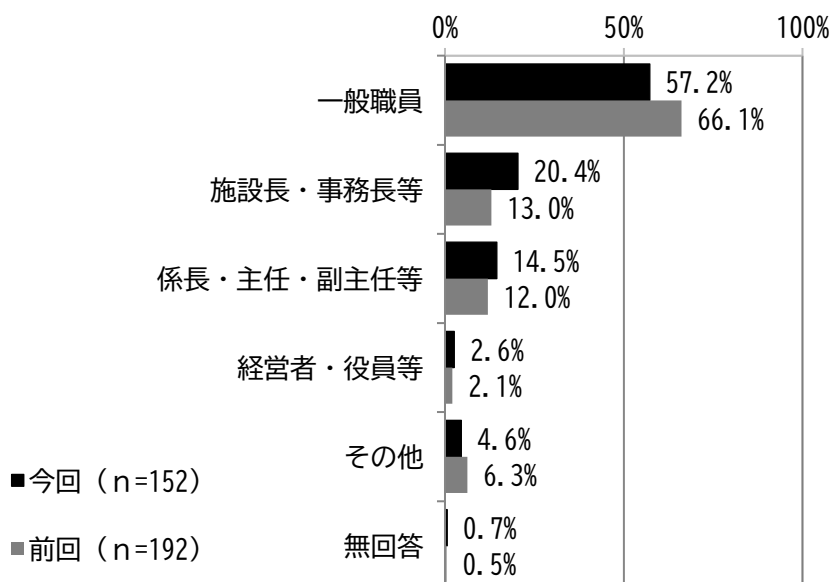


区分		回答数 (人)	2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上25年未満	25年以上	無回答
全体		152	15.1%	16.4%	17.1%	16.4%	26.3%	7.2%	1.3%
年齢別	20～30代	54	24.1%	24.1%	29.6%	14.8%	5.6%	0.0%	1.9%
	40～50代	77	7.8%	13.0%	11.7%	15.6%	41.6%	9.1%	1.3%
	60代以上	20	20.0%	10.0%	5.0%	20.0%	25.0%	20.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	12.3%	14.0%	15.8%	15.8%	31.6%	8.8%	1.8%
	女性	88	17.0%	18.2%	17.0%	15.9%	23.9%	6.8%	1.1%
	その他・回答しない	7	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	11.8%	23.5%	0.0%	17.6%	35.3%	11.8%	0.0%
	東京23区内	89	18.0%	16.9%	19.1%	15.7%	24.7%	4.5%	1.1%
	都内市部	19	15.8%	15.8%	0.0%	21.1%	21.1%	21.1%	5.3%
	都外	27	7.4%	11.1%	33.3%	14.8%	29.6%	3.7%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	20.0%	30.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	知的障がい	57	7.0%	14.0%	21.1%	14.0%	31.6%	12.3%	0.0%
	精神障がい	54	20.4%	13.0%	14.8%	20.4%	22.2%	7.4%	1.9%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	17.4%	26.1%	17.4%	8.7%	30.4%	0.0%	0.0%
	その他	6	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 19 ご自身の役職に一番近いのはどれですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の役職について、「**一般職員**」が **57.2%**、「**施設長・事務長等**」が 20.4%、「**係長・主任・副主任等**」が 14.5%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「**一般職員**」は 8.9 ポイント低く、「**施設長・事務長等**」は 7.4 ポイント高くなっています。



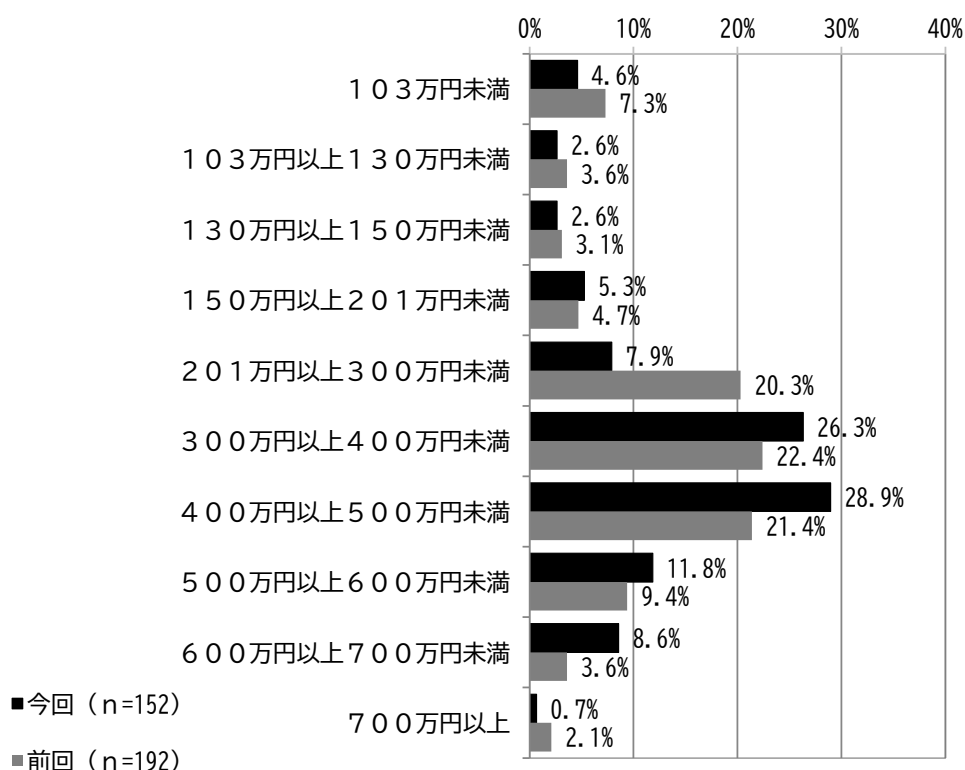
区分		回答数 (人)	経営者・役員等	施設長・事務長等	係長・主任・副主任等	一般職員	その他	無回答
全体		152	2.6%	20.4%	14.5%	57.2%	4.6%	0.7%
年齢別	20~30代	54	1.9%	22.2%	9.3%	64.8%	1.9%	0.0%
	40~50代	77	2.6%	18.2%	22.1%	53.2%	3.9%	0.0%
	60代以上	20	5.0%	25.0%	0.0%	50.0%	15.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	3.5%	29.8%	21.1%	43.9%	1.8%	0.0%
	女性	88	2.3%	13.6%	11.4%	64.8%	6.8%	1.1%
	その他・回答しない	7	0.0%	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%
雇用形態別	正規	120	3.3%	24.2%	17.5%	55.0%	0.0%	0.0%
	非正規	32	0.0%	6.3%	3.1%	65.6%	21.9%	3.1%

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

問 20 現在の事業所での収入等についてお伺いします。

(1)現在の収入(税や社会保険料等が引かれる前の収入額)はおいくらですか。(1つに○)

- ・本調査に回答した人の現在の収入について、「400万円以上500万円未満」が 28.9%、「300万円以上400万円未満」が 26.3%、「500万円以上600万円未満」が 11.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「201万円以上300万円未満」が 12.4 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代で「300万円以上400万円未満」が、40～50 代で「400万円以上500万円未満」の比率が高くなっています。
- ・性別では、ともに「400万円以上500万円未満」の比率が最も高くなっています。
- ・居住地別では、都外で「300万円以上400万円未満」が、渋谷区内で「103万円未満」の比率が高くなっています。
- ・雇用形態別では、正規で「400万円以上500万円未満」の比率が最も高くなっています。

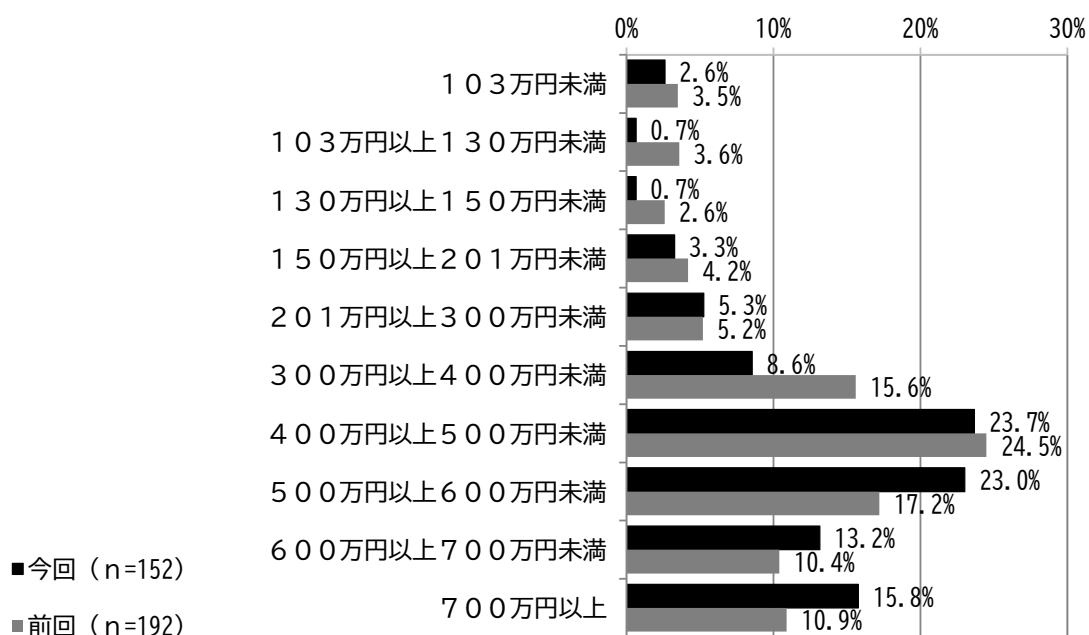


区分	回答数 (人)	103万円未満	103万円以上130万円未満	130万円以上150万円未満	150万円以上201万円未満	201万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上	無回答	
全体	152	4.6%	2.6%	2.6%	5.3%	7.9%	26.3%	28.9%	11.8%	8.6%	0.7%	0.7%	
年齢別	20～30代	54	3.7%	1.9%	0.0%	5.6%	7.4%	40.7%	25.9%	5.6%	5.6%	1.9%	1.9%
	40～50代	77	2.6%	1.3%	2.6%	2.6%	6.5%	18.2%	35.1%	19.5%	11.7%	0.0%	0.0%
	60代以上	20	15.0%	10.0%	10.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	0.0%	3.5%	3.5%	7.0%	0.0%	22.8%	28.1%	19.3%	12.3%	1.8%	1.8%
	女性	88	8.0%	2.3%	2.3%	4.5%	13.6%	26.1%	28.4%	8.0%	6.8%	0.0%	0.0%
	その他・回答しない	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地別	渋谷区内	17	17.6%	0.0%	0.0%	5.9%	17.6%	29.4%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	東京23区内	89	4.5%	3.4%	2.2%	5.6%	5.6%	22.5%	33.7%	12.4%	7.9%	1.1%	1.1%
	都内市部	19	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	5.3%	26.3%	31.6%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%
	都外	27	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	11.1%	37.0%	18.5%	11.1%	14.8%	0.0%	0.0%
雇用形態別	正規	120	0.8%	0.8%	0.0%	1.7%	5.8%	30.8%	34.2%	15.0%	9.2%	0.8%	0.8%
	非正規	32	18.8%	9.4%	12.5%	18.8%	15.6%	9.4%	9.4%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

問 20(2)希望の収入(税や社会保険料等が引かれる前の収入額)はおいくらですか。
(1つに○)

- ・本調査に回答した人の希望の収入について、「400万円以上500万円未満」が 23.7%、「500万円以上600万円未満」が 23.0%、「700万円以上」が 15.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「300万円以上400万円未満」が 7.0 ポイント低く、「500万円以上600万円未満」が 5.8 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代で「400万円以上500万円未満」が、40～50 代で「500万円以上600万円未満」が、60 代で「201万円以上300万円未満」の比率が高くなっています。
- ・性別では、男性で「700万円以上」の比率が最も高く、女性よりも男性の方が高い収入を望む傾向があります。
- ・主な介助者別では、知的障がい「500万円以上600万円未満」の比率が高くなっています。



区分	回答数 (人)	103万円未満	103万円以上130万円未満	130万円以上150万円未満	150万円以上201万円未満	201万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上	無回答	
全体	152	2.6%	0.7%	0.7%	3.3%	5.3%	8.6%	23.7%	23.0%	13.2%	15.8%	3.3%	
年齢別	20～30代	54	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	9.3%	46.3%	14.8%	3.7%	18.5%	0.0%
	40～50代	77	1.3%	0.0%	0.0%	3.9%	2.6%	7.8%	29.9%	23.4%	16.9%	3.9%	
	60代以上	20	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	15.0%	0.0%	5.0%	10.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	7.0%	5.3%	19.3%	17.5%	14.0%	29.8%	3.5%
	女性	88	4.5%	1.1%	1.1%	3.4%	4.5%	11.4%	26.1%	23.9%	12.5%	8.0%	3.4%
	その他・回答しない	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%
	知的障がい	57	0.0%	0.0%	1.8%	5.3%	3.5%	12.3%	17.5%	24.6%	15.8%	14.0%	5.3%
	精神障がい	54	5.6%	1.9%	0.0%	0.0%	9.3%	11.1%	27.8%	20.4%	7.4%	16.7%	0.0%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	39.1%	30.4%	17.4%	8.7%	0.0%
	その他	6	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	

1位: 全体が濃い灰色で黒文字、2位: 全体が薄い灰色

(4)人材育成・確保について

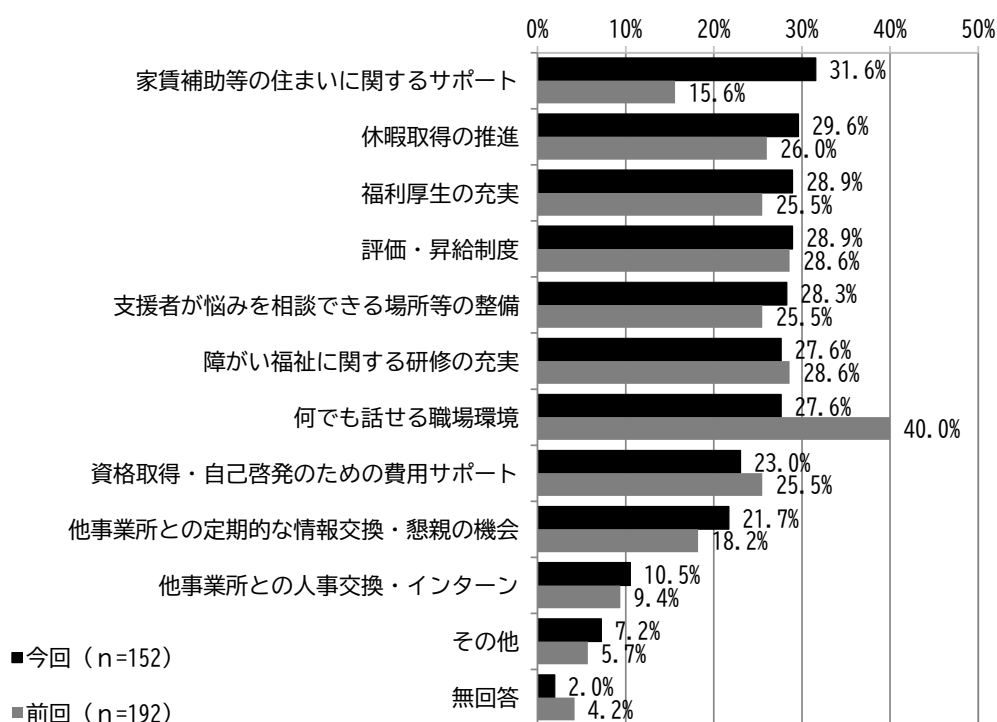
問 21 障がい福祉分野の仕事に興味を持ってもらう・働いてもらうためのアイデアがあればご記入ください。

・障がい福祉分野の仕事に興味を持ってもらう・働いてもらうためのアイデアについて記述式でたずねたところ、73 人から 86 件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
賃金、待遇の改善 (30 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・給料アップ。(22 件) ・福利厚生充実。(2 件) ・家賃補助などの、国や東京都の援助。 ・公的な家賃補助や処遇改善が認可園に勤める保育士に比べて少ないため、保育士が障がい児福祉に興味を持ってもらっても待遇面で諦めることが多い。 ・資格取得のための支援。
施設公開、交流の機会 (24 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉も様々な形態があるのを分かりやすく解説するところから。 ・福祉に触れる、体験してもらう機会をつくる。(2 件) ・行政主導で、集客率の良い場所での、福祉のイベントや人材募集の機会をつくって欲しい。(2 件) ・インクルーシブにして幼い頃から障がい者と触れる機会を増やすことは長期的には良いと思う。(2 件)
周知やイベント (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人広告、就職関係イベントでの紹介。 ・知らない人にインフォメーションする役割の人を増やす。 ・「大変な仕事」というイメージの払拭。 ・障がい福祉に対するイメージと現状との乖離を埋めること。
学校教育について (12 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生から採用、また学校と繋がることで毎年実習生を受け入れることなどの好循環に期待できる。 ・学校と連携し、見学体験や出張授業、視覚の紹介等を行う。 ・職場体験。(2 件)
職場の環境づくり (6 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務が身体的・精神的に無理なく遂行できるための、人的なゆとりの確保。(2 件) ・研修やフォロー体制がしっかり構築されている方が入ってきやすいと思う。 ・スタッフが身の安全を優先できるような仕組みをつくる。
その他 (10 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内福祉分野の人材バンクの創設。 ・企業へのクラウドファンディングやボランティア参加のプレゼンテーション。 ・有料の求人広告を利用した際の費用補助。 ・何か違う領域(IT やデザインやマーケティングなど)と結びつける。

問 22 障がい福祉分野の仕事をしていくうえで、あなたが必要だと感じるものは何ですか。
(上位 3 つまで)

- ・本調査に回答した人が障がい福祉分野の仕事をしていくうえで、必要と感じるものについて、「**家賃補助等の住まいに関するサポート**」が 31.6%、「**休暇取得の推進**」が 29.6%、「**福利厚生**の充実」が 28.9%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「家賃補助等の住まいに関するサポート」が 16.0 ポイント高く、「何でも話せる職場環境」が 12.4 ポイント低くなっています。
- ・年齢別では、20～30 代で「家賃補助等の住まいに関するサポート」が、60 代で「障がい福祉に関する研修の充実」の比率が高くなっています。
- ・性別では、男性で「評価・昇給制度」が、女性で「障がい福祉に関する研修の充実」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、精神障がいでは「支援者が悩みを相談できる場所等の整備」の比率が高くなっています。



区分	回答数 (人)	家賃補助等の住まいに関するサポート	研修の充実	福利厚生	評価・昇給制度	何でも話せる職場環境	その他	無回答						
全体	152	31.6%	27.6%	28.3%	28.9%	29.6%	28.9%	27.6%	7.2%	2.0%				
年齢別	20～30代	54	10.5%	24.6%	17.5%	33.3%	10.5%	28.1%	24.6%	28.1%	35.1%	28.1%	7.0%	3.5%
	40～50代	77	10.4%	23.4%	22.1%	28.6%	32.5%	27.3%	23.4%	36.4%	31.2%	26.0%	7.8%	1.3%
	60代以上	20	15.0%	25.0%	20.0%	25.0%	40.0%	15.0%	15.0%	0.0%	25.0%	35.0%	15.0%	5.0%
	回答しない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	10.5%	24.6%	17.5%	33.3%	10.5%	28.1%	24.6%	28.1%	35.1%	28.1%	7.0%	3.5%
	女性	88	11.4%	19.3%	27.3%	30.7%	38.6%	26.1%	30.7%	27.3%	26.1%	28.4%	8.0%	1.1%
主な介助者別	身体障がい	10	0.0%	40.0%	50.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	知的障がい	57	14.0%	15.8%	15.8%	28.1%	26.3%	31.6%	33.3%	31.6%	31.6%	5.3%	1.8%	
	精神障がい	54	9.3%	24.1%	29.6%	29.6%	24.1%	35.2%	27.8%	27.8%	25.9%	31.5%	3.7%	1.9%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	13.0%	21.7%	17.4%	43.5%	39.1%	17.4%	34.8%	17.4%	26.1%	21.7%	17.4%	0.0%
	その他	6	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位:全体が濃い灰色で黒文字、2位:全体が薄い灰色

どのようなサポートがあると嬉しいか具体的にご記入ください。

・どのようなサポートがあると嬉しいかについて記述式でたずねたところ、75 人から 80 件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

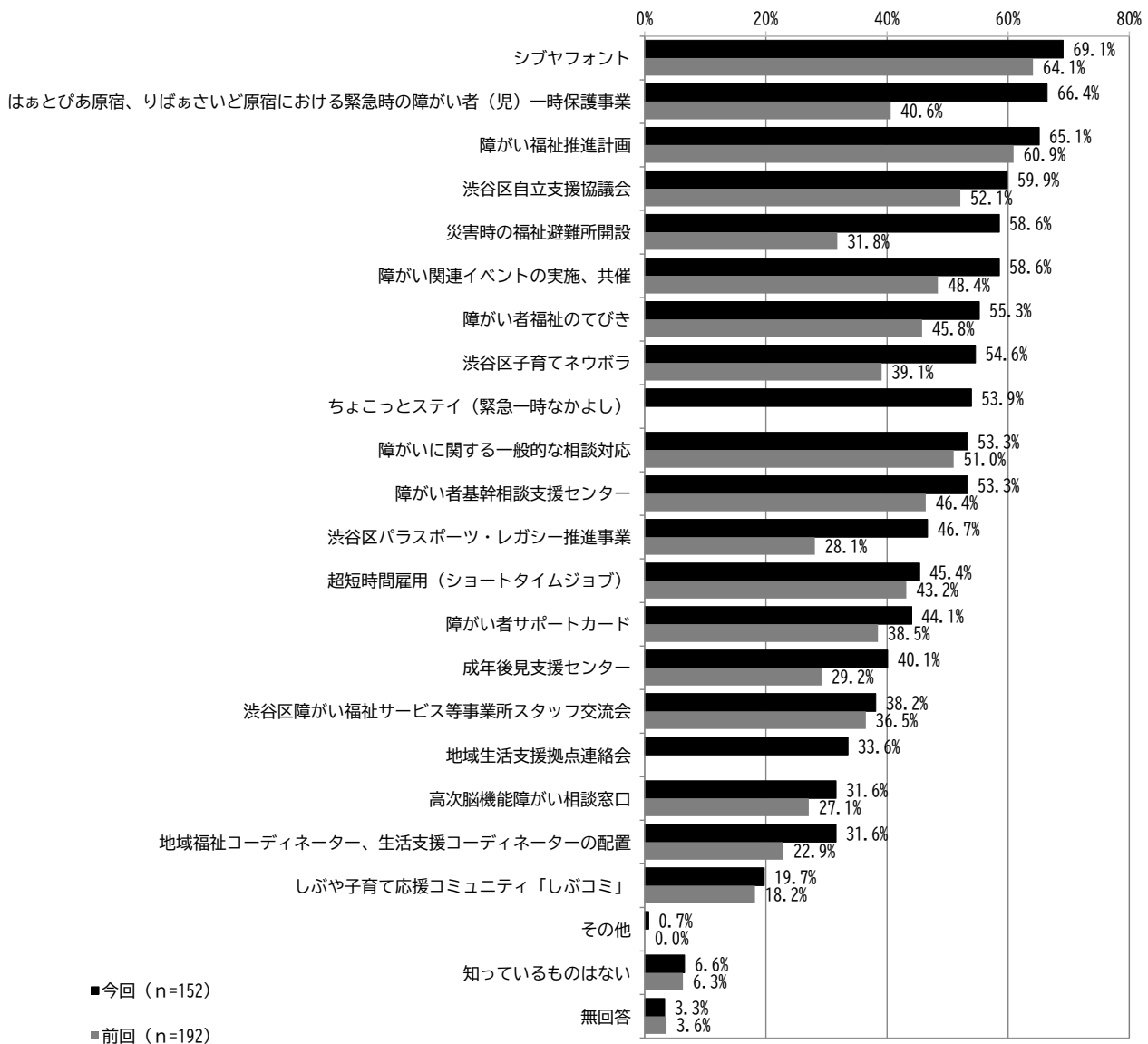
分類	内容(抜粋・要約)
賃金、待遇の改善等 (56 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張った人にはそれに見合う報酬を払うようにすべきだと思う。 ・スキルアップ研修 ・家賃補助。(7 件) ・財政的補助。(15 件) ・研修に対する補助。(5 件) ・公休数や時間休が増えること。(4 件) ・キャリアパスの見通しがつくような評価や研修制度があるとよい。 ・子育てがしやすくなるサポート。(2 件) ・他事業所との人事交流制度。 ・健康診断のオプションの補助。 ・研修が充実出来るほど余裕がある職場体制。
相談窓口 (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・監査や運営面の対応含めて相談できる体制。 ・面談。 ・福祉関係職員専門の相談窓口。
人材の確保 (9 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置をより手厚くできるような、基準の見直し。 ・人材探しのサポートがあるとよい。
その他 (10 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の人からもう少し注目や称賛される場面が増えるとよい。 ・放課後等デイサービスの車送迎困難の解消。 ・障がい者のきょうだいへのカウンセリングの実施。 ・提出書類が多いので減らしてもらいたい。 ・支援者へのカウンセリングサポート。 ・感受性を育てる芸術のチケット配布等があると嬉しい。

(5) 渋谷区の施策について

問 23 渋谷区の施策についておたずねします。

(1) 渋谷区が実施している以下の施策や取組みで知っているものに○をつけてください。
(あてはまるすべてに○)

- ・本調査に回答した人が渋谷区が実施している施策や取組みで知っているものについて、「シブヤフオント」が 69.1%、「はあとぴあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の障がい者(児)一時保護事業(24時間365日対応)」が 66.4%、「障がい福祉推進計画」が 65.1%などとなっています。
- ・前回調査と比較すると、「災害時の福祉避難所開設」が 26.8 ポイント、「はあとぴあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の障がい者(児)一時保護事業」が 25.8 ポイント高くなっています。
- ・年齢別では、60代以上で「シブヤフオント」、「障がい関連イベントの実施、共催」の比率が高くなっています。
- ・性別では、男性で「はあとぴあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の障がい者(児)一時保護事業(24時間365日対応)」が、女性で「シブヤフオント」の比率が高くなっています。
- ・主な介助者別では、知的障がい者で「シブヤフオント」、発達障がい者で「渋谷区子育てネウボラ」の比率が高くなっています。



区分	回答数（人）	障がい福祉推進計画	障がい者福祉のてびき	障がい者サポートカード	シブヤフォン	超短時間雇用（ショートタイムジョブ）	渋谷区自立支援協議会	災害時の福祉避難所開設	ちよこつとステイ（緊急一時なかつし）	障がい者（児）一時保護事業	はあとびあ原宿、りばあさいど原宿における緊急時の	障がい関連イベントの実施、共催	渋谷区パラスポーツ・レガシー推進事業
全体	152	65.1%	55.3%	44.1%	69.1%	45.4%	59.9%	58.6%	53.9%	66.4%	58.6%	46.7%	
年齢別	20～30代	54	55.6%	42.6%	29.6%	51.9%	40.7%	50.0%	35.2%	37.0%	51.9%	38.9%	48.1%
	40～50代	77	68.8%	59.7%	49.4%	76.6%	45.5%	64.9%	70.1%	63.6%	74.0%	64.9%	45.5%
	60代以上	20	75.0%	70.0%	65.0%	85.0%	55.0%	65.0%	75.0%	60.0%	75.0%	85.0%	50.0%
	回答しない	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
性別	男性	57	66.7%	49.1%	40.4%	66.7%	49.1%	56.1%	56.1%	56.1%	70.2%	57.9%	40.4%
	女性	88	65.9%	59.1%	46.6%	69.3%	39.8%	62.5%	60.2%	53.4%	63.6%	56.8%	51.1%
	その他・回答しない	7	42.9%	57.1%	42.9%	85.7%	85.7%	57.1%	57.1%	42.9%	71.4%	85.7%	42.9%
主な介助者別	身体障がい	10	50.0%	40.0%	20.0%	30.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	50.0%	0.0%	30.0%
	知的障がい	57	73.7%	52.6%	54.4%	87.7%	43.9%	59.6%	70.2%	61.4%	86.0%	78.9%	49.1%
	精神障がい	54	63.0%	66.7%	46.3%	66.7%	66.7%	70.4%	53.7%	50.0%	55.6%	55.6%	48.1%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	60.9%	47.8%	26.1%	52.2%	17.4%	56.5%	52.2%	52.2%	56.5%	43.5%	56.5%
	その他	6	66.7%	50.0%	50.0%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	16.7%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

区分	回答数（人）	障がいに関する一般的な相談対応	渋谷区子育てネウボラ	しぶや子育て応援コミュニティ「しぶこみ」	障がい者基幹相談支援センター	高次脳機能障がい相談窓口	成年後見支援センター	地域福祉コーデイネーター、生活支援コーデイネーターの配置	渋谷区障がい福祉サービステイ等	地域生活支援拠点連絡会	その他	知っているものはない	無回答	
全体	152	53.3%	54.6%	19.7%	53.3%	31.6%	40.1%	31.6%	38.2%	33.6%	0.7%	6.6%	3.3%	
年齢別	20～30代	54	42.6%	44.4%	16.7%	37.0%	18.5%	24.1%	18.5%	33.3%	22.2%	0.0%	13.0%	3.7%
	40～50代	77	59.7%	59.7%	20.8%	62.3%	32.5%	48.1%	37.7%	39.0%	40.3%	1.3%	3.9%	2.6%
	60代以上	20	55.0%	60.0%	25.0%	60.0%	60.0%	55.0%	45.0%	45.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	回答しない	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	57	47.4%	42.1%	22.8%	45.6%	26.3%	38.6%	35.1%	36.8%	29.8%	1.8%	5.3%	1.8%
	女性	88	56.8%	62.5%	18.2%	56.8%	34.1%	40.9%	29.5%	36.4%	34.1%	0.0%	6.8%	4.5%
	その他・回答しない	7	57.1%	57.1%	14.3%	71.4%	42.9%	42.9%	28.6%	71.4%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%
主な介助者別	身体障がい	10	20.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	知的障がい	57	50.9%	52.6%	22.8%	54.4%	29.8%	50.9%	40.4%	43.9%	36.8%	1.8%	1.8%	0.0%
	精神障がい	54	61.1%	51.9%	16.7%	63.0%	44.4%	44.4%	37.0%	38.9%	38.9%	0.0%	7.4%	1.9%
	難病	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	23	52.2%	73.9%	30.4%	43.5%	13.0%	13.0%	13.0%	30.4%	17.4%	0.0%	13.0%	4.3%
	その他	6	83.3%	83.3%	16.7%	66.7%	66.7%	50.0%	33.3%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

1位：全体が濃い灰色で黒文字、2位：全体が薄い灰色

問 23(2) 渋谷区の障がい福祉政策や、区全体の施策に関するあなたの評価を自由にご記入ください。

・区全体の施策に関する評価について記述式でたずねたところ、50人から50件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
充実している (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ・他区と比べ、障がい福祉施策や事業所全体のチャレンジ姿勢があると思う。 ・シブヤフロントはすごく素敵だと思っている。 ・作品の発表をできる場があり、利用者のやる気が引き出されていると思う。人通りの多いところで展示ができるとより浸透すると思う。 ・渋谷区は、近所の方や飲食店などの障がい者への配慮や理解が他の区よりも優れていると感じる。 ・施策は充実していると思う。施策を担う人材が不足している。 ・他の事業所の職員との交流は多いイメージがある。
不足している、不十分である (29件)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な施策の認知率が低いいため、情報をさらに発信してほしい。(3件) ・事務作業はアナログで、DX化がほぼ進んでいない状態。 ・精神障がい者や生活保護受給者への支援が手薄と感じる。 ・小規模施設へのバックアップが必要。 ・グループホームや入所施設などの親なき後の生活の場がもっと十分にあってほしい。 ・障がい種別によってサービス格差が大きいため、格差を少しでも縮める施策があるとよい。 ・放課後等デイサービスが足りておらず、就学などで切れ目が出来てしまっている。 ・いろいろな機関があるが、利用者にあった必要な支援を受けるためには、どこにつなげればいいのか迷う。
その他 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区の施策は、あまり一般には周知されていない印象がある。 ・強みと弱み、それぞれあると感じている。 ・様々な制度や施策が整備されているが、本来期待された目的が果たされているかや、施策を運用するための人材が充足されているかなど、見直しが必要ではないか。

問 24 ご意見やご要望がありましたら自由にご記入ください。

・区全体の施策に関する評価について記述式でたずねたところ、20人から50件の回答がありました。集計結果は次の通りです。

分類	内容(抜粋・要約)
賃金、待遇の改善 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が求める支援が行き届き、それを受け止めるだけの充実した受け皿と人員配置を希望。 ・区立の施設職員と民間職員との待遇が異なるため、事業所を区の施設に入れてもらう等、施設への補助が上がらない限り、職員定着率や獲得が難しくなる。 ・障がいのヘルパーの価値を上げ、評価してほしい。
その他 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスの申請に関して早急に改善を図ってほしい。 ・スマホやPCからでもアンケートができるなど、現場の支援員が気軽に参加できる体制が続くとよい。 ・他施設との交流会も業務時間外での開催のため、子育て世代の参加は難しい。 ・中間層の人たちが渋谷区を去ることが多く、人材流失が起きているため、早めに世代交代を図り、将来事業所を背負っていく方たちを後ろから支え、サポートしていく仕組みが必要。 ・重度障がいの方へのサービス量が他区と比べ少ないと感じる。絶対数が少なかったり、地価が高いなどの課題が考えられるため、力を入れて支援してほしい。 ・事業所の場所が狭く、作業機が足りない日があるため、広い場所を使わせて欲しい。

Ⅱ 意見交換会結果

1 意見交換会の実施概要

(1)実施の目的

次期渋谷区障がい福祉推進計画の策定に向け、障がいのある方やそのご家族、支援者、障がい福祉に関心のある方に、日ごろの生活の中で感じることや渋谷区の障がい福祉の取組みへの考え、より良い渋谷区になるための手段やアイデアなどをうかがうことを目的として、意見交換会を実施しました。

(2)対象

区内在住・在勤・在学の障がい福祉に関心のある方

(3)実施の方法

○テーマ

あなたが望む5年後の暮らし～「自分らしく暮らせる渋谷」を実現する手だてを考えます～

○当日の流れ

- ・渋谷区障がい福祉推進計画及び意見交換会の趣旨と進行についての説明
- ・「渋谷区障がい福祉推進計画」策定に向けた実態調査 集計結果の概要を説明
- ・参加者を4グループに分け、ファシリテーター進行のもとグループごとに自由に意見交換
- ・グループごとに意見交換結果の発表
- ・参加者アンケートの実施

(4)開催日時・場所

○日時

2026年2月21日(土) 10時～12時

○場所

渋谷区役所14階大集会室

(5)参加状況

一般参加者	計画策定部会関係者	区職員	合計
19人	9人	5人	33人

2 意見交換会の記録

(1)意見交換会で出された意見

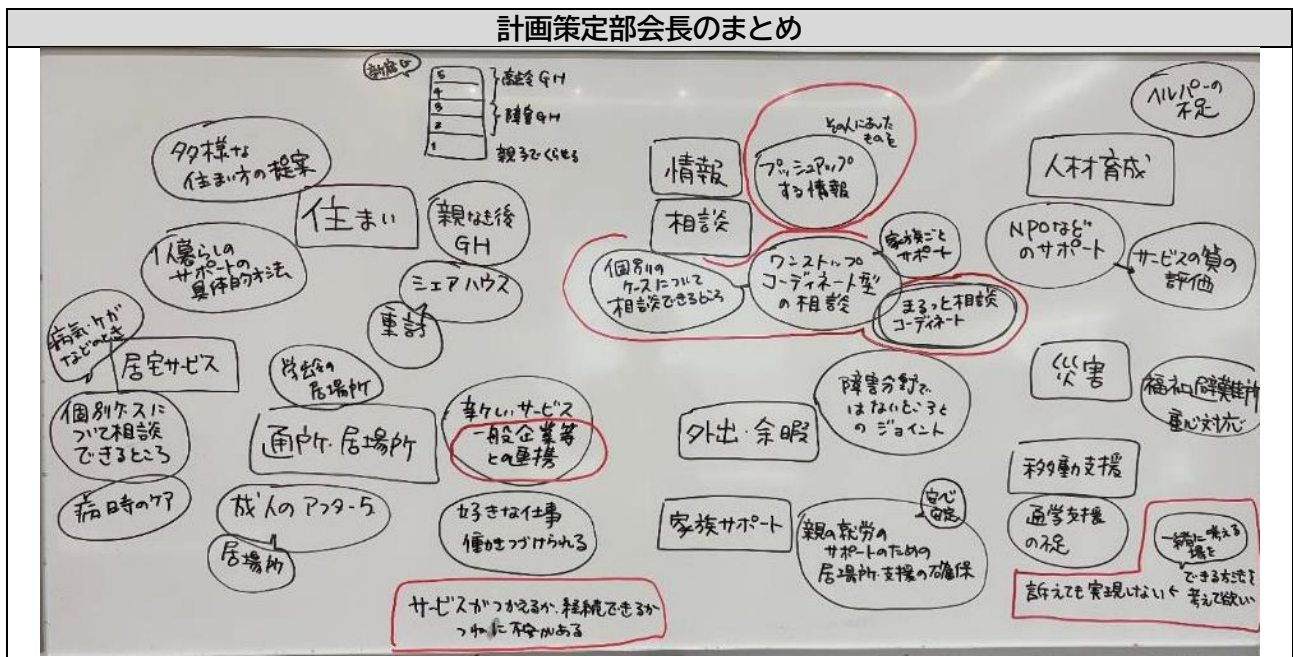
分類	主な意見
情報発信・収集	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の学校や職場を離れると、区の情報が入りにくい。 ・情報は取りにいかなければ入ってこないため、障がいに特化した情報をプッシュ型(LINE 等)で届ける等の工夫が必要。 ・個々にあった情報をカスタムデザイン・コーディネートできる専門家や、ワンストップの相談窓口があるとよい。 ・WEB サイトや SNS など、情報収集手段は多様化しているが、高齢者等取り残されている層もいるため配慮が必要。 ・学校を卒業すると情報が入ってこなくなる。作業所や生活介護に通所していると、親が支援員と直接会う機会も少なく情報収集ができない。 ・相談支援専門員より親同士のネットワークの方が情報収集できる場合がある。 ・親なき後や成年後見制度に関する情報を入手したい。 ・どのような障がい福祉サービスがあるのか分かっていない。
相談先・相談体制	<ul style="list-style-type: none"> ・親なき後の生活サポート体制(民生委員・見守りサポーター・ケアマネージャーなど)を確立してほしい。 ・ちょっとしたことを気軽に相談できる場所があるとよい。 ・ライフステージに合わせた支援を提案する相談がされるとよい。 ・障がい特性を問わず、つながれる相談先があるとよい。 ・家族、支援者等を支援するカウンセリング相談場所があるとよい。 ・精神的に不安定な時などメンタル面について相談できる場があるとよい。 ・支援員が頻繁に交代し、かつ支援員によりアセスメントにばらつきがあるため、統一した対応をしてほしい。 ・困りごとについて他人事ではなく、ともに解決策を考える寄り添い型の支援をしてほしい。 ・すべての困りごとを相談できる窓口(担当者 1 名)を設置してほしい。 ・家族以外頼れる人がいない。 ・東京都全体の課題として、民生委員が不足している傾向がある。
療育・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・区内には、特別支援学校がないため設立を望む。特別支援学校の設立とともに、人材育成もしっかりと費用をかけて取り組んでほしい。 ・インクルーシブ教育を推進し共生社会へ。 ・支援学級に通った方がいいように思える子どもが普通学級の判定になると、必要な支援を受けることができず、子どもに選択肢も少なくなり不登校になる場合がある。適切な支援の提供が必要。 ・学区の選定ができるようになってほしい。 ・普通学級に通学している際、学校の情報が親まで届きにくい。 ・将来望む暮らしや夢などを誰もが選べるようにする。
外出・余暇	<ul style="list-style-type: none"> ・区内で活動している一般団体とつながり、活動できる場を広げられるとよい。 ・プールは、介助の負担(ヘルパー不可・保護者同伴必須)があるため、介助サービスのある渋谷区ひがし健康プラザなどを活用できるとよい。 ・交通系ICカードを障がい者手帳と連携できるとよい。 ・学校卒業後は放課後等デイサービスを使用できなくなるため、18 歳以上の余暇を過ごす場の増設が必要である。 ・えびす青年教室など重度の障がい児も安心して過ごせる場が充実してほしい。

分類	主な意見
移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援に対応するヘルパーが不足しているため、確保が必要。学生やボランティア等に支援を依頼する声掛けができないか。 ・明治神宮前駅のように、駅のエレベーター優先レーンを拡充してほしい。 ・デマンド交通を普及させるため、体験乗車等ができるとうい。 ・学校から放課後等デイサービスへの移動手段を充実させる。 ・移動支援に関する人材が不足しているため、対策の検討が必要。 ・幡ヶ谷地区と恵比寿地区を結ぶ交通機関がほしい。
通所・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型等の就労先の種類を増やし、就労の選択肢が増えるとよい。 ・他業界と協働できるとよい(例:他自治体では、就労継続支援 B 型とリサイクルショップを一体的に運営している施設がある)。 ・親の就労時に預けられる場所がほしい。生活介護後に預ける場所が無い。 ・成人向け放課後等デイサービスを整備するための給付金を創設してほしい。 ・短期入所(ショートステイ)の拡充が必要。 ・障がいの特性ごとに分けずに、混在しながら活動できる場があるとよい。 ・気軽に参加できる地域の居場所があるとよい(例:ささはたニコニコ広場のような集いの場)。 ・生涯学習等の入所施設の支援が充実し、入所者の地域交流が進んでいる。 ・緊急時に利用できる、長期含めた短期入所施設を整備してほしい。 ・通所先でトワイライト支援ができるとよい。 ・重症心身障がい者や医療的ケア者が利用できるよう、医療機関と連携したショートステイができるとよい。 ・学校卒業後の居場所に課題がある。 ・放課後クラブでの障がい児の預かり。 ・職場以外での仲間づくり。 ・成人後の預かり場所を安定確保できるとよい。 ・老人ホームとグループホームを一体的に整備し、親が高齢になっても一緒に暮らせるようになるとうい。 ・障がい児の親がフルタイムで働き続けられる環境の整備が必要。フルタイムで働くためには、9時～18時の時間帯に預かってくれる場が必要。 ・区立小中学校の建替えに伴い、障がい時の居場所スペースも確保してほしい。 ・高校卒業後の生活介護施設が少ない。区が把握している障がい者手帳保持者数に応じた数の施設、作業所を増設してほしい。 ・はあとびあ原宿で日中一時支援を行えるよう、区の予算を確保してほしい。
保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・重い手術や入院などがある場合、病院に受け入れ拒否される場合がある。 ・子も親も健康に生活できるように。 ・障がい者の健康診断の工夫促進。 ・障がい児の病児保育の充実。 ・障がい者の病気(けが)に対応してくれるサービスがあるとよい。
理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者本人や障がい児本人の意見が尊重されてほしい。
災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に福祉避難所や通所先へ避難することは現実的ではない。近所の公共施設(公民館等)へ支援者を派遣し、避難できる体制を整備する必要がある。 ・医療用電源の確保手段として、水素電池発電機を普及させ、自宅で発電できるとよい。 ・重症心身障がい者が通う場所に、備蓄充電器が広く設置されるとよい。 ・夜間や休日に災害が発生したら、どのように避難、対応するかが課題。 ・災害時のリスクがイメージしきれていない。福祉避難所が利用できるかどうかもわからないため、大規模災害をイメージした訓練や、リスクを洗い出すワークショップを開催する必要がある。

分類	主な意見
住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい者に対応したグループホームが無いため、用地確保から先行して行ってほしい。特にシェアタイプ型のグループホームができるとよい。他自治体では、1 階に事業所、2 階にシェアハウス型グループホームの施設があるため、モデル的に実施をしてほしい。 ・親と子どもが入所できるグループホームがあるとよい。 ・区内でグループホーム等の住まいを見つけにくい。特に精神障がいの方は住まい探しに苦労している印象がある。 ・多様なニーズに応じ必要な戸数を計画的に整備してほしい。グループホーム入所施設の需要を把握するため、当事者全員に希望する住まいについて調査できるとよい。 ・住まい確保には、居住支援を担当する関係部署との連携が必要。 区内の空き家の有効活用を検討してほしい。 ・車椅子が利用できる物件が少ない。車椅子利用者への家賃補助制度があるとよい。 ・支援付きの一人暮らし向け住宅など、一人暮らしを希望する人への支援体制の充実をしてほしい。 ・サテライトグループホームとして、ネウボラの成人版のような施設があれば個々に合わせた住まいをオーダーメイドできるのではないかな。 ・都営住宅など軽度障がい者の暮らしの場の拡充が必要。 ・大人になっても家で見守りを行ってもらえる仕組みがあるとよい。 ・重度訪問介護事業をさらに展開する等、自宅で親の介助がなくても生活できるような支援サービスを充実させてほしい。 ・子どもが生まれ育った場所で住み続けたい。 ・住み慣れた地域で住み続けたい。 ・区内で住み続けることが可能になってほしい。
人材不足・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい分野に特化した人材の確保が必要。 ・事業所運営への支援として、区に事業所職員向けの合同研修会などを実施してほしい。 ・外国人などの雇用ハードルを下げ人材確保を進める必要がある。 ・AI を活用し、業務の効率化、負担軽減が図れるとよい。 ・事業所職員への家賃手当等の補助は大事である。 ・安心して事業継続できるよう、事業所支援(特に金銭面)を充実させてほしい。 ・小規模事業所への支援。 ・重症心身障がい者が利用する事業所に、研修の実施や専門員の配置を必須化してほしい。 ・外国人に対応した、研修制度が必要である。 ・サービス提供者も安心、安定した生活を送れるようにしてほしい。 ・福祉事業所の存続と職員の安定を図る。 ・工賃にとらわれない就労継続支援 B 型事業所の運営。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式に孤独感なく参加してもらうことが目標。 ・今後直面するダブル介護を想像すると不安である。 ・区の担当者により、サービスの利用可否が変わるため、統一させてほしい。 ・不動産事業者がコーディネーターとなり、事業所の開設場所を選定してほしい。 ・施設の新設等の事業所の整備に際し、空き家を有効活用できるとよい。一方で、空き家は建築基準法を満たしていない場合があるため、建替え等の費用が嵩む場合がある。 ・利益を重視し、基準ギリギリで運営する事業所に対し、指導を強化する必要がある。 ・区が事業所を新設する際は、運営事業所の要望を十分にヒアリングしてから進める必要がある。

(2) 計画策定部会長からの総評

- ・情報は発信しているが、届けたい層に十分に届けられていないため、発信方法の改善が必要である。
- ・相談場所はあるが、当事者、家族等の課題をまとめて相談して寄り添いコーディネートしてくれる、ネウボラのような仕組みの“安心して相談できる場所”が必要である。
- ・障がい福祉分野以外の資源や情報(区内で活躍している企業や人)を取り込んでいく視点も含め、計画を策定していく必要がある。
- ・サービスを継続して利用できるかどうかの見通しが立たず、将来に対する不安を常に抱えながら生活をしている状況から脱却し、皆が安心して暮らしを続けることができる環境が必要。そのため、今後計画を策定するにあたり、将来のサービス需要を見通し、適切な計画を策定する必要がある。
- ・「すぐに実現できないからしょうがない」という視点ではなく、できる方法を一緒に考えていく、寄り添いながら皆で考えていけるような仕組みを作っていかなければならない。



(3)意見交換会参加者アンケートの結果

参加者アンケートには、17人の方から回答をいただきました。

語り尽くせなかったこと等については、家族の負担軽減のための支援や、事業者としての気づいた点などの意見がありました。

また、意見交換会全体の感想としては、意見交換会で出た意見が計画に反映させることを願うといった声が寄せられました。

■語り尽くせなかったこと等

分類	主な意見
支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・放課後等デイサービスがなく、仕事をあきらめるような支援では「切れ目のない」と言えない。障がい者への支援にも力を入れて欲しい。・問題があれば、保護者が対応したり、我慢したりする形になるため、寄り添った対応をお願いしたい。・障がい者/児のケア・子育ては、保育園児を一生育てるようなことと同義だと考える。保育園の整備は進んできたが、障がい児を預かってくれる場所の整備は発展途上と思う。親がフルタイムで働き続けられるように、安定して障がい者/児を預けられる場所の確保をお願いしたい。・国から義務付けられている研修を、区や社協が主体となり実施することで、事業所の負担を軽減してほしい。・家族だからこそ、支援しづらいことがあるため、支援が必要な子に対し、別の支援が必要な子の家族が支援するような仕組み作りをしてほしい。それにより雇用も創出される。
その他	<ul style="list-style-type: none">・区内の障がい者・児に全数調査し、エビデンスに基づいた計画策定をしてほしい。・区の事業・サービスを拡充させるにあたり、予算上の課題が大きいのであれば、渋谷区内の事業所(企業)や学校(大学など)へ社会福祉参加などの側面からクラウドファンディングを募るなどの働きかけはできないのか。

■当日の意見交換会への感想

分類	主な意見
感想	<ul style="list-style-type: none">・意見交換会が、意見として終わることなく実現できることを願う。・知らない事が多く、とても勉強になった。また参加したい。・意見交換会での意見が、計画に反映されますように。

「渋谷区障がい福祉推進計画」策定に向けた実態調査報告書

2026年3月

発行:渋谷区

編集:渋谷区福祉部障がい者福祉課

150-8010 東京都渋谷区宇田川町1-1

Tel:03-3463-1922

Fax:03-5458-4935